

---

# JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook

---

2005 年 8 月

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook  
SKU E1\_APPS811SP1APR-B JPN  
Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、知的財産が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。また、当社は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式、手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複写、複製、または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

## U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Retek は米国 Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

## オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたはドキュメンテーションの使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation 社 (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも暗示的にも、一切の保証はありません。Apache Software Foundation 社およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Apache Software Foundation 社は一切責任を負いません。

# 目次

## はじめに

この PeopleBook について .....	xxiii
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xxiii
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎.....	xxiii
印刷・製本されたドキュメンテーションの入手.....	xxiv
印刷・製本されたドキュメンテーションの注文.....	xxiv
追加情報.....	xxv
表記規則.....	xxv
表記規則.....	xxvi
注意事項の表示.....	xxvi
国、地域、業種の表記.....	xxvii
通貨コード.....	xxvii
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xxviii
全ての PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxviii

## まえがき

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 – まえがき.....	xxxiii
対象の製品.....	xxxiii
アプリケーションの基礎.....	xxxiii
この PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxxiv

## 第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 – はじめに.....	1
調達管理の概要.....	1
調達管理の統合.....	1
(Rapid Start) Procurement Business Processes.....	3
調達管理の導入.....	8
グローバル導入手順.....	8
調達管理の導入手順.....	9

## 第 2 章

調達管理について.....	11
業務の概要.....	11

調達管理について.....	11
調達管理業務について.....	11
調達管理システムの概要.....	13
調達管理システムについて.....	14
機能、用語、概念.....	14
オーダー処理サイクル.....	16

### 第 3 章

Vertex Sales Tax Q Series について.....	19
Vertex Sales Tax Q Series について.....	19
Vertex Sales Tax Q Series システムの互換性.....	19

### 第 4 章

リポートについて.....	21
リポートについて.....	21

### 第 5 章

カスタマ/サプライヤ セルフサービスの設定について.....	23
カスタマ/サプライヤ セルフサービスについて.....	23
セルフ サービスの設定について.....	23
セルフサービス設定の概要.....	24
セキュリティの問題.....	24
処理オプションのアクティブ化.....	24
事前設定.....	25

### 第 6 章

調達管理システムの設定.....	27
システム設定について.....	27
オーダー行タイプの定義.....	29
オーダー行タイプについて.....	29
オーダー行タイプの定義に使用するフォーム.....	30
オーダー行タイプの定義.....	30
オーダー処理順序定義の設定.....	32
オーダー処理順序定義について.....	32
事前設定.....	33
オーダー処理順序定義の設定に使用するフォーム.....	33



オーダー処理順序定義の設定.....	33
調達固定情報の設定.....	35
調達固定情報について.....	35
事前設定.....	35
調達固定情報の設定に使用するフォーム.....	36
事業所固定情報の定義.....	36
価格管理固定情報の定義.....	38
品目引当可能数量の定義.....	39
システム固定情報の定義.....	40
アプリケーション制御固定情報の定義.....	41
調達の自動採番の定義.....	42
調達の自動採番について.....	42
ユーザー定義コード (UDC) の設定.....	42
AAI (自動仕訳) の設定.....	47
調達管理システムの AAI テーブルについて.....	47
AAI (自動仕訳) の設定に使用するフォーム.....	50
流通 AAI の設定.....	50
許容規則の作成.....	50
許容規則について.....	51
許容規則の作成に使用するフォーム.....	51
許容規則の作成.....	51
オーダー保留情報の設定.....	52
オーダー保留情報について.....	52
事前設定.....	53
オーダー保留情報の設定に使用するフォーム.....	53
オーダー保留情報の入力.....	53
陸揚費用の設定.....	54
陸揚費用について.....	54
事前設定.....	55
陸揚費用の設定に使用するフォーム.....	55
陸揚費用の設定.....	55
非在庫品目の設定.....	56
非在庫品目について.....	56
非在庫品目の設定に使用するフォーム.....	57
非在庫品目マスター (P4101N) の処理オプションの設定.....	57
非在庫品目の設定.....	58
印刷メッセージの定義.....	59
印刷メッセージについて.....	59
印刷メッセージの定義に使用するフォーム.....	60
印刷メッセージの定義.....	60

メッセージを印刷する印刷伝票の定義.....	60
伝票タイプの例外の定義.....	60
購買オーダー テンプレートの設定.....	60
購買オーダー テンプレートについて.....	61
事前設定.....	61
購買オーダー テンプレートの設定に使用するフォーム.....	62
オーダー テンプレートの改訂 (P4015) の処理オプションの設定.....	62
購買オーダー用仕入先テンプレートの作成.....	63
購買オーダー用ユーザー テンプレートの作成.....	63
既存の購買オーダーを使用したテンプレートの作成.....	63
バッチ モードでのテンプレートの改訂.....	63
仕入先実績テンプレートの再作成 (R43815) の処理オプションの設定.....	63
モデル ログの作成.....	65
モデル ログについて.....	65
事前設定.....	65
モデル ログの作成に使用するフォーム.....	65
モデル ログの作成.....	65
 <b>第 7 章</b>	
<b>仕入先情報の設定.....</b>	<b>67</b>
仕入先および品目情報の設定.....	67
仕入先および品目情報の設定について.....	67
事前設定.....	69
仕入先および品目情報の設定に使用するフォーム.....	71
仕入先購買指示の定義.....	72
仕入先/品目関係の作成.....	73
納入パフォーマンスのガイドライン設定.....	74
合格品目のガイドライン設定.....	74
仕入先パフォーマンス集計情報の定義.....	74
仕入先価格および割引規則の定義.....	76
仕入先価格および割引規則について.....	76
事前設定.....	78
仕入先価格および割引規則の定義に使用するフォーム.....	79
仕入先カタログの改訂プログラム (P41061) の処理オプションの設定.....	79
仕入先価格の入力.....	79
購買用価格割引規則の作成.....	80
品目および仕入先に対する価格割引規則の添付.....	81

**第 8 章**

<b>購買オーダー コミットメントの設定</b> .....	<b>83</b>
コミットメントのトラッキング設定.....	83
コミットメントトラッキングについて.....	83
コミットメントトラッキングの設定に使用するフォーム.....	84
購買オーダーの生成 (P43011) の処理オプションの設定.....	84
コミットメントの設定.....	88
コミットメント リリースの設定.....	89

**第 9 章**

<b>購買オーダーの入力</b> .....	<b>91</b>
購買オーダー入力について.....	91
(BRA) Understanding Purchase Order Entry in Brazil.....	92
購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定.....	92
処理.....	97
複写.....	99
相互参照.....	100
オーダー照会.....	100
バージョン.....	101
通貨.....	102
承認.....	102
予算作成.....	103
インタオペラビリティ.....	104
オーダー改訂.....	105
セルフサービス.....	105
マトリックス.....	105
ワークフロー.....	106
転送オーダー.....	107
オーダー見出し情報の入力.....	107
オーダー見出し情報の入力について.....	107
事前設定.....	109
オーダー見出し情報の入力に使用するフォーム.....	110
オーダー見出し情報の入力.....	110
追加のオーダー見出し情報の入力.....	111
オーダー明細情報の入力.....	112
オーダー明細情報の入力について.....	112
事前設定.....	116
オーダー明細情報の入力に使用するフォーム.....	117
品目番号別明細行の入力.....	117

勘定科目コード別明細行の入力.....	119
複数の勘定配賦の入力.....	120
明細行の税情報入力.....	120
明細行の値引条件入力.....	121
明細行のレポートコード入力.....	121
変更オーダーの入力.....	121
代替品目または置換品目の入力.....	121
キット オーダーの入力.....	121
変更オーダーのコピー.....	122
(Rapid Start) Entering Direct Purchase Order for an Inventory Item.....	122
Entering Direct Purchase Order for an Inventory Item.....	122
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Entry – Inventory (P4310).....	123
(Rapid Start) Reviewing and Releasing Purchase Orders for an Inventory Item.....	129
Reviewing and Releasing Purchase Orders for an Inventory Item.....	129
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Approve PO – Inventory (P43025).....	130
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering and Printing Purchase Orders for Returning an Item to a Supplier.....	130
Entering and Printing Purchase Orders for Returning an Item to a Supplier.....	130
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Inventory (P4310).....	131
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500).....	137
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Printing, and Changing Purchase Orders for Non-Inventory Items with 2-Way Match.....	139
Entering, Printing, and Changing Purchase Orders for Non-Inventory Items with 2-Way Match.....	139
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Blanket (P4310).....	140
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Direct PO (P4310).....	145
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500).....	151
(Rapid Start) Changing Purchase Orders for an Inventory Item.....	153
Changing Purchase Orders for an Inventory Item.....	153
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Entry – Inventory (P4310).....	154
(BRA) Entering Purchase Orders for Brazil.....	160
Understanding the Purchase Order Process Flow.....	160
Prerequisites.....	160
Forms Used to Enter Purchase Orders for Brazil.....	161
Setting Processing Options for P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR).....	161
Entering Purchase Orders for Brazil.....	162

## 第 10 章

<b>購買オーダーの利用</b> .....	<b>165</b>
特殊オーダー入力機能の利用.....	165
特殊オーダー入力機能について.....	165
特殊オーダー入力機能の処理に使用するフォーム.....	168
オーダーの複写.....	169
複数の仕入先に対するオーダー入力.....	169
品目に対する仕入先の選択.....	169
仕入先カタログを使用した品目入力.....	169
オーダー テンプレートを使用した品目入力.....	169
既存明細行からの購買オーダー作成.....	169
コミットメントおよび債務の利用.....	169
コミットメントと債務について.....	169
コミットメント整合性の検証について.....	171
オーダーに対するコミットメント情報の検討方法について.....	172
事前設定.....	173
コミットメントおよび債務の処理に使用するフォーム.....	173
コミットメント照会 (P40230A) の処理オプションの設定.....	173
オーダー コミットメント情報の検討.....	174
コミットメント整合性の検証.....	175
コミットメント整合性レポート (R40910) に対する処理オプションの設定.....	175
債務繰越の利用.....	176
繰越債務 (R4317) の処理オプションの設定.....	176
予算の使い方.....	178
予算チェックについて.....	178
予算の処理に使用するフォーム.....	180
予算の検討.....	180
保留オーダーの利用.....	181
オーダー保留について.....	181
事前設定.....	182
保留オーダーの処理に使用するフォーム.....	182
オーダー保留の入力.....	182
保留オーダー リリース (P43070) の処理オプションの設定.....	182
オーダー保留のリリース.....	184
ログ情報の利用.....	185
ログ情報について.....	185
ログ情報の処理に使用するフォーム.....	186
ログ情報の入力.....	186
ログ レポート/更新の実行.....	187
モデル ログからのログ情報のコピー.....	187

バッチによるオーダーの印刷.....	187
バッチ印刷について.....	187
バッチ印刷.....	188
購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定.....	188
オーダーの個別印刷.....	192
個別オーダー印刷について.....	192
オーダーの個別印刷に使用するフォーム.....	193
個別印刷.....	193
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Purchase Orders for an Inventory Item.....	193
Printing Purchase Orders for an Inventory Item.....	193
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500).....	194
(Rapid Start AUS and NZL) Printing Purchase Orders for an Inventory Item.....	196
Prerequisite.....	196
Printing Purchase Orders for an Inventory Item.....	196
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Purchase Orders (R43500).....	197
(Rapid Start AUS and NZL) Reprinting Purchase Orders for an Inventory Item.....	199
Prerequisite.....	199
Reprinting Purchase Orders for an Inventory Item.....	199
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Purchase Order (R43500).....	199
(Rapid Start) Printing Purchase Order for Selling a Direct Ship Item.....	201
Printing Purchase Order for Selling a Direct Ship Item.....	201
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Print Purchase Orders – Batch (R43500).....	202
オーダー情報の利用.....	204
オーダー関連タスクについて.....	204
オーダー情報の処理に使用するフォーム.....	206
財務状況情報の検討.....	206
オーダー明細情報の印刷.....	208

## 第 11 章

入荷処理の利用.....	209
入荷処理について.....	210
非公式の入荷処理.....	210
公式の入荷処理.....	210
入荷確認書の印刷.....	210
入荷確認書について.....	211
入荷確認書印刷 (R43510) の処理オプションの設定.....	211
バッチ モードによる入荷確認書の印刷.....	212
個別オーダーの入荷確認書の印刷.....	212

入荷の入力.....	212
入荷情報について.....	213
事前設定.....	214
入荷の入力に使用するフォーム.....	215
入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションの設定.....	215
入荷情報の入力.....	224
(BRA) Entering and Reviewing Receipts for Procurement for Brazil.....	225
Understanding Receipts for Brazilian Procurement.....	225
Prerequisite.....	225
Forms Used to Enter and Review Receipts for Procurement for Brazil.....	226
Setting Processing Options for the Nota Fiscal Receipts – Brazil Program (P4312BR).....	226
Entering Receipts for Procurement for Brazil.....	226
Setting Processing Options for the Nota Fiscal Maintenance – Brazil Program (P7610B).....	227
Reviewing Inbound Nota Fiscal Header Information.....	230
Reviewing Inbound Nota Fiscal Detail Information.....	230
(BRA) Entering Reversing Receipts for Brazilian Procurement.....	231
Understanding Receipt Reversals for Brazilian Procurement.....	231
Form Used to Enter Reversing Receipts for Brazilian Procurement.....	231
Entering a Reversing Receipt for Brazilian Procurement.....	231
(BRA) Working with Errors on Notas Fiscais.....	231
Understanding Errors on Notas Fiscais.....	231
Forms Used to Work with Errors on Notas Fiscais.....	232
Comparing Nota Fiscal Amounts.....	232
(BRA) Closing Inbound Notas Fiscais.....	233
Understanding the Nota Fiscal Check & Close Program (P76B900).....	233
Prerequisites.....	234
Forms Used to Close an Inbound Nota Fiscal.....	235
Setting Processing Options for the Nota Fiscal Check & Close Program (P76B900).....	235
Closing an Inbound Nota Fiscal.....	235
(BRA) Generating a Correction Letter for a Nota Fiscal.....	236
Prerequisite.....	236
Forms Used to Generate a Correction Letter for a Nota Fiscal.....	236
Generating a Correction Letter for a Nota Fiscal.....	237
Creating the Text for a Correction Letter.....	237
一括入荷の入力.....	237
一括入荷について.....	237
事前設定.....	239
一括入荷の入力に使用するフォーム.....	239
一括入荷情報の入力.....	239
複数保管場所およびロットへの品目の割り当て.....	239

シリアル番号の割り当て.....	240
入荷の戻し (逆仕訳).....	240
入荷トランザクションに対する仕訳の検討.....	240
入荷トランザクションに対する仕訳の検討について.....	240
入荷トランザクションに対する仕訳の検討.....	241
入荷の転記.....	241
総勘定元帳への転記 (R09801) の処理オプションの設定.....	241
入荷情報の印刷.....	244
入荷情報の印刷について.....	245
発注残の印刷.....	245
発注残状況の印刷.....	245
発注残状況 (R43525) の処理オプションの設定.....	245
仕入先別入荷情報の印刷.....	246
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering and Receiving Purchase Orders for Non-Inventory Item with 3-Way Match.....	246
Entering and Receiving Purchase Orders for Non-Inventory Item with 3-Way Match.....	246
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry - Blanket (P4310).....	247
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry - Non Stock (P4310).....	253
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Receipts by Purchase Order (P4312).....	258
(Rapid Start) Receiving Purchase Orders for an Inventory Item.....	263
Receiving Purchase Orders for an Inventory Item.....	263
(Rapid Start) Receiving Purchase Order for Selling a Direct Ship Item.....	263
Receiving Purchase Order for Selling a Direct Ship Item.....	263
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment for Returning an Item to a Supplier.....	264
Confirming Shipment for Returning an Item to a Supplier.....	264
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Purchase Order Receipts.....	265
Posting Purchase Order Receipts.....	265
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States General Ledger - PO Receipts (R09801).....	266
(Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for an Inventory Item.....	267
Posting Purchase Order Receipts for an Inventory Item.....	267
(Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item.....	268
Posting Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item.....	268
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 2-Way Match. ....	269
Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 2-Way Match.....	269
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801).....	270
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 3-Way Match. ....	271



Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 3-Way Match.....	271
(Rapid Start) Posting Vouchers for an Inventory Item.....	272
Posting Vouchers for an Inventory Item.....	272
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Journal Entries for Returning an Item to a Supplier... ..	273
Posting Journal Entries for Returning an Item to a Supplier.....	273
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Returning an Item to a Supplier.....	274
Posting Vouchers for Returning an Item to a Supplier.....	274
(Rapid Start) Posting Procurement Transactions for Selling a Direct Ship Item.....	275
Posting Procurement Transactions for Selling a Direct Ship Item.....	275
(Rapid Start CAN and USA) Posting Procurement Transactions for Transfer Order with Receipt Routing.....	276
Posting Procurement Transactions for Transfer Order with Receipt Routing.....	276
 <b>第 12 章</b>	
<b>伝票の作成.....</b>	<b>279</b>
伝票作成について.....	279
事前設定.....	279
伝票作成.....	279
入荷処理中オーダーの検討.....	280
入荷処理中オーダーの検討について.....	280
入荷処理中オーダーの検討に使用するフォーム.....	281
入荷確認照会 (P43214) の処理オプションの設定.....	281
入荷処理中オーダーの検討.....	283
陸揚費用の入力.....	283
(BRA) Understanding Landed Costs for Brazil.....	283
入荷処理時の陸揚費用の入力について.....	284
独立型処理の陸揚費用の入力について.....	284
事前設定.....	284
陸揚費用の入力に使用するフォーム.....	285
陸揚費用選択 (P43291) の処理オプションの設定.....	285
陸揚費用の入力.....	285
(BRA) Applying Landed Costs.....	285
(BRA) Entering Freight Notes.....	286
伝票の作成.....	286
伝票作成について.....	287
代替通貨で受け取った請求書の管理について.....	290
事前設定.....	290
伝票の作成に使用するフォーム.....	291
買掛金標準伝票入力 (P0411) の処理オプションの設定.....	291
伝票照合 (P4314) の処理オプションの設定.....	299

伝票と照合する入荷レコードの選択.....	306
伝票と照合するオーダー明細行の選択.....	307
運賃のオーダー明細行の選択.....	307
請求書の原価変更の記録.....	307
留保金の処理.....	307
留保金について.....	307
事前設定.....	308
留保金の処理に使用するフォーム.....	308
留保金のある伝票の入力.....	308
留保金をリリースする伝票の入力.....	308
入荷レコードからの複数伝票作成.....	309
入荷レコードからの複数伝票作成について.....	309
入荷レコードからの複数伝票作成.....	311
伝票トランザクションに対する仕訳の検討と転記.....	311
伝票金額貸借一致の検証.....	311
購買仕訳 (R04305) の処理オプションの設定.....	311
商品入荷前の仮請求書作成.....	311
仮請求書について.....	312
商品入荷前の仮請求書作成に使用されるフォーム.....	312
予備伝票を作成するための仮請求書の作成.....	312
予備伝票からの正式伝票の作成.....	312
仮請求書情報の印刷.....	312
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Purchase Order.....	313
Matching Invoice to Purchase Order.....	313
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411).....	314
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Open Receipt.....	317
Matching Invoice to Open Receipt.....	317
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Open Receipt for an Inventory Item.....	317
Matching Invoice to Open Receipt for an Inventory Item.....	317
(Rapid Start) Matching Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item.....	318
Matching Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item.....	318
(Rapid Start AUS and NZL) Matching Purchase Order to Voucher for an Inventory Item.....	319
Prerequisite.....	319
Matching Purchase Order to Voucher for an Inventory Item.....	319
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Voucher Entry with PO Match (P0411).....	320
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Voucher Match (P4314).....	322
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Credit Memo to Open Purchase Order Receipts for Returning an Item to a Supplier.....	326

Matching Credit Memo to Open Purchase Order Receipts for Returning an Item to a Supplier.....	326
(Rapid Start CAN and USA) Matching Purchase Order Receipts for Transfer Order with Receipt Routing.....	326
Matching Purchase Order Receipts for Transfer Order with Receipt Routing.....	327
伝票情報の印刷.....	327
明細行別の伝票情報印刷.....	328
入荷/伝票状況レポート (R43412) の処理オプションの設定.....	328
入荷別未決済伝票情報の印刷.....	328
仕入先の伝票金額の印刷.....	329
支払 AIA アプリケーションの印刷.....	329
先取特権放棄の印刷.....	329
 <b>第 13 章</b>	
<b>特殊オーダー処理.....</b>	<b>331</b>
特殊オーダー処理について.....	331
購買要求の利用.....	332
購買要求について.....	332
購買要求明細行について.....	332
事前設定.....	333
購買要求の処理に使用するフォーム.....	333
購買要求の入力.....	334
購買要求の複写によるオーダーの作成.....	334
購買要求からの購買オーダー生成/一括オーダー リリース (P43060) の処理オプションの設定.....	334
オーダーに対する購買要求明細行の選択.....	336
一括オーダーの利用.....	336
一括オーダーについて.....	336
一括オーダーの処理に使用するフォーム.....	337
一括オーダーの入力.....	337
一括オーダーからの購買オーダー作成.....	337
(Rapid Start) Entering Blanket Orders for an Inventory Item.....	337
Entering Blanket Orders for an Inventory Item.....	338
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Entry – Blanket (P4310).....	338
見積オーダーの利用.....	344
見積オーダーについて.....	344
見積オーダーの処理に使用するフォーム.....	347
単一数量の価格見積の要求.....	347
複数数量の価格見積の要求.....	347
購買要求からの見積オーダー作成.....	347
見積を依頼する仕入先の入力.....	347
見積要求の印刷.....	348

見積回答の入力 (P4334) の処理オプションの設定.....	348
仕入先からの見積価格の入力.....	348
価格見積からのオーダー作成.....	348
価格見積からのオーダー作成について.....	349
価格見積からのオーダー作成に使用するフォーム.....	349
見積オーダーのリリース (P43360) の処理オプションの設定.....	349
価格見積からのオーダー作成.....	351
オーダー改訂の利用.....	351
オーダー改訂について.....	352
オーダー改訂処理に使用するフォーム.....	353
オーダー改訂の作成.....	353
購買オーダー/変更オーダー集計 (P4319) の処理オプションの設定.....	353
オーダー改訂情報の検討.....	354
オーダー改訂情報の印刷.....	355
オーダー改訂履歴レポート (R43535) の処理オプションの設定.....	355

## 第 14 章

<b>承認処理.....</b>	<b>357</b>
承認処理について.....	357
承認経路の利用.....	357
承認経路について.....	358
事前設定.....	360
承認経路の処理に使用するフォーム.....	360
承認レベルの改訂 (P43008) の処理オプションの設定.....	360
承認経路の作成.....	360
承認権限の委任.....	361
承認待ちオーダーの処理.....	361
承認メッセージと承認待ちオーダーについて.....	361
承認待ちオーダーの処理に使用するフォーム.....	363
オーダーに対する承認メッセージの検討.....	363
購買オーダー承認 (P43081) の処理オプションの設定.....	363
承認待ちオーダーの検討.....	364
オーダーの承認と却下.....	365
オーダーの承認と却下について.....	365
事前設定.....	365
オーダーの承認または却下に使用するフォーム.....	366
オーダーの承認と却下.....	366
承認処理のフィールド固定情報の設定.....	366
承認処理のフィールド固定情報について.....	366

事前設定.....	366
承認処理のフィールド固定情報の設定に使用するフォーム.....	367
承認処理のフィールド固定情報の設定.....	367
 <b>第 15 章</b>	
<b>入荷工程.....</b>	<b>369</b>
入荷工程について.....	369
入荷工程の作成.....	370
作業の定義について.....	370
入荷工程の品目に対する仕訳作成について.....	371
事前設定.....	372
入荷工程の作成に使用するフォーム.....	373
入荷工程の作成.....	373
品目除去に対する支払適格性の定義.....	374
品目除去について.....	374
品目除去に対する支払適格性の定義に使用するフォーム.....	374
品目除去に対する支払適格性の定義.....	374
入荷工程のアクティブ化.....	374
入荷工程のアクティブ化について.....	374
事前設定.....	375
品目に対する入荷工程の割当てに使用するフォーム.....	375
仕入先/品目関係 (P43090) の処理オプションの設定.....	375
品目に対する入荷工程の割当て.....	376
抜き取り検査要件と品目仕様の定義.....	376
抜き取り検査要件と品目仕様について.....	376
事前設定.....	376
抜き取り検査要件と品目仕様の定義に使用するフォーム.....	377
抜き取り検査要件と品目仕様の定義.....	377
入荷工程品目の利用.....	377
品目関連タスクについて.....	377
入荷工程品目の処理に使用するフォーム.....	378
入荷工程の移動/処分 (P43250) の処理オプションの設定.....	378
品目現行作業の検討.....	383
作業間の品目移動.....	383
(Rapid Start CAN and USA) Moving and Dispositioning Transfer Order with Receipt Routing.....	383
Moving and Dispositioning Transfer Order with Receipt Routing.....	383
Preconfigured Processing Options for Canada and United States Movement and Disposition (P43250).....	384
入荷工程からの品目の除去.....	386
品目の除去および戻し (逆仕訳) について.....	386

入荷工程からの品目の除去に使用するフォーム.....	387
入荷工程からの品目の除去.....	387
入荷工程品目履歴の検討.....	388
品目履歴について.....	388
入荷工程品目履歴の検討に使用するフォーム.....	388
入荷工程品目履歴の検討.....	388

## 第 16 章

<b>仕入先の管理.....</b>	<b>391</b>
仕入先限度額の換算について.....	391
代替通貨での仕入先価格の生成.....	392
代替通貨での仕入先価格の生成について.....	392
代替通貨での仕入先価格の生成.....	394
“通貨別購買価格の生成”(R4106101) の処理オプションの設定.....	394
仕入先パフォーマンス情報の管理.....	395
仕入先パフォーマンス情報について.....	395
事前設定.....	397
仕入先パフォーマンス情報の管理に使用するフォーム.....	397
仕入先分析サマリー (P43230) の処理オプションの設定.....	397
仕入先納入パフォーマンスの検討.....	398
仕入先品質パフォーマンスの検討.....	399
仕入先原価パフォーマンスの検討.....	399
仕入先パフォーマンス集計情報の検討.....	399
仕入先および品目分析レコードの更新.....	399
仕入先および品目分析レコードの更新について.....	399
仕入先および品目分析レコードの更新.....	400
“仕入先/品目関係の再作成”(R43900) の処理オプションの設定.....	400

## 第 17 章

<b>オーダーの更新.....</b>	<b>401</b>
オーダーの更新について.....	401
状況コードの更新.....	401
状況コードの更新について.....	401
状況コードの更新に使用するフォーム.....	402
状況コードの更新.....	402
購買日付の改訂.....	402
購買日付の改訂について.....	402
購買日付の改訂に使用するフォーム.....	402

購買日付の改訂 (P43100) の処理オプションの設定.....	402
購買日付の改訂.....	403
購買オーダーの生成.....	403
購買オーダーの生成について.....	403
事前設定.....	404
購買オーダーの生成に使用するフォーム.....	405
購買オーダーの生成.....	405
“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” の利用.....	406
“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” プログラム (R437002) について.....	406
発注提示在庫品目プログラム (F4371) について.....	406
在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成に使用するフォーム.....	407
“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” の実行.....	407
“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” (R437002) の処理オプションの設定.....	407
発注提示在庫品目 (P4371) の処理オプションの設定.....	409
再発注品目の提示の利用.....	410

## 第 18 章

購買オーダー コミットメントの処理.....	411
コミットメント処理について.....	411
コミットメントの整合性レポート/除去/再作成/転記処理について.....	411
コミットメント整合性レポートの実行.....	412
コミットメント整合性レポートについて.....	412
コミットメント整合性レポートの実行.....	412
コミットメント整合性レポート (R40910) の処理オプションの設定.....	412
PA 元帳明細レコードの除去.....	413
PA 元帳明細レコードの除去について.....	413
PA 元帳明細レコードの除去.....	414
購買明細履歴 (F43199) の除去 (R43199P) の処理オプションの設定.....	414
コミットメント監査証跡の再作成.....	414
コミットメント監査証跡について.....	414
事前設定.....	415
コミットメント監査証跡の再作成.....	415
作業へのコミット済み原価の転記.....	416
作業へのコミット済み原価の転記について.....	416
作業へのコミット済み原価の転記.....	416
コミット済み原価の再転記 (R00932) の処理オプションの設定.....	417
債務繰越の実行.....	417
債務繰越について.....	417
債務繰越の実行.....	418

債務繰越 (R4317) の処理オプションの設定.....	418
-------------------------------	-----

## 第 19 章

カスタマ/サプライヤ セルフサービスの利用.....	421
Web での入荷参照.....	421
事前設定.....	421
Web での入荷参照に使用するフォーム.....	421
Web での入荷参照.....	421
Web でのオーダー参照.....	421
オーダー参照について.....	422
オーダーの参照.....	422
見積要求への回答.....	422
見積要求へのセルフサービス回答について.....	422
事前設定.....	422
見積要求への回答に使用するフォーム.....	422
見積回答の入力 (P4334) の処理オプションの設定.....	423
見積要求への回答.....	423

## 第 20 章

データの除去.....	425
データの除去プログラムについて.....	425
事前設定.....	426
データの除去.....	426
データの除去に使用するフォーム.....	426
データの除去.....	426

## 付録 A

EnterpriseOne 調達管理の標準ワークフロー.....	429
EnterpriseOne 調達管理の標準ワークフロー.....	429
購買オーダー承認.....	429
約束日付変更.....	430

## 付録 B

EnterpriseOne 調達管理レポート.....	431
EnterpriseOne 調達管理レポート (アルファベット順).....	431
EnterpriseOne 調達管理の主なレポート.....	431



R43415 – 仕入先別購買オーダー集計.....	432
R43420 – 購買元帳レポート.....	432
R43640 – 要求日付別発注残.....	432
要求日付別発注残 (R43640) の処理オプション.....	432
 EnterpriseOne 用語集.....	 435
 索引 .....	 447



# この PeopleBook について

PeopleBook には、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎
- 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

---

**注:** PeopleBook には、システムで使用されている全てのフィールドについて説明されているわけではありません。アプリケーションで共通して使用される主なフィールドは、共通フィールドとしてまとめて説明しています。全てのアプリケーションで共通するフィールドはこの PeopleBook に、各アプリケーションで共通するフィールドは、それぞれの製品ライン、PeopleBook、またはその章やセクションごとに、共通フィールドとしてまとめて説明されています。それ以外に説明が必要と思われるものについては、処理や業務を実行する具体的なページの説明と併せて、フィールドやチェック ボックスの説明をそれぞれ記載しています。

---

---

## JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基本的な使い方を熟知する必要があります。

また、JD Edwards EnterpriseOne の入門トレーニング コースを少なくとも 1 つ修了していることが推奨されます。

この PeopleBook では、ユーザーが JD Edwards EnterpriseOne システムを操作でき、メニューやページ、フォームなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、JD Edwards EnterpriseOne システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne システムを効果的に使用するために必要な情報や、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

---

## JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

また、システムを設定したり設計するときに必要な情報が、製品ラインで共通する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている場合もあります。ほとんどの製品ラインについて『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』が用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、製品ラインのどのアプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。JD Edwards EnterpriseOne システムを導入する場合、製品ラインの中から 1 つのアプリケーションだけを導入する、いくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入する、といういずれの場合でも、この『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

---

## 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、印刷・製本されたドキュメンテーションの注文について説明します。

### 印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

PeopleBooks CD-ROM に収録されているドキュメンテーションは、印刷・製本された形のものも用意されています。印刷・製本されたドキュメンテーションは、以下のいずれかの方法でご注文いただけます。

- Web サイト
- 電話（米国およびカナダのみ）
- 電子メール

#### Web サイト

PeopleSoft の Web サイトである Customer Connection から注文できます。Ordering PeopleBooks リンクをクリックすると、PeopleBooks Press の Web サイトにアクセスすることができます。このサイトは、PeopleSoft と印刷会社 MMA Partners 社が共同で運営しています。ご注文の際、クレジットカード、郵便為替、銀行小切手、または注文書をご利用いただけます。

#### 電話（米国およびカナダのみ）

877 588 2525 (MMA Partners 社) までご連絡ください。

#### 電子メール

peoplebookspress@mmapartner.com (MMA Partners 社) までご連絡ください。

#### 関連項目:

PeopleSoft Customer Connection  
<https://www.peoplesoft.com/corp/en/login.jsp>

## 追加情報

PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス マップ	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
データモデル	[Support]、[Documentation]、[Data Models]
エンタープライズ インテグレーション ポイント (EIP) のカタログ	[Support]、[Documentation]、[Enterprise Integration Point (EIP) Catalog]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
PeopleBook ドキュメンテーションのアップデート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
サポートポリシー	[Support]、[Support Policy]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]
リリースノート	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]、[Upgrade Documentation and Software]、[Release Notes]
テーブルのロード順序	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Table Loading Sequences]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]

## 表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

## 表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しで、そのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。
Monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2 つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒 ( ) で区切られています。
[ ](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。  また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

## 注意事項の表示

PeopleBook では、注意事項が以下のような形式で示されています。

### 注

JD Edwards EnterpriseOne システムを使って作業するときに注意すべき事項が書かれています。

**注:** 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守るべき大切な事柄は、“重要:”と示されています。

---

**重要:** 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

---

## 警告

JD Edwards EnterpriseOne システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

---

**警告:** 警告は、このような形式で示しています。

---

## 相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

## 国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています。

特定の国を対象とした見出しの例: 「従業員の採用 (FRA)」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「減価償却の設定 (中南米)」

### 国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

### 地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

### 業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

## 通貨コード

金額は、ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

---

## ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒154-0005  
東京都世田谷区三宿 1-13-1  
東映三宿ビル 5 階

日本オラクル インフォメーション システムズ株式会社  
エンタープライズ ランゲージ サービス マネジャー宛

TEL: 03-5251-8768

または、ETSJPN\_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

---

## 全ての PeopleBook で使用する共通フィールド

以下 Enterprise の用語です。

指定日	どの日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象となるかを指定します。
ビジネスユニット	業務上、区分された上位レベルの組織の ID です。ビジネスユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
名称	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。データを表示、変更できる時期も有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時、実行しない	<p>“1 回限り”を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に“実行しない”に設定されます。</p> <p>“常時”を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない”を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。



<b>リクエスト ID</b>	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
<b>実行</b>	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
<b>セットID</b>	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これにより、データの重複やシステムのメンテナンス作業を減らすことができます。ビジネスユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネスユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、複数のビジネスユニットで共通する職務コードのグループを定義して共有することができます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
<b>略称</b>	15 文字までのテキストを入力できます。
<b>ユーザー ID</b>	トランザクションを実行するユーザーを表す ID です。
<b>以下 EnterpriseOne の用語です。</b>	
<b>住所番号</b>	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号です。住所番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員番号、応募者番号、加入者番号、などに相当する場合があります。
<b>仮定通貨コード</b>	取引金額を表示する際に使用する通貨を指定する 3 文字のコードです。このコードを指定することにより、取引の入力時に実際に使用された通貨ではなく、指定した通貨に基づいて取引金額を参照することができます。
<b>バッチ番号</b>	システムによって処理される取引のグループを識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが手動でバッチ番号を割り当てるか、自動採番プログラム (P0002) によって自動的に割り当てることもできます。
<b>バッチ日付</b>	バッチが作成された日付です。このフィールドを空白のままにすると、自動的にシステム日付がバッチ日付として指定されます。
<b>バッチ状況</b>	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) 98/IC の値を表示します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白: バッチが転記されていないか、承認待ちです。</p> <p>A: バッチの転記が承認され、貸借も一致していますが、まだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されました。</p> <p>E: バッチにエラーが発生しました。転記の前にエラーを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記処理中です。転記処理が完了するまで、バッチにアクセスすることはできません。転記中にエラーが発生した場合は、バッチ状況コードが E に変更されます。</p>

U: ほかのユーザーがこのバッチを使用しているか、バッチが開かれている間に電源障害が発生したために、バッチが一時的に使用できなくなっています。

事業所	倉庫、作業、プロジェクト、作業所、支店、工場など、配送業務や製造業務が行われる場所や単位を表すコードです。システムによっては、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
ビジネスユニット	個別に費用がトラッキングされる各エンティティを表すコードです。システムによっては、事業所とも呼ばれます。
カテゴリ コード	各カテゴリを表すコードです。カテゴリ コードは、ユーザー定義コードで、トラッキングや申告など、組織の業務要件に合わせてカスタマイズできます。
会社	組織、資金、報告主体などを識別するコードです。会社コードは、F0010 に定義済みである必要があり、このコードで表される単位ごとに、完全な貸借対照表を備えている必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す 3 文字のコードです。EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) に準拠した通貨コードを提供しています。通貨コードは F0013 テーブルに格納されています。
伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号です。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と併せて使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度によって次の番号を割り当てる場合、この会社番号に基づいて、その会社の次の番号が自動的に抽出されます。</p> <p>同じ伝票番号と伝票タイプが複数の当初伝票に割り当てられていても、伝票会社番号を使用すれば、目的の当初伝票を表示することができます。</p>
伝票番号	伝票、請求書、仕訳入力、タイム シートなどの当初伝票を識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが当初伝票番号を割り当てるか、自動採番プログラムによって自動的に割り当てることもできます。
伝票タイプ	<p>取引のソースおよび目的を表すユーザー定義コード 00/DT の値 (2 文字) です。伝票、請求書、仕訳入力、タイム シートなどがあります。EnterpriseOne では、伝票タイプに以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛伝票</p> <p>R: 売掛伝票</p> <p>T: 時間/給与伝票</p> <p>I: 在庫伝票</p> <p>O: 購買伝票</p> <p>S: 受注伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、取引、レコードなどがアクティブになる日付です。このフィールドは、プログラムによって意味が変わります。たとえば、以下のような日付を表すことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 住所変更が有効になる日付</li><li>• 賃貸契約が有効になる日付</li><li>• 価格が有効になる日付</li><li>• 為替換算レートが有効になる日付</li></ul>

- 税率が有効になる日付

**会計期間、会計年度**

元帳の期間、年度を表す番号です。多くのプログラムでは、このフィールドを空白のままにできます。その場合、会社固定情報プログラム (P0010) で定義された現在の会計期間と会計年度が自動的に使用されます。

**元帳日付**

取引の転記先の会計期間を示すための日付です。取引に対してこの日付が入力されると、その会社に割り当てられている会計期間パターンと比較して、適切な会計期間および会計年度が抽出されます。日付の検証も併せて行われます。



# JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の製品
- アプリケーションの基礎
- この PeopleBook で使用する共通フィールド

---

## 対象の製品

この PeopleBook では、以下の製品と機能についての情報も記載されています。

- JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理
- JD Edwards EnterpriseOne 住所録
- JD Edwards EnterpriseOne バルク在庫管理
- JD Edwards EnterpriseOne EDI処理
- JD Edwards EnterpriseOne 一般会計
- JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理
- JD Edwards EnterpriseOne 作業原価
- JD Edwards EnterpriseOne 外注管理
- JD Edwards EnterpriseOne 製造データ管理
- JD Edwards EnterpriseOne 品質管理
- JD Edwards EnterpriseOne 所要量計画
- JD Edwards EnterpriseOne 購買要求セルフサービス
- JD Edwards EnterpriseOne 輸送管理
- JD Edwards EnterpriseOne 倉庫管理

---

**注:** この PeopleBook には、追加説明を必要とするフォーム フィールドだけが記載されています。フォーム フィールドは、そのフォーム フィールドを使用するプロセスまたはタスクと共に記載されていない場合、追加説明を必要としないか、セクション、章、または PeopleBook の共通フィールドと共に記載されています。

---

---

## アプリケーションの基礎

『JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 PeopleBook』では、調達管理ソリューションのインプリメンテーションと処理情報が提供されています。ただし、システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編に記載されています。この姉妹編は EnterpriseOne 製品ラインの多くまたは全てに適用される重要なトピックで構成されています。調達管理の姉妹編は以下のとおりです。

『PeopleSoft EnterpriseOne Financial Management Solutions Application Fundamentals PeopleBook』

## この PeopleBook で使用する共通フィールド

<b>承認経路コード</b>	オーダーの承認経路を指定するコードを入力します。
<b>事業所</b>	<p>原価のトラッキング対象となる個々の事業単位を表す英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワーク センター、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。</p> <p>ビジネスユニットを伝票、会社、または個人に割り当て、さまざまなレポートを作成することができます。たとえば、ビジネスユニット別の未決済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの支払/入金予定を把握することができます。</p> <p>ビジネスユニットにセキュリティを設定すると、権限のないユーザーにはビジネスユニットに関する情報が表示されません。</p>
<b>購買担当者</b>	各在庫品目の適切な在庫レベルを設定および維持する担当者を識別する住所番号を入力します。
<b>値引係数</b>	正味価格を決定するために在庫品目の単価に適用される係数を入力します。この品目に規則を割り当てた場合は、在庫価格設定規則からこの値が取得されます。価格設定規則の設定では、この値を単価に掛けるか、単価に加算するか、あるいは単価から差し引くかどうかが決まります。
<b>入荷基準決済</b>	<p>オーダーが評価済み入荷決済に適しているかどうかを示すコードを入力します。評価済み入荷決済は、受け取った品目に基づいて伝票を作成するための仕入先との契約があることを表します。入荷レコードから伝票を作成するには、入荷決済の評価 (R43800) 処理を使用します。その結果として、仕入先は請求書を送付しないため、伝票突合せ処理は省略できます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>N: 評価済み入荷決済には適していません。</p> <p>Y: 評価済み入荷決済に適しています。</p> <p>I: 入荷トランザクションの処理中です。</p> <p>T: 評価済み入荷決済に適しています。ただし、入荷処理中に許容エラーが発生しました。</p> <p>R: 評価済み入荷決済に適しています。ただし、現在、入荷工程処理中です。</p> <p>V: 評価済み入荷決済処理を使用して、入荷トランザクションの伝票が作成されました。</p>
<b>合計原価</b>	数量に単価を掛けた値を入力します。
<b>貨物取扱コード</b>	仕入先出荷の配送手段を示す貨物/運賃取扱コード (42/FR) UDC にあるコードを入力します。たとえば、仕入先がドックに配送するか、または仕入先のドックで出荷品を集荷できます。また、これらのコードを使用して運賃の責任者を指定することもできます。たとえば、仕入先の倉庫から出荷されるとすぐに顧客が法的に商品を所有し、出荷先への輸送料金について責任を負うことを示すコードを使用できます。
<b>元帳クラス</b>	トランザクションを転記する勘定科目の検索に使用される元帳クラスを識別する転記コード (41/9) UDC の値を入力します。元帳クラスを指定しない場合には、このフィールドにアスタリスクを 4 つ (****) 入力してください。

自動仕訳 (AAI) を使用して、在庫管理、調達管理、および受注管理の 3 システムに自動的に元帳クラスを事前設定できます。次のように元帳クラスコードを割り当てることができます。

IN20: 直送オーダー

IN60: 転送オーダー

IN80: 在庫販売

1 件のトランザクションに基づいて仕訳レコードが作成されます。たとえば、在庫 1 品目を販売すると、次のような仕訳レコードが作成されます。

販売在庫 (借方) xxxxx.xx

売掛在庫販売 (貸方) xxxxx.xx

転記カテゴリ: IN80

在庫品目 (借方) xxxxx.xx

在庫売上原価 (貸方) xxxxx.xx

元帳クラスコードと伝票タイプに基づいて該当する AAI が検索されます。

## 保留コード

オーダーが保留された理由を識別する保留コード (42/HC) UDC にあるコードを入力します。

## 品目価格グループ

品目の在庫価格グループを識別する品目価格グループ (40/PI) UDC にあるコードを入力します。在庫価格グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーや購買オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。この値引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。受注オーダーや購買オーダーの値引と割増は、対話形式で計算されるため、品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。

## 陸揚費用規則

品目の陸揚費用規則を示す陸揚費用規則 (41/P5) UDC にあるコードを入力します。陸揚費用規則により、業者手数料やコミッションなどの品目の実際の価格を超える購買価格が決まります。陸揚費用規則は、[陸揚費用の改訂] フォームで設定します。

## 前の状況

このオーダー行が正常に完了した処理サイクルの最終ステップを示す処理状況コード (40/AT) UDC にあるコードを入力します。

## 元帳タイプ

AA (実績金額)、BA (予算金額)、または AU (実績数量) など、元帳のタイプを指定する元帳タイプ (09/LT) UDC にあるコードを入力します。総勘定元帳内で同時に複数の元帳を設定して、すべての取引の監査証跡を設定できます。

## 行タイプ

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムを制御します。また、行をレポートに印刷する場合や、行を計算に組み込む場合の条件も指定します。有効値は以下のとおりです。

S: 在庫品目

J: 作業原価

N: 非在庫品

F: 運賃  
T: テキスト情報  
M: その他の料金および貸方  
W: 作業オーダー

次の状況	行タイプのオーダー フローにおける次のステップを示す処理状況コード (40/AT) UDC にあるコードを入力します。
オーダー タイプ	<p>伝票のタイプを識別する伝票タイプ (00/DT) UDC にあるコードを入力します。このコードはトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、入荷確認書、タイム シートの伝票タイプ コードは予約されていて、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。</p> <p>以下の伝票タイプは事前定義されています。これらの伝票タイプは変更しないでください。</p> <p>P: 買掛金伝票 R: 売掛金伝票 T: 給与計算伝票 I: 在庫伝票 O: 購買オーダー処理伝票 J: 一般会計/共有利息請求伝票 S: 受注オーダー処理伝票</p>
価格設定規則	価格設定規則によって在庫を分類するために、品目価格グループ (40/PI) UDC にあるコードを入力します。通常、これらのカテゴリは在庫価格表の主要セクションに対応しています。設定できる詳細カテゴリ数に制限はありません。販売、購買、オーダー/バスケット、および契約価格設定には 1 つのコードを使用できます。契約規則を設定する場合、そのコードは契約のもとで品目の略式番号と等しくなければなりません。
印刷メッセージ	使用する印刷メッセージを指定するために印刷メッセージ (40/PM) UDC の値を入力します。メッセージで使用されるテキストとしては、生産設計仕様、休暇中の作業時間数、特殊配送指示などがあります。
補助元帳	総勘定元帳の勘定科目を細分化して補助的に使用する科目を識別するコードを入力します。設備品目番号や住所番号も補助元帳として使用できます。補助元帳を入力する場合は、同時に補助元帳タイプも指定してください。
仕入先番号	住所録レコードを識別する名前または番号を入力します。情報の入力や検索に使用します。住所番号 (AN8) 以外の値 (詳細住所、税 ID など) を入力する場合は、住所録固定情報で定義した記号を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。
税目コード	税額や総勘定元帳の配賦金額の計算に使用されるアルゴリズムを制御する税目コード (00.EX) UDC にあるコードを入力します。この税目コードと税率/税域、税規則を組み合わせると税計算の方法が決まります。支払項目ごとに異なる税目コードを指定することができます。
税率/税域	税率と納税先が共通している税域または地域を識別するコードを入力します。税域テーブル (F4008) に対して入力したコードは検証されます。請求



書または伝票を作成すると、税目コードおよび税規則と共に税率/税域を使用して、税額と総勘定元帳の配賦金額が計算されます。

## 単価

計量単位に対して請求される価格を隣接するフィールドに入力します。たとえば、基本計量単位は EA (each) であるものの、通常は箱ごとの表示価格を使用する場合は、これらのフィールドを使用します。



# 第 1 章

## JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 – はじめに

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の内容について説明します。

- 調達管理の概要
- 調達管理の統合
- (Rapid Start) Procurement business processes
- 調達管理の導入

---

### 調達管理の概要

調達とは、製品やサービスを仕入先から受け取るプロセスを指します。これには商品およびサービスに関する購買量やタイミングの決定、実際の購買や受領などの業務が伴います。購買サイクルでは、量および品質ともに適切な設備、資材、サービスなどを最適なソースから最も有利な価格で購入することを目的とします。調達業務は購買部門だけでなくその他の多くの部門が関係します。統合された調達管理システムがあれば、担当者は組織内のすべての機構および部署にまたがる情報にアクセスできます。アクセスする情報は、入荷トランザクションやオーダー改訂のデータ、仕入先のプロフィール、買掛金の状況、特殊なオーダー処理、入荷工程で処理される購買品のトラッキングといった処理状況やデータなどです。

---

### 調達管理の統合

調達管理システムは、以下の JD Edwards EnterpriseOne システムと統合されます。

- 一般会計および買掛管理
- 住所録
- 製造
- ロジスティクス
- 作業原価計算
- EDI (電子データ交換)

統合における留意事項については、この PeopleBook の導入に関する章で説明します。サードパーティアプリケーションとの統合についての補足情報は、PeopleSoft Customer Connection Web サイトを参照してください。

## 一般会計および買掛管理

調達管理システムは、一般会計システムおよび買掛管理システムと統合されています。自動仕訳 (AAI) およびユーザーが入力する勘定科目コードを使用して、関連するトランザクション情報が会計システムに送られます。

調達管理システムは、仕入先支払情報、税情報などを買掛管理システムから取り込みます。

## 住所録

調達管理システムは住所録システムから次の情報を取り込みます。

- 仕入先住所
- 出荷先住所
- 倉庫住所
- ユーザー ID 情報

## 製造

調達管理システムを、複数の JD Edwards EnterpriseOne 製造システムと連携させることにより、部品引当可能数、作業オーダー、予測、計画および製造原価などの処理に役立てることができます。

## ロジスティクス

会社によっては、調達管理システムを在庫管理システムと連動させていることもあります。この 2 つのシステムを連動させるには、在庫品目に関連する情報の検証および交換が必要となります。調達管理システムは、次のロジスティクス システムと統合されています。

- 倉庫管理
- 受注管理
- 購買要求セルフサービス

購買要求と購買オーダーは、購買要求セルフサービスから調達管理へ送ることができます。

- 収益性分析
- 予測
- DRP (流通所要量計画)
- 上級価格設定

## 作業原価計算

また、調達管理システムを作業原価システムと連携させて、外注契約のコミットメントを参照できます。[作業状況の照会] を使用して、作業やプロジェクトに関するコミットメント明細をそれぞれの勘定科目別に表示できます。

## EDI (電子データ交換)

EDI とはビジネストランザクションをコンピュータ間で交換することです。購買オーダーや請求書、出荷通知などを標準フォーマットで送受信します。

EDI システムは、システム 47 で構成されるアプリケーション インターフェイスです (インターフェイス ファイル、テーブル、プログラムを含む)。システム 47 と、EDI の標準フォーマットのデータをフラット ファイル フォーマットに変換するサードパーティのソフトウェアとの連動によって、EDI のデータを JD Edwards EnterpriseOne のアプリケーション ソフトウェアで 사용할 수 있습니다。伝票を受信すると、サードパーティの変換ソフトウェアにより以下の処理が実行されます。

- ネットワーク経由でのデータの取得
- EDI 標準フォーマットから JD Edwards EnterpriseOne アプリケーション テーブルのフォーマットへの変換
- JD Edwards EnterpriseOne の EDI フラット ファイルへの変換データの移動

受信変換プログラムは、変換されたデータを JD Edwards EnterpriseOne の EDI インターフェイス テーブルに移動します。そのデータは、EDI システムによって該当するアプリケーション テーブルに転送されます。伝票を送信する場合は、逆の順序で処理が実行されます。

購買システムに対して現在サポートされている EDI 伝票を次の表に示します。この表には、EDI 標準化機構である ANSI および EDIFACT に対応するコードが含まれます。

トランザクション	ANSI	EDIFACT	受信 (To)	送信 (From)
購買オーダー	850	ORDERS	受注管理	調達管理
購買オーダー承認	855	ORDRSP	調達管理	受注管理
請求書	810	INVOIC	買掛管理、調達管理	受注管理
受取通知	861	RECADV	調達管理、受注管理	調達管理
購買オーダー変更	860	ORDCHG	受注管理	調達管理
購買オーダー回答 メッセージ	865	ORDRSP	調達管理	受注管理

## (Rapid Start) Procurement Business Processes

Rapid Start for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and the United States includes all the functionality available in the PeopleSoft EnterpriseOne systems to perform the business processes. For the Procurement system, Rapid Start also includes preconfigured data that is specifically set up for these business processes:

- (AUS and NZL) Process purchase orders.
- (CAN, FRA, GBR, and USA) Process purchase orders.

### (AUS and NZL) Process Purchase Orders

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Procurement and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Australia and New Zealand:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process purchase orders.	Purchase an inventory item.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter blanket orders for an inventory item.</li> <li>2. Plan requirements for an inventory item.</li> <li>3. Enter direct purchase order for an inventory item.</li> <li>4. Review and release purchase orders for an inventory item.</li> <li>5. Print purchase orders for an inventory item.</li> <li>6. Reprint purchase orders for an inventory item.</li> <li>7. Change purchase orders for an inventory item.</li> <li>8. Receive purchase order for an inventory item.</li> <li>9. Post purchase order receipts for an inventory item.</li> <li>10. Match purchase order to voucher for an inventory item.</li> <li>11. Post vouchers for an inventory item.</li> </ol>	<p>参照: 第 13 章、「特殊オーダー処理」、「(Rapid Start) Entering Blanket Orders for an Inventory Item」、337ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 所要量計画 8.11 SP1 PeopleBook、「資材所要量の計画」、「(Rapid Start) Planning Requirements for an Inventory Item」</p> <p>参照: 第 9 章、「購買オーダーの入力」、「(Rapid Start) Entering Direct Purchase Order for an Inventory Item」、122ページ</p> <p>参照: 第 9 章、「購買オーダーの入力」、「(Rapid Start) Reviewing and Releasing Purchase Orders for an Inventory Item」、129ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「購買オーダーの利用」、「(Rapid Start AUS and NZL) Printing Purchase Orders for an Inventory Item」、196ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「購買オーダーの利用」、「(Rapid Start AUS and NZL) Reprinting Purchase Orders for an Inventory Item」、199ページ</p> <p>参照: 第 9 章、「購買オーダーの入力」、「(Rapid Start) Changing Purchase Orders for an Inventory Item」、153ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start) Receiving Purchase Orders for an Inventory Item」、263ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for an Inventory Item」、267ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「(Rapid Start AUS and NZL) Matching Purchase Order to Voucher for an Inventory Item」、319ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start) Posting Vouchers for an Inventory Item」、272ページ</p>

### (CAN, FRA, GBR, and USA) Process Purchase Orders

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Procurement and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process purchase orders.	Purchase non-inventory item with 2-way match.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter blanket order.</li> <li>2. Enter direct purchase order.</li> <li>3. Print purchase order.</li> <li>4. Change direct purchase order.</li> <li>5. Match invoice to purchase order.</li> <li>6. Post vouchers for non-inventory item with 2-way match.</li> </ol>	<p>Steps 1 through 4</p> <p>参照: 第 9 章、「<u>購買オーダーの入力</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Printing, and Changing Purchase Orders for Non-Inventory Items with 2-Way Match</u>」、139 ページ</p> <p>Step 5</p> <p>参照: 第 12 章、「<u>伝票の作成</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Purchase Order</u>」、313 ページ</p> <p>Step 6</p> <p>参照: 第 11 章、「<u>入荷処理の利用</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 2-Way Match</u>」、269 ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Procurement and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process purchase orders.	Purchase non-inventory item with 3-way match.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter blanket order.</li> <li>2. Enter direct purchase order.</li> <li>3. Receive purchase order.</li> <li>4. Post purchase order receipts.</li> <li>5. Match invoice to open receipt.</li> <li>6. Post vouchers for non-inventory item with 3-way match.</li> </ol>	<p>Steps 1 through 3</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering and Receiving Purchase Orders for Non-Inventory Item with 3-Way Match」、246ページ</p> <p>Step 4</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Purchase Order Receipts」、265ページ</p> <p>Step 5</p> <p>参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Open Receipt」、317ページ</p> <p>Step 6</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 3-Way Match」、271ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Procurement and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:



Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process purchase orders.	Purchase an inventory item.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter blanket orders for an inventory item.</li> <li>2. Plan requirements for an inventory item.</li> <li>3. Enter direct purchase order for an inventory item.</li> <li>4. Review and release purchase orders for an inventory item.</li> <li>5. Print purchase orders for an inventory item.</li> <li>6. Change purchase orders for an inventory item.</li> <li>7. Receive purchase order for an inventory item.</li> <li>8. Post purchase order receipts for an inventory item.</li> <li>9. Match invoice to open receipt for an inventory item.</li> <li>10. Post vouchers for an inventory item.</li> </ol>	<p>参照: 第 13 章、「特殊オーダー処理」、「(Rapid Start) Entering Blanket Orders for an Inventory Item」、337ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 所要量計画 8.11 SP1 PeopleBook、「資材所要量の計画」、「(Rapid Start) Planning Requirements for an Inventory Item」</p> <p>参照: 第 9 章、「購買オーダーの入力」、「(Rapid Start) Entering Direct Purchase Order for an Inventory Item」、122ページ</p> <p>参照: 第 9 章、「購買オーダーの入力」、「(Rapid Start) Reviewing and Releasing Purchase Orders for an Inventory Item」、129ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「購買オーダーの利用」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Purchase Orders for an Inventory Item」、193ページ</p> <p>参照: 第 9 章、「購買オーダーの入力」、「(Rapid Start) Changing Purchase Orders for an Inventory Item」、153ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start) Receiving Purchase Orders for an Inventory Item」、263ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for an Inventory Item」、267ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Open Receipt for an Inventory Item」、317ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start) Posting Vouchers for an Inventory Item」、272ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Procurement and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process purchase orders.	Returning an item to a supplier.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter purchase order.</li> <li>2. Print purchase order.</li> <li>3. Confirm shipment for returning an item to a supplier.</li> <li>4. Post journal entries for returning an item to a supplier.</li> <li>5. Match credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier.</li> <li>6. Post vouchers for returning an item to a supplier.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「<u>購買オーダーの入力</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering and Printing Purchase Orders for Returning an Item to a Supplier</u>」、130ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「<u>入荷処理の利用</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment for Returning an Item to a Supplier</u>」、264ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「<u>入荷処理の利用</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Journal Entries for Returning an Item to a Supplier</u>」、273ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「<u>伝票の作成</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Credit Memo to Open Purchase Order Receipts for Returning an Item to a Supplier</u>」、326ページ</p> <p>参照: 第 11 章、「<u>入荷処理の利用</u>」、「<u>(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Returning an Item to a Supplier</u>」、274ページ</p>

## 調達管理の導入

このセクションでは、調達管理システムを導入するために必要な手順の概要について説明します。

導入プランの作成段階では、導入のガイドやトラブルシューティング情報など、提供される全ての情報を活用するようにしてください。これらのリソースの一覧は、『この PeopleBook について』のまえがきに、各リソースの最新バージョンの入手方法と共に掲載されています。

### グローバル導入手順

次のリストは、JD Edwards EnterpriseOne 調達管理のグローバル導入手順です。

手順	参照
1. グローバル ユーザー定義コードを設定します。	『PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95: Foundation PeopleBook』の「User Defined Codes」
2. 会社、会計期間パターン、およびビジネスユニットを設定します。	
3. 自動採番を設定します。	『PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95: Foundation PeopleBook』の「Setting Up Next Numbers」
4. 勘定科目と勘定科目表を設定します。	
5. 一般会計固定情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計固定情報の設定」
6. 通貨コードと為替レートなど、多通貨処理の設定をします。	
7. 元帳タイプ規則を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計システムの元帳タイプ規則の設定」
8. 住所録レコードを入力します。	JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」
9. 事業所固定情報、デフォルト事業所およびプリンタ、製造および流通 AAI、伝票タイプなどの在庫情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫管理システムの設定」
10. 製造現場カレンダーを設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「製造現場管理システムの設定」
11. 製造固定情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 製造データ管理 8.11 SP1 PeopleBook、「製造データ管理の設定」、「製造固定情報の設定」

## 調達管理の導入手順

次の表は、調達管理システムの導入手順を示しています。

手順	参照
1. オーダー行タイプを設定します。	<a href="#">第 6 章、「調達管理システムの設定」、「オーダー行タイプの定義」、30ページ</a>
2. オーダー処理順序定義を設定します。	<a href="#">第 6 章、「調達管理システムの設定」、「オーダー処理順序定義の設定」、33ページ</a>
3. 調達管理の固定情報を設定します。	<a href="#">第 6 章、「調達管理システムの設定」、「調達固定情報の設定」、35ページ</a>
4. 調達管理の自動採番を定義します。	<a href="#">第 6 章、「調達管理システムの設定」、「調達の自動採番の定義」、42ページ</a>
5. AAIを設定します。	<a href="#">第 6 章、「調達管理システムの設定」、「流通 AAI の設定」、50ページ</a>

手順	参照
6. ユーザー定義コードを設定します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「ユーザー定義コード(UDC)の設定」、42ページ</u>
7. 許容規則を作成します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「許容規則の作成」、51ページ</u>
8. オーダー保留情報を設定します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「オーダー保留情報の入力」、53ページ</u>
9. 陸揚費用を設定します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「陸揚費用の設定」、55ページ</u>
10. 非在庫品目を設定します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「非在庫品目の設定」、58ページ</u>
11. 印刷メッセージを定義します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「印刷メッセージの定義」、59ページ</u>
12. 購買オーダーのテンプレートを設定します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「購買オーダーテンプレートについて」、61ページ</u>
13. モデルログを作成します。	<u>第 6 章、「調達管理システムの設定」、「モデルログの作成」、65ページ</u>

## 第 2 章

# 調達管理について

購買部門は、購買オーダーや返品オーダー、返品を統括して処理する部門です。調達管理システムには、オーダーの入力から入荷した商品およびサービスに対する実際の支払までの一連の処理が含まれています。

この章では、以下の内容について説明します。

- 業務の概要
- 調達管理システムの概要

---

## 業務の概要

このセクションでは、以下の内容について説明します。

- 調達管理について
- 調達管理業務について

### 調達管理について

調達とは、製品やサービスを仕入先から受け取るプロセスを指します。これには商品およびサービスに関する購買量やタイミングの決定、実際の購買や受領などの業務が伴います。購買サイクルでは、量および品質ともに適切な設備、資材、サービスなどを最適なソースから最も有利な価格で購入することを目的とします。調達業務は購買部門だけでなくその他の多くの部門が関係します。統合された調達管理システムがあれば、担当者は組織内のすべての機構および部署にまたがる情報にアクセスできます。アクセスする情報は、入荷トランザクションやオーダー改訂のデータ、仕入先のプロファイル、買掛金の状況、特殊なオーダー処理、入荷工程で処理される購買品のトラッキングといった処理状況やデータなどです。

### 調達管理業務について

どの企業においても、調達管理業務に関するプロセスや手順があり、それにより発注元へのレスポンスを速くして付加価値の低い業務を減らすのが理想的な姿です。調達管理システムは、組織のあらゆる側面を持ち合わせた効果的なシステムであり、購買担当者に最新の情報を提供して、データの検索にかかる時間を短縮します。節約した時間を利用して、新たな供給ソースを探したり、現在の仕入先との関係の強化や調達プロセスの改善方法の調査などが可能です。

### オーダー生成

調達管理プロセスは、品目やサービスに対する需要が発生した時点から始まります。この需要は通常、購買要求という形で購買部門に渡されます。購買要求とは、いつ何が必要か、および必要なものやサービスに関連する実際原価を購買担当者が知るための伝票です。購買要求は、仕入先が見積を生成して価格を設定できるようにしたり、購買オーダーの生成に使用できます。購買要求から作成した購買オーダーは、商品またはサービスを、合意した価格で納期どおりに配送するという、売り手と買い手の間での文書による契約になります。

## 購買方式

ほとんどの購買部門では、次のような方法が使用されます。

- 在庫品
- 非在庫品
- 外注

在庫品の購買には、再販目的のものや資材、製造品目も含まれます。これらの場合には、調達管理と在庫管理システムが完全に統合されている必要があります。統合システムにより、品目が在庫にあるかどうかを検証されます。在庫品目についての情報には、原価や記述、仕入先、計量単位などが含まれます。コンピュータのハードウェア メーカーの場合、在庫品目は回路基板 (PCB) などです。

非在庫品目の場合、商品や資材、サービスを購入して社内で使用したり、外部の企業に費用を請求する場合があります。通常これらの品目は総勘定元帳に記録されます。非在庫品目の例は、事務備品、メンテナンス、修理、消耗品、ビル管理サービスなどです。

外注による購買は、仕入先での外注作業や、多数のサービス業者を使用して請求先を 1 つの作業番号にまとめるような社内プロジェクトなどに関連付けられます。たとえば、自社で製造したスチール部品を外部の仕入先がプレート加工する際の作業などです。

## 入荷処理

仕入先が購買オーダーの指示に従って商品を出荷したら、入荷部門ではそれを受領する必要があります。商品やサービスの入荷処理は日々行われています。入荷処理は通常、次の作業に分けられます。

- 荷下し、およびチェック
- 要求した数量と入荷数量があっているかどうかの確認
- 該当する購買オーダーについて、入荷した数量のシステムへの記録

社内での対応を迅速にするため、入荷部門は発注者または購買担当者に商品の受領を連絡する必要があります。

## 特殊オーダー処理

購買部門での日常的な業務の中では、さまざまなタイプの伝票を必要とする特殊な処理も発生します。伝票タイプには次のようなものがあります。

- 一括購買オーダー
- 見積オーダー
- 変更オーダー

一括オーダーは、品目やサービスを繰り返し購入する際に使用します。一括オーダーは、特定の期間内に使用すると考えられる金額または数量に基づいて作成します。1 年分をオーダーするのが一般的です。一括オーダーから必要な数量がリリースされて、システムにより購買オーダーが作成されます。一括オーダーを使用すると、購買オーダーの処理にからむ管理費の削減や調達プロセスの合理化につながります。一括オーダーの例には、保守管理部門で 1 年間に製造現場用のタオルを 1200 ケース使用する場合などがあげられます。この場合、購入者は毎月約 100 ケースをリリースすることになります。

見積オーダーは、複数の仕入先から入札形式でより有利な条件を求める際に使用します。見積要求 (RFQ) には、数量、仕様、納入日や回答希望日付を記載します。見積要求が戻ってきたら、購買部門は内容を検討して見積要求で指定した原価や配送、品質の条件と最も合う仕入先を選んで発注します。見積オーダーは購買要求から直接生成できます。また、見積オーダーから購買オーダーを生成することも可能です。

変更オーダーを使用して、購買担当者は当初の購買オーダーや契約に変更を加えられます。変更オーダーは、当初の購買オーダーや契約への変更に対する監査証跡となるため重要です。

### 承認処理

承認処理とは、購買要求や購買オーダーが適切な許可を得て、指示された商品/サービスの購入に至るまでの処理を指します。購買要求や購買オーダーの段階で承認を必要とするケースが一般的になりつつあります。購買要求および購買オーダーの金額に応じて、異なるレベルのさまざまな担当者による承認が必要になります。

### 入荷工程

入荷工程処理により、購入した商品が仕入先から出荷された後のトラッキングが可能になります。入荷工程によって、倉庫への配送中、入荷処理中、入庫済みなど、製品の所在が分かります。入荷工程処理によって、入荷部門から社内の関連部署へのサービスを向上できます。また、購買オーダーの仕様に満たない商品の処分を入荷工程中に記録する場合があります。入荷工程で商品が通過するステップには、たとえば次のようなものがあります。

- 積送中
- 通関
- 検査
- 入庫

### 仕入先管理

サプライチェーンを構築する上で重要なステップの 1 つとして、仕入先とのパートナーシップの維持および強化があげられます。次のような情報を利用すると、仕入先との関係強化につながります。

- パフォーマンス分析
- 仕入先の価格比較データ
- 認定済み仕入先の状況
- 契約条件
- 品目カタログ原価計算

仕入先のパフォーマンスのモニタリングでは、次のような点を考慮します。

- 原価
- 納入
- 品質

コストを考慮する際には、費用が安いだけでなく、質の高さを基準にします。納入実績を分析する際には、納期から遅れた分の日数および期日前納入の日数などを考慮します。品質分析の場合、仕入先が購買オーダー上の仕様を満たしているかどうかを評価します。

---

## 調達管理システムの概要

このセクションでは、以下の内容について説明します。

- 調達管理システムについて

- 機能、用語、概念
- オーダー処理サイクル

## 調達管理システムについて

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理システムは、次のように広範囲にわたる購買業務に対応しています。

- 在庫の補充
- プロジェクト用の資材購入
- 特定の部署、作業、またはビジネス ユニットに対する、購入した部材やサービスの費用配賦

調達業務には、オーダーの入力から入荷した商品およびサービスに対する実際の支払までの一連の処理が伴います。オーダーの処理サイクルを入念に計画し、それに従って調達管理システムを設定してください。設定項目は、オーダー タイプ、行タイプ、オーダー処理順序定義などです。

特殊なオーダーの処理や承認処理、仕入先管理など、それぞれの会社特有な調達業務を実行できます。多彩な機能により、作業オーダーを迅速かつ効果的に処理できます。綿密な検討およびレポート機能は、現在だけでなく将来の購買戦略に関する意思決定に役立ちます。

## 機能、用語、概念

このセクションでは、以下の内容について説明します。

- 在庫品目の購買
- 非在庫品目の購買
- 外注契約管理
- 調達管理環境

### 在庫品目の購買

次の例のような在庫または在庫基準業務を管理している会社もあります。

- 顧客に販売する小売品目
- 内部消費品目
- 製造品目
- 修理および保守用品目

在庫基準環境の商品を購入するには、在庫用購買方法を使用してください。この方法を使用することにより、調達管理と在庫管理システムを完全に統合できます。この方法では、在庫管理システムに存在する品目番号に基づいて品目を購入します。調達管理システムでは、以下のような処理が行われます。

- 品目が在庫管理システムに存在するかどうかを検証する
- 在庫管理システムから、品目記述、単位原価、計量単位などの品目情報を取り込む
- 在庫管理システムで手持数量、単位原価などの品目情報を更新する

在庫基準方法の環境では、品目が出庫されるまで、品目原価は貸借対照表で在庫として分類されます。品目が販売された時点で、これは売上原価となります。品目を内部で使用する場合、出庫時に品目を計上する経費勘定科目を確定します。



## 非在庫品目の購買

会社では、商品、資材、サービスを社内使用目的または販売目的のために購入する場合があります。この購買が行われる対象には次のようなものがあります。

- 職務
- プロジェクト
- 内部消費
- 修理およびメンテナンス
- 作業オーダーで請求できる部品

総勘定元帳の勘定科目コードに購買を計上するには、非在庫基準方法を使用します。それぞれの勘定科目コードは作業またはプロジェクトを表します。この方法は、非在庫基準とサービスおよび経費基準に適しています。

在庫管理システムにある品目を購入する際に、非在庫基準方法を使用することもできます。調達管理システムでは、品目番号を検証し、在庫管理システムから品目記述および原価を取り込みますが、品目残高情報は更新されません。

コミットメントまたは債務のトラッキングは、非在庫基準環境、サービス/経費基準環境でよく使用する処理です。コミットメントまたは債務は、将来の債務を認識することです。総勘定元帳の勘定科目に購買を計上する場合、購買オーダーの入力時にコミットメントおよび債務の金額をトラッキングできます。

## 外注契約管理

外注契約管理方法を使用して、作業に関連する契約や支払、コミットメントの日常のおよび長期的な明細を管理します。さらに、以下の処理が可能です。

- 作業の協力会社との契約作成およびその管理
- 支払のガイドライン確立および契約に対する支払
- 作業に対して支払った原価および先日付に対してコミットする原価のトラッキング
- 契約情報の照会
- 契約コミットメントに対する変更オーダーの入力
- 契約およびコミットメントについての状況レポート生成

新規契約の作成時には、協力会社情報、実施作業、契約コミットメント、日付、ログ時間などを入力します。既存の契約については、コミットメント変更オーダーを入力して受理事項および送付事項をトラッキングできます。

また、出来高払いまたは保留の出来高払いの入力やリリースも可能です。出来高払いとは、作業の進捗に応じて外注先に支払を行うことです。

## 調達管理環境

調達管理システムには、購買業務の実行に対応した 4 つの異なる環境があります。

- 在庫基準
- 非在庫基準
- サービス/経費基準
- 外注基準

在庫基準環境は、在庫用に商品を購入する場合に使用します。非在庫基準環境とサービス/経費基準環境では、総勘定元帳の勘定科目コードに計上する購買業務を対象としています。外注契約基準環境は、外注により商品/サービスを調達する場合に使用します。

業務内容に適した環境を選択してください。たとえば、在庫基準環境では仕入先管理やリベート処理など在庫管理に共通する業務を実行できます。非在庫基準、サービス/経費基準環境では、コミットメントおよび債務をトラッキングできます。外注基準環境では、外注契約を入力したり変更できます。

この 4 つの環境には共通する業務も多数あります。ただし、メニューやフォームはそれぞれの環境に特有のプロセスおよび手順に対応するため、個別に設定されています。

使用する環境は、それぞれの会社によって異なります。すべての環境が必要になる場合もあれば、1 つの環境で足りることもあります。

## オーダー処理サイクル

購買オーダーの処理サイクルは 3 つの基本ステップで構成されています。

- オーダーの作成
- 商品またはサービスの入荷
- 商品またはサービスに対する支払伝票の作成

オーダー入力後、入荷情報を入力（公式の入荷処理）し、商品またはサービスを入荷できます。非公式の入荷処理を実行する場合、伝票を作成する前に請求書の情報を元の購買オーダーと比較する必要があります。在庫品を仕入れる場合は公式の入荷処理を使用してください。総勘定元帳の勘定科目コードに購買を計上する場合、入荷処理は公式でも非公式でもかまいません。

使用する伝票の作成方法は、入荷処理により異なります。公式の入荷処理を使用する場合、次のようにして伝票を作成します。

- 請求書と入荷の情報と一致していることを個別に確認して作成
- 既存のレコードを利用してバッチ モードで作成

オーダーを入力する際は常に、オーダーする品目およびサービスについての明細を入力する必要があります。各品目またはサービスについて、数量や原価などオーダーを記述する明細行を入力してください。

各明細行に対して行タイプを指定します。行タイプは、明細行の情報のシステムによる管理方法を示します。たとえば、行タイプ S（在庫品目）は、在庫管理システムの品目数量を補充し、総勘定元帳の原価および買掛管理システムに反映することを示します。

各オーダー タイプ（購買オーダー、購買要求、一括オーダーなど）の明細行について処理方法を指示するには、オーダー処理サイクルを設定してください。たとえば、購買オーダーに対しては次のように処理サイクルを設定できます。

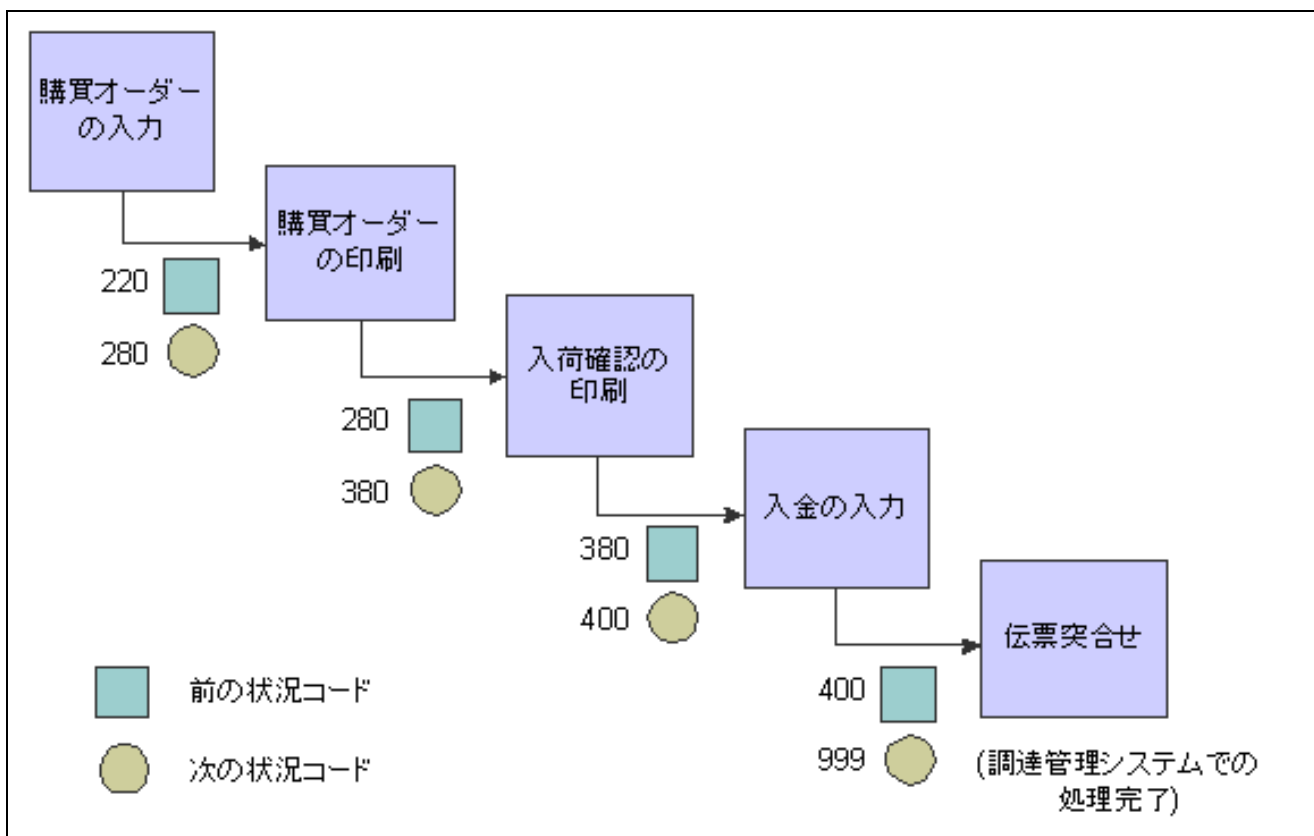
- 購買オーダーの入力
- 購買オーダーの印刷
- 入荷確認書の印刷
- 商品またはサービスの入荷
- 伝票の作成

オーダー処理順序定義を使用して、処理サイクルにそって実行される処理を定義し、ステップの進捗状況を示すことができます。

オーダー タイプと行タイプのそれぞれの組合せに対して、オーダー処理順序定義を設定してください。このオーダー処理順序定義を設定するには、ユーザー定義状況コードを使用します。各状況コードは、たとえばオーダーの印刷など、処理サイクルの 1 ステップを表します。

それぞれのオーダー明細行では、2 つの状況コードが 1 つの組み合わせになっています。このコードの組み合わせにより、行が処理される際の「前の状況」と「次の状況」が識別されます。「前の状況」はオーダーに対して実行された前回の処理を表しています。「次の状況」は処理サイクルの次のステップになります。

次の図は、典型的な状況コードの進行を表します。



状況コードの進行

設定した各処理サイクルに対して適用されるオーダー タイプおよび行タイプを指定してください。たとえば、上記の処理サイクルが行タイプ S を割り当てた購買明細行に対してのみ適用される場合があります。

### 任意の調達活動

任意の調達活動では次の処理を実行できます。

- 複数のオーダーの同時作成
- 処理前にオーダーが承認済みであることの確認
- 購買要求や一括オーダーのような特殊オーダーの作成
- 品目およびサービスに対する価格見積の入手とその比較
- オーダー改訂のトラッキング
- 変更オーダーの作成
- 仕入先倉庫を出た時点からの品目のモニタリング

- 仕入先と品目間の関係の管理
- 予算の調整
- 承認処理

## 第 3 章

# Vertex Sales Tax Q Series について

この章では、Vertex Sales Tax Q Series の概要と Vertex Sales Tax Q Series システムの互換性について説明します。

---

## Vertex Sales Tax Q Series について

売上税を自動的に適用する場合は、Vertex Sales Tax Q Series システムを使用できます。

---

## Vertex Sales Tax Q Series システムの互換性

Vertex Sales Tax Q Series システムは、以下の JD Edwards EnterpriseOne システムと統合されます。

- 一般会計
- 売掛管理
- 買掛管理
- 受注管理
- 調達管理
- カスタマ サービス管理システム (CSMS)
- 契約請求
- サービス請求

---

**重要:** 給与計算システムを使用している場合は、Quantum for Payroll Tax System を使用する必要があります。

---



## 第 4 章

# リベートについて

この章では、リベートの概要について説明します。

---

## リベートについて

品目やサービスを特定の数量や金額で仕入れると、仕入先によっては現金リベートが支払われる場合があります。調達管理システムを設定して上級価格設定システムと統合すると、リベートをトラッキングできます。

リベートをトラッキングするには、それぞれのリベート契約に関する情報を入力する必要があります。オーダーを入力、変更または取り消すと、該当する購買オーダーがリベート契約に対して処理されます。

リベート契約の状況について、次のような情報を参照できます。

- リベートを受領するのに必要な購買
- リベートの対象となった過去の購買
- 各リベート金額

この情報によって、ユーザーの会社が受領できるリベートを識別できます。また、受領できないリベートも識別でき、これにより将来的な価格交渉が変更する場合があります。

リベート用の購買条件の範囲内に達した場合は、警告するようにメッセージ センターを設定できます。





## 第 5 章

# カスタマ/サプライヤ セルフサービスの設定について

この章では、カスタマ/サプライヤ セルフサービスおよびセルフサービス設定の概要と事前設定について説明します。

---

## カスタマ/サプライヤ セルフサービスについて

WWW (World Wide Web) 上で商品/サービスの取引を行うインターネット コマースを使用して、企業間および企業と消費者間と取引を行うことができます。インターネットによる取引は、低コストで安全性も向上しており、使用するプラットフォームを問いません。また、標準に従って構築されているため、仕入先や取引先、消費者とのやりとりが容易に行えます。購買や請求、支払や貨物のトラッキング、セールス フォース オートメーション (SFA) などの迅速な処理が必要な場面ではインターネットを活用できます。

Web サイトを作成して顧客や仕入先がいつでも最新情報にアクセスできるようにすることも可能です。

インターネット コマースには次のような利点があります。

- 市場を世界規模に拡大
- 広範囲にわたる製品の流通
- 世界規模の 24 時間体制のアクセス
- コスト削減 (実地棚卸の削減など)、より少ない中間流通業者、カタログ制作および配布にかかるコストの削減
- 収益の増加

JD Edwards ソフトウェアでは、セキュリティの問題や新たな投資に頭を悩ませることなく、顧客がオーダーを入力/照会したり、サービス情報および請求情報を照会したりできるセルフサービス環境を提供します。同様に、仕入先もオーダーや入荷、支払情報をリアルタイムで参照して、見積要求に回答できるようになります。

Web トランザクション用のツール アプリケーションを使用して、自社の環境およびビジネス ニーズに合わせてセルフサービス用インターフェイスをカスタマイズできます。

---

**注:** このドキュメンテーションは、Windows クライアントでのカスタマ セルフサービス機能に基づいて説明しています。このドキュメンテーションで使用するナビゲーション、フォーム、手順とデータは、各ユーザー企業のニーズに合わせてカスタマイズしたインターネット用セルフサービス機能のものとは異なる場合があります。

---

---

## セルフ サービスの設定について

このセクションでは、以下の内容について説明します。

- セルフサービス設定の概要
- セキュリティの問題
- 処理オプションのアクティブ化

## セルフサービス設定の概要

顧客や仕入先がセルフサービスを使用して情報にアクセスするには、次の中で必要な処理を実行する方法を提供する必要があります。

- 品目情報へのアクセス
- 勘定科目情報の検討
- 既存のオーダーおよび出荷の検討
- 製品および保証情報へのアクセス
- 既存のコール情報の検討
- サービス オーダーの検討

顧客および仕入先のユーザー プロファイルを設定する際に、ユーザー ID を使用してアクセスをセルフサービス メニューのみに限定できます。セルフサービス機能を使用しても、顧客および仕入先は住所録や顧客マスター、仕入先マスター情報への追加および修正はできません。

## セキュリティの問題

顧客と仕入先の住所録および住所録マスター レコードを設定したら、ユーザー プロファイルを設定してアクセスを限定する必要があります。顧客や仕入先がセルフサービス アプリケーションにログオンするには、プロファイルの設定が必要です。

顧客や仕入先のユーザー プロファイルでは次の情報を指示します。

- ユーザー ID
- パスワード
- 言語やローカライゼーション情報などの優先情報

また、仕入先や顧客がアクセス可能なメニューを指定する必要があります。仕入先や顧客は、ユーザー プロファイルに指定されたメニューのプログラムにしかアクセスできません。ユーザーのタイプに応じて、次のメニューのいずれかを指定してください。

- [セルフサービス日次処理] (G1715) – サービス管理システムのセルフサービス プログラムにアクセスする場合
- [カスタマー・セルフサービス] (G42314) – 受注管理システムのセルフサービス プログラムにアクセスする場合
- [仕入先セルフサービス] (G43S11) – 調達管理システムのセルフサービス プログラムにアクセスする場合

顧客や仕入先がセルフサービス プログラムを使用してデータを入力すると、製品の選択やその他の情報はメモリ キャッシュ ファイルに保存されます。顧客や仕入先はプログラム間を移動でき、キャッシュ ファイルには最新のオーダーや見積りの情報が保存されます。

## 処理オプションのアクティブ化

仕入先がセルフサービス機能を使用して見積りの入力やオーダー、入荷、在庫レベルなどの情報を検討できるようにするには、まず次のプログラムのセルフサービスの処理オプションを有効にしてください。

- 住所録 (P01012)
- 購買オーダー (P4310)
- 入荷確認照会 (P43214)
- 見積回答入力 (P4334)
- 仕入先セルフサービス在庫 (P41201)
- 出荷の処理 (P4915)
- 仕入先スケジュールの改訂 (P34301)
- 伝票入力 (P0411)
- 積荷の処理 (P4960)
- 購買日付の改訂 (P43100)

サプライヤ セルフサービスの処理オプションを有効にすると、仕入先に必要なフィールドだけが表示され、それ以外は表示されません。

---

## 事前設定

カスタマ/サプライヤ セルフサービスを設定して使用する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 仕入先に住所録マスターおよび仕入先マスター レコードを設定したことを確認してください。
- 仕入先と品目の情報を設定したことを確認します。
- 各仕入先に事業所およびデフォルトの保管場所を割り当ててください。

オーダーや見積りなどについて仕入先から問い合わせがあった場合、その仕入先のユーザー ID に割り当てた事業所に基づいてこれらの情報が読み込まれます。



## 第 6 章

# 調達管理システムの設定

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、システム設定の概要と以下の方法について説明します。

- オーダー行タイプの定義
- オーダー処理順序定義の設定
- 調達固定情報の設定
- 調達管理の自動採番の定義
- ユーザー定義コード (UDC) の設定
- 自動仕訳 (AAI) の設定
- 許容規則の作成
- オーダー保留情報の設定
- 陸揚費用の設定
- 非在庫品目の設定
- 印刷メッセージの定義
- 購買オーダーのテンプレートの設定
- モデル ログの作成

---

## システム設定について

調達管理システムを使用する前に、セットアップ情報を定義する必要があります。この情報により、会社で固有のビジネス ニーズにシステムを対応させます。たとえば、使用する各オーダー（購買要求、一括オーダー、購買オーダー）が処理される購買サイクルを定義する必要があります。

調達管理については、以下の情報を設定します。

情報のタイプ	設定タスク
オーダー行タイプ	オーダー明細行の処理方法を確定するコードを定義します。
オーダー処理順序定義	購買サイクルの中でオーダーが処理される手順を確立します。

情報のタイプ	設定タスク
固定情報	<p>以下のタイプのデフォルト情報について固定情報を定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所固定情報 - 事業所内の日次トランザクションを制御</li> <li>事業所ごとの引当可能品目数量の計算方法を定義する品目引当可能数量固定情報</li> <li>システム全体に適用するデフォルト情報を提供するシステム固定情報</li> <li>バッチ制御固定情報によりアプリケーションで管理者承認およびバッチ制御が必要かどうかは確定される</li> </ul>
自動採番	自動採番機能を使用して、次に利用できる番号を伝票タイプ番号および住所番号に自動的に割り当てることにより、自動採番を定義します。
AAI(自動仕訳)	購買トランザクション用に仕訳を作成する総勘定元帳勘定科目を確定するには、AAIを設定します。
ユーザー定義コード(UDC)	オーダーを処理するために調達管理システムによって使用されるUDCを設定します。
許容規則	許容規則は、明細行で数量、単位原価、合計金額を変更できる数値またはパーセントを指定するために作成します。
オーダー保留情報	オーダーを保留にする際に使用される情報を設定します。
陸揚費用	陸揚費用は、配送料金や業者手数料など、品目の仕入価格以外の原価を指定するために設定します。
非在庫品目	在庫の一部として会計処理しない品目に対する情報を設定します。
印刷メッセージ	品目レコード、仕入先マスターレコード、購買オーダー見出し、または購買オーダー明細行に添付できる事前定義済みテキストで構成される印刷メッセージを定義します。
購買オーダーテンプレート	購買オーダーの入力に使用するテンプレートを設定します。テンプレートには、仕入先から頻繁に発注する品目を組み込みます。
モデルログ	ログ作成時に使用するモデルログを作成します。モデルログにはログで頻繁に使用する品目を組み込みます。

在庫管理や一般会計など他のシステムで次の情報を設定します。

情報のタイプ	設定タスク
デフォルト事業所およびプリンタ	事業所、承認経路、プリンタ出力待ち行列など、特定のユーザーまたはワークステーションに対するデフォルト情報を定義します。
税金処理	システムの税処理情報を設定します。
品目相互参照	品目相互参照番号を定義して、仕入先が使用している品目番号などに内部(自社)品目番号をリンクさせます。

## オーダー行タイプの定義

このセクションでは、オーダー行タイプの概要と定義方法について説明します。

### オーダー行タイプについて

購買オーダーには発注品目またはサービスに関する詳細を入力する必要があります。各品目またはサービスの数量や原価などを明細行に入力してください。明細行はその行タイプに基づいて処理されます。

明細行に入力した行タイプにより、そのレコードが次のシステムに与える影響が決まります。

- 一般会計
- 在庫管理
- 買掛管理

たとえば、在庫品目に対して行タイプを作成するとします。その行タイプを設定するときに、それが在庫管理システムの品目引当可能数量に反映するように指定します。また、一般会計システムおよび買掛管理システムにも反映するように指定します。購買明細行にその行タイプを適用すると、次のような処理が実行されます。

- 在庫管理システムの品目数量を増加する(入荷時)
- 一般会計システムに仕訳を作成する
- 買掛管理システムに仕訳を作成する

明細行の行タイプにより行が処理されるサイクルも確定されます(オーダー処理順序定義に基づく)。行タイプについて指定できるその他の情報には次のようなものがあります。

- 明細行を課税対象とするかどうか
- 明細行に運賃を適用するかどうか
- 明細行に入金を必須とするかどうか(この設定は 2 方向または 3 方向の伝票突合せに適用できます)
- 非在庫品目の F4101 テーブルを編集するかどうか

## オーダー行タイプの定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[行タイプ固定情報の改訂]	W40205B	<p>[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[オーダー行タイプ]</p> <p>[行タイプの処理] フォームで、[追加]をクリックします。</p> <p>[受注管理システム・セットアップ](G4241)、[オーダー行タイプ]</p> <p>[行タイプの処理] フォームで、[追加]をクリックします。</p>	オーダー行タイプを定義または変更します。

## オーダー行タイプの定義

[行タイプ固定情報の改訂] フォームにアクセスします。

**[在庫管理インターフェイス]** 在庫管理システムへのインターフェイスのタイプを識別するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

Y: この行タイプを含んだアクティビティの金額または単価は、在庫に反映されます。また、このシステムは、入力した項目を編集して、それが有効な項目であることを保証します。Y はデフォルト値です。

A: 入力した番号が総勘定元帳の勘定科目コードとして認識されます。このコードは、購買でのみ使用されます。このインターフェイス コードを使用すると、予算チェックが完全に機能します。

B: 総勘定元帳インターフェイスを使用して非在庫品目の編集が実行されます。

在庫テーブルから価格データが取り込まれますが、購買オーダーの数量は更新されません。このコードは、[一般会計インターフェイス] フィールドを Y に設定した場合にのみ有効です。このインターフェイス コードを使用すると、予算チェックが完全に機能します。

C: F4101 テーブルに対する在庫インターフェイス アクティビティが編集され、購買オーダーの数量がトラッキングされます。また、総勘定元帳に対するトラッキングも行われます。このインターフェイス コードを使用すると、予算チェックが完全に機能します。

D: この行の品目は、在庫状況や数量には影響しない在庫品目です。この在庫インターフェイスは、直送オーダーにのみ使用してください。

N: 品目は在庫品目ではありません。

品目が F4101 テーブルに存在するかどうかを確認するには、在庫インターフェイス値の N と共に [非在庫品用品目マスターの編集] フラグを使用します。

**[税額 1に含める]**

このオーダー行の金額は適用可能な税の課税対象かどうか、また、どの税を適用するのかわかるコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

Y: この行は適用可能な税の課税対象です。



	N: この行は適用可能な税の課税対象ではありません。
	3-8: この行は、グループ番号 (3-8) によって示されたレートで、適用可能な税の課税対象となります。VAT (付加価値税) に対するグループ番号が使用されます。
<b>[売上仕訳カラム]</b>	売上高を印刷する売上仕訳レポートのカラムを入力します。有効値は以下のとおりです。 1: カラム 1 に売上高が入ります (存在する場合)。 2: カラム 2 に売上高が入ります (存在する場合)。 3: カラム 3 に売上高が入ります (存在する場合)。 4: カラム 4 に売上高が入ります (存在する場合)。
<b>[一般会計インターフェイス]</b>	このオーダー行タイプが含まれているアクティビティの金額または単価を総勘定元帳に反映するように指示するには、このオプションを選択します。
<b>[売掛管理インターフェイス]</b>	このオーダー行タイプが含まれているアクティビティの金額または単価を売掛管理に反映するように指示するには、このオプションを選択します。
<b>[買掛管理インターフェイス]</b>	このオーダー行タイプが含まれているアクティビティの金額または単価を買掛管理に反映するように指示するには、このオプションを選択します。
<b>[サービス/ワランティ管理] (サービス/保証管理インターフェイス)</b>	このオーダーに関連する 4 つの伝票の中の 2 番目の伝票にこのオーダー行を表示するには、このオプションを選択します。たとえば、場合によっては、必要な商品処分に関する指示を提供する受信情報を購買オーダーに含める必要があります。この情報はオーダーの正しい処理にとって不可欠ですが、仕入先に送付される購買オーダーには表示されない必要があります。
<b>[テキスト行]</b>	行がテキストのみであることを指定するには、このオプションを選択します。
<b>[符号の反転]</b>	行に含まれる数量の符号を反転するように指示するには、このオプションを選択します。このコードを使用すると、クレジットメモの入力が容易になります。
<b>[運賃の適用]</b>	行について運賃を計算するように指示するには、このオプションを選択します。
<b>[留保金の適用]</b>	買掛金留保の計算に品目の値を含めるように指示するには、このオプションを選択します。調達管理システムと買掛管理システムとの間のインターフェイスがアクティブな場合にのみ、このオプションを選択してください。
<b>[作業オーダーの生成]</b>	このオーダー明細行に対する内部作業オーダーを自動的に生成させるには、このオプションを選択します。
<b>[現金割引の適用]</b>	現金割引または支払条件の割引計算にトランザクションの合計金額を含めるようにするには、このオプションを選択します。
<b>[売上総利益に売上/売上原価を含める]</b>	売上/売上原価を売上総利益計算に含めるようにするには、このオプションを選択します。
<b>[伝票突合せ差異勘定]</b>	伝票突合せ時に生じた差異を差異勘定に記帳するように指定するには、このオプションを選択します。調達管理システムでは、このオプションは在庫管理インターフェイス A または B との組み合わせでのみ使用します。

<b>[非在庫品用品目マスターの編集]</b>	受注オーダー行の品目と品目マスター テーブルを照合するかどうかを指定するには、このオプションを選択します。このオプションは、非在庫品目の在庫インターフェイスを使用する場合にのみ選択してください。
<b>[受注オーダー価格の保護]</b>	このオーダーに関連する 4 つの伝票の中の最初の伝票にこのオーダー行を表示するように指定するには、このオプションを選択します。  たとえば、場合によっては、必要な商品処分に関する指示を提供する受信情報を購買オーダーに含める必要があります。この情報はオーダーの正しい処理にとって不可欠ですが、仕入先に送付される購買オーダーには表示されない必要があります。
<b>[購買オーダーの生成]</b>	行に対する購買オーダーを生成するかどうかを指定するには、このオプションを選択します。一般に、このオプションは D および N 在庫インターフェイスで使用されます。
<b>[資材出庫プログラムの呼出し]</b>	入荷機能の実行時に資材出庫機能をアクティブにするかどうかを指定するには、このオプションを選択します。  このオプションは、調達管理システムで製造管理 - 受注設計生産 (エンジニアリング プロジェクト管理) を使用している場合にのみ使用してください。
<b>[入荷確認必須]</b>	購買オーダー行が入荷確認を必須とするかどうかを指定するには、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、伝票突合せ処理の前に購買オーダー行が入荷される必要があります。

---

## オーダー処理順序定義の設定

このセクションでは、オーダー処理順序定義の概要、事前設定、およびオーダー処理順序定義の設定方法について説明します。

### オーダー処理順序定義について

購買オーダーに入力する品目またはサービスの数量や原価など、オーダーに関する明細行情報を入力します。明細行を処理する次のような手順を確立するには、オーダー処理順序定義を設定する必要があります。

- オーダー入力
- オーダー承認
- オーダー印刷
- オーダー入荷

処理順序定義は複数設定できます。一連の規則を特定のオーダー タイプ (購買オーダー、購買要求など) および行タイプに割り当ててください。たとえば、ある処理順序定義は、行タイプ S (在庫品目) を持つ購買明細行のみに適用されるように指定できます。

オーダー タイプと行タイプの現行の組み合わせにアクセスし、必要に応じて変更することにより、既存のオーダー処理順序定義をコピーできます。これにより入力時間を短縮できます。

処理順序定義の各手順に状況コードを割り当てます。状況コードは、明細行の現行状況および行が進行する「次の状況」を識別します。状況コードは、昇順に定義する必要があります。たとえば、購買オーダーの在庫行タイプを次のように設定できます。

前の状況	次の状況	説明
220	230	オーダーの入力
230	280	承認処理
280	400	購買オーダーの印刷
400	999	オーダー入荷

別の「次の状況」コードを指示することにより、手順の進行を変更できます。たとえば、前記の処理順序定義を使用しながら、送信するオーダーに対してはオーダー印刷手順を省くことができます。この場合、承認処理手順にもう 1 つの「次の状況」コード (400) を割り当ててください。それから、承認処理で明細行に代替コードを割り当てることができます。

明細行が処理順序定義の特定の手順に入るときにレコードを F4319 テーブルに書き込むように指定することができます。

オーダー処理順序定義に割り当てられた状況のいずれかに一致するレコードが存在する場合、そのオーダー処理順序定義は削除できません。

## 事前設定

オーダー処理順序定義を設定する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 処理状況コード (40/AT) UDC テーブルで状況コードが設定されていることを確認します。
- 伝票タイプ (00/DT) UDC テーブルでオーダー タイプが設定されていることを確認します。
- 正しいオーダー行タイプが存在することを確認します。

## オーダー処理順序定義の設定に使用するフォーム





フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー処理順序定義の改訂]	W40204A	[調達管理システム・セットアップ] (G43A41)、[オーダー処理順序定義]  [オーダー処理順序定義の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	オーダー処理順序定義を設定または変更します。

## オーダー処理順序定義の設定

[オーダー処理順序定義の改訂] フォームにアクセスします。




**オーダー処理順序定義の改訂** i

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)

オーダータイプ  使用する自動採番

行タイプ

レコード 1 - 200 / 756 グリッドのカスタマイズ   

	前の状況	前の状況記述	次の状況	他 1	他 2	他 3	他 4	他 5	履歴 (Y/N)
<input checked="" type="radio"/>	220	Enter Purchase Order	230	280	400				N
<input type="radio"/>	230	Approve Purchase Order Proof	280	220	400				N
<input type="radio"/>	280	Print Purchase Order	400						N
<input type="radio"/>	400	Record Progress Payment	999	400					N
<input type="radio"/>	999	Complete - Ready to Purge							N
<input type="radio"/>	520	Enter Sales Order	527	560	575	580	620		N
<input type="radio"/>	527	Approve Shipment/Load	560						N
<input type="radio"/>	560	Shipment Confirmation	575	573	580	620			N
<input type="radio"/>	573	Delivery Confirm	575	580	620				N
<input type="radio"/>	575	Billable Freight	580						N
<input type="radio"/>	580	Print Invoices	620						N
<input type="radio"/>	620	Sales Journal/Update	999						N

[オーダー処理順序定義の改訂] フォーム

**[使用する自動採番]**

このオーダー タイプでオーダー番号を作成するときに使用する自動採番を指定します。使用できる自動採番は 10 個あります。

このフィールドには、次のように指定します。

- 入札要求と購買オーダーとは異なるオーダー番号の購買要求
- 標準の受注オーダーとは異なる番号範囲の一括受注オーダー

**[他 1] ~ [他 5]**

オーダー処理の次の手順として実行できる追加の状況を入力します。これらのフィールドは任意です。

これは優先される次の手順や予期される次の手順ではありませんが、このフィールドは変更可能です。予期される次の状況または許可された状況として定義されていないオーダー行の手順または状況を開始することはできません。その他の許可状況コードでは、処理手順を省略できます。多くの場合、処理オプションでは、これらのコードは一時変更用「次の状況」コードと呼ばれます。

**[履歴 (Y/N)]**

受注管理の F42199 テーブルと調達管理の F43199 テーブルにレコードを書き込むかどうかを決定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

Y: 選択したフィールドのレコードが履歴テーブルに書き込まれます。

N: 履歴テーブルにレコードは書き込まれません。

---

## 調達固定情報の設定

このセクションでは、調達固定情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 事業所固定情報の定義
- 価格管理固定情報の定義
- 品目引当可能数量の定義
- システム固定情報の定義
- アプリケーション制御固定情報の定義

### 調達固定情報について

固定情報とは、システム全体または特定の事業所に関連付ける情報のことです。固定情報は、多くの J.D. Edwards EnterpriseOne システムでデフォルト情報として使用されます。

システム全体で使用するデフォルト情報を定義した後、個別に適切な値を入力したり、事前定義した値を変更したりできます。

### 事前設定

調達固定情報を設定する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 各事業所に対して住所録レコードを作成します。
- ALL (すべて) という名称の事業所を設定します。
- 各事業所をビジネスユニットとして設定します。

## 調達固定情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[事業所固定情報の処理]	W41001B	[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[事業所固定情報]	既存の事業所固定情報を確認または選択します。
[事業所固定情報]	W41001H	[事業所固定情報の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	事業所固定情報を設定します。
[価格管理固定情報]	W41001D	[事業所固定情報の処理] フォームで事業所を選択し、[フォーム]メニューから[価格管理固定情報]を選択します。	価格管理固定情報を設定します。
[品目引当可能数量の定義]	W41001G	[事業所固定情報の処理] フォームで事業所を選択し、[ロー]メニューから[引当可能数量]を選択します。	品目引当可能数量を定義します。
[システム固定情報]	W41001F	[事業所固定情報の処理] フォームで事業所を選択し、[フォーム]メニューから[システム固定情報]を選択します。	システム固定情報を設定します。
[アプリケーション固定情報]	W41001E	[事業所固定情報の処理] フォームで事業所を選択し、[フォーム]メニューから[アプリケーション固定情報]を選択します。	アプリケーション固定情報を設定します。

## 事業所固定情報の定義

[事業所固定情報] フォームにアクセスします。

事業所固定情報により、流通/製造管理システムの各事業所で発生する日次トランザクションの処理をカスタマイズできます。

**注:** 倉庫管理システムを使用する場合、事業所固定情報プログラム (P41001) の [事業所保管場所の定義] フォームで倉庫情報を定義する必要があります。倉庫管理システムを使用しない場合でも、保管場所の長さ情報は定義してください。

**[顧客/仕入先の識別記号]** 顧客または仕入先の番号を識別する文字を入力します。この文字から始まる番号を入力すると、顧客または仕入先の番号として認識されます。入力した番号は、相互参照テーブルに基づいて品目番号と照合されます。相互参照機能を実行する場合は、このフィールドに値を入力してください。

**[引当方法]** 在庫引当方式 (H40/CM) UDC にあるコードを入力して、在庫からのロット品目の引当に使用する方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

1: 標準の在庫引当方法 最初に基本保管場所、次いで 2 次保管場所、という順序で在庫が引き当てられる。

	<p>最大数量の保管場所からの在庫引当が、最小数量の保管場所からの引当より先に行われる。バックオーダーは基本保管場所に引き当てられる。</p> <p>2: ロット番号による在庫引当方法 最小のロット番号から始めて、引当可能なロットに対してオーダーを引き当てていく。</p> <p>3: ロット満了日付による在庫引当方法 満了日が最も早いロットがある保管場所から在庫の引当を行う。引当の対象となるのは、満了日付が受注オーダー日付または部品リスト要求日付以降の在庫がある保管場所のみ。</p>
<b>[指定引当て(日数)]</b>	<p>受注オーダー処理で在庫の引当の時期の決定に使用する数値を入力します。この値(日数)は現行日付に加算され、オーダー行の約束出荷日付と比較されます。約束出荷日付がシステム算出日付より後の場合、オーダー行は F41021 テーブルで、先日付で引き当てられます。先日付引当を行わない場合は、「999」を入力します。</p>
<b>[年間日数]</b>	<p>1 年のうちで会社が営業している日数を入力します。このフィールドへの入力必須です。252 から 365 までの数値を指定してください。調達管理システムでは、この数値を使用して経済的発注量 (EOQ) を計算します。</p>
<b>[仕入先相互参照コード]</b>	<p>この仕入先の相互参照設定のタイプを識別する相互参照タイプ コード (41/DT) UDC にある値を入力します。値は、たとえば次のように使います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 代替品目</li> <li>2: 置換品目</li> <li>3: バーコード</li> <li>4: 顧客番号</li> <li>5: 仕入先番号</li> </ol>
<b>[購買]</b>	<p>購買オーダーの品目原価を決定する場合に使用する原価計算方法を示す原価計算方法 (40/CM) UDC にある値を入力します。01 から 19 までは予約済みです。</p>
<b>[原価計算方法(売上/在庫)]</b>	<p>品目の売上原価の計算に使用する原価計算方法を示す原価計算方法 (40/CM) UDC にある値を入力します。01 から 19 までは予約済みです。</p>
<b>[現行期間]</b>	<p>現行の会計期間を識別する番号 (1 から 14) を入力します。この番号は、PBCO (過去期間) や PACO (未来期間) などのエラー メッセージの作成に使用されます。</p>
<b>[購買オーダー発注費用]</b>	<p>調達管理システムで経済的発注量 (EOQ) の計算に使用する費用を入力します。この費用は、1 件の購買オーダーを発注するときの資材費、労務費、および間接費の見積になります。デフォルト値は 0.00 です。</p>
<b>[在庫維持費 (%) ]</b>	<p>調達管理システムで経済的発注量 (EOQ) の計算に使用する在庫投資のパーセント値を入力します。デフォルト値は 00 です。パーセント値は小数で入力してください。</p>
<b>[仕訳摘要の指定]</b>	<p>総勘定元帳の摘要 (H41/PR) UDC にあるコードを入力します。在庫管理システムでは、この値を使用して、総勘定元帳の仕訳の 2 行目に表示されるデフォルト記述が選択されます。有効値は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 品目マスター記述 (デフォルト)</li> <li>2: 基本品目番号</li> </ol>
<b>[承認経路コード]</b>	<p>オーダーの承認経路を指定するコードを入力します。</p>

<b>[バックオーダー許可]</b>	この品目のバックオーダーを許可するには、このオプションを選択します。バックオーダーは、品目マスター (P4101) または事業所品目 (P41026) を使用して品目別の実行したり、顧客請求指示 (P03013) を使用して得意先別に、または事業所固定情報 (P41001) を使用して事業所別に行うことができます。
<b>[一般会計インターフェイス]</b>	この事業所で処理される在庫トランザクションによって仕訳が作成されることを指定するには、このオプションを選択します。
<b>[総勘定元帳への数量書込み]</b>	仕訳を記録した後に総勘定元帳に数量を計上するように指定するには、このオプションを選択します。
<b>[保管場所制御]</b>	保管場所マスター テーブル (F4100) に存在する保管場所だけを使用するように指定するには、このオプションを選択します。
<b>[倉庫制御]</b>	事業所の倉庫トランザクションを作成するように指定するには、このオプションを選択します。
<b>[品質制御]</b>	事業所の品質管理システム (システム 37) を有効にするように指定するには、このオプションを選択します。
<b>[製品原価明細の使用]</b>	流通システムのプログラムで製造原価計算の明細製造原価計算方式を使用することを指定するには、このオプションを選択します。このオプションを選択しなかった場合、流通プログラムでは合計原価計算方式が使用されます。
<b>[他社デポ]</b>	事業所が他社の所有であることを示すには、このオプションを選択します。バルク/パッケージ製品の積荷確認プログラムでは、このコードを使用して、製品が積載されたデポが他社デポであるかどうかを識別します。他社デポの場合は、積荷確認時に有効な借入契約を入力する必要があります。
<b>[在庫ロットの作成]</b>	在庫トランザクション プログラムでシステムの新しいロットまたはシリアル番号を作成することを指定するには、このオプションを選択します。  このオプションを選択しなかった場合は、在庫トランザクション プログラムでシステムの新規ロット番号を作成することはできません。

## 価格管理固定情報の定義

[価格管理固定情報] フォームにアクセスします。

価格設定固定情報を定義すると、調達管理システムおよび受注管理システムで上級価格設定システム情報を入力できます。

<b>[販売価格管理を使用する (Y/N)]</b>	販売価格管理を使用するように指定するには、このオプションを選択します。上級価格設定モジュールがシステムに組み込まれている場合は、この機能を使用できます。
<b>[調達価格管理を使用する (Y/N)]</b>	調達価格管理モジュールを使用するように指定するには、このオプションを選択します。
<b>[価格承認必須 (Y/N)]</b>	全ての価格変更が価格承認ワークフローによって提供されることを指定するには、このオプションを選択します。
<b>[販促管理システムの指定]</b>	販促管理システムの指定 (40P/PS) UDC のコードを入力して、プロモーションシステムを使用するかどうかを指定します。
<b>[販促が複数ある場合の指定]</b>	販促解決フラグ (40P/PR) UDC のコードを入力して、複数の販促が存在する場合にどの販促を使用するのかを指定します。



## 品目引当可能数量の定義

[品目引当可能数量の定義] フォームにアクセスします。

事業所ごとに品目引当可能数量の計算方法を定義する必要があります。品目引当可能数量は、システムによるバックオーダー、取り消し、顧客納入時期の計算方法に影響します。

**注:** コンフィギュレーション管理システムを使用している場合、コンフィギュレータ固定情報プログラム (P3209) の [引当可能数量チェック] フィールドを設定して、受注オーダー入力中に品目引当可能数量をチェックする必要があります。品目とストリングが完全に一致するものが検索されると、ウィンドウに特定の構成のある保管場所がすべて表示されます。

<b>[受注/作業オーダーのソフト・コミット数量]</b>	受注オーダーまたは作業オーダーに対してソフト コミットされた数量を品目引当可能数量の計算に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[受注オーダーのハード・コミット数量]</b>	受注オーダーに対してハード コミットされた数量を品目引当可能数量の計算に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[受注オーダーの先日付引当数量]</b>	要求出荷日付が特定の引当期間を超える受注オーダーの数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[作業オーダーのハード・コミット数量]</b>	作業オーダーの特定の保管場所およびロットに対してハード コミットされた数量を品目引当可能数量の計算に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[その他数量 1 - 受注オーダー]</b>	品目引当可能数量の計算で追加削減として指定された数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[その他数量 2 - 受注オーダー]</b>	品目引当可能数量の計算で追加削減として指定された数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[保留数量]</b>	保留中の数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[安全在庫]</b>	安全在庫として確保された数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は減少します。
<b>[購買オーダー入荷数量]</b>	購買オーダーの数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。
<b>[その他数量 1 - 購買オーダー]</b>	他の購買オーダーの数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。
<b>[作業オーダー入荷数量]</b>	作業オーダーの数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。

- [積送中数量]** 積送中の数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。
- [検収中数量]** 検収中の数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。
- [作業 1 数量]** 入荷工程の特定の作業における数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。
- [作業 2 数量]** 入荷工程の特定の作業における数量を品目引当可能数量に含めるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、引当可能数量は増加します。

## システム固定情報の定義

[システム固定情報] フォームにアクセスします。

システム固定情報を設定して、各機能の実行方法を確定してください。たとえば、事業所が複数あり、それぞれの事業所で異なる計量単位を使用するとします。この場合、システム固定情報を設定して、計量単位を事業所別に自動換算できます。

システム固定情報	
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)	
<input type="checkbox"/> 事業所別に計量単位を換算する <input checked="" type="checkbox"/> 平均原価のリアルタイム更新 <input type="checkbox"/> エネルギー/化学システムの使用 <input type="checkbox"/> インターネットPPATメッセージ使用 <input type="checkbox"/> 科学計算法 <input type="checkbox"/> 顧客セットの使用 <input type="checkbox"/> 出荷日付規則(昇順)	
重複ロットの許可	2
販売価格の計算に使用する計量単位	1
購買価格の計算に使用する計量単位	2
販売価格基準日	
購買レポートのカテゴリ・コード	3
優先スケジュール	
優先調整の計算に使用する計量単位	

[システム固定情報] フォーム

**[事業所別に計量単位を換算する]**

特定の事業所に品目を追加するときに品目固有の換算テーブルを表示できるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択しなかった場合は、品目マスターの全事業所に対して品目固有の換算テーブルが表示されます。

**[平均原価のリアルタイム更新]**

品目の平均原価に影響するトランザクションが発生した直後に新しい平均原価を計算できるようにするには、このオプションを選択します。このオプションを選択しなかった場合は、平均原価の更新プログラムを実行すると新しい平均原価が計算されます。

**[エネルギー/化学システムの使用]**

エネルギーおよび化学産業向けシステムのアプリケーションを使用できるようにするには、このオプションを選択します。

**[重複ロットの許可]**

重複ロットの使用 (40/DU) UDC の値を入力して、同じロットを複数の品目に割り当てることを可能にするかどうかを指定します。

**[購買価格の計算に使用する計量単位]**

購買価格の読み込み単位 (40/PU) UDC テーブルの値を入力して、購買オーダーの処理時に仕入先/カタログ価格 (F41061) に対してシステムが取得する計量単位を示します。トランザクションや価格設定の処理で指定した計量単位のレコードが存在しない場合は、その品目の基本計量単位を使って処理が繰り返されます。

**[購買リピートのカテゴリコード]**

リピート固定情報 - 流通 (43/RU) UDC テーブルの値を入力して、組み込み比較の基準に使用されるカテゴリコードを指定します。

## アプリケーション制御固定情報の定義


[アプリケーション固定情報] フォームにアクセスします。

アプリケーション制御固定情報を定義することにより、権限を持たない従業員による総勘定元帳への変更が適用されないようにできます。また、バッチ ジョブの実行前にバッチ制御情報の入力を要求する固定情報を指定することもできます。バッチ制御情報を入力して、ジョブの予測サイズと実行結果を比較できます。

使用する流通および製造管理の各システムについて、管理者承認とバッチ制御をそれぞれ定義します。

**事業所固定情報 - アプリケーション固定情報**

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

レコード 1-4 グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

		システム コード	記述	管理者 承認	バッチ 制御
<input checked="" type="radio"/>		31	製造現場管理	N	
<input type="radio"/>		41	在庫管理	N	N
<input type="radio"/>		42	受注管理	Y	
<input type="radio"/>		43	調達管理	N	N

[アプリケーション固定情報] フォーム

**[管理者承認]**

表示されたシステム内で作成するバッチごとに保留の状況を割り当てるには、「Y」と入力します。バッチごとに承認済みの状況を割り当てるには、「N」と入力します。

**[バッチ制御]**

バッチ制御情報の入力を要求するには、「Y」と入力します。

---

## 調達の自動採番の定義

このセクションでは、調達の自動採番の概要について説明します。

### 調達の自動採番について

自動採番によって、伝票番号が自動的に割り当てられます。自動採番プログラム (P0002) では、10 桁の数字を使用して、伝票タイプごとに独自の番号が割り当てられます。自動採番テーブル (F0002) から次に使用可能な番号が取得され、伝票に割り当てられます。

自動採番の場合:

- 自動採番の値を空白にしないでください。
- 取引の処理を開始した後は、自動採番の値を変更しないでください。

伝票番号は、システム別自動採番または会社/会計年度別自動採番によって割り当てることができます。

調達管理システムの場合、自動採番はシステム番号によって設定されます。

---

## ユーザー定義コード (UDC) の設定

このセクションでは、購買オーダーを処理する場合に設定する UDC について説明します。

### 伝票タイプ (00/DT)

調達に使用する伝票タイプを示すために使用する値によって、この UDC を設定します。たとえば、OP は購買オーダーを指します。

### スケジュール名 (40/AS)

上級価格設定調整の識別に使用される価格調整スケジュールの名前を使って、この UDC を設定します。スケジュール名の定義後には、価格設定調整をスケジュールに添付できます。調整名は、価格設定調整の設定前または設定後に定義できます。

### 在庫の平均価格計算 (40/AV)

購買オーダーの処理時に税金を処理するために実行されるプログラムを使用して、この UDC を設定します。

(BRA) This UDC links the base software for Procurement to the Brazil localization. You must add this codes to the UDC table:

Code	Description 01	Description 02
N76B9003	Close nota fiscal	Y

### 陸揚費用構成要素 (40/CA)

品目またはサービスに適用された陸揚費用のタイプを示すコードを使用して、この UDC を設定します。入荷の陸揚費用を入力すると、これらの値が使用されます。

### コミットメント伝票タイプ (40/CT)

JD Edwards EnterpriseOne ソフトウェアは、コミットメントの処理時に使用される伝票タイプについて、ハードコード化された値を提供します。コミットメント伝票タイプ (40/CT) UDC に伝票タイプが存在し、行タイプに A または B の在庫インターフェイスがある場合は、オーダー明細行を作成すると、コミットメントと債務が自動的に作成されます。

### 品目変更テーブル - (P40821X) (40/IC)

品目番号情報の変更時に更新されるテーブルを表示するには、この UDC を使用します。品目マスタープログラム (P4101) および非在庫品目マスター プログラム (P4101N) の処理オプションでは、この UDC を使用して、選択済みテーブルの更新オプションを選択した場合に更新されるテーブルを指定します。

### オーダー テンプレート (40/OT)

オーダー テンプレートの名前を使用して、この UDC の値を設定します。仕入先テンプレートの改訂プログラム (P4015) を使用して購買オーダー テンプレートを作成すると、定義したコードが使用されます。

### 顧客価格グループ (40/PC)

仕入先に関連付けた価格設定グループを識別するコードを使用して、この UDC を設定します。仕入先請求指示を定義するときには、価格設定グループを仕入先に割り当てます。

### 品目価格グループ (40/PI)

品目の在庫価格グループを識別する値を使用して、この UDC を設定します。在庫価格グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーや購買オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。この割引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。

受注オーダーや購買オーダーの値引と割増は、対話形式で計算されるため、品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。

### 印刷メッセージ (40/PM)

オーダーに印刷されるテキスト メッセージを使用して、この UDC を設定します。テキスト メッセージの例としては、生産設計仕様、休暇中の作業時間数、特殊配送指示などがあります。

### (BRA) Item Category Code 06 (41/06)

PeopleSoft EnterpriseOne software provides hard-coded values that the system uses to indicate whether an item is manufactured or purchased. The system uses these values to determine the transaction nature of the item.

### 元帳転記カテゴリ (41/9)

流通 AAI の元帳クラス記述に対するコードを設定します。元帳転記カテゴリ UDC テーブル (41/9) では、品目の在庫トランザクションの通貨金額を記録する勘定科目が指定されます。

(BRA) Example of codes for Brazil are:

Codes	Description 01
DF30	ICMS Differential
IC30	ICMS Tax/IN30
IM30	ICMS Rec/IN30
IP30	IPI Tax/IN30
IR30	IPI Rec/IN30
RE30	Repasse/IN30
SB30	Subs.Rec/IN30
ST30	ICMS Subs/IN30
TD30	Trade Disc/IN30

### 相互参照タイプ コード (41/DT)

この UDC の値を設定して、仕入先の品目番号の印刷時に使用される相互参照のタイプを指定します。相互参照情報は、F4013 テーブルに保存されます。

特殊取扱コードは、販促品の上級価格設定によって使用されます。

### 商品クラス コード (41/P1)

この UDC では、商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表す値を設定します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

### 商品補助クラス コード (41/P2)

この UDC では、商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表す値を設定します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

### 仕入先リベート コード (41/P3)

仕入先と交渉済みのさまざまなリベートを表すには、この UDC の値を設定します。購買分類コードを品目マスター プログラムで入力するときには、この UDC を使用できます。これらのコードは、品目のソートや分類に使用されます。

### 基準計画ファミリ (41/P4)

システムで品目の基準計画ファミリを定義するには、この UDC の値を設定します。基準計画ファミリを使用すると、計画のために品目をグループ化することができます。

### 陸揚費用規則 (41/P5)

陸揚費用のタイプを識別するには、この UDC の値を設定します。陸揚費用規則により、業者手数料やコミッションなどの品目の実際の価格を超える購買価格が決まります。陸揚費用規則は、[陸揚費用の改訂] フォームで設定します。

### 価格カテゴリ タイプ (42/CT)

購買オーダー割引やオーダー価格再設定などの価格規則の基準を識別するには、この UDC の値を設定します。調達管理では、仕入先の価格割引規則を設定するときに、この UDC から適切な値を選択します。

### 貨物/運賃取扱コード (42/FR)

運送業者に運賃を支払う担当者と、どの時点で所有権が移行されるのかを示すには、この UDC の値を設定します。この UDC は、仕入先の購買指示で使⽤します。

### 保留コード (42/HC)

オーダーが保留中である理由を識別するには、この UDC の値を設定します。この UDC はハードコード化されておらず、特殊取扱コード ロジックもありません。

### 認可状況 (43/CR)

仕入先にこの品目の販売資格があるかどうかを示すには、この UDC の値を設定します。入力したコードによって、仕入先および品目について入力したオーダーの管理方法が決まります。

### 移動コード (43/MC)

JD Edwards EnterpriseOne は、入荷工程の使用時にシステムによって使⽤されるこの UDC のハードコード化された値を提供します。

### モデル ログ タイプ (43/ML)

モデル ログの作成時に使⽤される値を設定するには、この UDC の値を設定します。

### 作業コード (43/OC)

入荷工程内の作業またはステップを識別するには、この UDC の値を設定します。

### 未処理ログ タイプ (43/OL)

JD Edwards EnterpriseOne は、ログ情報の入力時にシステムによって使⽤されるこの UDC のハードコード化された値を提供します。

### 購買リポート オーダー タイプ (43/RB)

リポートのタイプを識別するには、この UDC の値を設定します。

### 工程コード (43/RC)

入荷工程を識別するには、この UDC の値を設定します。各入荷工程は、入荷時に品目に対して行われる一連の作業で構成されます。入荷工程の設定時に指定した値が使⽤されます。

### リポート状況 (43/RS)

リポート契約の状況を定義するには、この UDC の値を設定します。この状況は、保留中または有効にすることができます。A (有効) という値は、リポート情報が更新されることを示すためにハードコード化されています。

### リポート タイプ (43/RT)

JD Edwards EnterpriseOne は、リポートが購買数量のパーセントまたは固定通貨金額かどうかを示す場合に使用するハードコード化された値を提供します。

### 進捗支払の表示 (43B/VW)

この UDC では、伝票突合せ (P4314) プログラムで指定する伝票突合せのタイプのデフォルトとして使用する値を設定します。

### トランザクション セット目的コード (47/PU)

送信または受信する EDI トランザクションの目的を定義するには、この UDC の値を設定します。

### (BRA) Category Code Name/Code(BR) (76/CN)

PeopleSoft EnterpriseOne software provides hard-coded values for this UDC. The system uses the NATUR value in the Procurement system.

### (BRA) GL/Class Code Cross Reference (76/GL)

Set up UDC table 76/GL for Brazilian tax accounting. Brazilian localization uses AAIs 4220 and 4240 in Sales Order Management; and AAIs 4385 and 4390 in Procurement to account for Brazilian taxes, freights, expenses, insurance, and discounts. The system uses these four key fields to associate these AAIs with an account:

- Company
- AAI
- Document type
- GL class code

When you set up the G/L Code Cross-Reference UDC, complete the fields as follows:

- Complete the Codes field by using the first three characters of the tax name followed by four characters that represent the general ledger class of the item or service at the branch/plant level.

The first three characters of the codes must be completed as illustrated in this table:

Tax, Cost, or Discount	Code
ICMS Differential	DIF
Expenses	EXP
Freight	FRT
ICMS	ICM
ICMS Recoverable	ICR
IPI	IPI
IPI Recoverable	IPR
ICMS Repasse Discount	REP
ICMS Substitution Recoverable	SBR
Insurance	SEG



Tax, Cost, or Discount	Code
ICMS Substitution Tax	SUB
Trade Discount	TDC

- Create codes that for default AAIs that point to a specific default account.

The system first searches for a code with a specific general ledger class in the last four fields (for example, EXPIN30, where IN30 is the item general ledger class). If a specific code that includes the item's general ledger class does not exist, then the system locates the default code (for example, EXP\*\*\*\*).

- Complete the Description 01 field with the general ledger offset account for the Distribution system AAI to which the system posts the transaction.

### (BRA) Nota Fiscal Source (76/NF)

The PeopleSoft EnterpriseOne software provides hard-coded values that identify different notas fiscais in the system.

## AAI（自動仕訳）の設定

このセクションでは、調達管理システムの AAI テーブルの概要と流通 AAI の設定方法について説明します。

### 調達管理システムの AAI テーブルについて

AAI を設定して、仕訳を計上する勘定科目を確定します。

調達管理システムでは、在庫品目を入荷すると仕訳が作成されます。仕訳を作成する勘定科目を指示するには、AAI を設定します。また、各 AAI についてメモ テキストを入力できます。

外注管理システムでは、AAI により外注管理システム、作業原価システム、一般会計システムとのリンクが定義されます。

調達管理システムの AAI テーブルは複数あり、それぞれが特定のタイプの取引に適用されます。各テーブルでは、会社、伝票タイプ、および元帳クラスの固有の組み合わせごとに勘定科目を指定します。

たとえば、在庫入荷トランザクションに適用する AAI テーブルを設定できます。在庫品目の入荷を入力するたびに、その会社、伝票タイプ、元帳クラスに基づいて、入荷仕訳を計上する借方勘定科目が決まります。

AAI は F4095 に保存されます。

### 購買オーダー入力の AAI

これらの AAI テーブルによって、購買オーダーの入力時に作成される仕訳の借方と貸方になる勘定科目が決まります。

テーブル	説明
4310	C(在庫基準購買)の在庫インターフェイスからコミットメントまたは購買オーダー行に対して得られた勘定科目
4315	B(非在庫基準購買)の在庫インターフェイスからコミットメントまたは購買オーダー行に対して得られた勘定科目
4318	J(サービス基準購買)の在庫インターフェイスからコミットメントまたは購買オーダー行に対して得られた勘定科目

### 入荷および伝票突合せ用 AAI

これらの AAI テーブルにより、購買オーダー入荷の入力時または伝票作成時に作成される仕訳の借方と貸方の勘定科目が決まります。

テーブル	説明
4310	入荷確認プログラム (P4312) により、(借) 在庫評価勘定に仕訳が作成されます。
4315	購買オーダーに勘定科目コードを使用していない場合に、入荷確認プログラムにより(借) 非在庫勘定に仕訳が作成されます。
4320	入荷確認および伝票突合せプログラム (P4312) により、入荷請求仮勘定(貸方または借方)に仕訳が作成されます。

### 差異用 AAI

これらの AAI テーブルにより、品目原価に差異があるときに借方および貸方になる勘定科目が確定します。

テーブル	説明
4330	伝票突合せプログラム (P4314) で作成される入荷原価/実際支払原価差異勘定の仕訳は貸方または借方に作成されます。
4332	伝票突合せプログラムで作成される実際支払原価差異/売上原価勘定の仕訳は貸方または借方に作成されます。
4335	入荷確認プログラム (P4312) で作成される標準原価/実際原価差異勘定の仕訳は貸方または借方に作成されます。

テーブル	説明
4337	入荷確認プログラムで作成される製造資材間接費勘定の仕訳は借方に作成されます。(標準原価とともに使用)
4340	伝票突合せプログラムで作成された為替レートの差異を借方または貸方に記録します。この差異は、入荷時と伝票作成時で購買為替レートに違いがある場合に生じるものです。

### 消費税用 AAI

これらの AAI テーブルにより、消費税の処理時に作成される仕訳の借方と貸方になる勘定科目を確定します。

テーブル	説明
4350	入荷確認プログラム (P4312) および伝票突合せプログラム (P4314) で作成された仮払消費税勘定の仕訳は借方に作成されます。
4355	入荷確認プログラムで作成された税請求仮勘定の仕訳は貸方に作成されます。

### 入荷工程用 AAI

この AAI テーブルにより、入荷工程で品目処理をするときに作成される仕訳の借方と貸方になる勘定科目を確定します。

テーブル	説明
4375	入荷工程処理中に作成される在庫処分勘定の仕訳は借方に作成されます。通常、これは商品に破損がある場合に発生します。ただし、支払は実行する必要があります。

### 陸揚費用 AAI

これらの AAI テーブルによって、陸揚費用の処理時に作成される仕訳の借方と貸方になる勘定科目を確定します。

テーブル	説明
4385	入荷確認プログラム (P4312)、入荷確認照会プログラム (P43214)、または伝票突合せプログラム (P4314) の実行中に作成される陸揚費用/経費調整勘定の仕訳が借方に作成されます。
4390	入荷確認プログラム、入荷確認照会プログラム、伝票突合せプログラムの実行中に作成される陸揚費用/経費調整勘定の仕訳が貸方に作成されます。

## 貸借一致調整用 AAI

これらの AAI テーブルにより、貸借一致（残高ゼロ）の調整処理を実行する際に作成される仕訳の借方と貸方になる勘定科目が確定されます。

テーブル	説明
4400	入荷の結果が手持数量ゼロで総勘定元帳に原価が残っている場合に、入荷確認プログラム (P4312) で作成される在庫評価勘定の仕訳が貸方に作成されます。通常、これは、当初トランザクションと異なる原価でトランザクションの逆仕訳があった場合に発生します。
4405	入荷確認プログラム (P4312) で作成された在庫評価勘定の仕訳が借方に作成されます。これは、入荷の結果が手持数量ゼロとなっても原価勘定が残っているときに生じます。通常、これは、当初トランザクションと異なる原価でトランザクションの逆仕訳があった場合に発生します。

## AAI（自動仕訳）の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[勘定科目の改訂]	W40950D	<p>[調達管理システム・セットアップ] (G43A41)、[AAI(自動仕訳)]</p> <p>[外注管理システム・セットアップ] (G43D41)、[AAI(自動仕訳)]</p> <p>[AAIの処理] フォームでローを選択して、[ロー] メニューの [詳細] をクリックします。</p>	AAIを設定します。

## 流通 AAI の設定

[勘定科目の改訂] フォームにアクセスします。

### [主科目]

勘定科目コードの中で、原価コード（労務費、材料費、設備費など）をサブカテゴリに分類する部分を入力します。たとえば、労務費の原価コードは通常時間、割増し時間、間接費に分割できます。

任意勘定科目コードを使用して主科目コードを 6 桁にした場合は、6 桁全てを使用してください。たとえば、「000456」と入力する場合と「456」と入力する場合は異なります。「456」と入力すると、スペースが 3 つ追加されるため結果が異なります。

## 許容規則の作成

このセクションでは、許容規則の概要と作成方法について説明します。

## 許容規則について

明細行の変更が許容限度を超過しないよう範囲を確定するには、許容規則を作成します。たとえば、購買オーダーに入力した数量の 10% を超過する数量の入荷を入力することがあります。許容限度を超過するトランザクションが作成されないように、システムを設定できます。

許容規則は、品目、品目カテゴリコード、または会社ごとに設定できます。許容規則を設定して、以下の値を変更できる数値またはパーセントを指定します。

- 数量
- 単位原価
- 合計金額

3 タイプのトランザクションに対して許容規則を設定できます。

- 入荷
- 伝票作成
- 購買要求の連結/一括オーダーのリリースによる購買オーダー作成

明細行が許容限度を超過した場合、処理オプションでの設定に従って、エラー メッセージが表示されるか、入力できなくなります。伝票突合せの際に、許容範囲を超過する行に対して支払状況コードを割り当てるように指定できます。

数量、単位原価、合計金額カテゴリに対してパーセントまたは数値を指定しない場合、ブランクにしたカテゴリに対して、システムによる許容度チェックは実行されません。許容規則範囲を超過するトランザクションにのみ許容度チェックが実行されます。

許容度をゼロと指定することにより、システムが何も許容しなくなるように設定できます。パーセントまたは金額の許容度をゼロと入力すると、入荷、伝票作成、当初購買オーダー行の金額リリースができなくなります。

## 許容規則の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[購買許容規則の改訂]	W4322A	[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[許容規則]  [購買許容規則の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	許容規則を作成します。

## 許容規則の作成

[購買許容規則の改訂] フォームにアクセスします。

### [機能タイプ]

機能タイプ (43/FT) UDC テーブルの値を入力して、許容規則を適用する機能を指定します。

### [品目No.]、[商品クラス]、[会社]

これらのフィールドのいずれかに値を入力します。これらのフィールドの 2 つ以上に値を入力して [OK] をクリックすると、エラー メッセージが表示されます。

[ゼロ許容度]	許容率を入力していない許容フィールドについてバリエーションを認めないことを指定するには、このオプションを選択します。
[許容率]	<p>ここに入力したパーセント値を超えている場合は、警告メッセージの表示なしに購買オーダー行が承認されます。このパーセント値は、行数量に基づいており、入荷処理時に使用されます。このフィールドをブランクにした場合は、該当する [ゼロ許容度] オプションを選択して差異が許されないことを指定しない限り、許容度チェックは実行されません。</p> <p>このパーセント値は整数で入力してください。たとえば、10 パーセントの場合は、「10」と入力します。</p>
[許容数量]	<p>ここに入力した数量を超えている場合は、警告メッセージの表示なしに購買オーダー行が承認されます。この数量は、行数量に基づいており、入荷処理時に使用されます。このフィールドをブランクにした場合は、該当する [ゼロ許容度] オプションを選択して差異が許されないことを指定しない限り、許容度チェックは実行されません。</p>
[許容金額]	<p>ここに入力した金額を超えている場合は、警告メッセージの表示なしに購買オーダー行が承認されます。この金額は、行の価格に基づいており、入荷処理時に使用されます。このフィールドをブランクにした場合は、該当する [ゼロ許容度] オプションを選択して差異が許されないことを指定しない限り、許容度チェックは実行されません。</p>

---

## オーダー保留情報の設定

このセクションでは、オーダー保留情報の概要、事前設定、およびオーダー保留情報の設定方法について説明します。

### オーダー保留情報について

オーダーが処理されないように、オーダーを保留にできます。オーダーに保留コードを割り当てると、保留状態を解除するまではオーダーの処理ができなくなります。

---

**注:** 調達管理の保留はオーダー レベルで設定する必要があります。調達管理では、行レベルの保留はサポートされません。

---

オーダーに割り当てる予定の保留コードを個別に設定する必要があります。各保留コードは、特定の保留タイプを識別します。たとえば、予算を超過する購買オーダーを識別する保留コードを設定できます。また、管理上の保留と承認保留もあります。また、これとは別に最大オーダー金額を超過する購買オーダーを識別する保留コードを設定することもできます。

さらに、システムが割り当てる事前定義された保留コードもあります。購買オーダー プログラム (P4310) の処理オプションを設定している場合、予算保留がオーダーに自動的に割り当てられます。購買オーダー (P4310) の処理オプションを設定し、オーダーが承認待ちになると、承認保留が自動的に割り当てられます。また、仕入先に対して保留コードを入力した場合も、保留コードがオーダーに自動的に割り当てられます。

特定のオーダー保留タイプを検討およびリリースする担当者を指定できます。各保留コードに対してパスワードを指定してください。このパスワードを知る個人のみが、保留コードを割り当てたオーダーをリリースできます。

## 事前設定

保留コード (42/HC) UDC テーブルで保留コードが設定されていることを確認します。

## オーダー保留情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保留オーダー固定情報の処理]	W42090A	[調達管理システム・セットアップ] (G43A41)、[オーダー保留情報]  [外注管理システム・セットアップ] (G43D41)、[オーダー保留情報]	既存のオーダー保留レコードを表示または選択します。
[オーダー保留情報]	W42090B	[保留オーダー固定情報の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	オーダー保留情報を入力します。

## オーダー保留情報の入力

[保留オーダー固定情報の処理] フォームにアクセスします。

[保留コード]	保留コード (40/HC) UDC テーブルのコードを入力して、オーダーが保留されている理由を指定します。
[担当者No.]	保留にされたオーダーを確認およびリリースする担当者の住所番号を入力します。
[制限タイプ]	限定タイプ (42/LM) UDC テーブルの値を入力して、検証される値のタイプを指定します。たとえば、値を入力して金額またはパーセントを指定できます。
[コード・タイプ]	コード タイプ (42/TC) UDC テーブルの値を入力して、オーダー レベルで適用する保留コードを指定します。与信保留の場合、保留コードは全オーダーに適用されます。調達管理の保留では、行レベルの保留はサポートされません。
[経過開始]	経過計算期間 (H40/AP) UDC コードの値を入力して、顧客の売掛金の経過に基づいて与信チェックを指定するときに使用される経過計算期間を指定します。
[経過%]	<p>[経過開始] フィールドで指定したカラムで受け入れる売掛金合計のパーセントをシステムに通知する数値を入力します。経過与信チェックを使用する場合は、[経過%] フィールドに値を入力する必要があります。</p> <p>たとえば、顧客の売掛金残高合計が 10,000 で、そのうちの 2,500 が 31-60 日カラムにあるとします。経過開始値は 3 (31-60 日)、許容パーセント値は 10 (10%) です。したがって、この顧客は、カラム 3 ~ 6 で 1,000 (10,000 × 10%) を保持することができ、引き続きこの与信チェックの基準を満たします。この顧客の残高はさらに多いため、オーダーは保留されます。</p>
[上限]	許容マージン率または許容マージン額の範囲の上限として使用される値を入力します。オーダーや個別オーダー行の最大粗利益率または最大粗利益額を設定する場合は、このフィールドに入力してください。

- 【下限】** 許容マージン率または許容マージン額の範囲の下限として使用される値を入力します。オーダーや個別オーダー行の最大粗利益率または最大粗利益額を設定する場合は、このフィールドに入力してください。
- 【パスワード】** 保留オーダーをリリースする前にシステムによって要求される値を入力します。パスワードへのアクセス権限があるユーザーだけがオーダーをリリースできます。パスワードには空白を入力しないでください。

---

## 陸揚費用の設定

このセクションでは、陸揚費用の概要、前提条件、および陸揚費用の設定方法について説明します。

### 陸揚費用について

陸揚費用は品目の仕入価格以外の費用です。通常はオーダーにかかる配送運賃に関連する費用ですが、業者手数料、コミッションなどの場合もあります。

特定の品目および事業所、あるいは費用規則（名称を付ける陸揚費用のグループ）に割り当てることができます。陸揚費用規則は、陸揚費用規則（41/P5）UDC テーブルで設定します。作成した費用規則は、在庫品目、仕入先、購買オーダー、または明細行に割り当てます。陸揚費用を割り当てることによって、品目の購買にかかる実際の費用をトラッキングできます。

陸揚費用を品目または費用規則に割り当てるとき、品目ごとに各陸揚費用の計算方法を定義します。次の情報を基準にして、品目に対して陸揚費用を加算できます。

- 単価のパーセント
- 金額
- 品目の重量または容量に乘算する特定のレート

各陸揚費用に対して、次の情報を指定できます。

- 有効日付
- 費用の支払先となる仕入先
- 費用を充当する元帳クラス コード

元帳クラス コードにより、作成される陸揚費用の仕訳の勘定科目が決まります。陸揚費用勘定科目を指定するには AAI テーブルの 4385 と 4390 を使用します。

また、次の情報も指定できます。

- 伝票入力プログラムを使用して原価を突き合わせるかどうか
- 品目原価更新にその原価を含めるかどうか

明細行に充当される陸揚費用は、次の順序で検索されます。

- [陸揚費用の改訂] で品目/事業所に割り当てられた陸揚費用
- 明細行に割り当てられた費用規則
- 購買オーダーに割り当てられた費用規則
- [品目/事業所情報] フォームで品目および事業所に割り当てられた費用規則
- [品目マスターの改訂] フォームで品目に割り当てられた費用規則



明細行に陸揚費用が加算されるタイミングを確定します。たとえば、入荷処理時、伝票突合せ処理時、または独立型処理時に陸揚費用を加算できます。

## 事前設定

陸揚費用を設定する前に、以下の作業を行う必要があります。

- UDC テーブル 41/P5 で陸揚費用規則を設定します。
- UDC テーブル 40/CA で陸揚費用レベルを設定します。

## 陸揚費用の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[陸揚費用の処理]	W41291B	[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[陸揚費用の改訂]	陸揚費用を処理します。
[陸揚費用の改訂]	W41291A	[陸揚費用の処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	陸揚費用パラメータを設定し、それらを品目または費用規則に添付します。

## 陸揚費用の設定

[陸揚費用の改訂] フォームにアクセスします。

陸揚費用のパラメータ(元帳カテゴリコードなど)を陸揚費用規則または品目に関連付けます。パラメータを陸揚費用規則に関連付けるには、[陸揚費用規則] フィールドに入力します。パラメータを品目に関連付けるには、[品目 No.] および [事業所] フィールドに入力します。

<b>[陸揚費用規則]</b>	陸揚費用パラメータに関連付ける陸揚費用規則 (41/P5) UDC テーブルの値を入力します。
<b>[原価レベル]</b>	陸揚費用構成要素 (40/CA) UDC テーブルの値を入力して、追加費用を識別します。このコードでは、特定の品目または品目グループに対する費用追加の順序も指定されます。
<b>[原価%]</b>	購買オーダーで示された品目の基準原価に陸揚費用構成要素として追加される品目の主購買原価のパーセントを入力します。
<b>[加算金額]</b>	合計原価と等しくするために指定の原価に加算される金額を入力します。
<b>[重量レート]</b>	在庫品目に対して指定した単位重量で乗算される重量を入力します。この値を使用して陸揚費用構成要素が計算されます。
<b>[容量レート]</b>	在庫品目に対して指定した単位容量で乗算される容量を入力します。この値を使用して陸揚費用構成要素が計算されます。
<b>[基準レベル]</b>	陸揚費用構成要素 (40/CA) UDC テーブルの値を入力して、品目の原価の基準を識別します。このコードを使用した場合は、前レベルの合計に基づいて原価を積み上げることができます。
<b>[原価への組込み(Y/N)]</b>	陸揚費用を品目の単位原価に含めるには、「Y」と入力します。
<b>[伝票(Y/N)]</b>	伝票突合せ時に陸揚費用を表示するには、「Y」と入力します。入荷レコードが F4312 テーブルに作成され、場合によっては、伝票突合せプログラム

で陸揚費用が伝票入力されることがあります。入荷レコードの [陸揚費用コード] (LAND) フィールドには、値として 2 が入ります。

レコードを F43121 テーブルに作成し、伝票突合せプログラムで陸揚費用が伝票入力されないようにするには、「N」と入力します。入荷レコードの [陸揚費用コード] (LAND) フィールドには、値として 3 が入ります。入荷の戻し (逆仕訳) を行う場合は、入荷レコードが必要です。

**注:** 値が N であっても、仕訳は作成されます。そのため、仕訳を取り消すためには、同じ勘定科目を対象とした陸揚費用 AAI (4385/4390) が必要になることがあります。

## 非在庫品目の設定

このセクションでは、非在庫品目の概要と以下の方法について説明します。

- 非在庫品目マスター プログラム (P4101N) の処理オプションの設定
- 非在庫品目の設定

### 非在庫品目について

在庫として会計処理をしない品目に関して情報を定義できます。非在庫品目情報は、事業所レベルではなく品目レベルでのみ追加、管理します。[非在庫品目の改訂] フォームは [品目マスターの改訂] フォームと似ています。ただし、非在庫品目に関連するフィールドのみが含まれます。

運営資源とは、企業が管理する非在庫の商品やサービス、および社内の業務プロセスなどで、これらは組織の日々の業務に必要となります。運営資源の例には次のようなものがあります。

リソース タイプ	例
商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メンテナンスや修理などに必要な消耗品</li> <li>• 資本設備</li> <li>• 車両</li> <li>• コンピュータ機器やソフトウェア</li> <li>• 事務機器や消耗品</li> <li>• 雑誌や書籍</li> <li>• マーケティングや販促用マテリアル</li> <li>• 不動産</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保守</li> <li>• 広告</li> <li>• 資本サービス</li> <li>• 契約</li> <li>• 印刷</li> <li>• 人材雇用および転職斡旋</li> </ul>

その他のフォームにアクセスして、非在庫品目に関する次のような詳細情報を定義し、保守管理できます。

- デフォルトの計量単位
- 多言語による記述
- テキスト メッセージ

設定した各非在庫品目に対して、F4101 テーブルにレコードが作成されます。

## 非在庫品目の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[非在庫品目の改訂]	W4101NA	[調達管理システム(非在庫品目)セットアップ] (G43B41)、[非在庫品目マスター]  [非在庫品目の処理]フォームで、[追加]をクリックします。	非在庫品目を設定します。

## 非在庫品目マスター (P4101N) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、非在庫品目マスター プログラム (P4101N) で使用されるデフォルト情報を指定できます。

- 1. 基本計量単位 (デフォルト = EA)** EA (個) や KG (キログラム) など、品目の数量を表すために使用される計量単位を識別する計量単位 (00/UM) UDC の値を入力します。
- 2. 重量計量単位 (デフォルト = LB)** この品目の重量を示すために使用される計量単位を識別する計量単位 (00/UM) UDC の値を入力します。オンスやグラム、キログラムなどを重量基準として指定できます。この計量単位は品目に使用されたり、個別の品目やコンテナの計量単位に合わせて一時変更されます。

### 処理

この処理オプションでは、非在庫品目マスター プログラム (P4101N) における情報の処理方法を指定できます。

- 1. F4102 への変更の転送** 第 2 (LITM) および第 3 (AITM) 品目番号に対して行われた変更を事業所品目 (F4102) 品目レコードに転送するには、「1」と入力します。

### バージョン

この処理オプションでは、非在庫品目マスター プログラム (P4101N) のバージョンを指定できます。

- 1. 品目マスター** 品目マスター プログラム (P4101) に対して使用されるバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 非在庫品目の設定

[非在庫品目の改訂] フォームにアクセスします。

非在庫品目の改訂 <span style="float: right;">i</span>			
OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)			
製品 No.	<input type="text"/>	品目 No. (略式)	<input type="text"/>
カタログ No.	<input type="text"/>		
記述	<input type="text"/>	重量	<input type="text" value="LB"/>
記述 2	<input type="text"/>	検索テキスト	<input type="text"/>
在庫タイプ	<input type="text" value="N"/> 非在庫品目	商品クラス	<input type="text"/> 購買カテゴリ・コードP2...
元帳クラス	<input type="text"/> プラン GL 転記...	商品補助クラス	<input type="text"/> 購買カテゴリ・コードP2...
計量単位	<input type="text" value="EA"/> 個	仕入先レポート・コード	<input type="text"/> 仕入先レポート・コードP...
行タイプ	<input type="text" value="S"/> Stock Inventory Item	基準計画ファミリ	<input type="text"/> 基準計画ファミリ・コード...
購買担当者No.	<input type="text"/>	陸揚費用規則	<input type="text"/> 陸揚費用規則P4をここ...
優先運送業者	<input type="text"/>		
商品コード	<input type="text"/>	UNSPSCコード	<input type="text"/>

[非在庫品目の改訂] フォーム

### [優先運送業者]

品目のデフォルト運送業者として使用される住所番号を入力します。

### [商品クラス]

商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプまたは分類を表す商品クラス (41/P1) UDC の値を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

このフィールドは主に、購買に使用する 6 個の分類カテゴリの一つです。

### [商品補助クラス]

商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプまたは分類を表す商品補助クラス コード (41/P2) UDC の値を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

このフィールドは主に、購買に使用する 6 個の分類カテゴリの一つです。

### [基準計画ファミリ]

商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表す UDC (41/P4) の値を入力します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

このフィールドは主に、購買に使用する 6 個の分類カテゴリの一つです。

### [商品コード]

レポート専用の値を入力します。

JD Edwards EnterpriseOne 購買要求セルフサービスを購入した場合は、商品ツリーを設定して、そのツリーに品目を追加できます。それにより、購買オーダー明細では商品コードが自動的に入力されます。

### [UNSPSCコード]

参照専用の値が表示されます。UNSPSC コードには標準設定があります。これらの値のダウンロードは保存されます。

JD Edwards EnterpriseOne 購買要求セルフサービスを購入した場合は、このコードを商品コード ツリーに関連付けることができます。

---

## 印刷メッセージの定義

このセクションでは、印刷メッセージの概要と、以下の方法について説明します。

- 印刷メッセージを識別するコードの作成
- 印刷メッセージの定義
- メッセージを印刷する印刷伝票の定義
- 伝票タイプの例外の定義

### 印刷メッセージについて

印刷メッセージは、従業員や仕入先に特定の情報を通知するための、社内用および対外用に使用できるメッセージです。印刷メッセージは事前定義テキストから構成され、以下の項目に添付できます。

- 品目レコード
- 仕入先マスター
- 購買オーダー見出し
- 購買オーダー明細行

印刷メッセージは、在庫管理システムと受注管理システムで共有されます。メッセージに使用されるテキストの例には、以下があります。

- 設計仕様
- 危険物情報シート
- 休日の作業時間数
- 特殊配送指示

印刷メッセージは、メッセージ名、記述、および添付情報で構成されます。

印刷メッセージの作成が完了した後、そのメッセージをどの伝票に表示するかを指定する必要があります。

## 印刷メッセージの定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[ユーザー定義コード]	W0004AA	[略式コマンド]に「UDC」と入力します。	UDC 40/PMを検索して、印刷メッセージを識別するためのコードを追加します。
[印刷メッセージの改訂]	W40162C	[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[印刷メッセージの改訂]  [印刷メッセージの処理]フォームで、[追加]をクリックします。  [印刷メッセージの処理]フォームで印刷メッセージを選択して、[選択]をクリックします。	印刷メッセージの設定と管理を行います。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	該当なし	[印刷メッセージの改訂]で、[フォーム]メニューから[添付]を選択します。	印刷メッセージテキストを添付に入力します。
[伝票選択]	W40162A	[印刷メッセージの改訂]で、[フォーム]メニューから[伝票選択]を選択します。	メッセージを印刷する伝票を選択します。
[伝票タイプの例外]	W40162B	[伝票選択]で、[ロー]メニューの[伝票タイプの例外]をクリックします。	伝票タイプの例外を定義します。

### 印刷メッセージの定義

[印刷メッセージの改訂] フォームにアクセスします。

### メッセージを印刷する印刷伝票の定義

[伝票選択] フォームにアクセスします。

### 伝票タイプの例外の定義

[伝票タイプの例外] フォームにアクセスします。

---

## 購買オーダー テンプレートの設定

このセクションでは、購買オーダー テンプレートの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- オーダー テンプレートの改訂 (P4105) の処理オプションの設定
- 購買オーダー用仕入先テンプレートの作成
- 購買オーダー用ユーザー テンプレートの作成

- 既存の購買オーダーを使用したテンプレートの作成
- 仕入先実績テンプレートの再作成 (R43815) の処理オプションの設定
- バッチ モードでのテンプレートの改訂

## 購買オーダー テンプレートについて

オーダー入力処理を合理化するために、テンプレートを設定できます。テンプレートには頻繁に発注する品目およびその品目の通常オーダー数量が含まれます。購買オーダー入力中にテンプレートにアクセスして、オーダーする品目を選択できます。

それぞれのテンプレートには、特定の品目グループが含まれます。汎用の標準テンプレートを作成するか、テンプレートを適用する仕入先を指定できます。ユーザーが最もよく発注する品目に基づいてユーザー テンプレートを作成することもできます。

オーダー テンプレートを設定する際、テンプレートに組み込む品目および品目数量を入力します。選択する既存購買オーダーに基づいて、品目をテンプレートに自動入力できます。また、既存購買オーダーからの情報を使用して、バッチ モードでテンプレートを作成および改訂することもできます。

オーダー テンプレートは、頻繁に発注する品目をまとめたものです。購買オーダー入力中にオーダー テンプレートを使用して、オーダーする品目を選択できます。

仕入先固有のテンプレートを作成できます。このようなテンプレートは、仕入先に同じ品目を頻繁に発注する場合に役立ちます。仕入先を特定しない標準テンプレートも作成できます。その代わり、これにはさまざまな仕入先から頻繁に発注される品目が含まれます。特定のユーザーおよびそのユーザーが最も多く発注する品目を基準にしてテンプレートを作成すると便利です。

既存購買オーダーの品目および品目数量を基準にすると、仕入先テンプレートの作成時間を短縮することや既存テンプレートを更新できます。選択した購買オーダーに基づいて、品目および品目数量がテンプレートに追加されます。

## 事前設定

購買オーダー テンプレートを作成する前に、以下の作業を行う必要があります。

- オーダー テンプレート (40/OT) UDC テーブルで、オーダー テンプレートの名称を設定します。
- 仕入先実績テンプレートの再作成プログラム (R43815) の処理オプションを設定して、購買実績を購買オーダーのテンプレートに読み込めるようにします。
- ユーザーが最も多く発注する品目に基づいて購買オーダーのユーザー テンプレートを作成する場合、仕入先テンプレートの改訂プログラム (P4015) の処理オプションで、使用フォーマットを 4 (ユーザー) に設定してください。

## 購買オーダー テンプレートの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー・テンプレートの処理]	W4015A	[上級および技術的操作] (G43A31)、[仕入先テンプレートの改訂]	使用可能なオーダーテンプレートを処理します。
[オーダー・テンプレートの改訂]	W4015B	[オーダー・テンプレートの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	オーダーテンプレートの改訂を行います。
[購買実績の処理]	W40215D	[オーダー・テンプレートの改訂] フォームで、[フォーム] メニューから [オーダー実績] を選択します。	購買実績を処理します。
[オーダー明細の処理]	W4310G	[購買実績の処理] フォームでオーダーを選択して、[ロー] メニューの [詳細] をクリックします。	オーダー明細を処理します。

## オーダー テンプレートの改訂 (P4015) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 表示

以下の処理オプションでは、オーダー テンプレートの改訂プログラム (P4015) における情報の表示方法を指定できます。

- 1. 使用するフォーマットを入力します。**  
 入力できるオーダー テンプレートのフォーマットを決定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。
  - 販売先
  - 出荷先
  - 仕入先
  - ユーザー
- 2. カスタマ セルフサービス モード**  
 カスタマ セルフサービス情報の処理方法を決定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 標準の処理が使用されます。
  - Java/HTML 処理が使用されます。
  - Windows 処理が使用されます。

### バージョン

以下の処理オプションでは、システムが使用するさまざまなプログラムのバージョンを設定できます。

- 1. カスタマ サービス照会 (P4210)**  
 システムが使用するカスタマ サービス照会プログラム (P4210) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。



2. 購買オーダー (P4310) システムが使用する購買オーダー プログラム (P4310) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 購買オーダー用仕入先テンプレートの作成

[オーダー・テンプレートの改訂] フォームにアクセスします。

[オーダー・テンプレートの改訂] フォーム

- [仕入先] 作成中のオーダー テンプレートが仕入先に特定したものでない場合、このフィールドはブランクにしてください。

## 購買オーダー用ユーザー テンプレートの作成

[オーダー・テンプレートの改訂] フォームにアクセスします。

- [ユーザー] ユーザーの値を指定します。このフィールドは、仕入先テンプレートの改訂プログラム (P4015) の処理オプションでユーザー フォーマットを指定した場合にのみ使用できます。

## 既存の購買オーダーを使用したテンプレートの作成

[オーダー・テンプレートの改訂] フォームにアクセスします。

## バッチ モードでのテンプレートの改訂

[上級および技術的操作] (G43A31) の [仕入先テンプレートの改訂] を選択します。

仕入実績テンプレートの再作成プログラム (R43815) を使用して、バッチ モードで新しいオーダー テンプレートを作成します。既存オーダーに基づいて品目が新規のテンプレートに追加されます。新規テンプレートの作成に使用する基準を定義するには、処理オプションを使用します。

仕入実績テンプレートの再作成プログラムは、F4311 テーブルの仕入先品目履歴を収集および適用してテンプレートを作成します。

## 仕入先実績テンプレートの再作成 (R43815) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

## デフォルト

以下の処理オプションでは、仕入先実績テンプレートの再作成プログラム (R43815) のデフォルト情報を入力できます。

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>1. 作成するオーダー テンプレート名</b> | テンプレート名を指定します。テンプレートには、頻繁に発注する品目のリストが含まれています。多くの場合、品目は製品タイプ (燃料、潤滑剤、パッケージ製品など) に基づいてグループ化されます。 |
| <b>2. 有効開始日付</b>           | トランザクション、契約、義務、優先情報、ポリシー規則などが有効になる日付を指定します。  |
| <b>3. 有効終了日付</b>           | トランザクション、テキスト メッセージ、契約、義務、優先情報などが完了または失効する日付を指定します。  |

## 処理

以下の処理オプションでは、仕入先実績テンプレートの再作成プログラム (R43815) における情報の処理方法が設定されます。

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <b>1. 履歴</b>                      | 履歴を適用する相手を決定するコードを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: 仕入先履歴に基づいて新規テンプレートが作成されます。<br>2: 購買担当者履歴に基づいて新規テンプレートが作成されます。<br>3: 出荷先履歴に基づいて新規テンプレートが作成されます。<br>4: トランザクション入力者履歴に基づいて新規テンプレートが作成されます。 |
| <b>2. 通常数量に対して平均数量を計算する</b>       | 通常数量に対する平均数量を計算するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: 通常数量に対する平均数量は計算されません。<br>1: 通常数量に対する平均数量が計算されます。   |
| <b>3. データ順序</b>                   | データ順序と最も頻繁に発注する品目のどちらを使用するのかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: データ順序を使用します。<br>2: 最も頻繁に発注する品目を使用します。  |
| <b>4. 最大行数</b>                    | テンプレートに表示できる最大行数を入力します。   |
| <b>5. テンプレートへの組込みに必要な最少オーダー回数</b> | テンプレートに品目を含めるために必要な最小発注回数を入力します。  |
| <b>6. 仕入先/品目関係</b>                | 仕入先/品目関係をテンプレートに含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: 仕入先/品目関係をテンプレートに含めません。<br>1: 仕入先/品目関係をテンプレートに含めます。   |

## モデル ログの作成

このセクションでは、モデル ログの概要、事前設定、およびモデル ログの作成方法について説明します。

### モデル ログについて

モデル ログは 1 組の標準受理事項および送付事項情報、またはオーダーにコピー可能なその他の情報です。受理事項情報は、保険証明書など協力会社あるいは仕入先から受け取る必要のある情報です。送付事項は、進行許可など、ユーザーの会社から協力会社へ送付する必要がある情報です。同じ標準ログ情報を使用するオーダーが複数ある場合に、モデル ログを作成します。

### 事前設定

モデル ログ タイプ (43/ML) UDC テーブルにモデル ログが設定されていることを確認します。

### モデル ログの作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[モデル・ログ]	W4303C	[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[オーダー・モデル・ログの改訂] [外注管理システム・セットアップ](G43D41)、[オーダー・モデル・ログの改訂] [モデル・ログの処理] フォームにモデル ログを入力して、[追加]をクリックします。	モデル ログを作成します。

### モデル ログの作成

[モデル・ログ] フォームにアクセスします。

オーダー・モデル・ログの改訂 - モデル・ログ

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)

モデル・ログ PO 購買オーダー・モデル・ログ

レコード 1-5 グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

	ログ タイプ *	記述	状況 タイプ	備考	記録日付	有効終了 日付	要求日付
<input type="checkbox"/>	S	Signed Order		Submit Signed Purchase Order			
<input type="checkbox"/>	S	Approval Drawings		Submit Drawings for Approval			
<input type="checkbox"/>	S	As Built Drawings		Submit Final Drawings			
<input type="checkbox"/>	T	Manufacturing Schedule		Review Manufacturing Schedule			
<input type="checkbox"/>							

[モデル・ログ] フォーム

[モデル・ログ]	モデル ログ タイプ (43/ML) UDC の値を入力して、ログ タイプを追加するモデル ログを識別します。[モデル・ログ] フォームにアクセスする前に、[モデル・ログの処理] フォームで、このフィールドに値を入力する必要があります。
[ログ タイプ]	コミットメント ログ タイプ (00/LG) UDC の値を入力して、ログ エントリの情報のタイプを識別します。このログ タイプは、類似したタイプのエントリをグループ化するために使用されます。
[状況タイプ]	<p>STSC (H00/SX) UDC の値を入力して、附帯項目行の要件を満たしているかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 要件が満たされていないか、附帯項目行が非アクティブであるか、または必須の状況がありません。</p> <p>Y: 要件が満たされています。</p> <p>N: 要件が満たされていません。</p>
[記録日付]	ログ エントリが発行された日付を入力します。たとえば、保険契約の有効日付は、[記録日付] フィールドに入力します。
[有効終了日付]	ログ エントリの有効終了日付を入力します。たとえば、保険契約証の受理事項要件の場合は、保険契約の終了日を [有効終了日付] フィールドに入力します。その終了日は、状況フィールドを更新するためにログレポート/更新プログラムによって使用されます。有効終了日付がプログラムの実行日より前の場合は、ログ エントリに対して状況が N に設定されます。
[P E] (支払時警告)	<p>ログ要件が満たされない場合に警告メッセージを発行するには、「Y」と入力します。未処理のログ要件が存在する場合は、進捗支払の入力中に、さまざまな警告メッセージが表示されます。</p> <p>一般に、受理事項要件が非常に重要なために、受理事項要件が適切に満たされない場合、外注業者への通常支払が停止される可能性がある場合は、「Y」と入力します。通常、このコードは受理事項ログ エントリと組み合わせて使用します。</p>
[関連ID]	ログ エントリに関連付けられている識別コードを入力します。このフィールドは、短縮レポート ID のために使用することがあります。

## 第 7 章

# 仕入先情報の設定

この章では、以下の方法について説明します。

- 仕入先および品目情報の設定
- 仕入先価格および値引規則の定義

---

## 仕入先および品目情報の設定

このセクションでは、仕入先および品目情報の設定の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 仕入先購買指示の定義
- 仕入先/品目関係の作成
- 納入パフォーマンスのガイドライン設定
- 合格品目のガイドライン設定
- 仕入先パフォーマンス集計情報の定義

## 仕入先および品目情報の設定について

オーダーは購入する品目および仕入先に基づいて自動処理されます。たとえば、仕入先に購買指示を定義すると、オーダーを入力するごとにその仕入先のデフォルト値が検索されます。

仕入先から購入する品目を指定して、仕入先と品目の相互関係を作成できます。各品目に関して、仕入先が品目を販売する資格があるかどうかなどといった情報を入力します。仕入先に品目販売資格がない場合は、その仕入先への購買オーダーにその品目を入力することができなくなります。

納入パフォーマンスや入荷時の品目状態など、仕入先のサービスの質についての情報を検討できます。この処理を確実にするには、システムが期日通りの納品と受入可能な（合格）品目を認識できるようにガイドラインを設定してください。

パフォーマンス情報のサマリーを検討することにより、仕入先の品目の原価とサービスを比較できます。この情報を検討する前に、返品数量や最終仕入原価、平均リードタイムなどパフォーマンス要素を定義する必要があります。

### 仕入先購買指示

仕入先に対して購買指示を定義すると、仕入先に対してオーダーを入力するごとに、陸揚費用、価格規則、印刷メッセージなど、そのオーダーに関連する仕入先のデフォルト値を検索できます。

購買指示を使用して、仕入先に対して品目の制約を指定できます。品目を制約することにより、仕入先から購入できる品目、できない品目が確定されます。特定品目の購買を制限する場合、仕入先に対する購買オーダーにその品目を入力することはできません。

仕入先と同様に出荷先住所についても購買指示を定義できます。出荷先住所用に設定した購買指示に基づいて、購買オーダーに対する運送業者や配送指示が検索されます。

また、購買指示を定義する際に調整スケジュールを入力して、価格管理システムの情報を設定できます。この情報を設定する前に、価格設定固定情報がアクティブになっていることを確認してください。

購買指示を定義する際に、仕入先に対して上級価格設定システムをアクティブにできます。

また、仕入先への最小/最大オーダー金額などの制限も指定できます。さらに、入荷情報に基づいて伝票を作成するかどうかも指定できます。

購買オーダーに価格のみを印刷するか、価格と調整の両方を印刷するかを指定できます。

購買指示に変更を加えても、作成済みのオーダーには影響ありません。

## 仕入先/品目関係の管理

仕入先とその仕入先から購入する品目の相互関係を作成できます。たとえば、A 社から商品を購入する場合、A 社とその商品との間に相互関係を作成できます。相互関係に関する次のような情報を定義します。

- 相互関係の状況（仕入先から品目を購入できるかどうか）
- 相互関係の入荷工程
- 品目価格（仕入先から品目を購入する場合）

仕入先と品目の相互関係情報は手作業でユーザーが作成するか、または仕入先から品目を購入する際に自動作成できます。

以下の操作を行うときには、仕入先/品目関係をシステムに作成させることもできます。

- 購買オーダーの入力
- 入荷の入力
- 伝票作成

仕入先分析情報を取り込むには、該当するプログラムの処理オプションを設定してください。

また、マスター情報がまだ存在していない品目に対する相互関係情報も作成できます。仕入先/品目関係プログラム (P43090) の処理オプションを使って、標準品目マスター情報または非在庫品目マスター情報を入力するようにプロンプトを出すかどうかを指定します。

品目/仕入先関係の情報は、F43090 テーブルに保存されます。このテーブルのフィールドを最初に更新する場合は、“仕入先/品目関係の再作成” プログラム (P43900) を実行してください。

## 仕入先納入パフォーマンスのモニタリング

納入パフォーマンス情報を検討することにより、仕入先が特定の品目を期日通りに納入した実績があるかどうかを確認できます。この情報が正確であることを確認するには、期日どおりの納品に対する計算方法を定義する必要があります。

仕入先の約束納期と同日に品目を入荷する場合、オーダーは期日どおりの入荷になります。約束期日の前後に、オーダーの納入が期日どおりと考慮される特定の猶予日数を設定できます。たとえば、期日前に 2 日、期日後に 2 日の猶予を設定することが可能です。オーダーの納入予定日が 3 月 15 日の場合、納期は 3 月 13 日から 17 日の間は期日どおりと認識されます。

入荷日を自動的に確定するために必要なオーダー中に入荷パーセントを指定してください。たとえば、納品が期日どおりか期日の前後なのかどうかをシステムが確定する際、オーダーの 90% が入荷日に入荷されている必要があることを指定できます。

### 仕入先品質のモニタリング

品質パフォーマンス情報を検討することにより、仕入先が特定の品目を良好な状態で納入した実績があるかどうかを確認できます。この情報が正確であることを確認するには、システムが品目の合否をどう認識するか定義する必要があります。

品質パフォーマンス情報には、ある会計期間において合格/不合格であった品目のパーセントが含まれます。各パーセントの計算の基準になる入荷工程からの除去品目カテゴリには次のようなものがあります。

- 返品
- 再作業
- 仕損
- 却下
- 調整

合否を反映するカテゴリを指定する必要があります。たとえば、仕損のカテゴリを不合格とすると、入荷工程から仕損品を除去するたびにその品目が不合格として分類されます。

### 仕入先パフォーマンス集計情報の定義

パフォーマンス情報のサマリーを検討することにより、仕入先の品目の原価とサービスを比較できます。この情報を検討する前に、比較に使用する次のパフォーマンス要素を定義してください。

- 品目の平均単位原価
- 品目に支払った最終原価
- 期日どおり納入パーセント
- 品目の納入に掛かる平均日数（リードタイム）

検討するパフォーマンス要素のカラムを設定する必要があります。値、計算方法、カラム タイトルを指定してください。また、小数点以下桁数および数字フォーマットを指定し、ヘルプ テキストを割り当てることもできます。

複数のパフォーマンス要素（カラム）を検討するためにフォーマットを作成できます。フォーマットには最高 4 つまでカラムを設定できます。複数フォーマットをスクロールするためにパスを作成することもできます。カラム、フォーマット、パスを設定した後、[仕入先分析サマリー] フォームに割り当てます。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行する前に、以下の UDC が設定されていることを確認してください。

- 品目制約 (H40/ED)
- 数量品質状況 (H43/AC)
- 計量単位 (00/UM)
- 入荷評価 (40/ER)
- オーダー テンプレート (40/OT)
- 顧客価格グループ (40/PC)

- 認可状況 (43/CR)
- 公式記述 (43/FM)
- 仕入先リベートコード (43/RA)
- 工程コード (43/RC)
- リベートレベル (43/RL)
- 工程タイプコード (43/RY)



## 仕入先および品目情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[仕入先マスターの処理]	W04012D	[仕入先分析] (G43A16)、[購買指示]	既存の購買指示を確認します。
[仕入先マスターの改訂]	W04012A	[仕入先マスターの処理] フォームで[追加]をクリックします。	仕入先購買指示を定義します。
[品目制約の改訂]	W40131B	[仕入先マスターの改訂] フォームで、[フォーム]メニューから[品目制約]を選択します。	仕入先購買指示を定義します。
[仕入先/品目関係の処理]	W43090A	[仕入先分析] (G43A16)、[仕入先/品目情報]	既存の仕入先/品目関係を確認します。
[仕入先/品目関係]	W43090B	[仕入先/品目関係の処理] フォームで[追加]をクリックします。	仕入先/品目関係を作成し、納入パフォーマンスのガイドラインを設定します。
[仕入先/品目の追加工程]	W43094A	[仕入先/品目関係] フォームで、[フォーム]メニューから[追加工程]を選択します。	仕入先からの品目の工程を作成します。
[品質分析]	W43230L	[仕入先分析] (G43A16)、[品質分析]	仕入先の既存の品質情報を確認します。
[品質分類]	W43230J	[品質分析] フォームの [フォーム]メニューから[品質定義]を選択します。	合格品目のガイドラインを設定します。
[照会カラムの処理]	W51COLC	[仕入先分析] (G43A16)、[照会カラムの定義]	既存の照会カラムを確認します。
[照会カラムの定義]	W51COLD	[照会カラムの処理] フォームで、[追加]をクリックします。	照会カラムと、それらの照会カラムを定義する情報を追加します。
[照会フォーマットの処理]	W51FMTI	[仕入先分析] (G43A16)、[照会フォーマット]	既存の照会フォーマットを確認します。
[照会フォーマット定義]	W51FMTQ	[照会フォーマットの処理] フォームで、[追加]をクリックします。	作成するフォーマットにカラムを追加します。
[照会パスの処理]	W51PTB	[仕入先分析] (G43A16)、[照会パス]	既存のパスを確認します。
[照会パスの定義]	W51PTC	[照会パスの処理] フォームで、[追加]をクリックします。	新規パスを作成します。
[仕入先分析サマリー]	W43230A	[仕入先分析] (G43A16)、[分析サマリー]	[照会カラムの定義] フォームで設定したカラムごとに仕入先分析情報を確認します。

## 仕入先購買指示の定義

[仕入先マスターの改訂] フォームにアクセスします。

### 購買 1

[購買 1] を選択します。

[仕入先価格グループ] 顧客グループを識別する顧客価格グループ (40/PC) UDC の値を入力します。同等の価格設定などの類似した特性を持つ顧客をグループ化することができます。

[オーダー・テンプレート] オーダー テンプレート (40/OT) UDC の値を入力して、頻繁に発注する品目のテンプレートを指定します。多くの場合、品目は製品タイプ (燃料、潤滑剤、パッケージ製品など) に基づいてグループ化されます。

### 購買 2

[購買 2] を選択します。

[請求書コピー枚数] 顧客が必要とする請求書コピーの枚数を表示します。

[品目制約] 品目制約 (H40/ED) UDC の値を入力して、この顧客に対する品目の販売に制約が加えられているかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 制約はありません。

I: [品目制約] フォームで設定されている品目だけを顧客に販売できます。

E: [品目制約] フォームで設定されている品目は顧客に販売できません。

[最高オーダー数] ここに入力したオーダー数を超えると、オーダーが保留になります。合計が最高オーダー数よりも多いオーダーを入力しようとすると、エラー メッセージが表示されます。

このフィールドは、整数として管理されます。

[最低オーダー数] ここに入力したオーダー数を下回ると、オーダーが保留になります。合計が最低オーダー数よりも少ないオーダーを入力しようとすると、エラー メッセージが表示されます。

このフィールドは、整数として管理されます。

[容量表示単位] この事業所に対する容量の表示に使用される計量単位を識別する計量単位 (00/UM) UDC の値を入力します。このフィールドには、[事業所固定情報] - [ページ 2] (P410012) の値が入力されています。このデフォルト値は変更できます。

[重量表示単位] オーダー集計フォームの使用時に、この顧客について個別オーダー行とオーダーの重量を表示するために全体として使用される計量単位を識別する計量単位 (00/UM) UDC の値を入力します。

[ピッキング・リストに価格を印刷する] 購買オーダーに正味価格情報を印刷するかどうかを示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

Y: 正味価格を印刷します。

N: 正味価格を印刷しません。

2: 基本価格調整と正味価格を印刷します。

**[入荷基準決済]**

オーダーが評価済み入荷決済に適しているかどうかを示す入荷評価 (40/ER) UDC の値を入力します。評価済み入荷決済は、受け取った品目に基づいて伝票を作成するための仕入先との契約があることを表します。入荷レコードから伝票を作成するには、入荷決済の評価 (R43800) 処理を使用します。その結果として、仕入先は請求書を送付しないため、伝票突合せ処理は省略できます。有効値は以下のとおりです。

N: 評価済み入荷決済には適していません。

Y: 評価済み入荷決済に適しています。

I: 入荷トランザクションの処理中です。

T: 評価済み入荷決済に適していますが、入荷処理中に許容エラーが生じました。

R: 評価済み入荷決済に適していますが、現在入荷工程処理中です。

V: 評価済み入荷決済処理を使用して、入荷トランザクションの伝票が作成されました。

**[リポート・レベル]**





リポート システムの基準となる組織レベルを示すリポート レベル (43/RL) UDC の値を入力します。

**[リポート使用]**

リポートが有効かどうかを示す仕入先リポート コード (43/RA) UDC の値を入力します。

## 仕入先/品目関係の作成

[仕入先/品目関係] フォームにアクセスします。

仕入先/品目関係			
OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)    			
事業所	<input type="text"/>		
仕入先	<input type="text"/>		
品目 No.	<input type="text"/>		
認可状況	<input type="text"/>	有効開始日付	<input type="text"/>
		有効終了日付	<input type="text"/>
<b>入荷工程情報</b>			
通常工程コード	<input type="text"/>	工程タイプ・コード	<input type="text"/>
代替工程コード	<input type="text"/>		
<b>分析情報</b>			
平均単位原価	<input type="text"/>	平均リードタイム	<input type="text"/>
リードタイム数量 %	<input type="text" value="90.00"/>	早期納入可能日数	<input type="text"/>
頻度日数	<input type="text"/>	遅延可能日数	<input type="text"/>
頻度 No.	<input type="text"/>		

[仕入先/品目関係] フォーム

[認可状況]	<p>この品目を販売する資格が仕入先にあるかどうかを示す認可状況 (43/CR) UDC の値を入力します。入力したコードによって、仕入先および品目について入力したオーダーの管理方法が決まります。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 仕入先からの品目を発注できます。</p> <p>1: 仕入先からのこの品目の購買は禁止されます。</p> <p>2: 仕入先からの品目のオーダーを入力した場合は、警告メッセージが表示されます。</p>
[通常工程コード]	<p>工程を識別する工程コード (43/RC) UDC の値を入力します。各入荷工程は、入荷時に品目に対して行われる一連の作業で構成されます。</p>
[代替工程コード]	<p>代替工程コードを識別する工程コード (43/RC) UDC の値を入力します。各入荷工程は、入荷時に品目に対して行われる一連の作業で構成されます。</p> <p>品目では、通常工程と代替工程を使用できます。品目は、指定した日数または入荷数に基づいて断続的に代替入荷工程で管理されます。</p>
[工程タイプ・コード]	<p>品目/仕入先の組み合わせに対する工程を限定する工程タイプ コード (43/RV) UDC の値を入力します。例としては、ASN (EDI 856 出荷通知/積荷目録トランザクション) や転送に対する特定の工程タイプがあります。</p>

## 納入パフォーマンスのガイドライン設定

[仕入先/品目関係の処理] フォームにアクセスします。

[リードタイム数量 %]	<p>リードタイムの計算前に受け取る必要があるオーダーのパーセントを入力します。リードタイムは、オーダー明細行の入力日からオーダーの入荷日までの日数です。</p> <p>入荷工程における品目の場合は、入荷通知のフラグが付けられた作業で品目が到着する日付に基づいて入荷日付が決定されます。</p>
[早期納入可能日数]	<p>品目の納入が受け入れ可能になる、約束日付より前の日数を入力します。たとえば、仕入先が最大で 2 日早く品目を納入して期日どおりの納入の資格を得られることを示すには、「2」と入力します。</p>
[遅延可能日数]	<p>品目の納入が受け入れ可能になる、約束日付より後の日数を入力します。たとえば、仕入先が約束納入日付より最大で 2 日遅く品目を納入して期日どおりの納入の資格を得られることを示すには、「2」と入力します。</p>

## 合格品目のガイドライン設定

[品質分類] フォームにアクセスします。

[受入/非受入]	<p>数量品質状況 (H43/AC) UDC の値を入力して、入荷数量が受け入れ可能かどうかを指定します。</p>
----------	---

## 仕入先パフォーマンス集計情報の定義

[照会カラムの定義] フォームにアクセスします。

このフォームで選択したカラムごとに、仕入先分析情報を確認します。

[カラム名]	<p>カラムを識別する英数字コードを入力します。カラムは、品目の平均単位原価や品目に支払った最終原価などのパフォーマンス要素を表します。たとえば、パフォーマンス要素を確認して、特定の品目に対する仕入先の原価とサービスを比較することができます。</p> <p>入力した値は、使用可能なカラム名のリストに追加されます。</p>
[カラム見出し1]	<p>[作業状況照会] フォーム上のカラムを表す見出しの 1 行目の名前を入力します。この行は、カラムに対して自動的に中央揃えされます。</p>
[計算式]	<p>このカラムの金額または数量を決定するために必要な演算子と共に公式記述 (43/FM) UDC テーブルの値を入力します。単一の事前定義値または複数の事前定義値を演算子と共に使用して計算式を入力できます。</p> <hr/> <p>注: 43/FM UDC にアクセスするには、[フォーム] メニューから [計算式値] を選択します。</p> <hr/> <p>使用可能な演算子は以下のとおりです。</p> <p>+: 加算</p> <p>-: 減算</p> <p>*: 乗算</p> <p>/: 除算</p> <p>( ): 入れ子にする場合の左カッコと右カッコ</p> <p>たとえば、以下の計算式を入力して、期日数量 % を計算させることができます。</p> <p>20/(20+21+22)</p> <p>上記の計算式は、以下の理由により、期日数量 % に等しくなります。</p> <p>20 は期日数量に対する UDC 43/FM の値です。</p> <p>21 は期日前数量に対する UDC 43/FM の値です。</p> <p>22 は期日後数量に対する UDC 43/FM の値です。</p>
[表示小数点以下桁数]	<p>小数点の右側に表示される文字の数を入力します。たとえば、「2」と入力した場合、このカラムの金額または数量は、7.00 のように小数点の右側が 2 文字になります。</p>
[編集コード]	<p>数値データのフォーマットを決定する編集コード (98/EC) UDC の値を入力します。異なるコードを入力することにより、表示または印刷する値の外観を変更できます。</p>
[乗数]	<p>カラムの金額または数量に掛ける係数を入力します。</p> <p>[計算式] フィールドの計算結果は、この係数で乗算されてから、[作業状況照会] フォームに表示されます。</p> <p>たとえば、非常に大きな数値を千単位にスケール ダウンする場合は、「001」と入力します。パーセントを整数として表示する場合は、「100」と入力します。</p>
[用語解説データ項目]	<p>列が表す情報を記述する F9201 テーブルの項目を入力します。一般に、カラムには、特定の品目について仕入先の原価とサービスを比較できるようにするために仕入先のパフォーマンスに関する情報が含まれています。</p>

カラムのフィールド ヘルプにアクセスすると、関連する用語解説記述が表示されます。

**[順序]**

順序 (昇順/降順) (H43/SQ) UDC の値を入力して、昇順と降順のどちらで情報を表示するのかを指定します。

---

## 仕入先価格および割引規則の定義

このセクションでは、仕入先価格と割引規則の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 仕入先カタログの改訂プログラム (P41061) の処理オプションの設定
- 仕入先価格の入力
- 購買価格値引規則の作成
- 品目および仕入先に対する割引規則の添付

### 仕入先価格および割引規則について

オーダーは購入する品目および仕入先に基づいて自動処理されます。たとえば、仕入先に購買指示を定義すると、オーダーを入力するごとにその仕入先のデフォルト値が検索されます。仕入先から発注する方法と各仕入先の価格および割引をオーダーに適用する方法を管理するには、仕入先価格、カタログ、価格規則、および割引規則を設定します。

### 仕入先価格およびカタログの定義

仕入先や品目に割引を適用するかどうかにより、品目の支払価格が異なる場合があります。購買オーダーの入力時に品目の正確な単位原価が読み込まれるように、品目に対する仕入先価格を管理して割引情報を入力することができます。

品目価格は購入する仕入先によっても異なります。たとえば、同じ品目でも価格が 1.25 の仕入先もあれば、1.00 の仕入先もあります。1 つの品目に対して、各仕入先の請求価格を入力できます。

購買する数量に応じて割引が適用されることがあります。たとえば、100 個以上の品目を購入すると 20% の値引を受ける場合などです。価格規則を設定し、その価格規則を品目および品目の仕入先に適用すると、品目価格に対して自動的に割引が適用されます。

品目を購入する仕入先に基づいて、品目価格を入力できます。たとえば、A 社の掛時計が 5.00 とします。アクミサプライ社から同じ掛時計を購入する場合の価格は 7.00 です。購買オーダーを入力すると、仕入先別に入力してある価格に基づいて品目の単位原価が読み込まれます。

仕入先価格はカタログ別に入力する必要があります。カタログとは、各品目の価格一覧です。各カタログは仕入先に固有のものです。仕入先から購入する品目のすべてを 1 つのカタログにまとめたり、季節要因による変更や異なる製品ラインなどといった要因別に仕入先品目を分類して、複数のカタログを作成できます。

カタログの名称を指定しないで仕入先の品目価格を入力すると、その仕入先のデフォルト カatalog が自動作成されます。仕入先に対して 1 つのカタログのみを設定する場合は、デフォルト カatalog を使用するのが便利です。

仕入先は、品目の購入時期により、同じ品目でも異なる価格を請求することがあります。たとえば、同じカレンダーでも 1 月には価格 10.00 なのが、10 月には 5.00 になる場合があります。同じ品目で価格が異なる場合は、それぞれの価格の有効日付を設定して複数のカタログに入力できます。

購買オーダーに品目を入力すると、単位原価を取り込むために仕入先のカatalogが検索されます。まず、存在する場合はデフォルトのカatalogが最初に検索され、次にその他のカatalogがアルファベット順に検索されます。品目が検索された後、有効日付の妥当性が検証されます。現行日付が有効日付範囲内にある場合は、購買オーダーにその単価が入力されます。

行のトランザクション計量単位または購買計量単位のどちらかに基づいて、購買明細行の計量単位が取り込まれます。システムの固定情報で、価格の読み込みに使用される計量単位 (UOM) を指定します。

## 価格規則および割引

品目価格は、購入する数量により異なることがあります。たとえば、1 個の掛時計を購入し、その価格が 5.00 とします。100 個購入すると、掛時計の単価が 4.00 になります。1 つのカatalogに品目を入力する場合、購入する数量に基づいて価格分岐を指定できます。

購入する品目数量に基づいて、割引が適用されることがあります。たとえば、品目の単価が 5.00 で、100 個購入すると 20%、200 個購入すると 30% の値引があるような場合です。購買オーダーの入力時に、品目の単価に割引を自動的に適用できます。

割引情報を適用するには、在庫価格設定規則を作成する必要があります。各価格規則に対して、以下の情報を指定します。

- 購入数量
- それぞれの購買数量に基づく値引（パーセント、金額、または固定レート）
- 各割引の有効日付

価格規則は、1 つまたは複数の品目に対して適用できます。たとえば、特定の事務用品または事務用品のグループに対して価格規則を設定することができます。設定した価格規則は、その規則を適用する品目および品目の仕入先に対して割り当てる必要があります。

1 つの価格規則に対して複数のレベルを設定でき、これらのレベルは、特定の購買数量を表しています。たとえば、次のようにレベルを設定できます。

- レベル 1 - 20% の値引（品目を 100 個まで購入する場合）
- レベル 2 - 30% の値引（101 個以上 200 個以下を購入する場合）
- レベル 3 - 固定レート（201 個から 1000 個の品目を購入する場合）

上記の規則を添付した仕入先および品目に対する購買オーダーを入力する場合、購入した数量に基づいて品目の単価に割引が適用されます。たとえば、通常原価が 10.00 の品目を 150 個購入する場合は、単価は 7.00 で計算されます。

仕入先が特定の品目に対して最高購買限度額までの割引を実施することがあります。たとえば、特別価格 4.00 で、ハンマーを最高 200 個まで購入できるという契約を結ぶことがあります。200 個のハンマーを購入した後は、価格は通常の価格に戻ります。契約価格規則を作成して、このタイプの割引をカバーできます。

契約価格規則は次の処理を実行する以外、標準価格規則の作成と同じ方法で作成します。

- 規則が契約価格であることを指定する
- 規則を適用する略式品目番号を名称にする
- 契約価格で購入できる品目数を指示する

契約価格規則は品目に対して添付する必要はありません。購買オーダーを入力すると、略式品目番号に基づいて契約価格が取り込まれます。

品目に対して契約価格規則を作成した場合、その価格はその他のすべての価格規則に優先します。

契約価格規則の累計数量に対して購入済みの数量がトラッキングされます。

### 品目および仕入先に対する価格割引規則の添付

在庫価格設定規則を作成すると、品目の単価に対し割引を適用できます。作成した価格規則は、それを適用する品目および品目の仕入先に添付してください。購買オーダーの入力時、品目の単位原価に割引が適用されます。

在庫価格設定規則を作成した後、それを品目の事業所情報または購買明細行に添付できます。価格規則が品目に対して標準のものである場合は、それを事業所情報に添付するのが普通です。品目に対して異なる価格規則を適用する場合は、それを購買オーダー入力時に指定できます。

品目に対して価格規則を設定する場合は、品目の仕入先に対しても価格規則を設定する必要があります。仕入先に対して価格規則を添付する前に、[価格設定規則の処理] で現在仕入先に対して適用されている価格レベルを検討できます。たとえば、入力した事業所品目情報に価格規則を添付した場合などです。

新規の価格規則を仕入先に適用する前に、[顧客価格設定規則] フォームの [ロー] メニューの [レベルの除去] を選択して既存の価格規則を除去することがあります。

仕入先に対して価格規則を設定するには、次の 2 つのうちどちらかの方法を使用します。

- 特定の仕入先に対して価格規則を添付する
- 仕入先価格グループに価格規則を添付してから、仕入先に価格グループを添付する

同じ価格規則を複数の仕入先に適用する場合、価格グループに価格規則を設定してから、その価格グループを仕入先に割り当てることにより、入力時間を短縮できます。価格規則が仕入先によって変化する場合は、仕入先別に価格規則を設定できます。

## 事前設定

仕入先価格および値引規則を定義する前に、以下の作業を行います。

- 品目マスターで、仕入先価格を入力するすべての品目価格レベルが 1 または 2 に設定されていることを確認してください。これにより、仕入先に基づいて、購買オーダーの単位原価が取り込まれます。
- 処理オプションを設定し、新規の品目をカタログに追加して F4101 テーブルにレコードを作成するかどうかを指定します。
- UDC テーブル (40/CN) にカタログ名を入力します。
- UDC テーブル (40/PI) で価格規則の名称を設定します。

価格割引規則を品目および仕入先に添付する前に、UDC テーブル (40/PC) で価格グループの名称を設定する必要があります。



## 仕入先価格および割引規則の定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[仕入先カタログの改訂]	W41061A	[価格管理] (G43A17)、[仕入先カタログ保守管理]  [仕入先カタログの処理] フォームで [追加] ボタンをクリックします。	仕入先価格を入力します。
[在庫価格設定規則]	W4271A	[価格管理] (G43A17)、[在庫価格設定規則]  [価格設定規則の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	購買の価格値引規則を作成します。
[顧客価格設定規則]	W4271B	[価格管理] (G43A17)、[仕入先価格設定規則]  [価格設定規則の処理] フォームで、添付する価格割引規則が含まれている行を選択し、[フォーム] メニューから [顧客規則] を選択します。	品目および仕入先に価格割引規則を添付します。

## 仕入先カタログの改訂プログラム (P41061) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、購買オーダーの処理に使用されるデフォルト情報を入力できます。

<b>品目マスター作成処理</b>	品目マスター レコードの作成を有効化するかどうか、および警告メッセージを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  ブランク: レコードの作成は有効化されません。 1: レコードが作成され、警告が表示されます。 2: エラーや警告なしにレコードが作成されます。
<b>在庫タイプ</b>	在庫タイプ コード (41/1) UDC の値を入力して、在庫のデフォルト タイプを指定します。この処理オプションをブランクにすると、N (非在庫) が値として使用されます。
<b>行タイプ(デフォルト=B)</b>	行タイプ制御固定情報 (F40205) テーブルに存在する値を指定します。入力した値は、デフォルト値として使用されます。この処理オプションをブランクにすると、B が行タイプとして使用されます。
<b>元帳クラス コード</b>	元帳転記カテゴリ (41/9) UDC にある値を入力して、転記カテゴリ コードのデフォルト値を指定します。この処理オプションの入力は必須です。

## 仕入先価格の入力

[仕入先カタログの改訂] フォームにアクセスします。

[カタログ名]	カタログ名 (40/CN) UDC の値を入力して、仕入先の品目に対する価格グループの名前を設定します。
[数量分岐]	このトランザクションの影響を受ける数量を入力します。
[有効開始日付]	価格が有効になる日付を入力します。有効日付を入力しない場合は、開始日付が現行日付、終了日付として今世紀最後の日付がそれぞれ入力されます。
[期限終了日付]	価格に対する日付範囲の最終日を入力します。有効日付を入力しない場合は、開始日付が現行日付、終了日付として今世紀最後の日付がそれぞれ入力されます。

## 購買用価格割引規則の作成

[在庫価格設定規則] フォームにアクセスします。

[価格設定規則コード]	<p>価格設定規則によって在庫を分類するために使用される品目価格グループ (40/PI) UDC の値を入力します。</p> <p>通常、これらのカテゴリは在庫価格表の主要セクションに対応しています。設定できる詳細カテゴリ数に制限はありません。販売、購買、オーダー/バスケット、および契約価格設定には 1 つのコードを使用できます。契約規則を設定する場合、そのコードは契約のもとで品目の略式番号と等しくなければなりません。</p>
[価格設定方式コード]	価格規則の基準を示す (42/CT) UDC の値を入力します。購買オーダー割引の場合は「P」と入力する必要があります。
[契約価格設定]	<p>価格設定タイプ (42/PT) UDC の値を入力して、品目と 1 つまたは複数の顧客の間の特殊な価格設定関係を指定します。契約の在庫価格設定規則コードは品目番号です。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 契約なし</p> <p>C: 契約価格を示します。</p> <p>価格設定タイプが契約であることを指定する場合は、この契約価格で販売できる数量と契約番号 (契約番号が存在する場合) を入力する必要があります。また、契約価格設定規則が有効になるためには、その規則を顧客または顧客グループに添付する必要があります。</p>
[レベル]	<p>価格設定グループ内の規則の表示順序を決定する英数字コードを入力します。レベルは、価格設定グループの設定時に定義します。</p> <p>規則に適用できる各割引に対する [レベル] フィールドに値を入力してください。</p>
[上限数量]	価格設定テーブルで一般に使用される容量または数量分岐を入力します。規則の最初のレベルでの数量が 5 の場合、このレベルの価格設定論理は 5 個以下の品目の販売にのみ適用されます。次レベルの数量が 10 の場合、価格設定論理は 6 ~ 10 個の品目の販売に適用されます。99,999,999 は全ての数量を表します。
[基準]	<p>原価/価格基準 (H42/CB) UDC の値を入力します。入力した値を使用して、オーダーの正味価格が決定されます。</p> <p>価格設定および価格再設定の場合、値は以下のとおりです。</p>

1: 最終仕入原価

5: 先日付原価

P: 単価

2: 平均原価

6: ロット原価

3: メモ原価 1

7: 標準原価

4: 現行原価

受注オーダー価格再設定では、受注明細の単位原価または単価に基づいて全ての価格再設定計算が行われます。受注オーダーで価格再設定計算の基準として単価を使用する場合は、P を指定します。

全ての価格再設定計算の基準値として受注明細で単位原価を使用するには、1 ～ 8 の値を指定します。

#### [係数]

この在庫価格設定規則に添付された品目の価格を計算するときに使用する割引を入力します。割引は、乗数、追加金額、または減算として表すことができます。たとえば、10% の割引は "0.90" と表されます。同じ係数を割増原価に使用することができます。たとえば、10% の割り増しは "1.10" と表されます。

#### [タイプ]

オーダーの価格に適用する係数値が乗数（パーセント）または減算（USD）かどうかを示す FVTY (H00/FV) UDC の値を入力します。

#### [変更価格]

他の全ての規則または価格に優先される価格を入力します。

## 品目および仕入先に対する価格割引規則の添付

[顧客価格設定規則] フォームにアクセスします。

**顧客価格設定規則** i ?

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

☒
☐
☐
☐
☐
☐

在庫価格設定規則コード

価格設定方式コード

契約価格設定コード

顧客価格グループ  プランク 40/PC

または顧客 No.  ☐ 適用レベルのみ

---

レコード 1 - 9 グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

	価格設定規則コード	レベル	上限数量	基準	係数	係数タイプ	変更価格	有効開始日付	有効終了日付	基本計量単位	契約数量
<input checked="" type="radio"/>	BICYCLE	1	99	P	1.0000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	BICYCLE	2	499	P	0.9000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	BICYCLE	3	99,999,999	P	0.8500	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	PARTS	1	50	P	1.0000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	PARTS	2	100	P	0.9500	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	PARTS	3	999,999,999	P	0.9000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	REPRICER	1	49	P	1.0000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	
<input type="radio"/>	REPRICER	2	100	P	0.9500	%		1997/04/17	2010/12/31	1	

[顧客価格設定規則] フォーム

**[顧客価格グループ]**

顧客グループを識別する顧客価格グループ (40/PC) UDC の値を入力します。同等の価格設定などの類似した特性を持つ顧客をグループ化することができます。

**[適用レベルのみ]**

指定した顧客番号に関連する優先顧客グループ情報を含めるには、このオプションを選択します。

価格規則に複数のレベルがある場合、すべての下位レベルを適用するために規則の最上位レベルを選択する必要があります。特定のレベルを選択するには [適用レベルのみ] を選択してください。これを選択すると、選択したレベルのみが適用されます。

## 第 8 章

# 購買オーダー コミットメントの設定

コミットメントは将来の債務の認識です。この章では、コミットメントトラッキングの設定方法について説明します。

---

## コミットメントのトラッキング設定

このセクションでは、コミットメントトラッキングの概要と以下の方法について説明します。

- 購買オーダーの生成 (P43011) の処理オプションの設定
- コミットメントの設定
- コミットメント リリースの設定

## コミットメント トラッキングについて

コミットメントのトラッキングを設定すると、特定の作業やプロジェクトに対する購買の支払義務をモニタリングできます。オーダー明細行を入力するたびに、その行の金額がコミットメントとして認識され、作業またはプロジェクトに対して充当されます。特定の作業やプロジェクトについて、コミットメント金額と未決済コミットメント合計金額を個別に検討できます。

コミットメントトラッキングは、非在庫品目やサービスの購買に対してのみ使用できます。各オーダー明細行を、それぞれ、勘定科目コードに計上する必要があります。この番号は、コミットメントをトラッキングする作業やプロジェクトを示しています。

コミットメントのトラッキングに使用するオーダー タイプは、UDC テーブル (40/CT) で指定してください。たとえば、オーダーと購買要求のコミットメントをトラッキングする場合、該当するオーダー タイプを指定する必要があります。

明細行のコミットメントをトラッキングするには、その行タイプの在庫インターフェイス コードに "A"、"B"、または "C" を設定してください。これらのコードは、行金額が直接、勘定科目コードに計上されます。

コミットメントのトラッキングが可能な購買明細行にデータを入力するたびに、購買金額 (PA) 元帳および購買数量 (PU) 元帳に金額が記録されます。

購買金額元帳にはコミットした購買金額が保存されます。購買数量元帳にはコミットした購買数量が保存されます。

商品を入荷したり、購買伝票を作成すると、作業やプロジェクトのコミットメント合計金額からコミットメント金額を減算することによりコミットメントがリリースされます。

コミットメント リリースを設定して、自動的にコミットメントをリリースするかどうかを確定します。自動コミットメント リリースを指定して公式な入荷を使用している場合は、入荷または伝票を総勘定元帳に転記した時点でコミットメントがリリースされます。非公式の入荷処理の場合は、支払伝票を転記した際にリリースされます。

**重要:** 非作業原価環境で処理する場合、コミットメントリリースの完了時に [作業原価予測] フィールドは No に設定します。[作業原価予測] フィールドのデフォルト値は Yes であることに注意してください。

## コミットメント トラッキングの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[ユーザー定義コード]	W0004AI	<p>[コミットメントの設定/再作成] (G43B411)、[コミットメント伝票タイプ]</p> <p>[債務の設定/再作成] (G43C411)、[債務伝票タイプ]</p> <p>[外注管理セットアップ/再作成] (G43D411)、[コミットメント伝票タイプ]</p> <p>[ユーザー定義コードの処理] で、[追加] をクリックします。</p>	コミットメントを設定します。
[作業原価固定情報]	W0026A	<p>[コミットメントの設定/再作成] (G43B411)、[コミットメントリリース]</p> <p>[債務の設定/再作成] (G43C411)、[債務リリース固定情報]</p> <p>[外注管理セットアップ/再作成] (G43D411)、[コミットメント・リリース固定情報]</p> <p>[作業原価固定情報の処理] で、[追加] をクリックします。</p>	コミットメントリリースを設定します。

## 購買オーダーの生成 (P43011) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 表示

以下の処理オプションでは、特定のタイプの情報 (カテゴリ コード、在庫タイプ、原価など) を表示するかどうか、および原価情報を変更できるかどうかを指定できます。

#### 1. カテゴリ コード 1

情報確認の対象となる商品クラスを示す UDC (41/P1) の値を指定します。アスタリスクは全てのコードを表します。カテゴリ コード情報は F4102 テーブルから取得されます。

このコードは、商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

このフィールドは主に、購買に使用する 6 個の分類カテゴリの一つです。

**2. カテゴリ コード 2**

情報確認の対象となる商品クラスを示す UDC (41/P1) の値を指定します。アスタリスクは全てのコードを表します。カテゴリ コード情報は F4102 テーブルから取得されます。

このコードは、商品タイプや計画ファミリなどの品目の特性タイプや分類を表します。このコードを使用して類似品のソートと処理が行われます。

このフィールドは主に、購買に使用する 6 個の分類カテゴリの一つです。

**3. 原価の保護**

原価を変更できるかどうかを指定します。F4105 テーブルまたは F41061 テーブル (仕入先/品目関係进行处理している場合) から原価情報が取得されます。また、F4101 テーブルの [購買価格レベル] フィールドの値をチェックすることによって、原価情報の取得元となるテーブルが決定されます。[購買価格レベル] フィールドの値が 1 または 2 の場合は、F41061 テーブルから原価情報が取得され、続いて F4105 テーブルから原価情報が取得されます。[購買価格レベル] フィールドの値が 3 の場合は、F4105 テーブルからのみ原価情報が取得されます。

有効値は以下のとおりです。

ブランク: 原価フィールドを表示し、変更を許可します。

1: 原価フィールドを表示し、値の変更を禁止します。

2: 原価フィールドを表示しません。

**4. 在庫タイプ**

表示する在庫タイプを指定します。在庫タイプに関する情報が F4102 テーブルから取得されます。

この UDC (41/I) は、品目の保管方法 (たとえば、完成品として、または原料として保管) を示します。次の在庫タイプはハードコード化されているため、変更しないでください。

0: 擬似品目

B: バルク在庫品

C: コンフィギュレーション品目

E: 緊急/改良保全

F: フィーチャー品目

K: キット/親品目

N: 非在庫品

[記述 2] の最初の文字は、品目が購買品 (P) または製造品 (M) のどちらかを示します。

**処理**

以下の処理オプションでは、計量単位、在庫/非在庫品目の行タイプ、一括オーダー タイプ、要求日付の算出方法などを指定できます。

**1. トランザクション計量単位**

[トランザクション計量単位] フィールドのデフォルトとして使用される計量単位を指定します。この計量単位は、購買中の数量に関連付けられます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買計量単位を使用します。

1: F4101 テーブルの基本計量単位を使用します。

基本計量単位と購買計量単位の値を確認するには、[品目マスターの改訂] フォームの [重量および計量単位] タブを選択します。

## 2. 在庫行タイプ

トランザクションの行の処理方法を指定します。行タイプは、取引のインターフェイスとなるシステム（一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理など）に影響します。また、行タイプでは、レポートや計算に行を含める条件も指定されます。以下に値の例（[行タイプ固定情報の改訂] フォームで定義されている値）をいくつか示します。

S: 在庫品目

J: 作業原価、外注、または一般会計への購買

B: 総勘定元帳勘定および品目番号

N: 非在庫品

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

W: 作業オーダー

この処理オプションの行タイプを指定すると、このバージョンを使用して処理する全品目に対して作成される購買オーダーにその行タイプが使用されます。

[処理] タブで、この処理オプションと次の処理オプション（非在庫行タイプ）の両方の行タイプを指定しないでください。在庫品目と非在庫品目の行タイプを指定しなかった場合は、この処理オプション（在庫）に対して指定した行タイプだけが使用されます。

## 3. 非在庫行タイプ

トランザクションの行の処理方法を指定します。一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。また、行タイプでは、レポートや計算に行を含める条件も指定されます。以下に値の例（[行タイプ固定情報の改訂] フォームで定義されている値）をいくつか示します。

S: 在庫品目

J: 作業原価、外注、または一般会計への購買

B: 総勘定元帳勘定および品目番号

N: 非在庫品

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

W: 作業オーダー

この処理オプションの行タイプを指定すると、このバージョンを使用して処理する全品目に対して作成される購買オーダーにその行タイプが使用されます。

[処理] タブで、この処理オプションと前の処理オプション（在庫品目）の両方に対して行タイプを指定しないでください。在庫品目と非在庫品目の両方の行タイプを指定しなかった場合は、在庫品目用に指定した行タイプのみ使用されます。



**4. リリース用の一括オーダー タイプ**

一括購買オーダー処理に関連付けるオーダー タイプを指定します。この処理オプションをブランクにすると、自動一括オーダー リリース処理は実行されません。

**5. 要求日付**

要求日付の計算方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: リード タイムがオーダー日付に加算されません。要求日付がブランクの場合は、今日の日付が使用されます。

1: オーダー日付にリード タイムを加算して、要求日付が計算されます。

リードタイム情報を在庫管理システムの F43090 テーブルから取り込みます。

**相互参照**

以下の処理オプションでは、代替品目および旧品目に対する相互参照の処理方法を指定できます。

**1. 代替品目**

代替品目を取得するために使用されるデフォルトの相互参照コードを指定します。入力した値は、[[代替品目] の検索/選択] フォームのデフォルトとして使用されます。入力するコードは、相互参照コードに対する UDC テーブル (41/DT) の有効値でなければなりません。

代替品目を取得するために、品目の相互参照コードを F4104 テーブルから取り込みます。

複数の代替品目が存在する場合は、詳細グリッドにあるロー見出しと [代替品目あり] カラムにチェック マークが表示されます。

**2. 旧品目**

旧品目の置換品目を取得するために使用される相互参照コードを指定します。入力した値は、[[代替品目] の検索/選択] フォームのデフォルトとして使用されます。

置換処理は、以下の条件を満たした場合にのみアクティブになります。

- F4101 テーブルでは、置換される品目の在庫タイプは O (旧) である
- この処理オプションの相互参照コードは指定済みである

**受注選択**

以下の処理オプションでは、発注残の情報の表示および処理方法を指定できます。

**1. 最大状況**

発注残の確認時に受注残行が超えるべきではない状況を指定します。

この処理オプションの状況を指定した場合は、発注残のロー エグジットを使用すると、入力した状況以下の状況を持ったオーダーだけが表示されます。

**2. デフォルトの行タイプ**

トランザクションの行の処理方法を指定します。一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。また、行タイプでは、レポートや計算に行を含める条件も指定されます。以下に値の例 ([行タイプ固定情報の改訂] フォームで定義されている値) をいくつか示します。

S: 在庫品目

J: 作業原価、外注、または一般会計への購買

B: 総勘定元帳勘定および品目番号

N: 非在庫品

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

この処理オプションを入力した場合は、発注残のロー エグジットを使用すると、入力した行タイプに等しい行タイプを持ったオーダーだけが表示されます。

### 3. バックオーダー

バックオーダーを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: バックオーダーを表示しません。

1: バックオーダーを表示します。発注残のロー エグジットを使用すると、バックオーダーが表示されます。

### バージョン

この処理オプションを使用して、各アプリケーションのバージョンを入力します。ブランクにした場合、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

#### 1. 購買オーダー(P4310)バージョン

購買オーダー プログラム (P4310) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

#### 2. 一括オーダー・リリース(P43060)バージョン

一括オーダー リリース プログラム (P43060) にアクセスする際に使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

#### 3. 受注残(P4210)バージョン

受注残プログラム (P4210) にアクセスするときに使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

#### 4. 仕入先分析(P43230)バージョン

仕入先分析プログラム (P43230) にアクセスするときに使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

#### 5. 仕入先マスター(P0401I)バージョン

仕入先マスター プログラム (P0401I) にアクセスするときに使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

## コミットメントの設定

[ユーザー定義コード] フォーム (40/CT) にアクセスします。

## コミットメント リリースの設定

[作業原価固定情報] フォームにアクセスします。

### [コミットメント解除]

総勘定元帳に買掛金伝票を転記する際に未決済コミットメントを自動的にリリースするかどうかを指定するコードを入力します。

買掛金伝票は、非在庫購買オーダーおよび契約進捗支払に関連した伝票です。有効値は以下のとおりです。

Y: 未決済コミットメントを自動的にリリースします。

N: 未決済コミットメントを自動的にリリースしません。



## 第 9 章

# 購買オーダーの入力

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、購買オーダー入力およびブラジルでの購買オーダー入力の概要と以下の作業を行う方法について説明します。

- 購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定
- オーダー見出し情報の入力
- オーダー明細情報の入力
- (Rapid Start) Enter blanket orders for an inventory item
- (Rapid Start) Enter blanket orders for an inventory item
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Match credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Enter and receive purchase orders for non-inventory item with 2way match.
- (Rapid Start) Enter blanket orders for an inventory item
- (BRA) Enter manual payments for Brazil

---

## 購買オーダー入力について

商品またはサービスを購入するたびに、購買オーダーを入力する必要があります。オーダーを入力して、発注する商品またはサービスを詳細に指定したり、発注する仕入先を指定したり、その他関連情報を指定します。

購買オーダーは次の 2 つの情報で構成されています。

- 見出し情報 - オーダー全般に関する基本的な情報 (仕入先名、オーダー日付など)
- 明細情報 - 購買する品目やサービスに関する明細行単位の情報 (品目番号、数量、費用など)

見出し情報および明細情報は別々に入力できます。オーダーの規模や入力する見出し情報の量に応じて、処理オプションで次のどちらかの方法を選択してオーダーを入力します。

- 最初に見出し情報、次に明細情報を入力する
- 明細情報のみ入力し、見出し情報には一定のデフォルト値を使用する

次の 2 つのテーブルで見出しおよび明細情報が保守管理されます。

- F4301
- F4311

購買オーダーを作成する際に役立つツールがいくつかあります。これらのツールを使用して、複数の購買オーダーを同時に生成したり品目や仕入先情報などを検索できます。

原価が予算限度額を超過しないように、購買オーダーを自動的に検証するように設定できます。予算を超過した場合や、その他の理由により、オーダーを保留にすることもできます。最新のコミットメント、予算、ログ、およびオーダー保留情報を検討できます。

購買オーダーを生成した後、オーダーの変更および印刷ができます。

---

## (BRA) Understanding Purchase Order Entry in Brazil

In Brazil, the government requires that businesses maintain detailed information about all merchandise and associated taxes during the delivery process. The information accompanies shipments in the form of a document known as a nota fiscal.

When you enter a purchase order, you also enter information that the system uses to generate the associated nota fiscal document. When you receive a shipment for the purchase order, you enter or update information for the related nota fiscal. When you enter item information, the system calculates any applicable IPI, ICMS, and ICMS Substitution taxes. The Brazilian government holds both the seller and buyer responsible for the accuracy of tax calculations. You can verify the accuracy of the nota fiscal document that the supplier sends with the shipment, based on the inbound version of the nota fiscal that the system generates.

The system automatically creates journal entries to account for the notas fiscais that the Procurement process creates.

In Brazil, the government requires companies to maintain additional purchase order information for tax audit purposes. This additional information includes:

- Transaction nature.
- Tax code.
- Fiscal classification.
- Whether the item is subject to ICMS Substitution.
- Origin of the item.
- Purchase use.
- Fiscal message.

---

## 購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、購買オーダーの処理に使用されるデフォルト情報を入力できます。

1. **オーダー タイプ**

“伝票タイプ - すべての伝票” (00/DT) UDC に設定されている値を入力して、オーダー タイプのデフォルト値を指定します。[オーダー見出し] フォームの [オーダー・タイプ] フィールドには、この値が入力されます。
2. **行タイプ**

トランザクションの行の処理方法を指定する値を入力します。一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。また、行タイプでは、レポートや計算に行を含める条件も指定されます。行タイプは、オーダー行タイプ プログラム (P40205) で定義します。

[オーダー明細] フォームの [行タイプ] フィールドには値が自動的に入力されます。
3. **開始状況**

処理状況コード (40/AT) UDC にある値を入力して、オーダーの開始状況のデフォルト値を指定します。入力する値は、使用しているオーダー タイプおよび行タイプに対して設定する必要があります。
4. **一時変更用「次の状況」**

処理状況コード (40/AT) UDC にある値を入力して、全ての新規または変更済み購買オーダー行に対する次の状況を指定します。オーダー処理順序定義プログラム (P40204) を使用して、オーダー タイプと行タイプの組み合わせに対する「次の状況」コードを入力します。この処理オプションをブランクのままにすると、オーダー処理順序定義の「次の状況」コードがデフォルト値として使用されます。

承認処理を使用している場合は、この処理オプションを使用しないでください。
5. **計量単位**

計量単位 (00/UM) UDC にある値を入力して、[トランザクション計量単位] フィールドに表示されるデフォルト計量単位を指定します。
6. **行番号増分**

オーダーのオーダー行を自動的に増分する場合に使用する整数を入力します。
7. **デフォルト税率/税域**

オーダー入力時のデフォルトとして使用する税率/税域情報の検索場所を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 仕入先の住所番号に関連付けられている税率/税域が使用されます。税目コードは、F0401 テーブルの仕入先住所番号レコードから取得されます。これがオーダー リリース プログラムから呼び出されているバージョンの場合は、元のオーダーではなく F0401 テーブルから税情報が取得されます。

1: 出荷先住所番号に対する住所番号のデフォルト税率/税域が使用されます。システムによって使用される情報は、F0401 テーブルの税情報セクションにあります。
8. **トランザクション計量単位**

オーダー入力時のデフォルトとして使用するトランザクション計量単位情報の検索場所を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: F4101 テーブルの購買計量単位が使用されます。トランザクション計量単位は、[購買オーダー入力] フォームの [数量] フィールドに入力した数値に直接関係します。[購買オーダー入力] のカタログから品目を選択した場合、そのカタログの計量単位は、このフィールドに入力した値より優先されます。[計量単位] フィールドに値を入力した場合は、このフィールドに値を入力しないでください。

1: F4101 テーブルの基本計量単位がトランザクション計量単位のデフォルトとして使用されます。

## 9. 陸揚費用規則

陸揚費用規則 (41/P5) UDC の値を入力して、[オーダー見出し - 追加情報] フォームの [陸揚費用規則] フィールドに入力される陸揚費用規則を指定します。

## 10. 見出しが変更されたときの明細への反映

見出し情報を変更したときに明細行の情報を自動的に更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [オーダー見出し] フォームの [自動入力] フォーム エグジットを使用して、手動で見出しを明細変更に適用する必要があります。[オーダー見出し] フォームの [定義] フォーム エグジットを使用して、[オーダー明細] フォームのどのフィールドを見出し情報の変更で更新するのを選択します。見出し情報を変更すると、[オーダー明細] フォームが表示されます。

1: 見出しの変更が明細行に自動的にロードされます。

## 11. 作業オーダー状況

購買オーダー数量または約束日付の変更時にデフォルト値として使用される作業オーダー状況 (00/SS) UDC にある値を入力します。この処理オプションは、オーダー処理プログラム (R31410) で作業オーダーを処理することによって外注作業用に作成された購買オーダーに適用されます。購買オーダーが作成された後に数量または約束日付を変更すると、作業オーダー状況は、この処理オプションで入力した値に更新されます。この処理オプションをブランクのままにすると、作業オーダー状況は変更されません。

## 12. 勘定科目名

オーダー入力のデフォルト値として使用する勘定科目名の検索場所を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ビジネスユニット、主科目、および補助科目で構成される勘定科目から勘定科目名が取得されます。

1: ビジネスユニットと補助科目で構成される勘定科目から勘定科目名が取得されます。通常、この勘定科目は未転記の見出し勘定科目です。勘定科目名の取得時に主科目が使用されないことに注意してください。

## 13. 行順序

変更オーダーに行番号を割り当てる方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 連続した増分に基づいて固有の行番号が割り当てられます。複数の変更オーダーがある場合は、変更オーダーごとに行番号の順序設定を最初からやり直すのではなく、連続した増分に基づいて行番号が割り当てられます。

1: 変更オーダーごとに順序設定処理が最初からやり直されます。1 を入力した場合、各変更オーダー内では行番号順序が保持および増分されますが、次の変更オーダーでは、行番号の順序設定が最初からやり直されます。

## 14. 費用規則の選択

オーダー入力時のデフォルトとして使用する費用規則選択情報の検索場所を指定します。これがオーダー リリース プログラムから呼び出されているバージョンの場合は、元のオーダーではなく F0401 テーブルから費用規則情報が取得されることに注意してください。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 仕入先の住所番号に関連付けられている費用規則選択が使用されます。費用規則の説明コードは、F0401 テーブルの仕入先住所番号レコードから取得されます。

1: 出荷先に対する住所番号のデフォルト費用規則選択が使用されます。システムによって使用される情報は、F0401 テーブルの費用規則情報セクションにあります。



## 表示

以下の処理オプションを使用して、表示する情報のタイプを制御します。

- 1. 終了行の表示**

終了行を非表示にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 終了行または取消行が表示されます。

1: 終了行または取消行が非表示になります。終了行または取消行が非表示になると、状況コードが 999 の行は詳細グリッドに表示されません。ただし、行のレコードは F4311 テーブルに残ります。
- 2. 状況コードの保護**

状況コードの変更を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 状況コードを変更できます。

1: 状況コードは変更できません。コードは検討できますが、変更できません。状況コードの保護を有効にした場合は、状況コードにかかわらず、最後の状況と次の状況は保護されます。
- 3. オーダー タイプの保護**

オーダー タイプの変更を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: オーダー タイプを変更できます。

1: オーダー タイプ (伝票タイプとも呼ばれる) は変更できません。オーダー タイプは確認できますが、変更できません。
- 4. キット表示**

キット構成品行を表示するか、あるいは親行だけを表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 親行だけが表示されます。ただし、F4311 テーブルには親行と全ての構成品行が書き込まれます。

1: キット構成品行が表示されます。キット構成品行を表示するには、購買オーダーを作成してから、その購買オーダーを照会する必要があります。
- 5. 原価の保護**

原価の変更を可能にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 原価のフィールドがフォームに表示され、変更可能になります。

1: 原価のフィールドがフォームに表示されますが、変更できません。

2: 原価情報が表示されません。F4311 テーブルには引き続き原価情報が書き込まれますが、[原価] フィールドは表示されません。原価テーブルの原価情報がデフォルトとして使用されます。原価テーブルの例としては、F4105 テーブルや F41061 テーブルがあります。デフォルト情報に使用される原価テーブルは、システムの設定方法によって異なります。
- 6. 明細行の保護**

処理状況コード (40/AT) UDC の値を入力して、明細行の変更が防止される次の状況を指定します。次の状況がこの状況以上の場合は、明細行全体が保護されます。この処理オプションをブランクのままにすると、明細行の変更は防止されません。
- 7. 無償品カタログ**

無償品カタログの警告を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 警告を表示しません。

- 1: 警告を表示します。
- 8. オーダー見出しの保護**      オーダー見出し情報が読取専用か、あるいは変更可能かを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: オーダー見出し情報は変更できます。  
 1: オーダー見出し情報は読取専用です。
- 9. ジャーゴンおよび見出しビジネスユニット**      [オーダー見出し] フォームと [オーダー明細] フォームに表示される [ビジネスユニット] フィールド (MCU) の記述を指定します。たとえば、この処理オプションをブランクのままにした場合は、「事業所」という記述が MCU フィールドに表示されます。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 事業所  
 1: 作業  
 2: プロジェクト  
 3: ビジネスユニット
- 10. 勘定科目コードの保護**      明細行が部分的に入荷または伝票発行された後に勘定科目コード情報を保護するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 勘定科目コード情報は保護されません。  
 1: 勘定科目コード情報は保護されます。

## インターフェイス

以下の処理オプションでは、インターフェイス情報を入力できます。

- 1. ビジネスユニット検証**      事業所の検証方法を指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 事業所は F0006 テーブルと照合されます。通常は、サービスの経費購買を実行している場合に、この処理オプションを使用します。この処理オプションをブランクのままにした場合は、F0006 テーブルにおける住所番号の出荷先住所番号が使用されます。ビジネスユニット マスター テーブルには、単一ビジネスユニットの改訂プログラムを通じてアクセスできます。  
 1: 事業所は F41001 テーブルと照合されます。在庫購買を実行している場合は、1 を入力します。1 を入力すると、F41001 テーブルの住所番号が出荷先住所番号のデフォルトとして使用されます。
- 2. PBCO 警告**      PBCO (過去期間) 警告を受け取るかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 購買オーダーの元帳日付と、購買オーダーにある会社およびビジネスユニットの一般会計期間が比較されます。PBCO 警告では、前の一般会計期間に購買を記録していないことが確認されます。  
 1: PBCO 警告は表示されません。通常は、サービスまたは経費タイプの購買を実行している場合に、この値を使用します。
- 3. PACO 警告**      PACO (未来期間) 警告を受け取るかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 購買オーダーの元帳日付と、購買オーダーにある会社およびビジネスユニットの一般会計固定情報に含まれている現行期間が比較されます。現行の総勘定元帳期間を 2 期間分超過している元帳日付を使用して購買オーダーを作成しようとすると、PACO 警告が発生します。

**4. 数量の更新**

1: PACO 警告は表示されません。

システムによって更新される数量フィールドを指定します。この処理オプションを設定する前に、事業所固定情報プログラムで使用可能状況を定義したときの方法を必ずチェックしてください。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [購買オーダー数量] フィールド (エイリアス PREQ) が更新されます。

1: F4102 または F4100 テーブルの [その他 購買数量] フィールド (エイリアス OT1A) を更新します。購買要求、見積、一括オーダー、または現在の購買オーダー数量に影響しない他のオーダー タイプを入力する場合は、この値を使用します。

**5. 仕入先分析**

仕入先分析情報を取得するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 仕入先分析情報を取込みません。

1: 全ての購買オーダーについて、品目番号、日付、数量などの情報が F43090 テーブルに記録されます。最も効果的に仕入先情報を記録するには、この処理オプションで「1」を入力し、入荷確認プログラム (P4312) および伝票突合せプログラム (P4314) の処理オプションで、これと同じ情報を取り込むよう設定してください。

**6. 仕入先マスターの編集**

F4330 テーブルに対して仕入先番号を検証するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 仕入先番号は検証されません。

1: 仕入先番号が検証されます。

**7. 会計 AAI**

会計 AAI または流通 AAI を使用するかどうかを指定します。また、この処理オプションを使用して、[オーダー見出し] フォームと [オーダー明細] フォームに表示される [ビジネスユニット] フィールド (MCU) の記述が設定されます。たとえば、この処理オプションをブランクのままにした場合は、「事業所」という記述が MCU フィールドに表示されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 流通 AAI が使用されます。

1: 会計 AAI CD、CT、または CR が使用されます。

**処理**

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

**1. 新規仕入先情報**

住所録の改訂プログラム (P0101) で新規仕入先情報を追加できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: システムは、住所録の改訂プログラムにアクセスしません。

1: 自動的に住所録の改訂プログラム (P0101) にアクセスします。実行中のタスクを停止して仕入先を追加するのではなく、必要に応じて仕入先を追加できます。住所録レコードに対するセキュリティ制限を検討してください。場合によっては、仕入先住所録レコードの入力機能を全てのユーザーに提供しないようにする必要があります。

**2. オーダー テンプレート**

オーダー テンプレートを確認するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 使用可能なオーダー テンプレートを表示しません。

1: 使用可能なオーダー テンプレートを自動的に表示します。この処理オプションで、使用可能なオーダー テンプレートを自動的に表示するように設定して、[オーダー見出し] フォームにアクセスすると、[オーダー明細] フォームの前にオーダー テンプレートが表示されます。先に [オーダー明細] フォームにアクセスした場合は、カーソルを詳細グリッドに初めて移動したときにオーダー テンプレートが表示されます。

### 3. サブシステム印刷

サブシステムを使用して購買オーダーを自動印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: サブシステムによる購買オーダーの印刷は行いません。

1: サブシステムを使用して購買オーダーを自動的に印刷します。サブシステム処理用に指定された購買オーダー印刷プログラム (R43500) のバージョンを投入する必要があることに注意してください。

### 4. 一括リリース

一括リリースを自動的に処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 一括リリースは自動的に処理されません。

1: 全ての事業所に対して、自動的に一括リリースを処理します。仕入先と品目の組み合わせに対して複数の一括オーダーがある場合は、グリッド領域にある行見出しにチェックマークが表示され、一括オーダーの存在カラムに "X" が表示されます。一括オーダーを選択するには、該当するオプションを [ロー] メニューから選択します。

2: 特定の事業所に対して、自動的に一括リリースを処理します。仕入先と品目の組み合わせに対して複数の一括オーダーがある場合は、グリッド領域にある行見出しにチェックマークが表示され、一括オーダーの存在カラムに "X" が表示されます。一括オーダーを選択するには、該当するオプションを [ロー] メニューから選択します。

### 5. 見出し表示

[オーダー明細] フォームの前に [オーダー見出し] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [オーダー明細] フォームを表示します。

1: [オーダー明細] フォームの前に [オーダー見出し] フォームを表示します。

### 6. 契約検索

契約の検索方法を指定します。この処理オプションは、調達管理システムと契約管理システムを併用している場合にのみ適用されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 契約を検索しません。

1: システムに 1 つの契約しか存在しない場合は契約を割り当てます。複数の契約が見つかったら、詳細グリッドにあるロー見出しにはチェックマークが表示され、[契約 複数あり] カラムには "X" が表示されます。契約を選択するには、ロー エグジットを使用する必要があります。

2: 全ての契約を表示します。

3: 最も早い終了日付の契約を検索します。

### 7. 基本オーダーの保護

基本オーダー情報を変更できるかどうかを指定します。基本オーダーは当初の契約またはオーダーです。基本オーダー明細行は、変更オーダー

番号 000 として識別されます。通常は、この処理オプションを使用して、当初のオーダーに対する変更を禁止します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 基本オーダー情報を変更できます。

1: 基本オーダー情報は変更できません。

- 8. プロジェクト/作業の検証** 事業所および勘定科目ビジネスユニットの値が同じである必要があるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 勘定科目ビジネスユニットと見出しビジネスユニットは異なる値にすることができます。

1: 勘定科目ビジネスユニットと見出しビジネスユニット（事業所や作業など）の値は同じです。

**9. 排他調整保留**

上級価格設定を品目に適用し、その品目の調整グループに対する相互排他調整を選択した場合は、この処理オプションを使用してオーダーを保留にします。

**10. ログ エントリの表示**

オーダーまたは契約の追加時に自動的にログを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ログは自動的に表示されません。

1: ログは自動的に表示されます。

## 複写

以下の処理オプションを使用して、オーダーの複写処理に使用されるデフォルト情報を入力します。

**1. 重複オーダー タイプ**

伝票のタイプを入力します。この UDC (00/DT) はトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、入荷確認書、タイム シートの伝票タイプ コードは予約されていて、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。ユーザー定義コード テーブル (00/DT) に設定されている値を入力してください。各伝票タイプに対して、以下のプレフィックスが事前定義されています。これらのプレフィックスは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注オーダー処理伝票

**2. 開始状況コード**

オーダー処理の最初のステップである開始状況を指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を使用します。

**3. 「次の状況」コード (任意)**

オーダー処理の次のステップを指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を使用します。この一時変更用状況は、この処理で実行できるもう 1 つのステップになります。

#### 4. コピー選択

コピーする情報を指定します。見積または購買要求を購買オーダーに生成するときに行添付テキストとオーダー添付テキストをコピーする場合は、この処理オプションを有効にしてください。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 情報をコピーしません。

1: 行テキストだけをコピーします。

2: 行テキストとオーダー テキストをコピーします。

3: オーダー テキストだけをコピーします。

## 相互参照

以下の処理オプションを使用して、相互参照コードを入力します。

#### 1. 代替品目

代替品目を取得するために使用されるデフォルトの相互参照コードを指定します。入力した値は、[Substitute Item Search and Select] フォームのデフォルトとして使用されます。

複数の代替品目が存在する場合は、詳細グリッドにあるロー見出しにはチェックマークが表示され、[代替品目あり] カラムには "X" が表示されます。

#### 2. 旧品目

旧品目に対する置換品目を取得するための相互参照コードを指定します。入力した値は、[Substitute Item Search and Select] フォームのデフォルトとして使用されます。

複数の置換品目が存在する場合は、詳細グリッドにあるロー見出しにはチェックマークが表示され、[置換品目あり] カラムには "X" が表示されます。

#### 3. 販促品

販促品を取得するために使用される相互参照コードを指定します。

## オーダー照会

以下の処理オプションでは、状況および日付情報を入力できます。

#### 1. 開始状況コード

オーダー明細行に対する状況コードの範囲内の最初のコードを指定します。[追加選択] フォームでは、この状況がデフォルトとして使用されます。

#### 2. 終了状況コード

オーダー明細行に対する状況コードの範囲内の最後のコードを指定します。[追加選択] フォームでは、この状況がデフォルトとして使用されます。

#### 3. 前の状況

発注残照会プログラム (P4310) に対して前の状況と次の状況のどちらを使用するのかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 「次の状況」コードが開始状況コードと終了状況コードのデフォルトとして使用されます。

1: 「前の状況」コードが開始状況コードと終了状況コードのデフォルトとして使用されます。

#### 4. 日付

日付が日付範囲内であることを確認するためにチェックされる日付を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 要求日付がチェックされます。

1: トランザクション日付がチェックされます。

- 2: 約束日付がチェックされます。
- 3: 当初納入約束日付がチェックされます。
- 4: 入荷日付がチェックされます。
- 5: 取消日付がチェックされます。
- 6: 元帳日付がチェックされます。

## バージョン

以下の処理オプションを使用して、システムが使用するさまざまなプログラムのバージョンを制御します。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. 需要/供給照会 (P4021)    | 需要/供給照会プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。   |
| 2. 仕入先分析 (P43230)     | 仕入先分析プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。   |
| 3. 仕入先マスター (F04012)   | 仕入先マスター プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 4. 購買オーダーのオン デマンド印刷   | 購買オーダーのオン デマンド印刷プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。フォーム上の該当するロー エグジットにアクセスすると、選択したバージョンを使用してオーダーが印刷されます。 |
| 5. 在庫集計照会 (P41202)    | 在庫集計照会プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 6. 承認の検討 (P43081)     | 承認の検討プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。   |
| 7. 入荷工程 (P43250)      | 入荷工程プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 8. 入荷処理中オーダー (P43214) | 入荷処理中オーダー プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 9. 監査集計の改訂 (P4319)    | 監査集計の改訂プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。   |
| 10. 購買履歴照会 (P43041)   | 購買履歴照会プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 11. 発注残照会 (P4310)     | 発注残照会プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。   |
| 12. 財務状況照会 (P44200)   | 財務状況照会プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 13. インバウンド輸送 (P4915)  | インバウンド輸送プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。  |
| 14. 優先プロファイル (R40400) | [優先情報選択] フォームで有効化された優先情報に基づいてオーダーを処理する場合に使用される優先プロファイル プログラムのバージョンを指定します。                                |
| 15. コンフィギュレータ (P3210) | コンフィギュレータ プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを指定します。  |

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 16. 一括リリース (P43216)      | 一括オーダーのリリース プログラムで使用するバージョンを指定します。             |
| 17. ログ入力 (P4305)         | ログ入力プログラムで使用するバージョンを指定します。                     |
| 18. 購買要求セルフサービス (P43E10) | セルフサービス購買要求プログラムの使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。 |

## 通貨

以下の処理オプションでは、通貨情報を入力できます。

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 許容額   | <p>通貨許容限度パーセントを指定し、F0015 テーブルと比較して通貨金額の変動額が許容パーセントより大きくならないようにします。</p> <p>複数通貨を使用する場合は、このプログラムの通貨別のバージョンを作成します。この処理オプションで指定する金額は通貨固有です。</p>  |
| 2. 通貨コード | <p>仮定金額を表示する場合の通貨コードを指定します。これにより、最初に金額を入力したときの通貨以外の通貨で国内通貨金額と外貨金額を表示できます。</p> <p>ブランクにした場合、初期入力されている通貨で仮定金額が表示されます。</p> <p>仮定通貨建ての金額は一時メモリに保存され、テーブルには書き込まれません。</p>  |
| 3. 基準日   | <p>[仮定通貨コード] 処理オプションの基準日を指定します。この日付を使用して F0015 テーブルから為替レートが取得されます。</p> <p>[通貨コード] 処理オプションで通貨コードを指定し、この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。</p> <p>国内通貨/外貨と仮定通貨との有効な為替レート (基準日時点) が F0015 テーブルに保存されている必要があります。</p> |

## 承認

以下の処理オプションでは、承認処理の情報を入力できます。

- |           |   |
|-----------|---|
| 1. 経路コード  | <p>承認処理に使用するコードを指定します。承認経路コードのほかに、以下の値があります。</p> <p>ブランク: 承認処理は実行されません。</p> <p>1: 入力者の住所をデフォルト値として使用します。</p> <p>2: 入力者のユーザー プロファイルをデフォルト値として使用します。</p> <p>3: 事業所経路コードをデフォルト値として使用します。</p> <p>4: デフォルト事業所経路コードをデフォルト値として使用します。</p> |
| 2. 承認待ち状況 | <p>オーダーが承認経路に入るときにシステムが使用する次の状況を入力します。</p>  |
| 3. 承認済み状況 | <p>オーダーが自動的に承認されるときにシステムが使用する次の状況を入力します。</p>  |



#### 4. 変更行の再承認

承認済みの購買オーダー行に対して特定のタイプの変更が加えられた場合に、承認処理をアクティブ化するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 承認処理はアクティブ化されません。

1: 購買オーダー行のフィールドが変更されると、承認処理がアクティブ化されます。

2: 承認フィールド固定情報プログラム (P43080) でアクティブ化される特定の必須フィールドが変更された場合にのみ、承認処理がアクティブ化されます。

3: 標準必須フィールドが変更された場合にのみ承認処理がアクティブ化されます。

#### 5. 承認保留コード

承認処理でオーダーを保留する際にシステムで使用する保留コードを指定します。この処理オプションをblankにすると、オーダーは保留されません。

### 予算作成

以下の処理オプションでは、予算情報を入力できます。

#### 1. 予算保留コード

予算保留のためにシステムで使用する保留コードを指定します。保留コードを入力すると、予算チェック処理がアクティブ化されます。予算チェックでは、明細行が勘定科目の予算を超過しているとオーダー全体が保留になります。

#### 2. 予算元帳タイプ

予算が含まれている元帳タイプを指定します。

予算元帳タイプを指定した場合は、その予算元帳タイプだけが取得されます。この処理オプションをblankのままにした場合は、元帳タイプ マスターの設定プログラム (P0025) で指定されて F0025 テーブルに入っている全ての予算元帳タイプが取得されます。

#### 3. 詳細レベル

予算チェック処理時に使用する詳細レベルの値 (3 ~ 9) を指定します。この処理オプションをblankにすると、デフォルトの値 9 が使用されます。

この処理オプションは、詳細レベル累計の処理オプションと共に使用できます。

#### 4. 予算合計方法

予算の計算方法を指定します。この処理オプションをblankにすると、作業原価予算計算方法が使用されます。有効値は以下のとおりです。

blank: 作業原価予算計算方法が使用されます。

1: 以下の作業原価予算計算方法が使用されます。

当初予算 + 現行年度の期間金額 + 前年度の転記額

2: 以下の標準財務予算計算方法が使用されます。

現行年度の期間金額の合計

3: 以下の標準財務配賦計算方法が使用されます。

当初予算 + 現行年度の期間金額

#### 5. 期間累計方法

予算の累計時に使用する期間を指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 合計年次予算を使用して予算を累計します。

- 1: 現行期間で予算を累計します。
6. 許容パーセント  
オーダーが予算保留になる前に明細行金額が予算を超過できるパーセントを指定します。
7. 保留警告  
予算を超過している明細行金額について警告メッセージを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 警告は表示されませんが、オーダーは保留になります。  
1: 警告が表示され、オーダーは保留になります。  
2: 警告は表示されますが、オーダーは保留になりません。
8. 予算累計の詳細レベル  
[予算] タブにある詳細レベル処理オプションの値を使用して予算金額を累計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 詳細レベル処理オプションの値が使用されます。  
1: 購買オーダー明細行に対して指定された詳細レベルから詳細レベル処理オプションの値までの予算金額が累計されます。
9. 補助元帳/タイプの除外  
予算情報の検証時に補助元帳および補助元帳タイプを除外するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 補助元帳と補助元帳タイプは含まれます。  
1: 補助元帳と補助元帳タイプは除外されます。明細行勘定科目に対する全ての補助元帳について予算の合計が計算され、その行が予算を超過していないかどうか判断されます。
10. 作業原価勘定科目の順序  
予算作成に使用する作業原価勘定科目の順序を指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 標準の勘定科目順序が使用されます (たとえば、ビジネスユニット、主科目、および補助科目)。  
1: 作業原価順序が使用されます (たとえば、作業、原価コード、および原価タイプ)。
11. 税額  
課税対象行の税額を予算計算に含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 税額を含めません。  
1: 税額を含めます。

## インタオペラビリティ

以下の処理オプションでは、インタオペラビリティ情報を入力できます。

1. 変更前/後トランザクション処理  
トランザクションの変更前にそのトランザクションのレコードを取り込むかどうか、またはトランザクションの変更前および変更後にそのトランザクションのレコードを取り込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: トランザクションの変更後にそのトランザクションのレコードを取り込みます。  
1: 2 つのレコードを取り込みます。1 つは変更前のトランザクションのレコード、もう 1 つは変更後のトランザクションのレコードです。
2. 購買オーダー取引タイプ  
エクスポート取引の取引タイプを入力します。

このフィールドを空白にすると、エクスポート処理は実行されません。

### 3. 作業オーダー変更前/後 トランザクション

作業オーダー見出しの変更前トランザクションを書き込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 変更前トランザクションを含めません。

1: 変更前トランザクションを含めます。

### 4. 作業オーダー取引タイプ

エクスポート取引の処理時に使用する作業オーダー見出しのデフォルト取引タイプを指定します。このフィールドを空白にすると、エクスポート処理は実行されません。

## オーダー改訂

以下の処理オプションでは、オーダーへの改訂を制御できます。

### 1. 改訂のトラッキング

オーダーの改訂をシステムで許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: オーダー改訂のトラッキングは実行されません。

1: 既存のオーダーに対する改訂だけを許可します。

2: 既存のオーダーに対する改訂と、オーダーへの新規行の追加を許可します。

### 2. 次の状況

オーダー改訂監査情報のトラッキングが開始される「次の状況」コードを指定します。明細行の状況が、この処理オプションで入力した状況コードに先行している場合、その明細行に改訂は記録されません。

改訂情報は、F43199 テーブルに保存されます。このテーブルには、オーダー改訂照会プログラム (P4319) を通じてアクセスできます。

### 3. テキスト入力

改訂の入力時にテキストの入力を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: ユーザーは改訂の入力時にテキストを入力できません。

1: ユーザーは改訂の入力時に自動的にテキストを入力できます。

オーダーが受け入れられると、テキスト入力ウィンドウが表示されます。

## セルフサービス

この処理オプションでは、セルフサービス機能を有効にするかどうかを指定できます。

### 1. 仕入先セルフサービス

Java/HTML 環境で使用するサプライヤ セルフサービスを有効にするかどうかを指定します。この機能により、仕入先はオーダーをオンラインで表示できます。有効値は以下のとおりです。

空白: サプライヤ セルフサービスを有効にしません。

1: サプライヤ セルフサービスを有効にします。

## マトリックス

この処理オプションでは、[マトリックス・オーダー] フォームの表示を指定できます。

## 1. マトリックス オーダー フォームの表示 (親在庫)

マトリックス親品目を処理しているときに [マトリックス・オーダー] フォームを表示するかどうかを指定します。オーダー詳細のマトリックス親品目を入力するときに [マトリックス・オーダー] フォームが表示されていない場合、その親品目はマトリックス親品目ではなく在庫品目として扱われます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [マトリックス・オーダー] フォームが表示されます。

1: [マトリックス・オーダー] フォームは表示されません。

## ワークフロー

以下の処理オプションでは、システムによるワークフロー情報の処理方法を指定できます。

### 1. 価格変更の通知

オーダーの単位原価/総額が変わったときに自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールを送信しません。

1: 購買オーダー入力者に電子メールを送信します。

2: プロジェクト管理者 (MPM のみ) に電子メールを送信します。

3: 購買担当者に電子メールを送信します。

4: 購買オーダー入力者、プロジェクト管理者 (MPM のみ)、および購買担当者に電子メールを送信します。

### 2. 計画配送日付変更 の通知

オーダーの約束納入日付が変わったときに自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールを送信しません。

1: 購買オーダー入力者に電子メールを送信します。

2: プロジェクト管理者 (MPM のみ) に電子メールを送信します。

3: 購買担当者に電子メールを送信します。

4: 購買オーダー入力者、プロジェクト管理者 (MPM のみ)、および購買担当者に電子メールを送信します。

### 3. 数量変更の通知

オーダーの数量が変わったときに自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールを送信しません。

1: 購買オーダー入力者に電子メールを送信します。

2: プロジェクト管理者 (MPM のみ) に電子メールを送信します。

3: 購買担当者に電子メールを送信します。

4: 購買オーダー入力者、プロジェクト管理者 (MPM のみ)、および購買担当者に電子メールを送信します。

### 4. オーダー保留の通知

オーダーが保留になったときに自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールを送信しません。

1: 購買オーダー入力者に電子メールを送信します。

2: プロジェクト管理者 (MPM のみ) に電子メールを送信します。

- 3: 購買担当者に電子メールを送信します。
- 4: 購買オーダー入力者、プロジェクト管理者 (MPM のみ)、および購買担当者に電子メールを送信します。

## 転送オーダー

以下の処理オプションを使用して、転送オーダーの処理方法を指定します。

- |  |  |
|--|--|
| <b>1. 転送オーダー入力時に、受け取り事業所に事業所品目レコードが存在しなければ作成する</b> | 事業所品目レコードが受け取り事業所に存在しない場合に事業所品目レコードを作成するかどうかを指定します。  |
| <b>2. プロジェクト転送オーダーの行タイプ</b>                        | 受注転送オーダーから作成された購買オーダーに使用する行タイプを指定します。行タイプ固定情報プログラム (P40205) にアクセスして、C の在庫インターフェイスで行タイプが定義されていることを確認してください。行タイプに C の在庫インターフェイスがある場合は、製造管理 - 受注設計生産 (エンジニアリング プロジェクト管理) システムに関連付けられている購買オーダーに対して会計のコミットメントが実行されます。 |

---

## オーダー見出し情報の入力

このセクションでは、オーダー見出し情報入力の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- オーダー見出し情報の入力
- 追加のオーダー見出し情報の入力

### オーダー見出し情報の入力について

オーダーを生成するためには、オーダーを充当する仕入先、オーダーを要求している事業所、出荷先住所などの情報を提供する必要があります。これをオーダー見出し情報といいます。

この見出し情報により、オーダーの処理方法が確定されます。たとえば、以下のようになります。

- 仕入先情報により、オーダーの送付先住所、オーダーに対する支払期間などが確定される
- 発注元情報により、オーダーを出したビジネスユニットおよび商品とサービスの納入先住所が確定される
- 税情報により、オーダーに対する税計算方法が確定される

見出し情報には、オーダー日付、支払期日、およびオーダー入力した従業員などの参照情報も含まれます。

[購買オーダー入力] の処理オプションを使用して、明細フォームの前に見出しフォームを表示できます。処理オプションの設定に応じて、特定のフィールドが見出しフォームに表示されます。見出し情報を入力しない場合は、ある程度の見出し情報を明細フォームに入力する必要があります。入力する仕入先および事業所に基いて、見出しフォームのフィールドにデフォルト値が入力されます。

### 外貨建てオーダーの見出し情報

海外仕入先から商品またはサービスを購入する場合、カナダドルや円、ユーロなど、異なる通貨でオーダー金額を入力することがあります。これを実行する前に、システムに次の情報を入力してください。

- 仕入先の外貨使用の有無
- 仕入先が使用する通貨のタイプ

仕入先に対して設定したデフォルト通貨があれば、その通貨が [オーダー見出し] フォームの [通貨] フィールドに入力されます。この値は仕入先マスターからのデフォルトです。

- 自社の基本通貨
- 通貨の為替レート

この情報は多通貨システムから表示されます。

## 仕入先情報

支払条件、貨物取扱、請求方法などに関して各仕入先とそれぞれ個別の取り決めを行うことがあります。購買オーダーの見出し情報を入力する際に、オーダーの仕入先、およびその仕入先との間で合意が成立している特定の購買契約を指定する必要があります。

購買指示を設定して、各仕入先との購買契約を指定できます。購買オーダーに仕入先を入力すると、その仕入先に対する指示が検索されます。また、特定の購買オーダーに合わせて指示を修正することもできます。

オーダーの仕入先を入力するには、その仕入先が住所録システムに存在している必要があります。住所録システムに存在しない場合は、購買オーダーの見出し情報を入力する際に住所録に入力できます。仕入先情報がまだ存在しない場合、仕入先に対してマスター情報を入力することもできます。

仕入先に購買指示を設定した場合、オーダーに対して入力する仕入先に基づいて [オーダー見出し] フォームのいくつかのフィールドにデフォルト値が入力されます。また、[仕入先マスターの処理] フォームには、[オーダー見出し] フォームの [フォーム] メニューから [仕入先マスター] を選択するとアクセスできます。

[オーダー住所情報] フォームにアクセスすると、仕入先の仮住所を入力できます。

## 特定の事業所の情報

自社における特定の事業所、ビジネスユニット、プロジェクト、作業に対してオーダーを生成します。ほとんどの場合、商品はオーダーの発注元と同じ事業所に出荷されますが、場合によっては商品を他の場所に出荷することもあります。

オーダーを入力する際は、事業所、ビジネスユニット、プロジェクト、作業を指定する必要があります。事業所を入力すると、出荷先住所が住所録に存在する場合には、出荷先住所が事業所固定情報から取り込まれます。オーダーを入力した事業所とは異なる出荷先に出荷する場合は、出荷先住所番号を一時変更します。

## 配送指示と出荷指示

また、オーダーの配送に対する指示を入力できます。たとえば、商品を倉庫の特定ドックに配送するように指定できます。仕入先マスター(F0401) で出荷先住所に設定したデフォルトの配送指示を取り込むように設定できます。

オーダーを入力するときに、仕入先に対して納入日を指定することがあります。仕入先が要求した日付までに納品することができない場合、仕入先が約束した納入の日付を指定できます。さらに、オーダーする日付およびオーダーが失効する日付も指定することもできます。

受注管理システムで直送オーダーを作成すると、対応する直送購買オーダーが自動的に作成されます。直送購買オーダーに対して仕入先が約束した納入日を変更する場合、対応する受注オーダーの納期が自動的に変更されます。

## オーダーの税

ほとんどのビジネス環境で、購買品目に対して税金を支払うことが要求されます。オーダーに入力した税情報に基づいて、購買オーダーに対する税額を計算できます。

仕入先に対して設定したマスター情報に基づき、税フィールドにデフォルト値が入力されます。購買オーダー プログラム (P4310) の処理オプションを使用して、出荷先住所に対して設定したマスター情報から税率/税域用にデフォルト値を取り込むように指定できます。

Vertex Sales Tax Q Series システムを JD Edwards EnterpriseOne ソフトウェアと連携させて使用している場合、オーダーに適用させる税率を確定する際にデフォルトの地理コードが取り込まれます。

オーダーに複数の品目がある場合は、税情報を各品目またはサービスに対応するように変更できます。明細行が課税対象であると指定した場合にのみ、その品目またはサービスに対して税が適用されます。

## 承認処理

調達サイクルに従って処理を進める際にオーダーの承認が必要な場合には承認処理を使用しますが、この処理を使用するには、[購買オーダー入力] の処理オプションの [承認] を設定します。承認処理を使用する場合、承認経路の名称が見出しフォームに表示されます。オーダー入力後に承認経路の名称を変更することはできないため、処理オプションの設定時にその経路名称が正しいことを確認してください。

## 上級価格設定情報

また、[追加情報] フォームで調整スケジュールを入力して、上級価格設定情報を設定できます。このフォームには [仕入先マスターの改訂] からアクセスできます。この情報を設定する前に、価格設定固定情報がアクティブになっていることを確認してください。

## 追加のオーダー見出し情報

オーダーに対して情報を追加する場合があります。たとえば、次の情報を組み込むことができます。

- オーダーの担当者
- オーダーの購買品目およびサービスの調達を担当する購買担当者
- オーダーの配送を請け負っている会社
- オーダーの確認番号、伝票番号、作業番号
- その他の注記

見出し情報を入力するときにオーダー用の参照情報を入力できます。参照情報はおもに、情報提供の目的に使用します。

オーダーに印刷するために、その他の注記を添付できます。

## 関連項目:

第 7 章、「仕入先情報の設定」、「仕入先および品目情報の設定について」、67ページ

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「明細行の税情報入力」、120ページ

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードの追加」

## 事前設定

[処理] タブの適切な処理オプションを設定して、住所録にアクセスできるようにしてください。

## オーダー見出し情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダーの入力]	既存のオーダー見出し情報を確認します。
[オーダー見出し]	W4310B	[オーダー見出しの処理] フォームで、[追加] をクリックします。  または、[オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択して、[選択] ボタンをクリックします。	税金、メッセージ、オーダー日付、その他の仕入先/オーダー情報を入力します。  <b>注:</b> [オーダー見出し] フォームは、購買オーダー入力プログラムの [処理] タブにある [見出し表示] 処理オプションを設定して見出しフォームを最初に表示するようにした場合にのみ表示されます。
[オーダー見出し - 追加情報]	W4310H	[オーダー見出し] フォームの [フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。	オーダーの追加情報 (運賃および陸揚費用規則や配送情報など) を入力します。
[オーダー住所情報]	W4006B	[オーダー見出し] フォームの [フォーム] メニューから [オーダー住所] を選択します。	このオーダーだけに適用する仕入先の仮住所を入力します。また、出荷先の仮住所の変更も入力できます。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー見出し] フォームで [OK] をクリックします。	オーダー明細を表示します。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	該当なし	[オーダー見出し] フォームの [フォーム] メニューから [添付] を選択します。	オーダーの参照情報を入力します。

## オーダー見出し情報の入力

[オーダー見出し] フォームにアクセスします。

[オーダーNo.] / [オーダー・タイプ]

[オーダー見出し] フォームで [OK] をクリックすると、システム 43 の購買オーダーに対して設定した自動採番方法のオーダー番号が表示されます。オーダー番号は手入力することもできます。

[オーダー・タイプ] 処理オプションでデフォルト値として設定したオーダータイプが表示されます。

[オーダー日付]

変更可能な現行日付を表示します。この日付によって、在庫価格設定に使用される有効レベルが決まります。

[要求日付]

品目の到着予定日付、または作業の完了予定日付を入力します。

[約束納入日付]

購買オーダーの約束出荷日付を入力します。需要/供給プログラムでは、この日付を使用して約束可能数量が計算されます。この日付は、品目を倉庫から出荷できる日を表します。



[取消日付]	商品が仕入先から入荷されない場合にオーダーを取り消す日付を入力します。これはメモ専用のフィールドであり、このフィールドによって何らかの自動処理が実行されることはありません。
[印刷メッセージ]	印刷メッセージ (40/PM) UDC の値を入力して、オーダーに印刷するメッセージを識別します。
[税目コード]	税目コード (00/TX) UDC の値を入力して、税額と総勘定元帳の配賦金額の計算方法を識別します。この税目コードと税率/税域、税規則を組合わせて税計算の方法が決まります。支払項目ごとに異なる税目コードを指定することができます。
[税率/税域]	税率と納税先が共通している税域または地域を識別する税域テーブル (F4008) の値を入力します。請求書または伝票を作成すると、税目コードおよび税規則と共に税率/税域を使用して、税額と総勘定元帳の配賦金額が計算されます。
[免税証明]	免税対象の個人または法人に対して課税当局が発行され、免税状況を識別する番号を入力します。
[支払条件]	請求書が割引期日内に支払われた場合に適用される割引率など、支払条件を指定する値を入力します。
[保留コード]	保留コード (42/HC) UDC の値を入力して、オーダーが保留されている理由を識別します。
[留保率]	契約に適用する留保（一部の国では支払留保とも呼ばれる）の比率を入力します。この比率は各支払のパーセントです。これは、小数として表されます。たとえば、10 パーセントの留保率は 10 と表されます。99.9% (.999) より大きい留保率やゼロより小さい留保率は使用できません。

## 追加のオーダー見出し情報の入力

[オーダー見出し - 追加情報] フォームにアクセスします。

[価格設定グループ]	この顧客または仕入先に関連付けられている価格設定グループを識別する顧客価格グループ (40/PC) UDC にある値を入力します。
[貨物取扱コード]	貨物/運賃取扱コード (42/FR) UDC にある値を入力します。これにより、いつ商品の責任を負い、それに応じて運賃が適用されるのかが識別されます。
[費用規則]	品目の陸揚費用規則を示す陸揚費用規則 (41/P5) UDC にある値を入力します。  陸揚費用規則により、業者手数料やコミッションなどの品目の実際の価格を超える購買価格が決まります。陸揚費用規則は、[陸揚費用の改訂] フォームで設定します。
[送付方法]	仕入先に伝票を送付する場合に使用する方法を示す送付方法 (00/SM) UDC にある値を入力します。このフィールドに関連付けられている自動処理はありません。代わりに、コードを特定の手順のデータ選択基準として使用できます。
[入荷基準決済]	オーダーが評価済み入荷決済に適しているかどうかを示す入荷評価 (40/ER) UDC にある値を入力します。評価済み入荷決済は、受け取った品目に基づいて伝票を作成するための仕入先との契約があることを表します。入

	荷レコードから伝票を作成するには、入荷決済の評価 (R43800) プログラムを使用します。その結果として、仕入先は請求書を送付しないため、伝票突合せ処理は省略できます。
<b>[仕入先受注オーダー]</b>	相互参照番号または 2 次参照番号として使用する英数値を入力します。通常は、顧客番号、仕入先番号、または作業番号を入力します。
<b>[配送指示 1]</b>	このオーダーの配送指示を表すテキストを入力します。この情報を設定した場合、この情報は出荷先住所の購買指示から取得されます。
<b>[調整スケジュール]</b>	価格および調整スケジュールを識別する調整スケジュール (40/AS) UDC にある値を入力します。価格調整スケジュールには、顧客または品目に該当する調整タイプが含まれます。スケジュールで指定された順序に従って調整されます。顧客請求指示を通じて、顧客と価格調整スケジュールを連結します。受注オーダーを入力すると、販売先住所に添付されたスケジュールがオーダー見出しにコピーされます。このスケジュールは、明細行レベルで一時変更することができます。

## オーダー明細情報の入力

このセクションでは、オーダー明細情報入力の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 品目番号別明細行の入力
- 勘定科目コード別明細行の入力
- 複数の勘定配賦の入力
- 明細行の税情報入力
- 明細行の値引条件入力
- 明細行のレポートコード入力
- 変更オーダーの入力
- 代替品目または置換品目の入力
- キットオーダーの入力
- 変更オーダーのコピー

## オーダー明細情報の入力について

オーダーを充当する仕入先やオーダーを要求する事業所など、オーダーの見出し情報を入力したら、調達する各品目またはサービスに関する情報を [オーダー明細] フォームに入力します。各品目またはサービスに関し、次の情報を明細行に入力してください。

- 調達する品目またはサービス
- 調達する数量
- 品目またはサービスの原価

会社の業務目的に合わせて、次のオーダー明細行の入力方法を使用できます。

- 品目番号別
- 総勘定元帳の勘定科目コード別

小売り、内部使用、製造目的で品目を保管する在庫作業を実行する場合、品目番号別に明細行を入力する必要があります。内部用に、あるいは特定の作業やプロジェクトのために商品やサービスを購入する場合、勘定科目コード別、品目番号別、あるいは両方で明細行に入力できます。

在庫品目の場合は、在庫管理システムで設定した品目番号を入力して購入します。明細行に品目番号を入力した後、システムは次の処理を実行します。

- 在庫管理システムに品目が存在することを確認する
- 在庫管理システムからの品目に対する情報を取り込む

明細行のデフォルト値は、オーダーの見出し情報に基づいて自動入力されます。各品目の仕入原価、名称、計量単位などの情報は自動的に明細行に表示されます。購買目的に合った情報をもとに、各明細行に対する情報を追加および変更できます。たとえば、在庫用に品目を購入する場合、品目の計量単位を指定する必要があります。また、入荷時に品目を保管する保管場所や品目の重量、容量、ロット、製造情報の指定も可能です。資産 ID と陸揚費用規則を指定できます。各明細行には注記や説明テキストを添付できます。

仕入先が提供する品目用にインターネットのホームページを開いている場合、オーダー明細情報を入力する前に、仕入先の情報を電子カタログでプレビューできます。[オーダー明細] からフォーム・エグジットを選択して、仕入先情報をプレビューします。

各明細行に税情報を入力して、購入する商品やサービスにかかる税額を計算できます。仕入先がオーダーに値引を適用する場合、値引条件を入力できます。明細行にレポートコードを割り当てることにより、レポート用に品目をグループ化できます。

仕入先が自社の基本通貨とは別の通貨を使用する場合、外貨で原価を入力してください。

明細行の既存品目を、代替品目または置換品目に置き換えることができます。たとえば、明細行に入力した品目が仕入先で品切れの場合、代替品目のリストを検討して代替りの品目を選択できます。

既存のオーダーについては、[オーダー明細] フォームを使用して、品目や勘定科目コード、オーダー数量、価格、合計容量および重量、税合計、合計金額などオーダー集計情報を検討します。

購入の必要がなくなった品目またはサービスが明細行に含まれる場合は、明細行の取消しが必要になります。行を取り消すと「前の状況」には 980 (オーダー入力の取消し)、「次の状況」には 999 が割り当てられ、購買処理は完了したことになり行が締められます。オーダーの検討時に締切済み行を表示する場合は、[購買オーダー入力] の処理オプションでそのように設定できます。終了行を削除する場合、除去を実行してください。

ソフトウェアの出荷時には、システムは数多くのグリッド フォーマットを備えています。多くの対話型バージョンでは、Web パフォーマンスを節約するために一部のグリッド カラムが非表示になっています。バージョンと対話していて、特定のグリッド カラムが非表示になっている場合は、[すべてのカラムを表示] のグリッド オプションを選択します。

受注管理システムで直送オーダーを作成すると、対応する直送購買オーダーが自動的に作成されます。直送購買オーダーの原価を変更した場合、対応する受注オーダーの原価も自動的に変更されます。

購買オーダーのすべての明細行を入力すると、オーダー値が購買指示の仕入先に対して特定した最大オーダー値を上回る場合、または最小オーダー値を下回る場合には、警告メッセージが表示されます。

各明細行の処理方法を確定します。たとえば、入荷時に在庫管理システムの品目引当可能数量を更新するようにシステムに指示できます。また、行タイプ (Y、B、D など) を明細行に割り当てて調達管理と在庫管理システムがインターフェイスをとるように指示していれば、発注する品目の単位原価を自動的に読み込ませることも可能です。行タイプは、そのトランザクションが他の JD Edwards のシステムとどのように連動するかを明細行ごとに指示します。

非在庫環境では、特定の作業あるいはプロジェクトで使用する品目を頻繁に購入する場合があります。また、在庫環境においても、事務用品などの在庫管理を行わない品目を購入することがあります。いずれの場合も、行タイプを N または B に指定してトランザクションが在庫管理システムに影響しないように指示すると、品目番号を入力して非在庫品目を購入できます。

入力する明細行情報が他のシステムに影響するもう一つの例として、総勘定元帳情報があります。明細行に入力した元帳クラスコードにより、仕訳が作成される対象になる棚卸資産勘定および入荷請求仮勘定が確定されます。これらの仕訳は、入荷を入力した時点で作成されます。

## 勘定科目コード別の明細行

内部使用、あるいは特定の作業やプロジェクト用にサービスや商品を購入するような環境では、購買費用を総勘定元帳の勘定科目コードに計上します。購買を計上する各勘定科目に対して明細行を入力します。これにより、作業やプロジェクト別に元帳に費用を反映させられます。

勘定科目コード別に明細行を入力すると、コミットメントおよび予算のトラッキングを実行できます。たとえば、事務用品を表す特定の勘定科目コードがあります。勘定科目コードに対して商品の購買を計上する際には常に、次の処理を実行できます。

- 購買コミット済み事務用品の金額および数量のトラッキング
- 事務用品の原価が事務用品の予算を超過していないことの検証

各明細行の処理方法を確定します。たとえば、勘定科目コードと品目番号の両方を基に行を処理するようにシステムに設定できます。行タイプは、そのトランザクションが他の JD Edwards のシステムとどのように連動するかを明細行ごとに指示します。

勘定科目コードを基に入力する場合、在庫インターフェイスを A または B にしてください。

明細行に総額を入力する場合は、在庫インターフェイスに A または N を入力してください。

入力する明細行情報が他のシステムに影響する最後の例には、総勘定元帳情報が挙げられます。明細行に入力する元帳クラスコードを基に、総勘定元帳の購買経費がトラッキングされます。この元帳クラスコードにより、公式な入荷情報を入力する場合に与信が適用される入荷請求仮勘定が確定されます。

## 複数勘定配賦

A または B の在庫インターフェイスがあるオーダー明細行を入力する場合、勘定配賦の入力プログラム (P4316) を使用して、パーセント別、金額別、または数量別に複数の勘定科目間で配賦できます。調達管理機能は、以下の複数勘定配賦と組み合わせて使用できます。

- 引当
- 承認プロセス
- 予算作成
- 税 (F4311 テーブル レベルで割り当てられる)
- オーダー改訂
- 監査履歴

この機能を複数勘定配賦と組み合わせて操作すると、F4316 テーブル レベルで情報が処理されます (複数勘定配賦を使用しない場合は、F4311 レベルで情報が処理されます)。

購買オーダー明細行の数量または金額を変更し、複数勘定配賦機能を使用している場合は、勘定配賦の入力プログラム (P4316) で自動的に数量または金額が再配賦され、コミットメントが更新されます。

複数勘定配賦が含まれている購買オーダーをコピーした場合は、新しい購買オーダーでも複数勘定配賦が維持されます。

F4311 テーブルの複数配賦が含まれている明細行にアクセスすると、F4311 テーブル レベルで \*\*\*勘定配賦\*\*\* として勘定科目コードが表示されます。

## 出荷情報

輸送管理システムを使用している場合、処理オプションを設定すると UDC テーブル (49/SD) で定義したオーダー タイプと行タイプの組合せに基づいて、品目の出荷が自動作成されます。ここで言う出荷は、事業所から顧客へ商品を配送する要求を指します。オーダーの入力時に運送業者と輸送モードを入力しない場合は、次のいずれかのデフォルト運送業者と輸送情報が取り込まれます。

- 事業所品目情報
- 顧客マスター情報
- 「在庫引当」優先情報

輸送管理システムで配送経路オプションを検討するときに、運送業者と輸送モードも検討および改訂できます。前述のマスター テーブルまたはオーダー入力時のどちらにも運送業者を指定しない場合には、「運送業者」優先情報に基づいて運送業者と輸送モードの値が自動入力されます。

## 明細行の税情報

明細行に特定の税情報を入力できます。この税情報は、明細行の品目あるいはサービスに税が適用されるかどうか、および税がシステム上でどのように計算されるかを確定します。

オーダーに対して入力した税情報に基づいて、各明細行のデフォルト税情報が取り込まれます。明細行の税情報がオーダーの他の部分の情報と異なる場合は、その明細行に対応するように税情報を変更できます。

Vertex Sales Tax Q Series システムを JD Edwards ソフトウェアと連携させて使用している場合、オーダーに適用させる税率を確定する際にデフォルトの地理コードが取り込まれます。

参照: 第 3 章、「Vertex Sales Tax Q Series について」、「Vertex Sales Tax Q Series システムの互換性」、19 ページ

## 明細行の値引条件

明細行に値引条件を入力することにより、仕入れる品目の値引額を計算できます。たとえば、仕入先が特定の品目について 10 パーセント値引すると仮定します。

このとき、明細行に特定の値引係数を入力できます。品目の原価は、値引係数に基づいて明細行に入力されます。たとえば、品目の値引率を 10% と指定するには、値引係数は 90 と入力します。品目の単位原価が通常 10.00 の場合、単位原価は 9.00 と入力されます。

また、価格規則に基づいて品目に対する値引を指定することもできます。品目の単位原価に対し、価格規則で設定した値引に基づいて値引が適用されます。次のような場合、デフォルトの価格規則が取り込まれます。

- 品目の事業所情報に価格規則を添付した場合
- 品目を購入する仕入先（または仕入先の価格グループ）に価格規則を添付した場合

## 明細行のレポートコード

類似した特徴を持つ明細行をグループ化し、グループを指定してレポートを生成する場合があります。たとえば、電気工事品目用の明細行をグループ化して、電気工事品目の発注残レポートを作成できます。明細行をグループ化するには、各行にレポートコードを割り当てます。レポートコードは、[品目/事業所情報] フォームで品目の分類コードに関連付けられたデフォルトのコードです。

レポートコードのうち 5 つのカテゴリを購買用に使用できます。それぞれのカテゴリは特定のコードグループを示します。たとえば、商品用のカテゴリがあるとします。このカテゴリ内に異なるコードがあり、それぞれがアルミニウムまたは銅など、商品の特定タイプを表します。

## 変更オーダー

変更オーダーを作成すると、入力したコミットメントの詳細を変更できます。変更オーダーによりコミットメントの情報が更新され、そのオーダーの変更レコードが作成されます。たとえば、オーダーのコミット済み金額を 100 だけ増加するには、その 100 に対して変更オーダーを入力します。

[購買オーダー入力] の処理オプションの [表示] および [処理] タブで、行品目別に当初のコミットメント情報を変更できるかどうか、または変更オーダーを入力する必要があるかどうかを指定できます。

変更履歴はシステムにより管理されます。変更オーダー情報を入力した後、契約の各行品目に対して記述テキストを入力できます。

注:調達管理システムと上級価格設定システムを併用している場合でも、変更オーダーの価格設定に調整スケジュールは使用されません。

## 代替品目または置換品目

ある品目のオーダーを入力したが、仕入先にそのオーダーを充当するだけの数量がない場合、代替品目のリストを検討して、明細行の品目と置き換える品目を選択できます。明細行の品目が旧品目であることが通知された場合には、その品目に対する置換品目を選択できます。

表示される代替品目または置換品目は、購買オーダー入力プログラムおよび購買オーダー ワークベンチプログラムの処理オプションで指定する、在庫管理システムとの相互参照タイプを基準にしています。

明細行を入力した後で代替品目または置換品目を検討するかどうかを指定できます。明細行の品目番号、品目記述、および原価を、代替品目または置換品目のものに自動更新させることもできます。

## キット オーダー

キット品目は親品目と関連する構成部品で構成されています。キットは、組合せになっている製品を販売する際に役に立ちます。たとえば、ステレオシステムを販売する場合、ステレオという親名でキットを設定できます。ステレオキットには、スピーカーや CD プレーヤーなど、通常はセットで販売する構成部品が含まれます。ステレオキットの品目番号は、購買オーダーに入力する際には使用できますが、ステレオは在庫品目としては保管されません。

品目番号を入力する際に、事前に選択したキットの構成部品とその数量を検討できます。また、この際に購買オーダーに含めるオプション品目を選択することも可能です。

キットの数量情報を変更する場合は、対応する原価情報は手作業で調整してください。構成部品行を取り消す場合は、各行を別々に取り消す必要があります。

## 事前設定

オーダー明細情報を入力する前に、以下の作業を行ってください。

- [購買オーダー入力] の処理オプションを使用して、各明細行に現行の状況コードおよび「次の状況」コードが入力されるように設定します。これらのコードにより、購買処理における明細行の次の処理が確定されます。
- [購買オーダー入力] の処理オプションを使用して、見出し情報への変更により明細行が更新する方法を設定します。見出し情報を自動更新するように処理オプションを設定しない場合、[オーダー見出し] フォームで手入力で更新する必要があります。[フォーム] メニューで [見出しから明細へ] - [定義] を選び、更新するフィールドを指定して、[見出しから明細へ] - [自動入力] を選択してください。

- キット オーダーを入力する前に、購買オーダー プログラム (P4310) で、キット構成品行を表示する処理オプションが正しく設定されているか確認してください。また、キット品目が設定されていることも確認します。

## オーダー明細情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー明細]	W4310A	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダーの入力]  [オーダー見出しの処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。  または、[オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー] メニューから [明細の改訂] を選択します。	オーダー明細情報を入力します。
オーダー明細 (ページ 1)	W4310F	[オーダー明細] フォームの [ロー] メニューから [追加情報 1] を選択します。	オーダー明細情報を入力します。
オーダー明細 (ページ 2)	W4310E	[オーダー明細] フォームの [ロー] メニューから [追加情報 2] を選択します。	オーダー明細情報を入力します。
[勘定配賦の入力]	W4316A	[オーダー明細] フォームでオーダー明細行を選択してから、[オーダー明細] フォームの [ロー] メニューから [勘定配賦] を選択します。	パーセント別、数量別、または金額別に複数の勘定科目間で配賦します。  <b>注:</b> 勘定配賦情報を入力するときには、方法 (パーセント、数量、または金額) を選択できます。ただし、オーダー明細行を変更した場合は、複数の勘定科目間で配賦したときの当初の方法を変更することはできません。
[代替品目]	W41043C	[オーダー明細] フォームの [ロー] メニューから [代替品目] または [旧品目] を選択します。	代替品目または置換品目を入力します。
[キット選択]	W41351A	[オーダー明細] フォームの [ロー] メニューから [キット品] を選択します。	キットオーダーを入力します。

## 品目番号別明細行の入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

**オーダー明細** i ?

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

**オーダー明細** **行デフォルト**

オーダーNo.	<input type="text"/>		事業所	<input type="text"/>
仕入先No.	<input type="text" value="1163451"/>	*	オーダー改訂	<input type="text"/>
出荷先	<input type="text" value="1163451"/>	*	オーダー日付	<input type="text" value="2006/01/11"/>
保留コード	<input type="text"/>	ブランク - 保留コード 42/HC	オーダー添付	<input type="text"/>
留保率	<input type="text"/>			
通貨	<input type="text"/>	為替レート	<input type="text"/>	基本通貨 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 外貨

**レコード 1-1** グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名4

品目 No.	オーダー数量	レコード計量単位	2次計量単位 オーダー数量	2次計量単位	単価	原価小計
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

[オーダー明細] フォーム

## [レコード計量単位]

表示される在庫品目の数量単位を示す UDC 00/UM の値を入力します。レコード計量単位の例としては、CS (ケース) や BX (箱) があります。

## [原価小計]

数量に単価を掛けた値を表示します。

## [行タイプ]

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムを制御します。また、行タイプでは、行をレポートに印刷する場合や、行を計算に組み込む場合の条件も指定されます。有効値は以下のとおりです。

S: 在庫品目

J: 作業原価

N: 非在庫品

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

W: 作業オーダー

## [元帳クラス]

請求書や伝票の転記時に元帳クラスとして使用する取引勘定科目を決定するコードを入力します。AAI 項目 RC (売掛管理) と PC (買掛管理) を組み合わせて、取引勘定科目が検索されます。たとえば、「TRAD」と入力すると、AAI 項目 "RCTRAD" (売掛) または "PCTRAD" (買掛) が検索されません。



元帳クラスを表す最大 4 文字の英数字、または（多通貨環境でトランザクションを入力する場合は）3 文字の通貨コードを割り当てることができます。ただし、対応する AAI 項目をシステムに設定しておく必要があります。この設定がない場合は元帳クラスは無視され、指定された会社の PC または RC に設定されている勘定科目が使用されます。

顧客または仕入先レコードの [元帳クラス] フィールドにデフォルト値を設定した場合、変更しない限り、取引入力中はこのデフォルト値が使用されます。

元帳クラスにコード 9999 は使用しないでください。これは、転記プログラム用の予約コードで、相殺を行わないように指定するものです。

#### [資産ID]

代替資産 ID 番号として使用できる 25 文字の英数字コードを入力します。場合によっては、この番号を使用して、製造業者のシリアル番号で資産をトラッキングすることができます。シリアル番号を使用して資産を識別することは必須ではありません。入力するシリアル番号は、それぞれ固有でなければなりません。

#### [レポートコード 1]

組織内の購買機能担当者にとって意味のある方法で在庫のセグメントを区別するコードを入力します。在庫の性質によっては、このコードを使用して、色、生産国、主内容、季節要因、レポートグループなどの属性を設定できます。

## 勘定科目コード別明細行の入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

#### [行デフォルト]

[行デフォルト] を選択します。

#### [勘定科目コード]

総勘定元帳の勘定科目を識別する値を入力します。勘定科目コードの入力には、次のいずれかのフォーマットを使用します。

- 標準勘定科目コード (ビジネスユニット.主科目.補助科目または自由形式)
- 第 3 勘定科目 (最大 25 桁)
- 勘定科目 ID (最大 8 桁)
- スピードコード (AAI 項目 SP に付ける 2 文字のコード) 勘定科目の代わりにこのコードを入力できます。
- 勘定科目コードの最初の文字で形式を識別できます。勘定科目のフォーマットは、一般会計固定情報プログラムで定義します。

#### [補助科目]

主科目の下の科目区分を識別する値を入力します。補助科目は、取引レコードを主科目の下でさらに細分化します。

任意勘定科目コードを使用して主科目コードを 6 桁にした場合は、6 桁全てを使用してください。たとえば、「000456」と入力する場合と「456」と入力する場合は異なります。「456」と入力すると、スペースが 3 つ追加されるため結果が異なります。

#### [主科目]

勘定科目コードの中で、原価コード (労務費、材料費、設備費など) をサブカテゴリに分類する部分の値を入力します。たとえば、労務費の原価コードは通常時間、割増し時間、間接費に分割できます。

任意勘定科目コードを使用して主科目コードを 6 桁にした場合は、6 桁全てを使用してください。たとえば、000456 と入力するのと 456 と入力するのでは、後者の場合、自動的にスペースが 3 つ追加されるため、異なるコードと認識されるからです。

**[補助元帳]**

総勘定元帳の勘定科目を細分化して補助的に使用する科目を識別するコードを入力します。設備品目番号や住所番号も補助元帳として使用できます。補助元帳を入力する場合は、同時に補助元帳タイプも指定してください。

**[補助元帳タイプ]**

[補助元帳] フィールドで使用される UDC (00/ST) の値を入力し、補助元帳タイプおよび補助元帳の検証方法を指定します。[ユーザー定義コード] フォームでは、記述の第2行目により編集方法が制御されます。このコードはハードコードされている場合も、ユーザー定義の場合もあります。以下の値があります。

A: 英数字フィールド (編集しない)

N: 数字フィールド (右に揃え、ゼロで埋める)

C: 英数字フィールド (右に揃え、ブランクで埋める)

---

注: [レコード計量単位] と [購買計量単位] のフィールドで [検索] ボタンをクリックすると [計量単位表] フォームにアクセスでき、購買オーダーに入力中の品目に使用できる有効な計量単位のリストから選択ができます。

---

## 複数の勘定配賦の入力

[勘定配賦の入力] フォームにアクセスします。

**[配賦タイプ]**

複数勘定配賦タイプを入力します。有効値は以下のとおりです。

1: パーセントによる分割 (デフォルト)

2: 固定金額による分割

3: 固定数量による分割

**[配賦率]**

勘定科目情報の作成に使用するパーセントを入力します。

**[配賦額]**

勘定科目情報の作成に使用する金額を入力します。

**[配賦数量]**

勘定科目情報の作成に使用する数量を入力します。

## 明細行の税情報入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

**[課税]**

購買時に品目が課税対象になるかどうかを示すコードを入力します。仕入先も課税対象である場合にのみ、品目の税額が計算されます。

**[税目コード]**

ハードコード化された UDC (00/EX) の値を入力します。この値により、税額や総勘定元帳の配賦金額の計算に使用するアルゴリズムが制御されます。この税目コードと税率/税域、税規則を組合わせて税計算の方法が決まります。支払項目ごとに異なる税目コードを指定することができます。

**[税率/税域]**

税率と納税先が共通している税域または地域を識別するコードを入力します。F4008 テーブルに対して入力したコードは検証されます。請求書また

は伝票を作成すると、税目コードおよび税規則と共に税率/税域を使用して、税額と総勘定元帳の配賦金額が計算されます。

## 明細行の値引条件入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

### [値引係数]

正味価格を決定するために在庫品目の単価に適用される係数の値を入力します。この品目に規則を割り当てた場合は、在庫価格設定規則からこの値が取得されます。価格設定規則の設定では、この値を単価に掛けるかどうか、単価に加算するかどうか、または単価から差し引くかどうかが決まります。

### [品目価格グループ]

品目の在庫価格グループを識別する UDC (40/PI) の値を入力します。

在庫価格グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーや購買オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。この割引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。

受注オーダーや購買オーダーの値引と割増は、対話形式で計算されるため、品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。

### [価格カテゴリ・レベル]

価格レベルを識別する値を入力します。価格カテゴリや価格規則には、さまざまなレベルを含めることができます。各価格規則内では、有効日付範囲と許容数量によって、および品目の原価、価格、または一時変更として指定された金額に基づいているかどうかによって、各レベルが定義されます。

## 明細行のレポート コード入力

[オーダー明細(ページ2)] フォームにアクセスします。

## 変更オーダーの入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

## 代替品目または置換品目の入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

## キット オーダーの入力

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

### [SEL]

オーダーに含める構成品を選択します。「\*」は、構成品が選択されていることを表します。

### [オプション]

部品表またはキット処理内の構成品が標準なのかオプションなのかを示します。有効値は以下のとおりです。

S: 標準 (デフォルト)

この品目は標準であり、部品表またはキット品目に関連する全てのトランザクションに常に含まれます。

O: 任意

オーダー入力では、この品目は任意です。この品目が特定の販売に含まれるかどうかを指定できます。

F: フィーチャー品目

この品目には、オーダー入力時に指定する必要があるフィーチャーがあります。

## 変更オーダーのコピー

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

変更オーダーは、コピーして変更することができます。この機能を使えば、複数のオーダーにわたって重複する変更オーダーがある場合に入力時間を短縮できます。

[オーダー数量]                      処理された数量または単位を表示します。

[単価]                                  計量単位に対して請求される価格を隣接するフィールドに表示します。たとえば、基本計量単位は EA (each) であるものの、通常は箱ごとの表示価格を使用する場合は、これらのフィールドを使用します。

[原価小計]                              数量に単価を掛けた値を表示します。

オーダーに新規行を追加する場合、既存のすべての明細行から最初のブランク行までスクロールして、正しい番号が各行に割り当てられていることを確認してください。

---

## (Rapid Start) Entering Direct Purchase Order for an Inventory Item

This section discusses:

- How to enter direct purchase order for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Order Entry – Inventory (P4310).

### Entering Direct Purchase Order for an Inventory Item

This table lists the tasks for entering direct purchase order for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter direct purchase order for an inventory item.	Purchase Order Processing, Create Purchase Order	P4310/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Last Status = 220	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Entry – Inventory (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OP
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	220
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1

Processing Option Description	Value or Status
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1.Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	blank
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

## Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	1
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	blank
5. Supplier Analysis	1
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAI	blank

**Processing**

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	1
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

**Duplication**

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OP
2. Beginning Status Code	220
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

**Order Inquiry**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	210
2. Thru Status Code	999

Processing Option Description	Value or Status
3. Last Status	blank
4. Date	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0001
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	RIS0001
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0



Processing Option Description	Value or Status
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

### Approvals

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	blank
3. Approved Status	blank
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

### Budgeting

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	B1
2. Budget Ledger Type	BA
3. Level of Detail	9
4. Budget Total Method	2
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

## Transfer Order

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

### 関連項目:

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92 ページ

## (Rapid Start) Reviewing and Releasing Purchase Orders for an Inventory Item

This program is typically used only for orders created from a planning message or by a direct ship sales order. This section discusses:

- How to review and release purchase orders for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Approve PO – Inventory (P43025).

## Reviewing and Releasing Purchase Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for reviewing and releasing purchase orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Review and release purchase orders for an inventory item.	Purchase Order Processing, Review Purchase orders and update Status	P43025/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: OP</li> <li>• Line Type: S = Stock Item</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>• Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Next Status = 220	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Approve PO – Inventory (P43025)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Default Values

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the default order type	OP
2. Enter the default last status code	blank
3. Enter the default next status code	240
4. Enter the default update next status code	280
5. Enter a '1' to protect the update next status code	1

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
Enter Purchase Order Entry version	RIS0001

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering and Printing Purchase Orders for Returning an Item to a Supplier

A return purchase order is a standard purchase order with a negative order quantity. The unit price will be the expected credit per unit. It will be entered as a positive number.

This section discusses:

- How to enter and print purchase orders for returning an item to a supplier.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Inventory (P4310).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500).

### Entering and Printing Purchase Orders for Returning an Item to a Supplier

This table lists the tasks for entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter purchase order.	Purchase Order Processing, Create Purchase Order	P4310/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP and OS</li> <li>Line Type: S = Inventory item, D = Direct Ship Item, B = Item number charged to general ledger account, and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and OS and line types S, B, D, and J.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>
Print purchase order.	Purchase Order Processing, Print Purchase Order	P43500/RIS0001	Same.	Same.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Inventory (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OP
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	220
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1

Processing Option Description	Value or Status
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1.Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

## Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	1
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Supplier Analysis	1
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAI's	blank

## Processing

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	1
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

## Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OP
2. Beginning Status Code	220
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

## Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	210
2. Thru Status Code	999
3. Last Status	blank
4. Date	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0001
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	RIS0001
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank



**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

**Approvals**

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	blank
3. Approved Status	blank
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

**Budgeting**

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	B1
2. Budget Ledger Type	BA
3. Level of Detail	9
4. Budget Total Method	2
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1 Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

## Transfer Order

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

### 関連項目:

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92 ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Status Codes

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status Code From (optional)	280
2. Next Status Code Thru (required)	280
3. Next Status Code Override (optional)	blank
4. Status Update	blank

### Tax Information

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Tax	3

### Report Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity & Amount Display	blank
2. Exchange Rate Display	blank
3. Global Message to be printed	blank
4. Purchase Order Note Display	1
5. Report Heading Display	blank
6. Purchasing Agent Name Display	1

### Item Number Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Item No. Display	2
2. Enter Cross Reference Type	VN

### Order Revision

Processing Option Description	Value or Status
1. To print Order Revision Enter specific order revision number (or)	blank
2. Lines for a Revision	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Display	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Transaction Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. EDI Shipping Schedule Message	blank
9. Shipping Schedule Qualifier	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Option	blank

Processing Option Description	Value or Status
2. Name of 2nd UBE	blank
3. Second UBE Version Enter version to be run (or)	blank

**関連項目:**

第 10 章、「購買オーダーの利用」、「購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定」、188 ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Printing, and Changing Purchase Orders for Non-Inventory Items with 2-Way Match

This section discusses:

- How to enter, print, and change purchase orders for non-inventory items with 2-way match.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Blanket (P4310).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Direct PO (P4310).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500).

### Entering, Printing, and Changing Purchase Orders for Non-Inventory Items with 2-Way Match

This table lists the tasks for entering, printing, and changing purchase orders for non-inventory items with 2-way match:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter blanket order.	Purchase Blanket Orders, Enter Procurement Blanket Order	P4310/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: OS</li> <li>• Line Type: B and J</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OS and line types B and J.</li> </ul>	Enter supplier numbers in the system.
Enter direct purchase order.	Purchase Order Processing, Direct PO	P4310/RIS0003	Same.	Same.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print purchase order.	Purchase Order Processingt, Print Purchase Order	P43500/RIS0001	Same.	Same.
Change direct purchase order.	Purchase Order Processing, Direct PO	P4310/RIS0003	Same.	Same.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Blanket (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OB
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	210
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

**Interfaces**

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	1
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	1
5. Supplier Analysis	blank
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAI's	blank

**Processing**

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OB
2. Beginning Status Code	210
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

### Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	210
2. Thru Status Code	999
3. Last Status	blank
4. Date	blank



**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0002
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	blank
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

**Approvals**

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	blank
3. Approved Status	blank
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

**Budgeting**

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	blank
2. Budget Ledger Type	blank
3. Level of Detail	blank
4. Budget Total Method	blank
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

**Transfer Order**

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

**関連項目:**

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92 ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Direct PO (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0003.

## Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OP
2. Line Type	J
3. Beginning Status	220
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1.Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	blank
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank

Processing Option Description	Value or Status
9. Jargon and Header Business Unit	2
10. Account Protection	blank

## Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	blank
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	blank
5. Supplier Analysis	blank
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAIs	blank

## Processing

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	1
5. Header Display	1
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	1

**Duplication**

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OP
2. Beginning Status Code	220
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	blank

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	blank
3. Promotional Items	blank

**Order Inquiry**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	blank
2. Thru Status Code	blank
3. Last Status	blank
4. Date	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	blank
2. Supplier Analysis (P43230)	blank
3. Supplier Master (P04012)	blank
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	blank
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	blank

Processing Option Description	Value or Status
8. Open Receipts (P43214)	blank
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	blank
11. Open Order Inquiry (P4310)	blank
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	blank
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

### Approvals

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	230
3. Approved Status	280
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

**Budgeting**

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	blank
2. Budget Ledger Type	BA
3. Level of Detail	9
4. Budget Total Method	blank
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank



**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

**Transfer Order**

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

**関連項目:**

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92 ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Status Codes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status Code From (optional)	280
2. Next Status Code Thru (required)	280

Processing Option Description	Value or Status
3. Next Status Code Override (optional)	blank
4. Status Update	blank

### Tax Information

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Tax	3

### Report Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity & Amount Display	blank
2. Exchange Rate Display	blank
3. Global Message to be printed	blank
4. Purchase Order Note Display	1
5. Report Heading Display	blank
6. Purchasing Agent Name Display	1

### Item Number Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Item No. Display	2
2. Enter Cross Reference Type	VN

### Order Revision

Processing Option Description	Value or Status
1. To print Order Revision Enter specific order revision number (or)	blank
2. Lines for a Revision	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Display	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Transaction Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. EDI Shipping Schedule Message	blank
9. Shipping Schedule Qualifier	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Option	blank
2. Name of 2nd UBE	blank
3. Second UBE Version Enter version to be run (or)	blank

**関連項目:**

第 10 章、「購買オーダーの利用」、「購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定」、188 ページ

---

## (Rapid Start) Changing Purchase Orders for an Inventory Item

You can change or cancel an existing purchase order. The change may be initiated by an MRP message or by communication from the supplier. Changes are allowed until the purchase order is completely received.

This section discusses:

- How to change purchase orders for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Order Entry – Inventory (P4310).

### Changing Purchase Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for changing purchase orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Change purchase orders for an inventory item.	Purchase Order Processing, Create Purchase Order	P4310/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rues: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Entry – Inventory (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OP
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	220
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank

Processing Option Description	Value or Status
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1.Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

### Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	1
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	blank
5. Supplier Analysis	1
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAI's	blank

**Processing**

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	1
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

**Duplication**

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OP
2. Beginning Status Code	220
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

**Order Inquiry**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	210
2. Thru Status Code	999

Processing Option Description	Value or Status
3. Last Status	blank
4. Date	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0001
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	RIS0001
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0

Processing Option Description	Value or Status
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

## Approvals

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	blank
3. Approved Status	blank
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

## Budgeting

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	B1
2. Budget Ledger Type	BA
3. Level of Detail	9
4. Budget Total Method	2
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank



**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

## Transfer Order

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

### 関連項目:

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92 ページ

---

## (BRA) Entering Purchase Orders for Brazil

This section provides an overview of the purchase order process flow, lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR).
- Enter purchase orders for Brazil.

## Understanding the Purchase Order Process Flow

When you use the Procurement system for Brazil, you enter additional information in the header and then in the detail portions of the purchase order.

To associate the additional information that is required to meet Brazilian reporting requirements with the purchase orders that you enter, the country that is specified in the user display preferences must be Brazil (BR). When you enter purchase orders, the system automatically displays the additional information forms for the purchase order header and detail. To access additional information forms when you inquire on existing purchase orders, use the regional information exits.

## Prerequisites

Before you enter purchase orders, you must:

- Verify that Brazil (BR) is specified in the user display preferences.
- Indicate whether the item was manufactured or purchased to determine the transaction nature default. For Brazil, this information can be stored in an item master category code. Use UDC 76/CN to determine which category code you can use by entering SRP6, SRP7, SRP8, SRP9, or SRP0 for the code NATUR. For example, one data dictionary option for NATUR is SRP6. Data dictionary item SRP6 has values in UDC 41/06, so it is ready for you to use when you enter purchase orders.
- Verify that you have set up the processing options for P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR). Select processing options from the Version Setup/Advanced Operations – BRZ menu (G76B31), and then navigate to the Purchase Order Processing – Brazil menu (G76B4311) to enter purchase orders.
- Verify that the version for P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR) and the version for Enter Purchase Orders (P4310) are the same. If the versions are not the same, P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR) uses version ZJDE0001.

- Verify that item master information and item branch/plant information are set up for each of the inventory items.
- Verify that branch/plant constants are set up for each of the business units or branches (required for only inventory management).
- Set up order activity rules and order line types.
- (Optional) Set up default location and printer information for the terminal or user profile.
- Set up address book records for all suppliers.
- Set up procurement instructions for each supplier and ship-to address.

## Forms Used to Enter Purchase Orders for Brazil

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Order Header	W4310B	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Enter Purchase Orders  Click the Add button on the Work With Order Headers form.	Enter purchase orders for Brazil.  <b>注:</b> The Order Header form appears only if the Header Display processing option on the Processing tab of the Enter Purchase Orders program is set to display the header form first.
Order Header – Additional Information	W4310H	Select Additional Info from the Form menu on the Order Header form.	Optionally, review, add, or change the default information.
Order Detail	W4310A	Click the OK button on the Order Header form.	Enter order detail.
P.O. Header Brazilian Add Information	W4310BRB	Click the OK button on the Order Detail form.	Review the transaction-nature defaults.
P.O. Detail Brazilian Add Information	W4310BRF	Click the OK button on the P.O. Header Brazilian Add Information form.	Review detail information and verify that it is correct.

## Setting Processing Options for P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

## Defaults

These processing options enable you to specify the values that the P.O. Brazilian Additional Information – Brazil (P4310BR) uses when other values are not entered for the transaction.

### Transaction Nature Code

Specify the three-character code for the transaction nature. You set up transaction nature codes in the Transaction Nature program (P7615B).

Enter the Transaction Nature code using this convention: XYY

X defines the origin of the transaction (inbound or outbound). YY defines the transaction as a whole, such as a purchase transaction. Values for X are:

- 1: Inbound and inside the state.
- 2: Inbound and in other states.
- 3: Inbound and import.
- 5: Outbound and inside the state.
- 6: Outbound and in other states.
- 7: Outbound and export.

Examples of Transaction Nature Codes:

111: In-state purchases

311: Purchase of an import

If you leave this processing option blank, the system uses 111 for the transaction nature.

### Transaction Nature Suffix

Specify the suffix to the Transaction Nature code. The suffix identifies the complementary implications of a type of transaction. For example, the suffix might indicate that a certain type of transaction represents a inventory change or that a transaction is eligible for a certain type of tax. You set up Transaction Nature suffixes in the Transaction Nature program (P7615B). If you leave this processing option blank, the system uses 00 for the transaction nature suffix. Values are:

- 01: Bonus
- 02: Demo
- 03: Sample
- 04: Return merchandise
- 05: Back order
- 06: Donation

Examples of Transaction Nature Codes with suffixes:

111 02: In-state purchase, bonus

311 02: Purchase of an import, bonus

## Entering Purchase Orders for Brazil

Access the Order Header form.

オーダー見出し			
OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)			
オーダーNo.	<input type="text"/>	事業所	<input type="text"/>
通貨	<input type="text"/>	為替レート	<input type="text"/>
		基本	<input type="checkbox"/> 外貨
<b>住所No.</b>		<b>日付</b>	
仕入先	<input type="text" value="1163565"/>	オーダー日付	<input type="text" value="2006/01/11"/>
出荷先	<input type="text"/>	要求日付	<input type="text"/>
購買担当者	<input type="text"/>	約束納入日付	<input type="text"/>
運送業者	<input type="text"/>	取消日付	<input type="text"/>
支払備考	<input type="text"/>		
記述	<input type="text"/>		
印刷メッセージ	<input type="text"/>		
税目コード	<input type="text"/>	保留コード	<input type="text" value="ブランク - 保留コード 42/HC"/>
税率/税域	<input type="text"/>	留保率	<input type="text"/>
免税証明	<input type="text"/>	発注担当者	<input type="text" value="OWTT_J"/>
税ID	<input type="text"/>	受注担当者No.	<input type="text"/>
納税者区分	<input type="text"/>	AIA文書	<input type="text" value="Y"/>
支払条件	<input type="text"/>		
<b>メッセージ</b>			
<input type="text"/>			

Order Header form

**(BRA) Transaction Nature**

Enter a three-character code that is used for tax purposes and identifies a type of transaction. Use this convention: X.YY, where X defines the origin of the transaction (inbound or outbound) and YY defines the transaction as a whole, such as a sales transaction (511 for an in-state sale and 611 for an out-of-state sale). Values for X are:

- 1: Inbound and inside the state.
- 2: Inbound and in other states.
- 3: Inbound and import.
- 5: Outbound and inside the state.
- 6: Outbound and in other states.
- 7: Outbound and export.

**(BRA) Transaction Nature Suffix**

Enter a two-character field that you use with the Transaction Nature code to identify the complementary implications of a transaction type. For example, the suffix might indicate that a certain transaction type represents an inventory change or that a transaction is eligible for a certain type of tax. Values are:

- 01: Bonus
- 02: Demo
- 03: Sample

04: Return merchandise

05: Backorder

06: Donation

## 第 10 章

# 購買オーダーの利用

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の方法について説明します。

- 特殊オーダー入力機能の利用
- コミットメントおよび債務の利用
- 予算の使い方
- 保留オーダーの利用
- ログ情報の利用
- バッチによるオーダーの印刷
- オーダーの個別印刷
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Match invoice to open receipt for an inventory item
- (Rapid Start AUS and NZL) Match purchase order to voucher for an inventory item
- (Rapid Start AUS and NZL) Match purchase order to voucher for an inventory item
- (Rapid Start) Match purchase order receipts for selling a direct ship item
- オーダー情報の利用

---

## 特殊オーダー入力機能の利用

このセクションでは、特殊オーダー入力機能の概要と以下の方法について説明します。

- オーダーの複写
- 複数の仕入先に対するオーダー入力
- 品目に対する仕入先の選択
- 仕入先カタログを使用した品目入力
- オーダー テンプレートを使用した品目入力
- 既存明細行からのオーダー作成

## 特殊オーダー入力機能について

時間節約機能をいくつか使用して、オーダー情報を入力できます。たとえば、オーダーを複写して別のオーダーを作成したり、複数の仕入先に対するオーダーを同時に作成したりすることができます。品目および仕入先情報を検索して、購買明細行にその情報を入力する機能もあります。

オーダー入力用の特殊機能はいくつかあります。

## オーダーの複写

複数のオーダーに同じ情報を入力する手間を省くため、購買オーダーを複写できます。たとえば、購買要求から購買オーダーを作成するように、オーダーを複写して既存のオーダーから新しいタイプのオーダーを作成することもできます。保留中のオーダーは複写できません。

また、複写により、当初オーダーから特定のタイプのオーダーを作成することもできます。[購買オーダー入力] の処理オプションで、複写するオーダーに対してオーダー タイプを指定します。たとえば、購買要求を複写するたびに購買オーダーを自動作成する場合、購買オーダー用のオーダー タイプ コード (通常 OP) を入力します。さらに、複写オーダーの明細行に対する状況コードを指定し、当初オーダーに添付されている注記の複写を行うかどうかを指示する必要もあります。

## 複数の仕入先に対するオーダー

各仕入先に対してそれぞれ購買オーダーを入力する代わりに、同時に複数の仕入先に対して購買オーダーを入力できます。[購買オーダー・ワークベンチ] フォームで、購買する品目と仕入先を指定します。

仕入先が提供する品目用にインターネットのホームページを開設している場合、オーダー明細情報を入力する前に、仕入先および品目情報を電子カタログでプレビューできます。

無許可の状況を持つ仕入先には発注できません。仕入先が部分的に許可されている場合、オーダーを生成する前に警告メッセージが表示されます。仕入先の認可状況は [仕入先/品目関係] フォームで変更できます。

品目の入力後、購買オーダーを作成してください。個々の購買オーダーでは、各仕入先の品目が組み合わされます。各明細行の情報は、品目のマスター情報または仕入先の購買指示から取得されます。自動作成された購買オーダーは [オーダー明細] フォームで照会できます。

## 仕入先の選択

品目の発注時に、品目を購入する仕入先を指定します。[仕入先の価格比較] フォームで、特定の品目を提供するすべての仕入先および各仕入先が提示する価格を検討できます。次の条件を満たす品目のみ表示されます。

- 原価を事業所レベルで管理する。
- 仕入価格を仕入先レベルで管理する。

品目を発注する仕入先と数量を決めたら、その値を [購買オーダー・ワークベンチ] プログラム (P43101) にロードします。

## 仕入先カタログ

仕入先では、季節によって変わる製品や異なる製造ラインなどを理由に別々のカタログに製品を登録することがあります。システムでカタログの品目を保守管理する場合、カタログを使用して発注する品目を検索し、選択できます。

カタログを検索した後で、発注する品目を選択できます。カタログで指定された品目単価と、明細行で選択した各品目が入力されます。仕入先が販売する品目用に Web サイトを開設している場合、仕入先や品目の情報を電子カタログで参照できます。[カタログ品目の選択] フォームからフォーム エグジットを選択して、品目の情報を参照できます。

注: 1 つの品目の価格が仕入れる数量によって変わる場合があります。[カタログ品目の選択] フォームで、カタログにある品目についてすべての価格を検討できます。複数の価格を持つ品目は数回に渡り表示され、それぞれのリスト項目にその数量に対応した異なるオーダー数量および価格が表示されます。



## オーダー テンプレート

発注する品目を選択する際に、オーダー テンプレートを使用して頻繁に発注する品目のリストを検索できます。

それぞれのオーダー テンプレートには、特定の品目グループが含まれます。購買オーダーの入力時には、特定のテンプレートを選択して検討できます。テンプレートから発注する品目を選択すると、その品目が購買オーダーにロードされます。

オーダー テンプレートで仕入先を特定することもできますが、特定の仕入先からテンプレート上の品目を仕入れることがあまりない場合は汎用にすることもできます。購買オーダーに仕入先を入力する前にオーダー テンプレートにアクセスすると、汎用テンプレートのリストを検討できます。

## 既存明細行からの購買オーダー作成

既存の明細行情報に基づいて新規購買オーダーを自動作成することにより、購買オーダーを手作業で入力する手間が省けます。処理中の明細行が複数の仕入先に適用できる場合、それぞれの仕入先に対して購買オーダーが個別に作成されます。

仕入先 1 社に対して複数の明細行が存在しているのは、各明細行が異なる事業所に対応しているためです。購買オーダー番号は、仕入先先別に [自動採番] プログラムにより割り当てられます。オーダー番号は手作業で割り当てすることもできます。

作成するオーダーのデフォルト値は、処理オプションで指定できます。指定できる値にはオーダー タイプおよび開始状況コードがあります。承認経路や予算チェックなど、新規オーダーに対して特殊な処理を指示することもできます。

既存の明細行からの購買オーダーを作成することは、次のようなプログラムを含む調達管理プログラムのプロシージャにおける最終手順です。

- 購買オーダー ワークベンチ
- 購買要求からの購買オーダー生成
- 一括オーダーからの購買オーダー生成
- 購買要求からの見積生成
- 購買オーダーの生成

## 特殊オーダー入力機能の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダー の入力]	オーダー見出しの処理 を行います。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択 し、[コピー] ボタンをク リックします。	オーダー明細の検討と変 更を行います。オーダーを 複写します。
[購買オーダー・ワー クベンチ]	W43101B	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダー・ ワークベンチ]	フォームにアクセスして、購 買オーダーを処理します。
[仕入先の価格比較]	W43103C	[購買オーダー・ワーク ベンチ] で、[フォーム] メ ニューから [価格比較] を選択します。	品目の仕入先を検索して、 価格を比較します。
[仕入先カタログの処理]	W41061CA	[購買オーダー・ワーク ベンチ] で、[フォーム] メ ニューから [カタログ] を選 択します。	使用可能なカタログのリス トにアクセスします。
[カタログ品目の選択]	W41061WB	[仕入先カタログの処理] フォームでカタログを選 択し、[選択] ボタンをク リックします。	購買オーダーの個々の明 細行にある品目を表示しま す。[OK] をクリックして、購 買オーダーを仕入先ごとに 自動生成します。個別の 購買オーダーを自動生成し ない場合、[購買オーダー・ ワークベンチ] を終了する 前に、その購買オーダーを 取り消す必要があります。
[オーダー・テンプレ ートの処理]	W4015A	[購買オーダー・ワークベン チ] フォームで、[フォーム] メニューから [オーダー・テ ンプレート] を選択します。	使用可能なオーダー テン プレートを処理します。
[オーダー・テンプレート]	W40215A	[オーダー・テンプレートの 処理] フォームでテンプレ ートを選択し、[選択] ボタンを クリックします。	テンプレートで品目を発注 します。[フォーム] メニュー から [通常数量の事前ロード] を選択すると、テンプ レートのすべての品目を通 常の数量で発注できます。
[オーダーの選択仕入先]	W43032A	[購買オーダー・ワークベン チ] フォームで、[フォーム] メニューから [オーダー検 討] を選択します。	仕入先および事業所ごと に、全てのリリースが個別 行にまとめられていること を確認します。
[オーダーの選択品目]	W43032B	オーダーを選択して、[ ロー] メニューから [詳細] を選択します。	オーダーに含めるよう に、個々の品目または勘 定科目に関する情報を 変更します。

## オーダーの複写

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

[オーダー明細] で、必要に応じてオーダー日付およびその他の情報を変更します。オーダーに新規行を追加する場合、既存のすべての明細行から最初のブランク行までスクロールして、正しい番号が各行に割り当てられていることを確認してください。

## 複数の仕入先に対するオーダー入力

[購買オーダー・ワークベンチ] フォームにアクセスします。

## 品目に対する仕入先の選択

[購買オーダー・ワークベンチ] フォームにアクセスします。

## 仕入先カタログを使用した品目入力

[オーダー見出しの処理] フォームにアクセスします。

## オーダー テンプレートを使用した品目入力

[購買オーダー・ワークベンチ] フォームにアクセスします。

## 既存明細行からの購買オーダー作成

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

---

## コミットメントおよび債務の利用

このセクションでは、コミットメント/債務の概要、コミットメント整合性の検証、オーダーに対するコミットメント情報の確認方法、事前設定、および以下の方法について説明します。

- コミットメント照会 (P40230A) に対する処理オプションの設定
- オーダーに対するコミットメント情報の検討
- コミットメント整合性の検証
- コミットメント整合性レポート (R40910) に対する処理オプションの設定
- 債務繰越の利用
- 債務繰越 (R4317) の処理オプションの設定

## コミットメントと債務について

コミットメントまたは債務は、将来の債務を認識することです。オーダー明細行を入力するたびに、支払義務のある金額をトラッキングし、作業またはプロジェクトに充当できます。

たとえば、再舗装のプロジェクトを手がけているとします。このプロジェクトを完了するために商品やサービスを入力するたびに、オーダー金額に対してコミットメントや債務を自動作成できます。

さらに、コミットメントまたは債務を次の会計年度に繰り越すことも可能です。

たとえば地方自治体は通常、会計年度内で予算を消化する必要があります。このため、購買オーダーおよび外注契約の未使用残高はしばしば会計年度末に取り消されることになります。購買オーダーおよび外注契約がこのように取り消されることを防ぎ、未決済残高を維持しておくためには、次会計年度にこの残高を繰り越す必要があります。

コミットメントは、予算や適切な経費として請求対象になる商品/サービスの発注および契約が成立したときに作成されます。コミットメントは商品/サービスを受領したときにリリースされ、これにより入荷請求仮勘定レコードか買掛元帳レコードが作成されます。

コミットメントおよび債務の作成とリリースには、コミットメント元帳の更新 (X00COM) というファンクショナル サーバーのプログラムを使用します。コミットメント元帳の更新 (X00COM) を使用して、調達管理システム用のコミットメント レコードが作成されます。

### 債務またはコミットメントの作成

次のいずれかのプログラムを使用してオーダー明細行を作成できます。

- 購買オーダー (P4310)
- 一括オーダー リリース (P43060)

オーダー明細行を作成するには、ユーザー定義コード テーブル (40/CT) に伝票タイプが設定されて行タイプに A、B、または C の在庫インターフェイスがあることが確認された上で、債務とコミットメントが自動作成されます。

購買要求から購買オーダーを作成する場合は、債務に加えて予定債務をトラッキングできます。予定債務とは将来の債務を計上しておき、そこから購買要求に基づいて予算をコミットします。購買要求から購買オーダーを生成すると、数量をリリースして購買要求を締める際に予定債務もリリースされます。さらに、購買オーダーを生成すると、生成された購買オーダーの金額についてコミットメントが作成されます。

### 債務またはコミットメントのリリース

次の項目を対象にして元帳転記プログラムを実行する場合には、作業原価固定情報プログラム (P0026) のコミットメント リリース固定情報を使用して、未引当てのコミットメントを自動的にリリースする際の基準を指定します。

- 2 方向で突き合わせた伝票
- 3 方向での入荷確認

オーダーを入荷したり伝票を発行しただけではコミットメントはリリースされません。総勘定元帳転記レポート プログラム (R09801) により、コミットメント元帳の更新 (X00COM) が呼び出され、コミットメントがリリースされます。これにより、コミットメント金額が購買金額元帳 (PA) からリリースされ、実績元帳 (AA) に追加されます。

伝票または入荷が転記されると、次の処理が実行されます。

- コミットメントをリリースする
- 購買履歴テーブルに監査証跡を作成する
- 勘定残高元帳の金額を再計算する (該当する場合)
- 選択した購買オーダーの為替レートを変更し、コミットメント金額の国内通貨金額を再計算する (該当する場合)

コミットメントをリリースする際は、当初の購買オーダーの元帳日付ではなく、入荷情報の元帳日付が使用されます。

## コミットメントおよび債務で使用するテーブル

コミットメント情報は、オーダー入力や入荷処理、伝票突合せの際に調達管理システムのテーブルに書き込まれるとともに、次のテーブルにも保管されます。

- F43199
- F0902

### F43199 テーブル

F43199 テーブルには、複数のエントリが作成されます。変更オーダーやオーダー処理順序定義、コミットメントに基づいて、次の元帳がシステムにより管理されます。

- 購買元帳
- コミットメント監査証跡 (PA/PU 元帳)
- 変更オーダー元帳 (CO 元帳)

コミットメントをトラッキングしている場合は、コミットメント監査証跡が F43199 テーブルに作成されます。コミットメント金額は購買金額元帳 (PA) に、コミットメント数量は購買数量元帳 (PU) で管理します。PA 元帳や PU 元帳の「前の状況」および「次の状況」フィールドは、購買履歴とは違ってブランクです。

コミットメント レコードには、次のいずれかの状況が割り当てられます。

- 当初コミットメント項目
- コミットメントの変更
- 取消済みコミットメント
- 入荷または支払によりリリースされたコミットメント

### F0902 テーブル

オーダー入力時には、コミットメント仕訳が F0902 テーブルの PA 元帳と PU 元帳に作成されます。元帳日付に基づいて正しい会計期間に仕訳が作成され、コミットメント金額が合計予算金額に追加されます。

コミットメント リリース固定情報が Y に設定してあると、受領した金額は F0902 テーブルの PA および PU 元帳に転記されます。入荷 (3 方向突合せ) または伝票バッチ (2 方向突合せ) の元帳日付に基づいて、適切な会計期間からコミットメントと合計予算金額がリリースされます。

---

注: コミットメント リリースは、仕訳の転記時にのみ発生します。

---

## コミットメント整合性の検証について

[債務照会] フォームを使用してコミットメントの情報を検討できます。また、コミットメント整合性レポートを作成して、オーダー金額をコミットメント金額および残額と比較したり、差額を検討できます。

次のテーブル間で差異がある場合に、[コミットメント整合性レポート] プログラム (R40910) を使用してください。

- F4311
- F43199
- F0902

テーブル間の貸借不一致を判断するのに 2 つの比較方法が使用されます。

まず、購買明細テーブルと監査テーブルが累計ベースで比較されます。この場合、日付に関係なくテーブルの全データが合計されます。購買明細テーブルは日付に左右されないため、未決済金額に変更を加えた日付などのデータは保存されません。

監査テーブルと残高テーブルは、期間末を基準に比較されます。システムは 1 番目の処理オプションに入力された日付を使用して期間末の日付を決定します。残高テーブルに保存される最小の詳細レベルが期間であるため、この比較は期間に左右されます。

レポート左側の累計残高の下にあるカラムは、購買明細 (F4311)、購買明細実績 (F43199)、および差異です。勘定科目と補助元帳別に記載される金額は、それぞれ次のとおりです。

- 購買明細テーブルの未決済金額
- コミットメント監査証跡の合計額
- 2 つのカラムの差額

レポート右側の基準日の下にあるカラムは、購買明細実績 (F43199)、勘定残高 (F0902)、および差異です。勘定科目と補助元帳別に記載される金額は、それぞれ次のとおりです。

- コミットメント監査証跡の合計額
- 勘定残高の合計額
- 2 つのカラムの差額

以下の条件下では、F4311 テーブルとコミットメント監査証跡の間で差異が生じます

- 入荷や伝票バッチが転記されていない  
タイプ O と V のバッチがすべて転記済みかどうかを確認するには、未転記のバッチ レポート (R007011) を実行してください。
- 予算保留のオーダー  
オーダーが予算保留の状態では債務は作成されません。

コミットメントに不一致が見つかったが解決できないときは、PA 元帳でデータを修正できます。PA 元帳と PU 元帳のレコードは、F4311 テーブルに基づいています。F4311 テーブルからこのデータを再作成することにより、F0902 テーブルの貸借不整合を修正できます。

## オーダーに対するコミットメント情報の検討方法について

作業やプロジェクトのコミットメントまたは債務金額を検討することにより、購買状況を確認できます。また、作業やプロジェクトのコミットメント合計あるいは債務合計を検討して、予算を超過していないか確認することもできます。

コミットメントは、商品やサービスの入荷後または支払伝票作成後にリリースできます。これによって、作業またはプロジェクトのコミットメント合計からリリース分が差し引かれます。正式な入荷処理を使用している場合、総勘定元帳に入荷または支払伝票を転記する際にコミットメントがリリースされます。非公式の入荷処理の場合は、支払伝票を転記した際にリリースされます。

ユーザー定義コード (UDC) テーブル (40/CT) で指定するオーダー タイプについてのみ、コミットメントおよび債務のトラッキングは実行されます。オーダーが保留になっている場合、保留が解除されるまでオーダーのコミットメントまたは債務は作成されません。

総勘定元帳勘定科目コードに直接計上する明細行のコミットメントおよび債務だけがトラッキングされます。これらは、在庫インターフェイスの行タイプとして A または B が割り当てられた明細行です。

コミットメントのトラッキングが適用できる購買明細行を作成するたびに、国内通貨でコミット金額を含む購買金額 (PA) 元帳、およびコミット数量を含む購買数量 (PU) 元帳に金額が記録されます。

次のような項目に対して、個別にコミットメントを検討できます。

- 事業所
- 勘定科目コード
- 仕入先
- オーダー番号およびタイプ

また、上記の項目に対するコミットメント合計額、リリース済みコミットメント、未決済コミットメントも検討できます。

コミットメント レコードには、次のいずれかの状況が割り当てられます。

- 当初コミットメント項目
- コミットメントの変更
- 取消済みコミットメント
- 入荷または支払によりリリースされたコミットメント

トランザクションの生成者および時期や、勘定科目コード、オーダー番号、行番号など、各トランザクションの詳細を検討できます。

コミットメントトランザクション情報は F43199 テーブルから取得されます。

## 事前設定

コミットメントおよび債務を処理する前に、以下の作業を行います。

- 予定債務およびコミットメント用の伝票タイプを UDC テーブル (40/CT) に設定する必要があります。
- コミットメントをリリースするには、その会社または F0026 テーブルの会社 0000 についてコミットメントリリースの値を設定します。

## コミットメントおよび債務の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[コミットメント照会の処理]	W40230AA	[購買照会] (G43B112)、[コミットメント照会] [購買照会] (G43C112)、[債務照会] [外注照会] (G43D112)、[コミットメント照会]	コミットメント照会を処理します。

## コミットメント照会 (P40230A) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

この処理オプションでは、コミットメント照会に使用するデフォルト情報を入力できます。

### オーダー タイプ

伝票タイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの発生元も指定します。PeopleSoft では伝票、請求書、入荷確認書、およびタイム カードの伝票タイプを予約しており、転記

プログラムを実行したときに自動的に仕分けが作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。以下の伝票タイプが事前定義されています。変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー処理伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注オーダー処理伝票

## 表示

この処理オプションでは、表示される情報のタイプを制御できます。

**コミットメント以外の変更  
オーダーには「1」を入力  
してください。**

値を入力して、変更オーダーまたはコミットメントの表示を指定します。  
変更オーダーを実行するには「1」を入力します。

## バージョン

この処理オプションでは、システムが使用するさまざまなプログラムのバージョンを制御できます。

**購買オーダー入力 (P4310)** 購買オーダー入力プログラムにアクセスする際に使用するバージョンを指定します。

## オーダー コミットメント情報の検討

[コミットメント照会の処理] フォームにアクセスします。



コミットメント照会 - コミットメント照会の処理

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

オーダーNo. \* OP \*

勘定科目 \*

補助元帳タイプ \* \*

開始元帳日付 \* ~ \*

事業所 \*

オーダー集計

レコードが取り込まれていません

グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

オーダーNo.	オーダータイプ*	オーダー会社	変更No.	行No.	配賦行No.	仕入先	記述	コミット金額	リリース金額
---------	----------	--------	-------	------	--------	-----	----	--------	--------

[コミットメント照会の処理] フォーム

## コミットメント整合性の検証

[購買レポート] (G43B111)、[コミットメント整合性レポート]。

## コミットメント整合性レポート (R40910) に対する処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

この処理オプションでは、コミットメント整合性レポートに使用するデフォルト情報を入力できます。

1. 監査証跡ファイルと勘定残高ファイルの比較に使用する有効日付を入力します。ブランクにすると、今日の日付が設定されます。
- いつ日付が最初に有効になるのかを識別する日付を入力します。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

1. コミットメント差異の表示
- レポートに表示されるレコード数を指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: コミットメント差異の有無にかかわらず、全ての勘定科目が印刷されます。  
1: コミットメント差異がある全ての勘定科目が印刷されます。

## 2. 処理モード

プログラムをテスト モードまたは最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードの場合、当日までの購買明細テーブル (F4311) と購買明細実績 (F43199) が比較され、さらに [有効日付] 処理オプションに基づいて、F43199 テーブルと勘定残高テーブル (F0902) が比較されます。最終モードの場合、これらの比較が表示され、差異がなくなるように F43199 および F0902 テーブルに一時レコードが書き込まれます。除去、再作成、および再転記プログラムを実行して、全てのレコードの差異を調整することをお勧めします。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

## 3. 製造の債務を表示するには "1" を入力してください。

製造作業オーダーに関連する会計債務を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買オーダーおよび外注に関連する会計債務のみ処理します。

1: 購買オーダー、外注、および製造作業オーダーに関連する会計債務を処理します。

# 債務繰越の利用

[上級および技術的操作] (G43A31)、[債務繰越]。

## 繰越債務プログラム (R4317)

債務繰越を実行すると、会計年度末の債務およびコミットメントが繰り越されます。この繰越により、大量の取引を処理する場合の手間が省けます。繰越債務プログラム (R4317) には、以下のオプションが用意されています。

- ・ 前年度の購買オーダーまたは外注契約のコミットメント行をリリースし、今年度の元帳日付を持つ新しいコミットメント行を再作成する

これらの行は繰越用に作成された新しい勘定科目に割り当てられます。この勘定科目は流通 AAI 4430 で制御します。

- ・ 購買オーダーまたは外注契約のコミットメントの行を取り消して、支払処理がこれ以上実行されないようにする

外注契約の場合は除去コードを R にしてください。購買オーダーの場合、自動的に「次の状況」が 999 (終了) になります。

コミットメントのリリースを指して「引当て解除」という言葉を使うケースもあります。コミットメントや債務をリリースまたは引当て解除すると、元帳タイプが RO (繰越) のレコードが自動作成されます。RO タイプのレコードはコミットメントの再作成に必要なため、除去しないでください。

# 繰越債務 (R4317) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

## デフォルト

以下の処理オプションでは、購買オーダーの処理に使用されるデフォルト情報を入力できます。

## 1. 繰越方法：

年度末債務金額の処理方法を指定します。使用する方法は、ビジネス要件によって異なります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 繰越が取り消され、それ以上の処理が行われません。新しい元帳日付または勘定科目に、金額が一切再コミットされません。

1: 新しい元帳日付を使用して、年度末債務金額が翌年度に繰り越されます。

2: 新しい元帳日付および新しい勘定科目コードを使用して、年度末債務金額が翌年度に繰り越されます。

## 2. 元帳クラス :

AAI の取り込みに使用される元帳クラス コードを指定します。元帳クラスコードを入力するか、またはフィールドをブランクにして、購買明細行の元帳クラス コードを使用することもできます。勘定科目の再分類機能を使用して外注契約を処理する場合、元帳クラス コードを入力する必要があります。購買オーダーと外注契約の両方を処理する場合、入力した元帳クラスコードが両方に使用されます。このコードにより、請求書の転記時に相殺される買掛金勘定(クラス)が決まります。このフィールドには、英数字を入力できます。または、総勘定元帳コードの主科目と同じコードを使用することもできます。

注: コード 9999 は使用しないでください。このコードは、仕訳を作成しないように設定されているコードで、転記プログラムにより予約されています。

## 3. 元帳タイプ

購買明細実績 (F43199) テーブルの実績レコードに使用される元帳タイプを指定します。AA (実績金額)、BA (予算金額)、または AU (実績数量) など、元帳のタイプを指定するユーザー定義コード (09/LT) です。

## 4. 新しい元帳日付

現行年度の債務繰越用の元帳日付を指定します。この日付は、取引を転記する会計期間を指定します。一般会計固定情報で各会計期間の日付範囲を指定します。

## 5. 元帳日付のコミット解除

債務をコミット解除 (リリース) する元帳日付を指定します。この日付は、取引を転記する会計期間を指定します。一般会計固定情報で各会計期間の日付範囲を指定します。

## 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

### 1. 実行モード

債務繰越をテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードで債務繰越を実行した場合、状況コードおよび適用可能なテーブルが一切更新されません。最終モードで債務繰越を実行した場合、状況コードおよび全ての適用可能なテーブルが更新されます。どちらのモードで実行しても、仕訳の入力とエラーを印刷できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モードで債務繰越を実行します。

1: 最終モードで債務繰越を実行します。

## 製造編集

この処理オプションを使用して、製造情報を入力します。

### 1. 製造の債務を処理するには "1" を入力してください。

製造作業オーダーに関連する会計債務を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買オーダーおよび外注に関連する会計債務のみ処理します。

## 2. 作業オーダーの終了状況

1: 購買オーダー、外注、および製造作業オーダーに関連する会計債務を処理します。

手配済み作業オーダーの終了に使用される作業オーダー状況を指定します。この処理オプションでは、オーダーが未処理かどうかを判断するための作業オーダー状況を指定することもできます。この処理オプションで指定した終了作業オーダー状況未満の作業オーダーのみが、システムにより処理されます。この処理オプションをブランクにすると、状況コード 99（終了）がデフォルトとして使用されます。

## 予算の使い方

作業、プロジェクト、部署などの予算を設定する場合、購買金額が予算を超過しないかどうか確認する必要があります。予算と支出金額、または予算と支出予定金額とを比較できます。

このセクションでは、予算チェックの概要と予算の検討方法について説明します。

### 予算チェックについて

予算チェックを使用して、明細行金額が特定の作業、プロジェクト、部署などの予算を超過していないかどうかを識別できます。

**注:** 予算チェックを行うには、購買明細行を勘定科目コード別に入力します。

購買オーダーの入力時または変更時には毎回、各明細行の勘定科目コードがチェックされ、勘定科目に対して使用できる予算と比較されます。明細行金額が使用可能な予算額を超過する場合、オーダー全体が保留になります。購買オーダー プログラム (P4310) の予算作成処理オプションを設定すると、明細行金額が使用可能な予算額を超過した場合に警告メッセージを表示することはできますが、この場合もオーダーは保留にされます。予算保留を解除するまで、オーダーに関するそれ以降の処理は実行できません。各ビジネスユニットに対して予算保留コードを設定する必要があります。

勘定科目コードに対して指定した予算額から実績金額 (AA 元帳) およびコミット金額 (PA 元帳) を減算して、使用可能な予算額が算出されます。以下の予算計算が使用されます。

使用可能な予算額 = 当初予算変更額 - 実績金額 - コミットメント - 債務

元帳については、以下の予算計算が使用されます。

使用可能予算 = BA 元帳金額または JA 元帳金額 - AA 元帳金額 - PA 元帳金額

[購買オーダー入力] の処理オプションの [予算作成] タブを設定して予算チェックを有効にし、次のような情報を指定します。

- 予算額を取り込む予算元帳
- 予算を超過する明細行に割り当てられる保留コード
- 保留になる前に明細行が予算を超過できるパーセント
- 予算額を確定する方法

予算の作成には JA 元帳タイプを使用しないでください。この元帳タイプは作業原価システムに予約されています。

予算チェックの理解を深めるには、次のトピックを参照してください。

- 詳細レベルの検索シナリオ
- 予算合計
- 会計年度の使用可能累計予算の算出

### 詳細レベルの検索シナリオ

勘定科目の作成時に、各勘定科目コードを詳細レベルに割り当てます。詳細レベル範囲は 1 から 9 までで、最上位は 1、最下位は 9 になります。

処理オプションに詳細レベルを入力すると、使用できる予算の検索が実行されます。またこの処理オプションにより、勘定科目に対する実績金額、コミット金額、および債務金額の累積方法が制御されます。

### 予算額の累積

2 つの検索シナリオがあります。

- オーダーに入力する勘定科目コードが予算勘定科目コードと一致し、この勘定科目の詳細レベルが処理オプションに入力する詳細レベルと等しい場合、予算は積上げられません。

勘定科目の使用可能予算が算出されます。明細行が使用可能予算を超過する場合、その行に対して予算保留が適用されます。

- オーダーに入力する勘定科目コードが処理オプションに入力する詳細レベルと一致せず、勘定科目の詳細レベルが処理オプションの詳細レベルを下回る場合、処理オプションに入力する詳細レベルと一致する勘定科目から予算が取り込まれます。

### 実績およびコミット金額の累積

処理オプションで予算が累積されるように設定すると、処理オプションに入力した詳細レベルを開始レベルとして、最下位の詳細レベルまでの予算が累積されます。

勘定科目の実績金額、コミット金額、および債務額を累積する際には、まず勘定科目表の上位の詳細レベルから検索されます。処理オプション入力した詳細レベルと一致する詳細レベルを持つ最初の勘定科目コードが検索されます。この勘定科目コードは、オーダーの勘定科目コードの詳細レベルより上位にある必要があります。

次に、勘定科目表のさらに下位にある詳細レベルを検索して、処理オプションで指定した詳細レベルと同じレベルの最初の勘定科目コードを選択します。この勘定科目コードは、オーダーの勘定科目コードの詳細レベルより下位にある必要があります。

さらに、識別された勘定科目範囲に対する実績、コミット/債務の勘定残高を累計し、予算元帳から合計額を計算して、使用可能予算が算出されます。オーダーの金額と使用可能予算が比較されます。

明細行が使用可能予算を超過する場合、その行に対して予算保留が適用されます。

### 予算合計

[購買オーダー・ワークベンチ] プログラムの処理オプションの [予算合計方法] で、予算の合計方法を指定します。

予算作成については、F0902 テーブルの以下のフィールドが使用されます。

- BORG - 当初または期首予算
- AN01 から AN12 - 現行年度における変更を含む転記額フィールド
- AYPG - 繰越残高フィールド。このフィールドには現行年度に繰り越される前年度変更分の合計が含まれます。

作業原価計算の場合は、この処理オプションに「1」を入力します。フィールドには金額が追加されます。これらのフィールドの合計は、予算チェックに使用される予算額になります。

**注:** この処理オプションに「1」を入力すると、当初予算を配賦することはできません。

公共部門および非営利団体の場合は、この処理オプションに「2」を入力します。この方法は、当初予算が正味額フィールドに配賦されるときに使用してください。正味額フィールドから合計予算が算出され、予算チェック時に使用されます。

営利団体の場合は、この処理オプションに「3」を入力します。転記額フィールドに予算の変更を入力します。転記額フィールドと当初予算が追加され、予算チェック時に使用する予算額が確定されます。これは当初予算が転記額フィールドに配賦されない場合に使用してください。

## 現行期間までの使用可能予算額の算出

[期間累計方法] 処理オプションを使用して、使用可能な予算の算出方法を指定します。

この処理オプションに「1」を入力すると、会社の会計期間パターンに基づいて総勘定元帳の現行期間が確定されます。それから、第 1 期間から現行期間までの期間予算額が合計されます。この金額は予算チェック時の当初予算として使用されます。

[予算合計方法] 処理オプションに「2」を入力する場合にのみ、この処理オプションに「1」を入力してください。

## 予算の検討

商品およびサービスについて作成した予算を、実際に使用した金額および先日付にコミットした金額と比較することがあります。それぞれの金額について次の点を検討します。

- 予算額
- 発生した実績金額
- 特定日付までのコミット金額合計
- 予算額と、使用した金額または先日付で発生するコミット金額との差異
- 特定の勘定科目、および特定のトランザクションに関連する仕訳入力に影響したトランザクション

## 予算の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[試算表/元帳比較]	W09210AA	[購買照会](G43B112)、[予算対比] [購買照会](G43C112)、[予算対比]	予算を処理します。

## 予算の検討

[試算表/元帳比較] フォームにアクセスします。

### [元帳タイプ1]

AA (実績金額)、BA (予算金額)、または AU (実績数量) など、元帳のタイプを指定する UDC (09/LT) の値を入力します。総勘定元帳内で同時に複数の元帳を設定して、すべての取引の監査証跡を設定できます。

[元帳タイプ1終了日付]	取引を転記する会計期間を特定する日付を入力します。会社レコードに割り当てる期間パターン コードの会計期間を定義します。トランザクションで入力した日付と会社で割り当てられた会計期間パターンを比較して、適切な会計期間番号の取得と日付検証が行われます。
[詳細レベル]	<p>総勘定元帳の勘定科目を詳細レベル別に集計して分類する番号を入力します。最も詳細度が高いのがレベル 9 で、最も詳細度が低いのがレベル 1 です。レベル 1 と 2 は会社とビジネスユニットの合計用に予約されています。レベル 8 と 9 は、作業原価システムの作業原価転記勘定用に予約されています。これ以外に次のレベルがあります。</p> <p>3: 資産、負債、収益、費用</p> <p>4: 流動資産、固定資産、流動負債など</p> <p>5: 現金、売掛債権、棚卸資産、給与など</p> <p>6: 小口現金、銀行預金、売掛金など</p> <p>7: 小口現金 - 西日暴支社、小口現金 - 九州支社など</p> <p>8: さらに詳細なレベル</p> <p>9: さらに詳細なレベル</p> <p>詳細レベルの間をあけてレベルを勘定科目に割当てないでください。詳細レベルが連続していないと、集計エラーを起こして正確な財務レポートが作成されない場合があります。</p>
[当月計上額差異]	関連する勘定科目コードの勘定残高に追加される金額を入力します。貸方の金額は、金額の前か後にマイナスの符号 (-) を付けて入力します。
[元帳1当月計上額]	関連する勘定科目コードの勘定残高に追加される金額を入力します。貸方の金額は、金額の前か後にマイナスの符号 (-) を付けて入力します。

## 保留オーダーの利用

このセクションでは、保留オーダーの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- オーダー保留の入力
- 保留オーダー リリース (P43070) の処理オプションの設定
- オーダー保留のリリース

### オーダー保留について

オーダーが処理されないように、オーダーを保留にすることができます。オーダーを保留にするのは次の場合です。

- 仕入先との価格および条件が確定していない
- その仕入先を使用するかどうかわからない
- 仕入先の最低オーダー金額が条件に合わない
- オーダーが予算額を超過している

保留オーダーを印刷または入荷することはできません。オーダーの処理を継続するには、保留をリリースする必要があります。保留オーダーをリリースするには正しいパスワードが必要です。

オーダーを保留にすると、そのオーダーは処理されません。仕入先との価格交渉が終了していない、またはオーダーが予算を超過している場合、オーダーを保留にすることがあります。

オーダーの保留には予算保留と通常保留の 2 つのタイプがあります。予算保留は予算を超過するオーダーに対するものです。通常保留はその他の保留すべてに対するものです。

## 事前設定

保留コードを設定して、各保留コードに担当者を割り当てます。

## 保留オーダーの処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保留オーダーの処理]	W43070A	<p>[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[保留オーダーのリリース]</p> <p>[オーダー生成/承認/リリース](G43B13)、[保留オーダー・リリース(予算)]</p> <p>[オーダー生成/承認/リリース](G43D13)、[保留オーダー・リリース]</p>	保留オーダーを処理します。

## オーダー保留の入力

次の 3 つの方法のいずれかにより、オーダーを保留にできます。

- オーダー入力フォームでオーダーに対して保留コードを割り当てる。
- 購買指示の仕入先に保留コードを割り当てて、その仕入先のオーダーを入力するたびに保留コードが割り当てられるようにする。
- 購買オーダーの入力プログラムの処理オプションで予算保留コードを指定する。  
 予算チェックがアクティブになっている場合、明細行が予算を超過すると購買オーダーに保留コードが割り当てられます。

## 保留オーダー リリース (P43070) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、保留オーダー リリース処理に使用されるデフォルト情報を入力できます。

#### 1. オーダー タイプ

伝票タイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの発生元も指定します。PeopleSoft では伝票、請求書、入荷確認書、およびタイム カードの伝票タイプを予約しており、転記プログラムを実行したときに自動的に仕分けが作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。以下の伝票タイプが事前定義されています。変更しないでください。



P: 買掛金伝票  
 R: 売掛金伝票  
 T: 給与計算伝票  
 I: 在庫伝票  
 O: 購買オーダー処理伝票  
 J: 一般会計/共有利息請求伝票  
 S: 受注オーダー処理伝票

## 2. リリース コード

値を入力して、保留オーダーがリリースされたときのリリース コードを指定します。

### 表示

以下の処理オプションを使用して、表示する情報のタイプを制御します。

1. 受注オーダーを表示するには“1”を入力してください。それ以外の場合は購買オーダーが表示されます。

値を入力して、表示されるオーダーのタイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買オーダーを表示します。

1: 受注オーダーを表示します。

2. 前にリリースしたオーダーを表示するには“Y”を入力してください。

値を入力して、前にリリースしたオーダーを表示します。有効値は以下のとおりです。

Y: 前にリリースしたオーダーを表示します。

### バージョン

以下の処理オプションでは、保留オーダー リリース プログラムから他のプログラムを呼び出す場合に使用するバージョンが制御されます。ビジネス プロセスに従って、さまざまなバージョンを定義できます。

1. 受注オーダー入力 (P4210)

受注オーダー入力のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクのままにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

2. 購買オーダー入力 (P4310)

購買オーダー入力のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクのままにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

3. ピッキング リスト印刷 (R42520)

ピッキング リスト印刷のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクのままにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

4. シップ アンド デビット (R45100)

シップ アンド デビットのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクのままにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

5. 製造作業オーダー (P48013) (受注オーダーのリリースにのみ適用)

製造作業オーダーのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクのままにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

1. ピッキング リストの自動印刷

値を入力して、ピッキング リストの印刷を指定します。有効値は以下のとおりです。

- 倉庫

1. 要求処理モードを入力してください。	制御更新レコードが申請済み、更新済み、または却下済みとして処理されたかどうかを示します。有効値は以下のとおりです。 ブランク: レコードは承認用に申請されています。 0: 承認用に申請されたレコードは却下されています。 1: 承認用に申請されたレコードはマスター ファイルに更新されています。
2. サブシステムで要求を処理する場合は、そのバージョンを入力してください。	システムで使用するバージョンを入力します。
3. 要求が生成済みの受注オーダー行の「次の状況」を一時変更します。	値を指定します。

## 前払

1. 承認保留をリリースし、前払状況を進めます。	承認保留をリリースして状況を進めるかどうかを指定します。システムでは、承認が受領された場合にのみ承認保留をリリースできます。
2. 決済保留をリリースし、前払状況を進めます。	決済保留をリリースして状況を進めるかどうかを指定します。決済保留は、決済が受領された場合にのみリリースされます。

## オーダー保留のリリース

Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

保留にされているオーダーを処理するには、保留をリリースする必要があります。特定のオーダーに対するすべての保留を検討して、リリースするオーダーを選択できます。

予算保留については、保留オーダー リリース (予算) プログラムから [試算表と元帳の比較] にアクセスして、予算保留オーダーをリリースする前に予算を検討できます。オーダーに承認経路が割り当てられている場合には、予算保留のオーダーをリリースする際に [保留オーダー・リリース (予算)] は使用できません。この場合、承認の検討プログラムを使用して承認を得てから、オーダーをリリースしてください。

---

## ログ情報の利用

このセクションでは、ログ情報の概要と以下の方法について説明します。

- ログ情報の入力
- ログ レポート/更新の実行
- モデル ログからの情報のコピー

### ログ情報について

ログ情報は、オーダー情報に対する補足データです。受理事項や送付事項などの詳細を含みます。提出事項は、たとえば保険証明書など、協力会社や仕入先から受け取る必要のある情報です。伝達事項は、進行許可など協力会社や仕入先に送付する必要のある情報です。ログには、会議の日付、注記などオーダーに関連する情報も含まれます。

すべての受理事項を受け取る前に支払を行うと、受理事項未処理の警告が表示されるように、ログ情報に日付を割り当てることができます。たとえば、協力業者や仕入先にオーダーに対して支払を行う前に保険情報の提出を要求している場合、受理事項未処理の警告を指定できます。その情報を受け取る前に支払をしようとすると警告が発信されます。

契約に新しいログ情報を入力するか、またはモデル ログからオーダーにログ情報をコピーできます。モデル ログは、契約にコピーしてから各契約に対して修正を加えることができる、1 組のセットになった標準ログ情報です。コピー機能を使えば、複数のオーダーにわたって重複するログ情報がある場合に時間の節約になります。

## ログ情報の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダー の入力]  [外注処理] (G43D11)、[外 注オーダー入力]	オーダー見出しの処理 を行います。  注: [オーダー見出し] フォームは、購買オーダー 入力プログラムの [処理] タ ブにある [見出しの表示] 処理オプションを設定して 見出しフォームを最初に表 示するようにした場合にの み表示されます。
[オーダー明細の処理]	W4310G	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダー の入力]  [外注処理] (G43D11)、[外 注オーダー入力]	オーダー明細を処理 します。
[ログの処理]	W4305A	[オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択 して、[ロー] メニューの [ロ グ詳細] をクリックします。	ログ詳細を確認します。
[モデル・ログの処理]	W4303B	[購買オーダー処理] (G43A11)、[オーダー・ログ の改訂]  [ログ詳細] フォームでオー ダーを入力し、[フォーム] メ ニューから [モデル・ログ] を選択します。  [外注処理] (G43D11)、[ オーダー・ログの改訂]  [ログ詳細] フォームでオー ダーを入力し、[フォーム] メ ニューから [モデル・ログ] を選択します。	モデルログにアクセスしま す。モデル ログには、オー ダーにコピーできる標準ロ グ情報が含まれていま す。[モデル・ログの処理] フォームを使用する前に、 モデル ログ情報を作成す る必要があります。

## ログ情報の入力

[オーダー見出しの処理] または [オーダー明細の処理] フォームにアクセスします。

ログ情報を入力して、オーダーに固有の情報を識別します。複数の明細行にログ情報を入力できます。ログ情報を入力した後、各品目行に対して記述テキストを入力できます。また、契約に対するログ情報を削除することも可能です。

### [状況コード]

附帯項目行の要件を満たしているかどうかを指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 要件が満たされていないか、附帯項目行が非アクティブであるか、または必須の状況がありません。

Y: 要件が満たされています。

N: 要件が満たされていません。

**[支払警告]**

受理事項要件が非常に重要なために、受理事項要件が適切に満たされない場合、外注業者への通常支払が停止される可能性があるかどうかを示すコードを入力します。通常、このコードは受理事項ログ エントリと組み合わせて使用します。有効値は以下のとおりです。

Y: ログ要件が満たされない場合は警告メッセージを表示します。

N: 警告メッセージを表示しません。

[支払警告] を Y に設定した場合は、未処理のログ要件が存在すると、進捗支払の入力中に、さまざまな警告メッセージが表示されることがあります。

未処理ログ警告は、[支払警告] フィールドで設定します。未処理ログ警告を受け取るには、ログの状況が N であり、[支払警告] フィールドが Y で、要求日付や有効終了日付がシステム日付よりも前になっている必要があります。未処理ログ タイプ UDC (43/OL) にあるログ タイプもすべてチェックされます。

## ログ レポート/更新の実行

[外注契約レポート] (G43D111) の [ログ・レポート/更新] を選択します。

[ログ・レポート/更新] を実行すると、F4303 テーブルの [支払時警告] フィールドの値を更新できます。このレポートには、以下の情報が表示されます。

- 契約に関連するログ品目およびテキスト
- 受理事項および送付事項の状況

レポートを実行する際に、失効したログの状況を未完了に更新するかどうかを指定できます。これにより、未処理提示条件警告が生成されます。また、レポートの情報を検討して、ログが失効している契約に対して支払を転記するかどうかを判断できます。

## モデル ログからのログ情報のコピー

[モデル・ログの処理] フォームにアクセスします。

---

## バッチによるオーダーの印刷

このセクションでは、バッチ印刷の概要と、以下の方法について説明します。

- バッチ印刷
- 購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定

### バッチ印刷について

オーダーを入力した後で印刷して、内容を検討してから適切な仕入先に送ることができます。オーダーは仕入先マスターの仕入先に対して指定されている言語で印刷されます。

また、ワークテーブルにオーダーを印刷して、レポートをカスタマイズすることもできます。レポートをカスタマイズする前に、正しい住所情報および添付ファイルまたは注記を取り込んでください。

保留オーダーは印刷できません。

バッチ処理を実行してオーダーを印刷、検討し、適切な仕入先に送付できます。

処理オプションを使用して、オーダーに印刷する情報を指定します。次の情報を印刷できます。

- 税
- 未処理の品目情報のみ
- 仕入先品目番号
- 外貨および国内通貨
- 為替レート（外貨ユーザー用）
- メッセージ

購買指示を定義する際に [価格ピッキング・リスト] フィールドで価格と調整を印刷するように設定すると、調整はレポートに自動的に印刷されます。

## バッチ印刷

[購買オーダー処理] (G43A11) の [購買オーダーの印刷] を選択します。

## 購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 状況コード

以下の処理オプションでは、購買オーダーの印刷時に更新する状況コードの範囲と、状況コードを自動更新するかどうかを指定できます。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. 開始「次の状況」コード (任意) | システムに更新させる状況コード範囲の開始を指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を使用します。   |
| 2. 終了「次の状況」コード (必須) | システムに更新させる状況コード範囲の終了を指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を使用します。   |
| 3. 次の一時変更状況コード (任意) | システムに更新させる「次の状況」コードを指定します。この一時変更状況は、状況コードの更新で実行できるもう 1 つのステップになります。使用しているオーダー タイプおよび行タイプに対する [オーダー処理順序定義] フォームで設定した UDC (40/AT) を入力してください。  |
| 4. 状況の更新            | <p>オーダーの状況を更新するかどうかを指定します。状況コードは、使用しているオーダー タイプおよび行タイプに対する [オーダー処理順序定義] フォームで設定した UDC (40/AT) です。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 次の状況に更新します。</p> <p>1: 次の状況に更新しません。</p> <p>2: 全ての行の次の状況を更新しますが、変更された行だけを印刷します。どの行も変更されていない場合は、全ての行が印刷されます。</p> |

### 税情報

この処理オプションでは、購買オーダーを印刷する際に含める税情報を指定できます。

## 1. 税印刷

購買オーダーの印刷時に自動的に出力する税情報を指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: グループ別に税情報が印刷されます。
- 2: 地域別に税情報が印刷されます。
- 3: 納税先別に税情報が印刷されます。

## レポート表示

この処理オプションでは、レポートに含める情報を選択します。たとえば、数量や金額、為替レート、一括メッセージ、備考などです。

### 1. 数量および金額の表示

当初の数量と金額を印刷するか、それとも未処理の数量と金額を印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 当初の数量と金額を印刷します。

- 1: 未処理の数量と金額を印刷します。

### 2. 為替レートの表示

為替レートを印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 為替レートを印刷しません。

- 1: 為替レートを印刷します。

### 3. 印刷する一括印刷メッセージ

各オーダーに印刷するテキストメッセージを指定します。テキストメッセージの例としては、生産設計仕様、休暇中の作業時間数、特殊配送指示などがあります。

テキストメッセージは、40/PM で設定される UDC です。

### 4. 購買オーダー注記の表示

購買オーダーの注記を印刷するかどうかを指定します。注記の例としては、発注者の名前、オーダーの品目およびサービスの調達を担当する購買担当者、オーダーの配送を請け負っている会社、確認番号、ジョブ番号などがあります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買オーダーの注記を印刷しません。

- 1: 購買オーダーの注記を印刷します。

### 5. レポート見出しの表示

事前印刷用紙を使用する場合にレポートタイトルと会社名を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: デフォルトのレポートタイトルと会社名を印刷します。

- 1: レポートタイトルと会社名を印刷しません。

### 6. 購買担当部門名の表示

購買担当部門名を購買オーダーに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買担当部門名を購買オーダーに印刷しません。

- 1: 購買担当部門名を購買オーダーに印刷します。

## 品目番号の表示

この処理オプションでは、品目番号の表示形式を指定します。

### 1. 品目番号の表示

品目番号だけを印刷するか、それとも品目番号と仕入先の品目番号の両方を印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 品目番号だけを印刷します。
  - 2: 品目番号と仕入先の品目番号の両方を印刷します。
- 2. 相互参照タイプを入力してください。** 仕入先の品目番号の印刷時に使用する相互参照のタイプを指定します。相互参照情報は、F4013 テーブルに保存されます。相互参照情報は、41/DT で設定される UDC です。

## オーダー改訂

印刷するオーダーの改訂および表示するオーダー行を指定します。

- 1. オーダー改訂の印刷** 特定のオーダー改訂、購買オーダー全体、または最後のオーダー改訂を印刷するかどうかを指定します。特定のオーダー改訂を印刷するには、オーダー改訂番号を入力します。その他の値は次のとおりです。  
 ブランク: 購買オーダー全体を印刷します。  
 \*: 最後のオーダー改訂を印刷します。
- 2. 改訂の行** 改訂されたオーダー行だけを印刷するのか、それとも全てのオーダー行を印刷するのかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 改訂された行だけを印刷します。  
 1: オーダーの全ての行を印刷します。

## 通貨

金額を国内通貨と外貨のどちらで印刷するか指定します。

- 1. 金額の表示** 国内通貨と外貨のどちらで金額を印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 国内通貨で金額を印刷します。  
 1: 外貨で金額を印刷します。

## EDI

表示する EDI 情報を指定できます。

- 1. EDI 処理選択** 購買オーダーを印刷するのか、EDI 処理を使用するのか、それともその両方を行うのかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 購買オーダーだけを印刷します。  
 1: 購買オーダーを印刷し、EDI への出力を作成します。  
 2: EDI 処理だけを使用します。
- 2. EDI トランザクション** 購買オーダーと見積オーダーのどちらとして EDI トランザクションを入力するのかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 1: 購買オーダーとして EDI トランザクションを入力します。  
 2: 見積オーダーとして EDI トランザクションを入力します。
- 3. EDI 伝票タイプ** EDI トランザクションで作成される EDI 伝票タイプを指定します。



- 非 EDI 環境では、伝票タイプは、請求書伝票タイプや買掛伝票タイプなどのオーダー入力時に割り当てられたオーダー タイプ (DCTO) と一致します。
- 4. EDI トランザクション セット番号** EDI トランザクションのタイプの分類方法を指定します。
- 5. EDI トランザクション変換フォーマット** 受信 EDI トランザクションと送信 EDI トランザクションの両方を処理するために使用する特定のマッピング構造を指定します。このオプションは、非 EDI トランザクションには適用されません。
- 6. 取引先 ID** この EDI トランザクションで伝票を交換している取引先を指定します。
- 7. トランザクション セット 目的** トランザクション セットの目的を指定します。  
トランザクション セット目的コードは、EDI 伝票の送受信時に 47/PU で設定する UDC です。[トランザクション・セット目的] フィールドがテーブルに表示されるたびに、そのアクション コードが使用されます。
- 8 EDI 出荷スケジュール メッセージ** システムで EDI 出荷スケジュール メッセージを作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: EDI 出荷スケジュール メッセージを作成しません。  
1: EDI 出荷スケジュール メッセージを作成します。
- 9. 出荷スケジュール修飾子** 出荷スケジュール修飾子を指定します。出荷スケジュール修飾子コードでは、スケジュールや予測で出荷または配送時刻を定義するときに使用した日付のタイプが識別されます。有効な修飾子値を入力するか、または空白のままにすることができます。有効値は以下のとおりです。  
空白: かんばんが使用されます。  
AB: 承認済み配送ベース  
AS: 承認済み出荷ベース  
BB: 製造ベース  
DL: 配送ベース  
JS: 購買担当者製造順序スケジュール  
KB: かんばんシグナル  
PD: 計画配送  
PS: 計画出荷  
SH: 出荷ベース  
ZZ: 相互定義

## バージョン

この処理オプションを使用して、印刷する購買オーダーを変更できます。

- 1. 印刷オプション** 購買オーダー情報をワークファイルに送り、2 次 UBE を起動してそのワークファイルを読み込んで購買オーダーを印刷するかどうかを指定します。たとえば、購買オーダー印刷プログラムのレイアウトをカスタマイズする必要がある場合は、このオプションを使用します。  
購買オーダー印刷プログラム (R43500) は、オーダーを処理して、必要なロジック (税計算など) を実行します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買オーダー印刷プログラム (R43500) を起動します。

1: 2 次 UBE を起動します。

このオプションをブランクのままにした場合、購買オーダー情報はワークファイルに送られず、2 次 UBE も起動されません。

## 2. 2 次 UBE 名

[印刷オプション] 処理オプションと連携して機能します。起動する 2 次 UBE プログラムの名前を指定します。このオプションをブランクのままにした場合は、デフォルトの購買オーダー印刷プログラム (R43501) が起動されます。

## 3. 2 次 UBE バージョン

購買オーダー印刷プログラム (R43501) の使用時にシステムによって使用されるバージョンを定義します。有効なバージョンを入力するか、ブランクのままにします。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

バージョンを選択するときには、バージョンの処理オプションを検討して、そのバージョンがニーズに合っていることを確認してください。

[印刷オプション] 処理オプションを 1 に設定し、[2 次 UBE 名] 処理オプションをブランクのままにした場合は、デフォルトの購買オーダー印刷プログラム (R43501) が使用されます。

# オーダーの個別印刷

このセクションでは、個別オーダー印刷の概要と個別印刷方法について説明します。

## 個別オーダー印刷について

オーダーを個別に印刷して、適切な仕入先に送る前にオーダーを検討できます。EDI (電子データ交換) システムに購買オーダー情報を保管するように [購買オーダー入力] の処理オプションを設定すると、EDI システムを使用して仕入先にオーダーを送信できます。

オーダーには次の 3 つのタイプのメッセージを印刷できます。

- 印刷メッセージ
- 添付
- 一括メッセージ

購買オーダー プログラム (P4310) を使用して印刷メッセージを作成します。印刷メッセージを作成した後、それをオーダー入力時にオーダーまたは明細行に割り当てることができます。

[購買オーダー入力] の処理オプションを使用して添付ファイルを印刷するかどうかを指定します。オーダー入力時に、添付ファイルをオーダーあるいは明細行に割り当てることができます。

また、一括メッセージの印刷も処理オプションで指定します。一括メッセージは常に、オーダーの上部に印刷されます。

オーダーの印刷は通常、オーダーの処理順序における 1 つのステップです。このステップは [オーダー処理順序定義] で設定します。オーダーを印刷した後は、次の処理ステップに自動的に進めることも、または再度印刷できるようにそのままにしておくこともできます。[購買オーダー入力] の処理オプションを使用して、オーダーの印刷後にオーダーの状況コードを更新するかどうかを指定します。

1 回目はオーダーを検討するため、2 回目は状況コードを更新するために、オーダーを 2 回印刷する場合があります。[購買オーダー入力] の処理オプションを使用して、次の 2 つの印刷プログラム バージョンにアクセスできます。

- 購買オーダーの印刷
- 購買オーダーの再印刷

あるバージョンを使用してオーダーを検討し、別のバージョンでオーダーの状況コードを更新する場合もあります。

保留オーダーを印刷すると、白紙ページが印刷されます。

## オーダーの個別印刷に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダーの入力]	オーダー見出しを処理します。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー]メニューから[明細の改訂]を選択します。	オーダー明細の改訂を行います。
[プリンタの選択]	W986162B	[オーダー明細] フォームで明細行を選択して、[フォーム]メニューから[オーダーの印刷]を選択します。  [オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択して、[ロー]メニューから[オーダーの印刷]を選択します。	オーダーの印刷方法を指定します。

## 個別印刷

[オーダー見出しの処理] フォームにアクセスします。

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Purchase Orders for an Inventory Item

This section discusses:

- How to print purchase orders for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500).

## Printing Purchase Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for printing purchase orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print purchase orders for an inventory item.	(Rapid Start CAN and USA) Purchase Order Processing, Print Purchase Orders  (Rapid Start FRA) Purchase Order Processing, Print Open Purchase Orders	R43500/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rues: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Next Status = 280	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Purchase Orders – Batch (R43500)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Status Codes

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status Code From (optional)	280
2. Next Status Code Thru (required)	280
3. Next Status Code Override (optional)	blank
4. Status Update	blank

### Tax Information

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Tax	3

**Report Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity & Amount Display	blank
2. Exchange Rate Display	blank
3. Global Message to be printed	blank
4. Purchase Order Note Display	1
5. Report Heading Display	blank
6. Purchasing Agent Name Display	1

**Item Number Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Item No. Display	2
2. Enter Cross Reference Type	VN

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. To print Order Revision Enter specific order revision number (or)	blank
2. Lines for a Revision	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Display	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Transaction Format	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. EDI Shipping Schedule Message	blank
9. Shipping Schedule Qualifier	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Option	blank
2. Name of 2nd UBE	blank
3. Second UBE Version Enter version to be run (or)	blank

## 関連項目:

第 10 章、「購買オーダーの利用」、「購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定」、188ページ

# (Rapid Start AUS and NZL) Printing Purchase Orders for an Inventory Item

This section lists a prerequisite and discusses:

- How to print purchase orders for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Purchase Orders (R43500).

## Prerequisite

Verify that the Australia and New Zealand tax summary is printed correctly.

## Printing Purchase Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for printing purchase orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version
Print purchase orders for an inventory item.	Purchase Order Processing, Print Purchase Order	R43500/RIS3001

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Purchase Orders (R43500)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001. This table lists the tasks for printing purchase orders for an inventory item:

### Status Codes

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status Code From (optional)	280
2. Next Status Code Thru (required)	280
3. Next Status Code Override (optional)	blank
4. Status Update	blank

### Tax Information

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Tax	2

### Report Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity & Amount Display	blank
2. Exchange Rate Display	blank
3. Global Message to be printed	blank
4. Purchase Order Note Display	1
5. Report Heading Display	blank
6. Purchasing Agent Name Display	1

### Item Number Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Item No. Display	2
2. Enter Cross Reference Type	VN

## Order Revision

Processing Option Description	Value or Status
1. To print Order Revision Enter specific order revision number (or)	blank
2. Lines for a Revision	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Display	1

## EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Transaction Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. EDI Shipping Schedule Message	blank
9. Shipping Schedule Qualifier	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Option	blank
2. Name of 2nd UBE	blank
3. Second UBE Version Enter version to be run (or)	blank

## 関連項目:

第 10 章、「購買オーダーの利用」、「購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定」、188ページ



## (Rapid Start AUS and NZL) Reprinting Purchase Orders for an Inventory Item

This section lists a prerequisite and discusses:

- How to reprint purchase orders for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Reprint Purchase Order (R43500).

### Prerequisite

Verify that the Australia and New Zealand tax summary is printed correctly.

### Reprinting Purchase Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for reprinting purchase orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version
Reprint purchase orders for an inventory item.	Purchase Order Processing, Reprint Purchase Order	R43500/RIS3004

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Purchase Order (R43500)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3004.

#### Status Codes

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status Code From (optional)	blank
2. Next Status Code Thru (required)	999
3. Next Status Code Override (optional)	blank
4. Status Update	1

#### Tax Information

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Tax	2

## Report Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity & Amount Display	blank
2. Exchange Rate Display	blank
3. Global Message to be printed	blank
4. Purchase Order Note Display	1
5. Report Heading Display	blank
6. Purchasing Agent Name Display	1

## Item Number Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Item No. Display	2
2. Enter Cross Reference Type	VN

## Order Revision

Processing Option Description	Value or Status
1. To print Order Revision Enter specific order revision number (or)	blank
2. Lines for a Revision	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Display	1

## EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Transaction Format	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. EDI Shipping Schedule Message	blank
9. Shipping Schedule Qualifier	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Option	blank
2. Name of 2nd UBE	blank
3. Second UBE Version Enter version to be run (or)	blank

### 関連項目:

第 10 章、「購買オーダーの利用」、「購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定」、188ページ

---

## (Rapid Start) Printing Purchase Order for Selling a Direct Ship Item

This section discusses:

- How to print purchase order for selling a direct ship item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Print Purchase Orders – Batch (R43500).

### Printing Purchase Order for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for printing purchase order for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print purchase order for selling a direct ship item.	Purchase Order Processing, Print Purchase Order	R43500/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> <p>Purchase Order next Status = 280</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Print Purchase Orders – Batch (R43500)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Status Codes

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status Code From (optional)	280
2. Next Status Code Thru (required)	280
3. Next Status Code Override (optional)	blank
4. Status Update	blank

**Tax Information**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Tax	3

**Report Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity & Amount Display	blank
2. Exchange Rate Display	blank
3. Global Message to be printed	blank
4. Purchase Order Note Display	1
5. Report Heading Display	blank
6. Purchasing Agent Name Display	1

**Item Number Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Item No. Display	2
2. Enter Cross Reference Type	VN

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. To print Order Revision Enter specific order revision number (or)	blank
2. Lines for a Revision	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Display	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Transaction Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. EDI Shipping Schedule Message	blank
9. Shipping Schedule Qualifier	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Option	blank
2. Name of 2nd UBE	blank
3. Second UBE Version Enter version to be run (or)	blank

## 関連項目:

第 10 章、「購買オーダーの利用」、「購買オーダー印刷 (R43500) の処理オプションの設定」、188ページ

# オーダー情報の利用

発注残情報を検討し、オーダーに関する情報を含むさまざまなレポートを印刷できます。

このセクションでは、オーダー関連タスクの概要と、以下の方法について説明します。

- 財務状況情報の検討
- オーダー明細情報の印刷

## オーダー関連タスクについて

ソフトウェアでフォームにアクセスするか、レポートを表示することによって、オーダーに関する情報を検討できます。

## 発注残の検討

オーダーを入力する前に、その品目が既に発注されているかどうかを確認します。これにより、発注残（発注したがまだ入荷していない）オーダーを検討できます。検討する発注残明細行について、オーダー番号や仕入先、品目、勘定科目コードなどを指定できます。

また、検討する明細行のオーダー タイプを選択して、購買オーダー、購買要求、一括オーダーなどの発注残数量を検討できます。

オーダー数量、発注残数量、入荷数量、伝票作成済み数量など、表示されている各発注残明細行に関する情報を検討できます。また、住所番号、日付、税情報にもアクセスできます。

### 仮定通貨の検討

伝票を基本通貨または外貨で入力した場合、それらの金額を別の通貨で照会できます。仮定通貨処理を使用すると、実際に入力された通貨以外の通貨で金額を検討できます。たとえば、ユーロで購買オーダーを入力したカナダの会社が、金額を日本円 (JPY) で検討してから国内通貨 (CAD) および外貨建て金額 (EUR) と比較できます。

仮定通貨処理の利点の 1 つは、ディスク スペースに影響しないことです。仮定通貨で計算された金額はテーブルには書き込まれず、一時メモリで処理されます。このため、ディスク スペースには影響しませんが、処理時間には影響します。

仮定通貨建てで購買オーダーの金額を検討するには、購買オーダー プログラム (P4310) の処理オプションでデフォルトの通貨コードと為替レート日付を入力してください。これにより [オーダー明細の処理] フォームで [仮定通貨] フィールドが表示されます。

為替レートは F0015 テーブルから読み込まれ、購買オーダーの基本通貨 (国内通貨) を基準にして仮定通貨金額が計算されます。為替レートの変更のために、検討している仮定通貨の金額が実際の伝票や支払の金額とは異なる場合があります。

### 変更オーダーの検討

変更オーダーを入力した後に、すべての変更を検討する必要があります。変更オーダーは、オーダー番号や仕入先、品目、勘定科目コードなど条件を指定して検討できます。

オーダー数量、発注残数、入荷数量、および伝票作成済み数量など、変更オーダーに関するその他の情報の検討が可能です。また、住所番号、日付、税情報にもアクセスできます。

### 集計/明細情報の検討

品目、勘定科目コード、オーダー数量、価格、および合計容量および重量など、オーダーの集計情報を検討できます。また、オーダー全体の税額合計および金額を検討することも可能です。

オーダーまたは変更オーダーに関する明細情報を検討できます。たとえば、伝票、留保額、またはオーダーの変更についての情報を検討できます。

### 財務状況の検討

オーダーに関する会計情報の詳細を、リアルタイムで参照できます。また、オーダーに関連する出来高払い伝票の財務明細を検討することも可能です。

財務状況情報には、次の情報が含まれます。

- オーダー明細
- 単位請求金額
- 支払金額
- 留保金額
- 未決済金額

多通貨をオンにしている場合は、[財務状況照会の処理] フォームの [外貨] オプションを使用して、外貨または国内通貨で財務情報を検討できます。指定する為替レートに基づいて、金額が自動換算されます。

## 関連項目:

付録 B, 「EnterpriseOne 調達管理レポート」 431 ページ

## オーダー情報の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー明細の処理], [契約詳細の処理]	W4310G	[購買照会] (G43A112)、[発注残照会] [外注照会] (G43D112)、[発注残照会]	オーダー明細を処理します。検討するオーダーを選択します。
[追加条件の指定]	W43041F	[オーダー明細の処理] フォームで、[フォーム] メニューから [追加選択] を選択します。	追加の選択条件を入力します。
[購買明細照会]	W430301C	[オーダー明細の処理] で明細行を選択し、[ロー] メニューから [オーダー明細] を選択します。	発注残明細行の追加情報を検討します。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー明細の処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー] メニューから [変更オーダー]、[すべての変更オーダーの表示] を選択します。	変更オーダーを検討します。
[オーダー入力 - オーダー集計情報]	W430114A	[オーダー明細の処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー] メニューから [オーダー集計] を選択します。	オーダー集計情報を検討します。
[オーダー集計]	W4310C	[オーダー明細の処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー] メニューから [オーダー集計] を選択します。	オーダー明細情報を検討します。
[財務状況照会の処理]	W44200A	[オーダー明細の処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー] メニューから [財務状況] を選択します。	財務状況情報を検討します。
[仕入先元帳照会]	W0411G	[財務状況照会の処理] フォームで、[フォーム] メニューから [仕入先元帳] を選択します。	伝票情報にアクセスします。

## 財務状況情報の検討

[財務状況照会の処理] フォームにアクセスします。

### [伝票No.]

伝票、請求書、仕訳などの当初伝票を識別する番号を入力します。入力フォームを使って、ユーザーが伝票番号を割り当てるか、または自動採番プ



プログラム (P0002) を使って自動割り当てできます。照合伝票番号 (DOCM) は、売掛管理と買掛管理の両システムに関連する伝票を識別します。当初および照合伝票には次の例があります。

- 買掛管理
- 当初伝票 - 買掛伝票
- 照合伝票 - 支払
- 売掛管理
- 当初伝票 - 請求書
- 照合伝票 - 入金

売掛管理システムでは、これらのトランザクションは当初伝票と照合伝票 (損金、未充当入金、再請求、および手形) を同時に生成するので注意してください。

#### [伝票会社]

伝票番号、伝票タイプ、および元帳日付と組み合わせて当初伝票 (請求書、伝票、仕訳など) を一意に識別する番号を入力します。

会社/会計年度別自動採番機能を使用した場合、自動採番プログラム (X0010) は伝票会社を使用してその会社に対する正しい次の番号を取得します。

複数の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持っている場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を特定できます。

#### [伝票タイプ]

トランザクションの発生元と目的を識別する UDC (00/DT) の値を入力します。伝票、請求書、入荷確認書、タイムシートなどの伝票タイプ用に、いくつかのプレフィックスが予約済みです。予約されている伝票タイププレフィックスは、次のとおりです。

- P: 買掛金伝票
- R: 売掛金伝票
- T: 時間および給与伝票
- I: 在庫伝票
- O: 購買オーダー伝票
- S: 受注オーダー伝票

#### [請求書日付]

仕入先発行の請求書の日付を入力します。

#### [元帳日付]

取引を転記する会計期間を決定する日付を入力します。一般会計の会社固定情報テーブルにより、各会計期間の日付範囲が指定されます。最高 14 期間まで使用できます。

#### [支払期日]

割引の期日を入力します。割引が行われない場合、このフィールドには支払期日が表示されます。

伝票入力時にこのフィールドを空白にすると、請求書日付と支払条件コードを使って自動的に支払期日が計算されます。[支払条件] フィールドを空白にすると、[仕入先マスターの改訂] フォームで仕入先に対して指定した支払条件に基づいて、自動的に割引期日と支払期日が計算されます。

支払期日は伝票入力フォームに表示されません。支払期日は、割引期日フィールドに入力した値に基づいて自動的に計算されるか割り当てられま

す。割引期日フィールドを空白にした場合、割引期日と割引日付は自動的に計算されます。割引期日を手入力すると、割引日付にも同じ日付が割り当てられます。支払期日が計算または割り当てられた後で割引期日を空白以外の値に変更しても、既に計算されている支払日付は変更されません。

**[総額]**

請求書または伝票の支払項目の合計金額を指定する値を入力します。税目コードの値によって、総額は税込みの金額になる場合もあります。消込のときもこの総額は変わりません。トランザクションを無効にすると、[総額]フィールドの金額はクリアされます。

## オーダー明細情報の印刷

[外注契約レポート] (G43D111) の [外注伝票の印刷] を選択します。

契約に対するログおよびコミットメント配賦についての詳細情報は、外注明細レポートで検討できます。多通貨がオンになっている場合は、契約に関連するすべての多通貨情報を検討できます。すべての作業、特定の作業、あるいは個々の契約についての情報を印刷できます。

外注明細レポートでは、F4301、F4311、F4303、および F52034 テーブルの情報が使用されます。

## 第 11 章

# 入荷処理の利用

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、入荷処理の概要と以下の方法について説明します。

- 入荷確認書の印刷
- 入荷の入力
  - (BRA) Enter and review receipts for procurement for Brazil.
  - (BRA) Enter reversing receipts for Brazilian procurement
  - (BRA) Work with errors on notas fiscais
  - (BRA) Close inbound notas fiscais
  - (BRA) Generate a correction letter for a nota fiscal
- 一括入荷の入力
- 入荷トランザクションに対する仕訳の検討
- 入荷情報の印刷
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Enter and receive purchase orders for non-inventory item with 3-way match.
  - (Rapid Start) Receive purchase orders for an inventory item
  - (Rapid Start) Receive purchase order for selling a direct ship item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirm shipment for returning an item to a supplier
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Post purchase order receipts
  - (Rapid Start) Post purchase order receipts for an inventory item
  - (Rapid Start) Post purchase order receipts for selling a direct ship item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Post vouchers for non-inventory item with 2-way match
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Post vouchers for non-inventory item with 3-way match
  - (Rapid Start) Post vouchers for an inventory item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Post journal entries for returning an item to a supplier
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Post vouchers for returning an item to a supplier
  - (Rapid Start) Post procurement transactions for selling a direct ship item
  - (Rapid Start CAN and USA) Post procurement transactions for transfer order with receipt routing

---

## 入荷処理について

購買オーダーで要求した商品およびサービスを入荷する際に、非公式と公式入荷処理のいずれかを使用できます。在庫用に品目を仕入れる場合、公式の入荷処理を使用します。総勘定元帳に計上する品目またはサービスを仕入れる場合は公式、非公式のどちらでも使用できます。

このセクションでは、以下の内容について説明します。

- 非公式の入荷処理
- 公式の入荷処理

### 非公式の入荷処理

非公式の入荷処理では、伝票作成と同時に入荷情報を入力します。ペン 50 本に対する伝票を作成すると、システムは 50 本のペンを入荷したことを認識します。

非公式の入荷処理を使用すると、伝票作成時に F43121 テーブルに単一レコードが作成されます。そのときに、購買に対する債務も作成されます。

### 公式の入荷処理

公式の入荷処理では、伝票作成前に入荷明細を入力します。伝票は入荷情報を基にして作成します。たとえば、ペン 50 本の入荷を入力する場合、ペン 50 本に対して伝票を作成する必要があります。

商品の入荷を正確に記録するには、公式の入荷処理で次のような処理を実行します。

- 品目の実際の入荷の記録
- 入荷の明細の識別
- 入荷の明細の記録

公式の入荷処理で入荷確認書を使用すると、商品の入荷を納品時に手作業で記録できます。それからその情報をシステムに入力します。

納品の際に端末から入荷情報を入力する場合、あるいは購買オーダーのコピーを入荷確認書として使用する場合には、入荷確認書を使う必要はありません。

公式の入荷処理を使用すると、入荷の入力後に F43121 テーブルに入荷レコードが作成されます。そのときに、購買に対する債務も作成されます。伝票を作成すると、F43121 テーブルにもう一つレコードが作成されます。

---

## 入荷確認書の印刷

このセクションでは、入荷確認書の概要と以下の方法について説明します。

- 入荷確認書印刷 (R43510) の処理オプションの設定
- バッチ モードによる入荷確認書の印刷
- 個別オーダーの入荷確認書の印刷

## 入荷確認書について

入荷確認書は、納品時に商品の入荷を手作業で記録する際に使用する伝票です。入荷確認書により以下の情報が提供されます。

- 当初購買オーダー情報
- 未入荷の品目数量
- 入荷数量または金額を記録するカラム

入荷確認書が必要になるのは以下のような場合です。

- 入荷する商品に対する購買オーダー情報の検討
- 入荷品目情報の確認
- システムへの入荷情報の記録

入荷確認書に印刷する情報を確定します。処理オプションで、以下の情報を印刷するかどうかを指定できます。

- 価格情報
- オーダー数量
- 相互参照番号
- 外貨建て金額

オーダー処理順序定義を設定して、入荷確認書の印刷を購買オーダー処理のステップの一つとすることができます。入荷確認書を印刷した後、オーダーが購買処理の次のステップに自動的に進行するように設定できます。または、オーダーを現行状況のままにしておくことも可能です。入荷確認書印刷プログラム (R43510) の処理オプションで、状況コードを自動更新するよう設定している場合、オーダーを次の処理に進めるために明細行の状況コードが更新されます。

入荷確認書は、バッチ モードで印刷するかまたは個別にも印刷できます。

バッチ モードで入荷確認書を印刷する際に、オーダーによっては 2 つ目の入荷確認書を印刷しなければならないこともあります。たとえば、オーダーを部分的に入荷する場合は、オーダー残高を記録する際に 2 つ目の入荷確認書を印刷する必要があります。入荷確認書印刷プログラム (R43510) を使用して、特定の購買オーダーの入荷確認書を印刷できます。

## 入荷確認書印刷 (R43510) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 編集

以下の処理オプションを使用して、レコードの編集時にシステムによって使用される情報を入力します。

1. 「次の状況」コードを更新 「次の状況」コードを更新するかどうかを指定します。  
しない場合は「1」を入力  
します。

2. 一時変更用「次の状況 行タイプのオーダー フローにおける次のステップを指定するユーザー定義  
コード」を入力してください。 コード (UDC) (40/AT) を指定します。

3. 作業コードの読込みに使用する工程タイプ。ブランク = 工程タイプがブランクの作業コード。 品目/仕入先の組み合わせ用の作業工程を限定するコードを指定します。たとえば、ASN (EDI 856 出荷通知/積荷目録トランザクション) や在庫移動用の作業工程タイプなどです。

## 印刷

以下の処理オプションを使用して、入荷確認書の印刷レポート (R43510) に印刷する情報タイプを入力します。

1. 原価情報を印刷しない場合には"1"を入力します。 原価情報を印刷するかどうかを指定します。
2. 数量情報を印刷しない場合には"1"を入力します。 数量情報を印刷するかどうかを指定します。
3. 仕入先品目番号を印刷するには"1"を入力します。 仕入先品目番号を印刷するかどうかを指定します。
4. 相互参照番号タイプを入力します。 この顧客に設定した相互参照タイプを識別するユーザー定義コード (41/DT) を指定します。
5. 関連テキストを印刷するには"1"を入力します。 関連テキストを印刷するかどうかを指定します。
6. 作業コードの印刷。1 = する。 作業工程コードを印刷するかどうかを指定します。
7. 複数の勘定科目を印刷するには"1"を入力します。 複数の勘定項目の情報を印刷するかどうかを指定します。

## 通貨

以下の処理オプションを使用して、金額を外貨で印刷するかどうかを指定します。

1. 金額を外貨で印刷するには"1"を入力してください。 金額を外貨で印刷するかどうかを指定します。

## バッチ モードによる入荷確認書の印刷

[購買オーダー処理] (G43A11) の [入荷確認書の印刷] を選択します。

入荷確認書を使って、商品の入荷時点で、手作業による入荷情報の記録ができます。[入荷確認書の印刷] で指定した条件に基づいて、入荷確認書をバッチ モードで印刷できます。

## 個別オーダーの入荷確認書の印刷

[購買レポート] (G43A111) の [入荷確認書の印刷] を選択します。

---

## 入荷の入力

このセクションでは、入荷情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションの設定
- 入荷情報の入力

## 入荷情報について

商品の入荷後は入荷明細を記録する必要があります。入荷情報は以下の目的に使用されます。

- 在庫管理システムの品目数量および原価の更新
- 勘定科目の更新

商品入荷時に、入荷明細が購買オーダー情報に一致していることを確認する必要があります。このとき、品目番号、数量、計量単位、原価などを検証します。入荷明細が購買オーダーの明細と異なる場合、入荷を反映させるために購買オーダーの明細行を調整することになります。たとえば、配送料金または輸入税などの陸揚費用が品目の仕入価格に適用される場合、入荷処理時にこれらの情報を入力します。

受注管理システムで直送オーダーを作成すると、対応する購買オーダーが自動的に作成されます。直送オーダーについては、入荷を入力して対応する受注オーダーを新しい状況に更新する必要があります。ただし、部分入荷を入力する場合は、直送オーダーの対応する明細行が分割され、入荷済みのオーダー明細行のみ更新されます。

在庫環境で処理する場合、入荷時に品目を保管する倉庫を指定できます。特定の保管場所が空いていない場合は、品目を複数の保管場所に割り当てることができます。ロット別に品目をグループ化すると、品目を単一ロットまたは複数ロットに割り当てることができます。必要に応じて、これらの品目に対するシリアル番号を指定します。

入荷先事業所でライセンス プレート機能を有効にしている場合は、[倉庫] タブの処理オプションとライセンス プレートの事業所固定情報を使用して、在庫を保管場所に追加するためのライセンス プレート情報を処理します。

オーダーの品目を入荷するたびに、以下の処理が行われます。

- F43121 テーブルで、入荷レコードが作成されます。
- F41021 テーブルで、品目数量 (引当可能数量と引当数量) が更新されます。
- F4111 テーブルに、新規レコードが追加されます。
- F0911 テーブルで、該当する勘定科目が更新されます。

入荷を取り消したり戻し (逆仕訳) を入れるたびに、当初の入荷を入力する際に更新されたものと同じテーブルが更新されます。

## 入荷情報の入力

入荷情報を入力して、購買オーダーにある商品またはサービスの入荷を確認する必要があります。入荷する各オーダーの数量や原価などを確認します。

多数の購買明細行がある入荷を入力する場合は、ネットワークを利用しても情報を入力できます。キット品の入荷を入力する際は、構成品のみの入荷情報を入力できます。親品目の入荷は入力できません。

入荷を入力するには、まず入荷に対応する発注残明細行を検索します。発注残明細行には、未入荷の品目が表示されます。指定する品目番号、購買オーダー番号、または勘定科目番号について、全ての発注残明細行が取り込まれます。入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションを設定すると、原価情報を表示したり、オーダー明細行の原価変更を許可するかどうかを確定できます。

購買オーダー行の入荷を入力するとき、勘定配賦の照会プログラム (P43126) を使用して、F4316 テーブルに保存されている複数の勘定配賦レコードを確認できます。行が複数の勘定に配賦されている購買オーダーの入荷を入力すると (A または B の在庫インターフェイスのみ)、品目数量と原価が更新され、以下のテーブルのレコードの書き込みおよび更新が行われます。

- F4311 (レコードの更新)
- F4316 (レコードの更新)
- F43121 (レコードの書き込み)
- F43126 (レコードの書き込み)
- F43199 (監査履歴を使用している場合のみ、レコードの書き込み)
- F0911 (レコードの書き込み)

F4316 の各レコードについては、引当数量の更新前に、総勘定元帳取引が作成され、F0911 テーブルにレコードが保存されます。

---

**注:** 複数の勘定配賦機能は、入荷工程、複数保管場所、および陸揚費用には適用されません。

---

## 外貨と国内通貨の検討

[入荷確認] フォームの [外貨] フィールドを使用して、外貨と国内通貨の両方で金額を検討できます。オーダー行の原価を変更する場合、正しい通貨モードを使用していることを確認してください。

入荷確認の処理オプションを使用して、為替レートの使用方法を指定できます。たとえば、以下のような操作が可能です。

- 元帳日付に適用される為替レートの使用
- 為替レートの変更禁止

外貨でオーダーを入荷した場合、以下の 2 つの元帳に仕訳が作成されます。

- 基本通貨金額は AA 元帳
- 外貨金額は CA 元帳

## 購買オーダー明細行の調整

購買オーダーの明細行と実際の入荷明細が異なる場合、入荷を反映させるために購買オーダーの明細行を調整します。たとえば、明細行のオーダー数量 20 のうち 10 を入荷した場合、明細行の数量を 10 に変更する必要があります。明細行の残りの数量を締め切るか、未処理のままにしておくかを指定します。

## 事前設定

購買オーダー プログラム (P4310) の処理オプションで、[デフォルト] タブにある行順序のオプションがブランク (または 0) に設定されていることを確認してください。この処理オプションが 1 の場合は、変更オーダーを受け取る際に問題が発生します。



## 入荷の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[購買オーダー入荷の処理]	W4312F	[購買オーダー処理] (G43A11)、[入荷確認 (購買オーダー別)]	購買オーダー入荷の処理を行います。
[入荷確認]	W4312A	[購買オーダー入荷の処理] で、購買オーダーを検索して [選択] ボタンをクリックします。	購買オーダーの入荷明細を検討して修正します。
[勘定配賦の照会]	W43126A	[入荷確認] で、購買オーダーを検索し、[ロー] メニューから [勘定配賦] を選択します。	勘定配賦情報を検討します (照会のみ)。

## 入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、入荷確認プログラム (P4312) で使用されるデフォルト情報を定義します。

#### 1. 照会用オーダー・タイプ

伝票タイプを指定します。このユーザー定義コード (00/DT) は、トランザクションの発生元も指定します。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。各伝票タイプに対して、以下のプレフィックスが事前定義されています。これらのプレフィックスは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注オーダー処理伝票

#### 2. 入荷伝票タイプ

伝票タイプを指定します。このユーザー定義コード (00/DT) は、トランザクションの発生元も指定します。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。各伝票タイプに対して、以下のプレフィックスが事前定義されています。これらのプレフィックスは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

- I: 在庫伝票
- O: 購買オーダー伝票
- J: 一般会計/共有利息請求伝票
- S: 受注オーダー処理伝票

## 状況コード

以下の処理オプションを使用して、入荷確認時に使用する状況コードを制御します。

- |   |  |
|---|--|
| <b>1. 承認可能な入荷状況<br/>コード 1 ~ 3 承認可能な入<br/>荷状況コード 3</b> | <p>“次の状況”を指定します。オーダーが、この処理オプションで指定した“次の状況”に該当する場合、入荷対象になります。</p> <p>この処理オプションを指定する前に、設定済みのオーダー処理順序定義を確認してください。</p> |
| <b>4. 部分入荷用出荷状況</b>                                   | <p>部分入荷後にオーダーが移行する“次の状況”を指定します。</p> <p>この処理オプションを指定する前に、設定済みのオーダー処理順序定義を確認してください。</p>                              |
| <b>5. 終了用出荷状況</b>                                     | <p>明細行がクローズされるかまたは完全に入荷された後に、オーダーが移行する“次の状況”を指定します。</p> <p>クローズされたかまたは完全に入荷された明細行には、状況コード 999 を使用します。</p>          |
| <b>6. 取消用出荷状況</b>                                     | <p>明細行が取り消された後に、オーダーが移行する“次の状況”を指定します。</p> <p>取り消された明細行には、状況コード 999 を使用します。</p>                                    |

## 表示

以下の処理オプションを使用して、入荷確認プログラム (P4312) で表示される情報と、それらの情報を変更可能にするかどうかを制御します。

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| <b>1. 受注オーダーのバック<br/>オーダー</b> | <p>バックオーダーされた受注オーダーのリリース方法を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク：受注オーダーはリリースされません。</p> <p>1: [受注バックオーダー・リリース] フォームが自動的に表示されます。</p>                                    |
| <b>2. ロット情報</b>               | <p>ロット フィールドおよび満了日付フィールドなどのロット情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク：ロット情報は表示されません。</p> <p>1: ロット情報のフィールドが表示されます。</p> <p>2: ロット情報のフィールドが表示され、入力保護されます。</p> |
| <b>3. 原価の保護</b>               | <p>原価を変更できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク：原価のフィールドがフォームに表示され、変更可能になります。</p> <p>1: 原価のフィールドがフォームに表示されますが、変更できません。</p> <p>2: 原価情報が表示されません。</p>              |

#### 4. キット品

キット構成品行を表示するか、または親行のみ表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: キットの親品目が表示されます (将来使用)。
- 2: キットの構成品が表示されます。

#### 5. 入荷モード

明細行の入荷に使用するモードを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 購買オーダー別の入荷
- 2: 品目別の入荷
- 3: 総勘定元帳別の入荷
- 4: 出荷番号別の入荷

入荷処理のフォームで明細行を 1 行だけ選択すると、入力したモードの条件を満たす全ての明細行が入荷処理のフォームに表示されます。

たとえば、入荷モードとして「1」を入力し、入荷処理のフォームで明細行を 1 行だけ選択した場合、購買オーダーの全ての行が表示されます。入荷モードとして「2」を入力し、入荷処理のフォームで明細行を 1 行だけ選択した場合、選択された品目の全ての行が表示されます。

入荷モードとして「3」を入力し、入荷処理のフォームで明細行を 1 行だけ選択した場合、総勘定元帳の全ての行が表示されます。入荷モードとして「4」を入力し、入荷処理のフォームで明細行を 1 行だけ選択した場合、出荷番号の全ての行が表示されます。

### 処理

この処理オプションでは、以下のような処理を実行できるかどうかを指定します。

- 仕入先情報の更新
- デフォルト値として使用するロット番号の指定
- 入荷の全明細行の自動選択
- シリアル番号情報の入力
- 数量情報の手作業または自動入力
- 陸揚費用情報の検討または更新
- 在庫記録レポートの印刷
- 仕入先分析情報の記録
- 入荷入力担当者へのメッセージの自動送信
- 直送オーダー入荷に対する受注オーダー状況の指定

#### 1. 仕入先更新モード

F4102 テーブルの仕入先番号を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 仕入先番号は更新されません。

- 1: 仕入先番号の値がゼロの場合、F4102 テーブルの仕入先番号が更新されます。
- 2: 仕入先番号の値にかかわらず、F4102 テーブルの仕入先番号が更新されます。

- 2. ロットのデフォルト** 入荷確認プログラム (P4312) で、デフォルトのロットおよび保管場所情報を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：デフォルトのロットおよび保管場所情報が使用されません。  
1: F41021 テーブルに保存されている基本品目残保管場所から、保管場所およびロット番号が使用されます。
- 3. オプションのデフォルト** 入荷の全明細行を自動的に選択するかどうかを指定します。自動選択にすると、手作業で各明細行を選択する必要がなくなります。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：入荷の全明細行の自動選択が行われません。  
1: 入荷の全明細行が自動的に選択されます。
- 4. シリアル番号** シリアル番号情報を入力できるようにするかどうかを指定します。シリアル番号情報を入力する前に、[事業所品目の改訂] フォームの [シリアルNo. 必須] フィールドに「Y」(はい) が入力されていることを確認する必要があります。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：F4220 テーブルにシリアル番号情報を入力できません。  
1: F4220 テーブルにシリアル番号情報を入力できます。
- 5. 数量の入力方法** 数量情報を手作業または自動のどちらで入力するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：このフィールドのデフォルト値として、未処理数量が使用されます。  
1: 数量を手作業で入力します。
- 6. 陸揚費用** 陸揚費用を手作業で適用するか、またはシステムにより自動的に適用するかを指定します。陸揚費用を手作業で適用できるのは、独立型陸揚費用プログラム (P43214) からアクセスする [入荷照会] フォームでの入荷後です。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：陸揚費用が適用されません。  
1: [陸揚費用選択] フォームが表示され、情報を検討または更新できます。  
2: [陸揚費用選択] フォームが表示されずに自動的に陸揚費用規則が適用されます。  
入荷工程処理中の品目に陸揚費用を適用する場合、この処理オプションで 2 を指定する必要があります。
- 7. 在庫記録レポート** 各入荷後に在庫記録レポートを印刷するかどうかを指定します。[バージョン] タブで指定したバージョンが使用されます。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：各入荷後に在庫記録レポートが印刷されません。  
1: 各入荷後に在庫記録レポートが自動的に印刷されます。
- 8. 仕入先分析** 仕入先分析情報を取り込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク：仕入先分析情報を取り込みません。  
1: 各購買オーダーの品目番号、日付、および数量などの情報が F43090 テーブルに記録されます。最も効率的に仕入先情報を記録するには、この処理オプションで「1」を入力し、購買オーダー入力プログラム (P4310) お

よび伝票突合せプログラム (P4314) の処理オプションで、これと同じ情報を取り込むよう設定してください。

#### 9. テキストの削除

この処理オプションは将来使用するために用意されています。

#### 10. 直送状況コード

直送オーダー入荷に対する受注オーダー状況を指定します。このフィールドに入力した状況により、受注オーダーの“次の状況”が決まります。

この処理オプションを指定する前に、オーダー処理順序定義を確認してください。

#### 11. 入荷工程の管理

入荷工程を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 入荷工程が有効になりません。

1: 標準入荷工程が有効になります。

2: SRM 入荷工程が有効になります。

#### 12. デフォルト入荷工程タイプ

品目/仕入先の組み合わせ用の作業工程を限定するコードを入力します。たとえば、ASN (EDI 856 出荷通知/積荷目録トランザクション) や在庫移動用の作業工程タイプなどです。blankにした場合、blankに等しい工程タイプが検索されます。

#### 13. 仕訳の集計

仕訳入力を集計するかどうかを指定します。PA 元帳または PU 元帳を使用してコミットメントをトラッキングする場合、この処理オプションは使用できません。有効値は以下のとおりです。

blank: 仕訳入力が集計されません。

1: 仕訳入力が集計されます。

#### 14. 資材出庫(MPM)を非表示モードで実行

資材出庫機能を有効にするかどうかを指定します。MPM を使用して MPM 入荷処理を行っている場合のみ、資材出庫機能を有効にできます。また、F40205 テーブルの資材出庫の呼出しフラグも設定する必要があります。有効値は以下のとおりです。

blank: 資材出庫機能が有効になりません。

1: 資材出庫機能が有効になります。

#### 15. 手持数量がマイナスになった場合の処理

マイナスの手持数量が算出された場合に、入荷処理を続行するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 入荷処理が続行され、警告またはエラーが表示されません。

1: 入荷処理が続行されますが、警告が表示されます。

2: 入荷処理が続行されず、エラーが表示されます。

#### 16. 元帳バッチの自動転記の有効化

プログラム終了時の元帳バッチの自動転記を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 手作業による転記

1: 自動転記

#### 許容率

以下の処理オプションを使用して、明細行に対する許容度チェックの実行方法を指定します。

### 1. 数量および金額のチェック

明細行の数量および金額が許容率を超過しているかどうかを判断するために、数量および金額を確認するかどうかを指定します。許容率を確認するには、許容率設定プログラム (P4322) にアクセスします。有効値は以下のとおりです。

ブランク：許容率を超過しているかどうかを判断するために、数量および金額が確認されません。

- 1: 明細行が許容率を超過すると、警告が表示されます。
- 2: 明細行が許容率を超過すると、エラー メッセージが表示されます。

### 2. 日付

明細行の日付が許容日付範囲外かどうかを判断するために、日付を確認するかどうかを指定します。許容日付範囲を確認するには、仕入先/品目情報プログラム (P43090) にアクセスします。有効値は以下のとおりです。

ブランク：明細行の入荷日付が許容範囲外かどうかを判断するために、明細行の入荷日付が確認されません。

- 1: 明細行の入荷日付が許容日付範囲外の場合、警告が表示されます。
- 2: 明細行の入荷日付が許容日付範囲外の場合、エラー メッセージが表示されます。

## 倉庫

以下の処理オプションを使用して、入荷確認プログラム (P4312) が倉庫管理システムとどのようにインターフェイスするかを指定します。

### 1. 貯蔵モード

貯蔵要求の処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：貯蔵要求が作成されません。入荷確認プログラム (P4312) を使用して貯蔵を作成しないと、入荷品目は入荷した場所に残ります。この場合、手作業で貯蔵要求を作成できます。または、購買オーダーの入荷を戻し、購買オーダーの入荷を戻すことによって貯蔵要求を作成するようこの処理オプションを設定し、購買オーダーを再入荷すると、貯蔵要求を作成できます。

- 1: 貯蔵要求のみ作成されます。それとは別に、保管場所提示の作成および確認を行う必要があります。
- 2: 貯蔵要求が作成され、サブシステムを使用して要求が処理されます。
- 3: 商品が保管場所に直接入荷され、要求または提示が作成されません。

### 2. ライセンス プレート番号の生成方法

使用するライセンス プレート番号の生成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

- 00: ライセンス プレート固定情報が使用されます。
- 01: 手作業による入力を使用されます。
- 02: ユーザー定義計算式が作成されます。
- 03: 自動システム コード (EPC) 番号が作成されます。

### 3. デフォルトの計量単位構造体の作成

ライセンス プレート番号が自動作成されるときに使用される計量単位構造体を指定します。ライセンス プレートは、品目計量単位定義 (P46011) アプリケーションで、ライセンス プレート フラグが有効になっている品目の計量単位にのみ作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：デフォルトの品目計量単位構造体を使用されます。

1: 取引の計量単位よりも上位レベルを除いて、デフォルトの品目計量単位構造体が使用されます。

#### 4. 品目のライセンス・プレートへの割当て (P46L30)

[ライセンス・プレートへの品目の割当て/削除] フォーム (W46L30B) を自動的に表示するかどうかを指定します。在庫管理システムでライセンスプレート機能を使用しており、かつライセンスプレート番号が自動的に作成されない場合のみ、この処理オプションが適用されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 品目のライセンスプレートへの割当てが自動的に表示されません。

1: 品目のライセンスプレートへの割当てが自動的に表示されます。

### 通貨

以下の処理オプションを使用して、有効日付として使用する日付と、為替レートを変更可能にするかどうかを指定します。

#### 1. 有効日付

有効日付として使用する日付を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: オーダー日付

1: 元帳日付

2: 今日の日付

#### 2. レートの保護

為替レートを変更できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 為替レートを変更できます。

1: 為替レートを変更できません。

### バージョン

この処理オプションを使用して、各アプリケーションのバージョンを入力します。ブランクにした場合、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

#### 1. 発注残照会 (P4310)

発注残照会プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

#### 2. 受注バックオーダー・リリース (P42117)

受注バックオーダー リリース プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

#### 3. 在庫記録 (P43512)

入荷記録リリース プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

#### 4. 入荷工程の移動/処分 (P43250)

入荷工程プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

#### 5. 貯蔵要求 (R46171)

使用する貯蔵要求プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、XJDE0001 が使用されます。

#### 6. ピッキング要求 (R46171)

計画クロスドッキングにおいて、ピッキング要求の作成に使用される保管場所選択ドライバ プログラムのバージョンを指定します。

#### 7. オンライン予約 (P46130)

使用されるオンライン予約プログラムのバージョンを指定します。

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 8. 購買オーダー (P4310)            | 購買オーダー入力プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。   |
| 9. 仕訳入力MBF処理オプション (P0900049) | 仕訳入力 MBF 処理オプション プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。このプログラムのバージョンは、対話型バージョン リストでのみ確認できます。 |
| 10. 陸揚費用選択 (P43291)          | 陸揚費用選択プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。   |
| 11. 品質検査結果の入力 (P3711)        | 試験結果の改訂プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。  |
| 12. 作業オーダー在庫出庫 (P31113)      | 入荷機能から資材出庫を実行するときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0009 が使用されます。          |

### 任意勘定科目設定

以下の処理オプションを使用して、任意勘定科目設定を使用するかどうかを指定します。

- |           |   |
|-----------|---|
| 1. 任意勘定科目 | 任意勘定科目を有効にするかどうかを指定します。原価管理システムを使用するか、または任意売上勘定科目の処理を行う場合は、任意勘定科目を有効にします。有効値は以下のとおりです。<br>空白：任意勘定科目が有効になりません。<br>1: 任意勘定科目が有効になります。 |
|-----------|---|

### バルク

以下の処理オプションを使用して、バルクトランザクション情報の処理方法を指定します。

- |       |   |
|-------|---|
| 1. 数量 | バルクトランザクション数量の記録方法を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白：数量が、標準モードで購買および入荷されます。<br>1: 温度の増減につれて入荷される常温数量および標準温度数量の差が記録されます。<br>2: 合計原価を標準数量で割った単位原価が更新されます。 |
|-------|---|

### インタオペラビリティ

以下の処理オプションを使用して、送信インタオペラビリティ処理を実行するかどうかを指定します。

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. レコード・タイプ | インタオペラビリティトランザクションのレコード・タイプを指定します。空白にした場合、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。 |
|-------------|---|

### ワークフロー

以下の処理オプションを使用して、ワークフローの通知処理の実行方法を指定します。

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. 電子メールの受信者 | 商品が入荷されたときに自動送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: 購買担当者に電子メールが送信されます。 |
|--------------|---|



- 2: トランザクションを開始した担当者に電子メールが送信されます。
- 3: 購買担当者とトランザクションを開始した担当者に電子メールが送信されます。
- 2. 完了時の電子メール** 作業オーダーに関連する品目が入荷されたときに自動送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク：電子メールが送信されません。
- 1: 計画担当者に電子メールが送信されます。
- 3. 単価変更の通知** 入荷時に購買明細行で単価/一括金額が変更されたときに自動送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク：電子メールが送信されません。
- 1: 購買オーダー入力者に電子メールが送信されます。
- 2: プロジェクト管理者 (MPM のみ) に電子メールが送信されます。
- 3: 購買担当者に電子メールが送信されます。
- 4: 購買オーダー入力者、プロジェクト管理者 (MPM のみ)、および購買担当者に電子メールが送信されます。
- 4. 数量の変更通知** オーダーの数量が変更されたときに自動送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク：電子メールが送信されません。
- 1: 購買オーダー入力者に電子メールが送信されます。
- 2: プロジェクト管理者 (MPM のみ) に電子メールが送信されます。
- 3: 購買担当者に電子メールが送信されます。
- 4: 購買オーダー入力者、プロジェクト管理者 (MPM のみ)、および購買担当者に電子メールが送信されます。

## クロス ドッキング

以下の処理オプションを使用して、クロス ドッキング処理の実行方法を指定します。

- 1. クロス・ドッキング** 便宜的なクロス ドッキング処理の実行方法を指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク：クロス ドッキングが実行されません。
- 1: 便宜的なクロス ドッキングが使用されます。
- 2: 計画クロス ドッキングが使用されます。
- 3: 計画クロス ドッキングと便宜的なクロス ドッキングの両方が使用されます。
- 2. ピッキング要求** 購買オーダーの入荷処理中にクロス ドッキングを実行するときに、ピッキング要求を作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク：ピッキング要求は作成されません。
- 1: ピッキング要求が作成されます。
- 3. 受注オーダーに割り当てる状況コード** 購買オーダーの入荷処理中にクロス ドッキングを使用する場合のみ、受注オーダーのデフォルトの“次の状況”コード (40/AT) を指定します。こ

の処理オプションを空白にすると、オーダー処理順序定義に含まれている受注オーダーの“次の状況”が使用されます。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| <b>4. 受注オーダー開始状況</b> | 購買オーダーの入荷処理中に計画クロスドッキングを使用する場合のみ、受注オーダーの開始状況コード (40/AT) を指定します。 |
| <b>5. 受注オーダー終了状況</b> | 購買オーダーの入荷処理中に計画クロスドッキングを使用する場合のみ、受注オーダーの終了状況コード (40/AT) を指定します。 |

## 一括入荷

以下の処理オプションを使用して、一括入荷の処理方法を指定します。

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>1. 一括入荷処理</b>          | <p>一括入荷処理を有効にするかどうかを指定します。一括入荷処理を有効にするには、この処理オプションを設定する他に、[表示] タブにある入荷モードの処理オプションの設定を 2 にする必要があります。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白：一括入荷処理が有効になりません。</p> <p>1: 一括入荷処理が有効になります。</p> |
| <b>2. 許容度チェックの基準</b>      | <p>一括入荷処理中に、顧客が必要とする出荷数量をわずかに超過した分の数量を、次の発注残に適用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白：超過数量が、次の発注残に適用されます。</p> <p>1: 数量別許容度チェックが実行されます。</p> <p>2: パーセント別許容度チェックが実行されます。</p>  |
| <b>3. 許容度をチェックする数量</b>    | <p>許容度チェックを実行するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白：許容度チェックが実行されません。</p> <p>1: 許容度チェックが実行されます。</p>  |
| <b>4. 許容度をチェックするパーセント</b> | <p>許容度チェックに使用されるパーセントを指定します。この処理オプションを空白にすると、許容度チェックは実行されません。</p>   |

## WIM

以下の処理オプションを使用して、ワイン産業モジュールの有効化を指定します。

- |                      |  |
|----------------------|--|
| <b>1. ワイン産業モジュール</b> | <p>ワイン産業モジュール処理を有効にするかどうか（通常品目の入荷かどうか）を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白：ワイン産業モジュール処理が有効になりません（つまり、ワイン関連品目ではなく、通常品目の入荷であるということです）。</p> <p>1: ワイン産業モジュール処理が有効になります。</p> |
|----------------------|--|

## 入荷情報の入力

[購買オーダー入荷の処理] フォームにアクセスします。

---

## (BRA) Entering and Reviewing Receipts for Procurement for Brazil

This section provides an overview of receipts for Brazilian procurement, lists a prerequisite, and discusses how to:

- Set processing options for the Nota Fiscal Receipts – Brazil program (P4312BR).
- Enter receipts for procurement for Brazil.
- Set processing options for the Nota Fiscal Maintenance – Brazil program (P7610B).
- Review inbound nota fiscal header information.
- Review inbound nota fiscal detail information.

### Understanding Receipts for Brazilian Procurement

You must enter receipt information to verify the receipt of goods or services on a purchase order. You must verify the quantity, cost, and so on, for each order that you receive. If you make an error or need to cancel receipts, you can enter reversing receipts.

To enter a receipt, you must first locate the open purchase order detail lines that correspond to the receipt. An open detail line contains items that have not yet been received. The system retrieves all open detail lines for the item number, purchase order number, or account number that you specify.

If the detail lines on a purchase order differ from the details of the actual receipt, you must adjust the purchase order detail lines to reflect the receipt. For example, if the order quantity on a detail line is 20 but you receive a quantity of 10, you must change the quantity on the detail line to 10. You specify whether to close the remaining balance on the line or to keep it open.

After you enter receipts for purchase orders and record the inbound nota fiscal that you receive from the suppliers, you can review the documents online to verify that the information correlates with the document. If some of the data is incorrect, you can make changes online. You can review notas fiscais by order number or by nota fiscal number.

The receipt process for Brazil also lets you enter corrections to the nota fiscal and send a request for a corrected nota fiscal to the supplier. You can perform this procedure either when entering receipts for procurement or by accessing the Nota Fiscal Check and Close program (P76B900). When you enter corrections, you can review the differences between the values that are calculated by the system and the values that are provided by the supplier for ICMS tax, IPI tax, ICMS Substitution tax, Freight, and Discounts. If a discrepancy exists, you can generate a letter requesting a corrected nota fiscal.

When you set up receipt routing for Brazil, you must enable payment processing at the first step of the route.

### Prerequisite

The processing options for the Nota Fiscal Receipts – Brazil (P4312BR) program configure the nota fiscal. You must set up matching versions for the Nota Fiscal Receipts – Brazil and the PO Receipts (P4312) programs. If you do not set up matching versions, the system uses ZJDE0001.

## Forms Used to Enter and Review Receipts for Procurement for Brazil

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Purchase Orders to Receive	W4312F	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Enter Receipts by PO	Work with purchase orders to receive.
Purchase Order Receipts	W4312A	Select a detail line on the Work With Purchase Orders to Receive form, and click the Select button.	Review and adjust receipt details.
Work With Nota Fiscal Headers	W7610BG	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Nota Fiscal Inquiry	Work with headers for nota fiscal.
Nota Fiscal Header Revision	W7610BD	Select a record on the Work With Nota Fiscal Headers form, and then select Header Revision from the Row menu.	Make revisions to inbound nota fiscal header information.
Nota Fiscal Detail Revision	W7610BE	Select a record on the Work With Nota Fiscal Headers form, and then select Detail Revisions from the Row menu.	Make revisions to inbound nota fiscal detail information.

## Setting Processing Options for the Nota Fiscal Receipts – Brazil Program (P4312BR)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

These processing options enable you to specify the type of transaction.

- 1. Nota Fiscal Document Type** Specify the nota fiscal document type that the system uses when it creates records in the F7611B table. If you leave this processing option blank, the system uses NF for the document type.
- 2. Override Last Status** Specify the override line status that the system uses when it creates records in the F7611B table. If you leave this processing option blank, the system uses the status from the order activity rules.
- 3. Override Next Status** Specify the override line status that the system uses when it creates records in the F7611B table. If you leave this processing option blank, the system uses the status from the order activity rules.

## Entering Receipts for Procurement for Brazil

Access the Work With Purchase Orders to Receive form.

- Order Number** Enter a number that identifies an original document. For example, the document can be a requisition, blanket order, or purchase order.

<b>Item Number</b>	Enter a number that the system assigns to an item. The system can display the number in short, long, or third item number format.
<b>Account Number</b>	<p>Enter a value that identifies an account in the general ledger. Use one of these formats to enter account numbers:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Standard account number (business unit.object.subsidiary or flex format).</li> <li>• Third general ledger number (maximum of 25 digits).</li> <li>• Account ID number. The number is eight digits long.</li> <li>• Speed code, which is a two-character code that you concatenate to the AAI item SP. You can then enter the code instead of an account number.</li> </ul> <p>The first character of the account number indicates its format. You define the account format in the General Accounting constants.</p>
<b>G/L Date</b> (general ledger date)	<p>Enter a date that identifies the financial period to which the transaction is to be posted.</p> <p>The company constants specify the date range for each financial period. You can have as many as 14 periods. Generally, period 14 is used for audit adjustments. The system validates this field for PBCO (posted before cutoff), PYEB (prior year ending balance), PACO (post after cutoff), and WACO (post way after cutoff) messages.</p>
<b>(BRA) N.F. Number</b> (nota fiscal number)	Enter a six-character number that identifies a nota fiscal. The number consists of the nota fiscal number and the nota fiscal series.
<b>(BRA) N.F. Series</b> (nota fiscal series)	Enter a two-character number that along with the nota fiscal number, identifies a nota fiscal. The Nota Fiscal Series field is the second key that the system uses to access a specific nota fiscal.

## Setting Processing Options for the Nota Fiscal Maintenance – Brazil Program (P7610B)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Display

This processing option enables you to control The display preferences.

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>1. Header or Detail</b> | <p>Specify whether the system displays the Nota Fiscal Header Revisions form or the Nota Fiscal Detail Revisions first when you inquire on a nota fiscal. You can review header information before detail information and edit default information that affects the nota fiscal. Values are:</p> <p>Blank: The system displays the Nota Fiscal Header Revisions form first.</p> <p>1: The system displays the Nota Fiscal Detail Revisions form first.</p> |
|----------------------------|--|

### Freights

These processing options enable you to specify how the system processes freight information. The term additional charges refers to freight insurance and additional expenses that are added to notas fiscais during the sales order process. The term landed costs refers to freight insurance and additional expenses that are added to notas fiscais during the procurement process.

- 1. Prorate Basis (Required)** Specify the basis for prorating freight charges. The system uses values from the F7611B table for the quantities and amounts. When determining the values for weights, the system uses values from the F4211 table when processing sales orders and uses values in the F4311 table when processing purchase orders. Values are:

Blank: Quantity

1: Weight

2: Amount
- 2. Freight Line Type (Required)** Specify the freight line type. This processing option specifies how the system processes lines on a transaction. The line type affects the systems with which the transaction interfaces (General Ledger, Job Cost, Accounts Payable, Accounts Receivable, and Inventory Management). The line type also specifies the conditions for including a line on reports and in calculations.
- 3. Insurance Line Type (Required)** Specify the insurance line type. This processing option specifies how the system processes lines on a transaction. The line type affects the systems with which the transaction interfaces (General Ledger, Job Cost, Accounts Payable, Accounts Receivable, and Inventory Management). The line type also specifies the conditions for including a line on reports and in calculations.
- 4. Expenses Line Type (Required)** Specify the tax line type. This processing option specifies how the system processes lines on a transaction. The line type affects the systems with which the transaction interfaces (General Ledger, Job Cost, Accounts Payable, Accounts Receivable, and Inventory Management). The line type also specifies the conditions for including a line on reports and in calculations.
- 5. Taxes** Specify whether taxes are included. This processing option applies only to landed costs processing. Use this processing option only if the landed cost prorate basis is set to Amount. Values are:

Blank: Include only the extended amount as the basis of the tax.

1: Include taxes and tax-related discounts based upon which landed costs amounts are prorated.
- 6. F43121 Freight Recording** Specify whether the system creates one record or multiple records in the F43121 table for freight charges associated with nota fiscal lines. The system uses this processing option only when you process purchase orders. Values are:

Blank: Create a record for each line on a nota fiscal.

1: Create one record for each nota fiscal.
- 7. Next Status Code – From (Required)** Specify the From Status code range that the system uses for nota fiscal selection. You must enter a status that has been set up in the UDC list of the order activity rules based on the order type and the line type that you are using. The combination of Status From and Status Thru must be a valid last status/next status combination in the Order Activity Rule list (40/AT).
- 8. Next Status Code – To (Required)** Specify the To Status code range that the system uses for nota fiscal selection. You must enter a status that has been set up in the UDC list of the order activity rules based on the order type and the line type that you are using. The combination of Status From and Status Thru must be

a valid last status/next status combination in the Order Activity Rule table (40/AT).

**9. Next Status Code (Optional)**

Specify the next step in the order process. You must use a UDC (40/AT) that has been set up in the Order Activity Rules form for the order type and the line type that you are using. The override status is another allowed step in the process.

**10. Doc. Type – Regular (Optional)**

Specify the code for the document type for the transaction. You select a code from Document Type – All Documents UDC (00/DT). If you leave this option blank, the system uses the document type already scheduled.

**11. Doc. Type – Exceptional (Optional)**

Specify an alternative document type that overrides the document type associated with the freight, insurance, and other expenses lines on a nota fiscal. When you complete this processing option, the system searches for the Automatic Accounting Instruction (AAI) that is associated with the alternative document type and writes journal entries to the accounts that are associated with the AAI.

## Defaults

These processing options enable you to specify default values, such as stand-alone nota fiscal version, nota fiscal document for two-way match, last status code, and next status code that the Nota Fiscal Maintenance – Brazil program (P7610B) uses when other values are not entered for the transaction.

**1. Stand Alone Nota Fiscal Version**

Specify the version of the Nota Fiscal Maintenance program (P7610B) that the system runs. If you leave this processing option blank, the system uses version ZJDE0001.

**2. NF Document for Two Way Match** (nota fiscal document for two way match)

Specify the nota fiscal document type for two-way match. You must enter values that have been set up in UDC list (00/DT). If you leave this processing option blank, the system uses NF (purchasing nota fiscal) for the document type.

**3. Last Status Code Default**

Specify the beginning of the range of the next status of the notas fiscais that you to select. You select a status from the Activity/Status UDC (40/AT). The status that you select must be set up in the order activity rules based on the order type and the line type of the notas fiscais that you want to select. The combination of codes that you select for this processing option and the Next Status Code – To processing option in this program must be a valid last status/next status combination in the F40203 table.

**4. Next Status Code Default**

Specify the end of the range of the next status of the notas fiscais that you select. You select a status from the Activity/Status Codes UDC (40/AT). The status the you select must be set up in the order activity rules based on the order type and the line type of the notas fiscais that you want to select. The combination of codes that you select for this processing option and the Next Status Code – From processing option in this program must be a valid last status/next status combination in the F40203 table.

**5. Close Nota Fiscal Version**

Specify the version of the Nota Fiscal Check & Close program (P76B900) that the system uses to write tax and costs information to the appropriate tables. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.

## Edits

These processing options enable you to specify whether the system protects the status of the nota fiscal and to set the status code limit for changes.

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Status</b>                        | Specify whether the system makes changes to the status of a nota fiscal during sales order or purchase order processing. Values are:<br><br>Blank: Allow changes to the status of the nota fiscal.<br>1: Do not allow changes to the status of the nota fiscal.   |
| <b>2. Status Code Limit for Changes</b> | Enter the status code at which detail lines cannot be changed. The system does not change the status of detail lines if the next status in the F40203 table is greater than or equal to the status that you enter for this processing option.   |
| <b>3. Account Validation</b>            | Specify whether the system enables account validation. When enables, the system validates the accounts and AAIs used in the additional charges and landed costs process prior to processing the records. Although account validation decreases performance, it ensures database integrity. It is strongly recommended that account validation be enabled at all times. You may disable this feature to improve performance after a new implementation or program changes have been tested. Values are:<br><br>Blank: Enable validation.<br>1: Disable validation. |

## Reviewing Inbound Nota Fiscal Header Information

Access the Work With Nota Fiscal Headers form.

- |   |   |
|---|---|
| <b>(BRA) NF Source</b> (nota fiscal source) | Enter a code that identifies how a nota fiscal was generated in the system. You select a code from the Nota Fiscal Source UDC (76/NF). The codes are hard-coded. Values are:<br><br>1: Stand-alone Nota Fiscal – PO<br>2: Complementary Nota Fiscal – PO<br>3: 2-Way Match Nota Fiscal – PO<br>4: 3-Way Match Nota Fiscal – PO<br>5: Stand-alone Nota Fiscal – SO<br>6: Complementary Nota Fiscal – SO<br>7: Nota Fiscal – SO |
|---|---|

## Reviewing Inbound Nota Fiscal Detail Information

Access the Work With Nota Fiscal Headers form.



## (BRA) Entering Reversing Receipts for Brazilian Procurement

This section provides an overview of receipt reversals for Brazilian procurement and discusses how to enter a reversing receipt for Brazilian procurement.

### Understanding Receipt Reversals for Brazilian Procurement

You can reverse a receipt if you have not yet created a voucher for the receipt. You might reverse a receipt if you recorded a receipt by mistake or you recorded the wrong receipt.

When you reverse a receipt, the system accounts for the order as if it had never been received. The system reverses all accounting and inventory transactions.

### Form Used to Enter Reversing Receipts for Brazilian Procurement

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Purchase Receipts	W43214A	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Open Receipts by Supplier	Work with purchase receipts.

### Entering a Reversing Receipt for Brazilian Procurement

Access the Work With Purchase Receipts form.

## (BRA) Working with Errors on Notas Fiscais

This section provides an overview of errors on notas fiscais and discusses how to compare nota fiscal amounts.

### Understanding Errors on Notas Fiscais

As you work with notas fiscais from The suppliers, you can calculate taxes and other charges due, and then compare the calculations to the amounts that are listed on each nota fiscal. You can then automatically generate a letter requesting a correction to the nota fiscal.

You can compare nota fiscal values when you enter receipts or at a later time. Comparing corrected values is an optional activity that you use when you want to send a request for a corrected nota fiscal. The application compares the values that you enter to the values that are currently in the system for the nota fiscal. The system notifies you if discrepancies exist between the values.

If discrepancies exist, you can generate a letter to request corrections to the nota fiscal. The system uses the values that you entered when it generates the letter, so you should complete at least the fields for which discrepancies exist. You create the text for the letter by using the Fiscal Books Next Number program (P7602B).

## Forms Used to Work with Errors on Notas Fiscais

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Nota Fiscal Headers	W7610BG	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Nota Fiscal Inquiry	Work with nota fiscal headers.
Nota Fiscal Check	W76B900A	Select a row on the Work With Nota Fiscal Headers form, and then select Close Nota Fiscal from the Row menu.	Perform nota fiscal tasks, such as comparing nota fiscal amounts.

## Comparing Nota Fiscal Amounts

Access the Work With Nota Fiscal Headers form.

<b>(BRA) N.F. Number</b> (nota fiscal number)	Enter a six-character number that identifies a nota fiscal. The number consists of the nota fiscal number and the nota fiscal series.
<b>(BRA) N.F. Total</b> (nota fiscal total)	Enter the total amount of the nota fiscal. The system calculates the total as follows:  Merchandise + IPI tax amount + ICMS Substitute tax amount + Complementary Expenses – Discounts
<b>(BRA) ICMS Amount</b>	Enter the amount on which ICMS taxes are assessed.
<b>(BRA) ICMS Tax</b>	Enter the ICMS tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) ICMS Substitution</b>	Enter the amount on which ICMS Substitute tax is assessed. Products that are eligible for ICMS Substitute tax are listed in ICMS government directive 14.
<b>(BRA) ICMS Substitute</b>	Enter the ICMS Substitute amount that The customer must remit in advance if they are subject to Tax Substitution Mark-up.
<b>Taxable Amount</b>	Enter the amount on which IPI taxes are assessed.
<b>(BRA) IPI Tax</b>	Enter the IPI tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>Freight</b>	Enter a complementary expense to The customer. The system prorates this expense amount among each of the notas fiscais that are listed and adds the prorated amount to the ICMS taxable amount for each document.
<b>Insurance</b>	Enter the insurance amount that you charge the client as complementary expense. This amount must be included on the nota fiscal.
<b>Expenses</b>	Enter the amount of the total financial expenses that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) ISS Tax</b>	Enter the ISS tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) ISS Amount</b>	Enter the amount on which ISS taxes are assessed.
<b>(BRA) IR Tax</b>	Enter the IR tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) IR Taxable Amount</b>	Enter the amount on which IR taxes are assessed.

- (BRA) ICMS Repasse** Enter an additional discount granted to the client on interstate sales. It is based on the tax rate difference among states.
- (BRA) ICMS Dis. Free Zone** Enter the amount of the discount available to a free port zone customer.

---

## (BRA) Closing Inbound Notas Fiscais

This section provides overviews of the Nota Fiscal Check & Close program (P76B900) and PIS/PASEP and COFINS processing; lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for the Nota Fiscal Check & Close program (P76B900).
- Close an inbound nota fiscal.

### Understanding the Nota Fiscal Check & Close Program (P76B900)

You must close a nota fiscal after receiving or adding landed costs to it, or both. When you access the Nota Fiscal Inquiry program (P7610B), you can run the Nota Fiscal Check & Close program (P76B900). When you run the Nota Fiscal Check & Close program, the system updates these tables with the taxes that are calculated in the receipt process:

- F0911
- F4111
- F43121
- F7601B
- F7611B
- F76B00, if the system calculates PIS/PASEP or COFINS taxes
- F76B011, if the system calculates PIS/PASEP or COFINS taxes

The taxes that are calculated in the nota fiscal during the receipt process must be posted to the general ledger.

---

**注:** The system posts PIS/PASEP and COFINS taxes when you run the PIS COFINS Netting Process program (R76B9011). When you run the Nota Fiscal Check & Close program, the system updates tables F76B001 and F76B011 with PIS/PASEP and COFINS taxes, but it does not post journal entries for the taxes.

---

The taxes that are calculated must also be computed into the item ledger in the inventory system, and the costs must be calculated. The system uses the same document type, document number, and batch number as the original receipt when creating journal entries.

---

**注:** The system updates the F43121 table with the line type for PIS taxes only when you complete the PIS Line Type processing option with a valid value, and updates the F43121 table with the line type for COFINS taxes only when you complete the COFINS Line Type processing option with a valid value.

---

You can close an inbound nota fiscal when you receive goods or close it interactively from the Nota Fiscal Inquiry program (P7610B).

## PIS/PASEP and COFINS Processing for Procurement Transactions

When you close an inbound nota fiscal, the system runs the Nota Fiscal Check & Close program (P76B900) to calculate the taxes on the nota fiscal. The system uses this logic to determine whether to calculate PIS/PASEP and COFINS tax credits:

1. The system compares the Purchase Use Code for each line item on the nota fiscal to the Purchase Use Codes in the F76B003 table.
2. If the system finds a match between the purchase use codes, the system reads the record in the F76B003 table to determine if a tax code for PIS/PASEP tax credits (data item BTPIS) or COFINS tax credits (data item BTCOF) is associated with the purchase use code.

If a tax credit code is associated with a purchase use code in the F76B003 table, the system calculates PIS/PASEP or COFINS taxes if the Apply field for the tax specifies that the tax is to be applied. If a tax credit code is associated with the purchase use code in the F76B003 table and the Apply field for the tax does not specify that the tax is to be applied, the system does not calculate the tax for the line.

3. If the system does not find a match between the purchase use code for a line item and the purchase use codes in the F76B003 table, the system retrieves the tax information for PIS/PASEP and COFINS tax credits (data item BRTAX1 through BRTAX8) from the supplier's address book entry from the F76011 table and calculates the tax, based on the code in the address book entry.

If the supplier's address book entry does not contain a tax valid tax code for PIS/PASEP or COFINS tax credits, the system does not calculate these withholding taxes for the line.

---

**注:** Tax codes for PIS/PASEP and COFINS tax credits are valid only if the Retention/Aggregation/Credit field in the F76B0401 table (data item BRRTA) contains a C. The Nota Fiscal Check & Close program ignores PIS/PASEP and COFINS tax codes that do not contain a C in the Retention/Aggregation/Credit field.

---

The system follows these steps when calculating PIS/PASEP and COFINS taxes for Procurement notas fiscais:

1. Calculates the tax by using this formula: (Nota Fiscal Line Extended Amount + Freight + Insurance + Expenses – Discount Amount) \* Rate of PIS/PASEP or COFINS tax.
2. Writes records to the F43121 for the PIS/PASEP and COFINS taxes, but does not create payables transaction until you run the PIS COFINS Netting Process program (R76B9011).
3. Updates the Average Cost of the item with the amount, excluding the PIS/PASEP and COFINS taxes.
4. Writes records to the F76B001 table and the F76B011 table, and marks the records as unprocessed.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Set up the Cost/Expense Adjustments AAI (4385) and the Cost/Liability Adjustments AAI (4390).
- Set up the G/L Posting Category Code (41/9), G/L Class Code Cross Reference (76/GL), and Average Cost Calculation (40/AV) UDCs.
- Set the processing options for the Nota Fiscal Check & Close program (P76B900).

## Forms Used to Close an Inbound Nota Fiscal

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Nota Fiscal Headers	W7610BG	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Nota Fiscal Inquiry	Work with nota fiscal headers.
Nota Fiscal Check	W76B900A	Select a row on the Work With Nota Fiscal Headers form, and then select Close Nota Fiscal from the Row menu.	Perform nota fiscal tasks, such as closing an inbound nota fiscal.

## Setting Processing Options for the Nota Fiscal Check & Close Program (P76B900)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Close Nota

These processing options enable you to specify the status of the notas fiscais with which you want to work.

- 1. Status for processing (From):** Specify the From Status code range that the system uses for nota fiscal selection. You must enter a status that has been set up in the UDC list of the order activity rules based on the order type and the line type that you are using. The combination of Status From and Status Thru must be a valid last status/next status combination in the Order Activity Rule list (40/AT).
- 2. Status for processing (To):** Specify the To Status code range that the system uses for nota fiscal selection. You must enter a status that has been set up in the UDC list of the order activity rules based on the order type and the line type that you are using. The combination of Status From and Status Thru must be a valid last status/next status combination in the Order Activity Rule table (40/AT).
- 3. Status for update:** Specify the next step in the order process. You must use a UDC (40/AT) that has been set up on the Order Activity Rules form for the order type and the line type that you are using. The override status is another allowed step in the process.
- 4. PIS Line Type** Specify the line type that the system writes to the F43121 table for PIS /PASEP tax credits. If you leave this processing option blank, the system does not write a line type to the F43121 table.
- 5. COFINS Line Type** Specify the line type that the system writes to the F43121 table for COFINS tax credits. If you leave this processing option blank, the system does not write a line type to table F43121.

## Closing an Inbound Nota Fiscal

Access the Work With Nota Fiscal Headers form.

## (BRA) Generating a Correction Letter for a Nota Fiscal

If discrepancies exist between the amounts that the system calculates and the calculations that The supplier sent on the nota fiscal, you can generate a letter to the supplier requesting a correction.

This section lists a prerequisite and discusses how to:

- Generate a correction letter for a nota fiscal.
- Create the text for a correction letter.

### Prerequisite

Verify that the text for the correction letter exists.

### Forms Used to Generate a Correction Letter for a Nota Fiscal

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Nota Fiscal Headers	W7610BG	Purchase Order Processing – Brazil (G76B4311), Nota Fiscal Inquiry	Work with nota fiscal headers.
Nota Fiscal Check	W76B900A	Select a row on the Work With Nota Fiscal Headers form, and then select Close Nota Fiscal from the Row menu.	Perform nota fiscal tasks.
Printer Selection	W986162B	On Nota Fiscal Check, select Correction Letter from the Form menu.	Select the report output destination.
Work With Fiscal Books Next Number	W7602BA	Brazilian Localization Setup (G76B41B), Next Number – Fiscal Books	Work with fiscal books next number.
Fiscal Books Next Number Revision	W7602BB	On the Work With Fiscal Books Next Number form, click Add.	Make revisions to a fiscal books next number.
Opening Statement	W7602BE	On the Work With Fiscal Books Next Number form, select a line and select Opening Statement from the Row menu.	Modify an opening statement.
Media Object Viewer	N/A	Click OK on the Opening Statement form.	Enter text that you want to appear before the detail portion of the corrections.
Closing Statement	W7602BF	On the Work With Fiscal Books Next Number form, select a line and then select Closing Statement from the Row menu.	Modify a closing statement.

## Generating a Correction Letter for a Nota Fiscal

Access the Work with Nota Fiscal Headers form.

## Creating the Text for a Correction Letter

You use the Fiscal Books Next Number program (P7602B) to create the text for the correction letter. The Fiscal Books Next Number program lets you create an opening section and a closing section that the system prints on one letter. When you generate the letter, the system inserts between the two sections the details of the discrepancies between the nota fiscal that you received and the amounts that were calculated by the system.

### Associating the CC UDC Value with the Company

Access the Work With Fiscal Books Next Number form, which you use to associate the CC UDC value.

Next Number - Fiscal Books - Fiscal Books Next Number Revision	
Company	07600 Brazilian Company
Report Type	DG Transaction Journal
Book Number	1
Next Page Number	1.00
Maximum Number of Pages	25.00
Print Date	

Fiscal Books Next Number Revision form

### Creating the Revision Letter Text

Access the Work with Fiscal Books Next Number form.

## 一括入荷の入力

このセクションでは、一括入荷の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 一括入荷情報の入力
- 複数の保管場所およびロットへの品目の割り当て
- シリアル番号の割り当て
- 入荷の戻し（逆仕訳）

## 一括入荷について

入荷確認プログラム (P4312) では、合計入荷数量を自動的に仕入先からの出荷の複数の購買オーダーに適用できます。この処理を一括入荷といいます。品目別入荷と一括入荷機能の処理オプションを設定すると、仕入先からの複数の購買オーダーに対して数量を手作業で入力する必要がなくなります。同じ事業所で仕入先が同じ品目の全ての発注残が、納入約束日の順にソートして表示されます。

一括入荷機能を使用するには、まず入荷した合計数量を入力します。次に、合計入荷数量を自動的に割り当てる 1 番目の購買オーダーを選択します。発注残の行が全て満たされるまで、システムにより約束手納入日付順に合計入荷数量が割り当てられます。

一括入荷処理に許容度チェックを使用する場合、合計入荷数量に余りがあると残りの合計入荷数量が検証されます。入荷確認プログラム (P4312) の [一括入荷処理] タブの処理オプションで指定した許容度の数量/パーセントよりも残数が小さい場合、残りの数量は購買オーダー行の最後の行に割り当てられます。一括入荷処理に許容度チェックを使用しない場合に残数があると、その数量は仕入先の次の発注残に割り当てられます。

## 一括入荷情報の入力

複数の保管場所へのお入荷については一括入荷処理は使用できません。

それぞれの購買オーダー行に数量が入力されると同時に、[入荷 OPT] フィールドの値が 1 (購買オーダー行のお入荷) に更新され、合計入荷数量が全て充当されるまでこの処理が続きます。購買オーダーの行数がグリッドの限界に達した場合、グリッドの購買オーダー行が全て満たされると、これまでに入荷した数量を示す警告メッセージが表示され、次の購買オーダー行まで下にスクロールしてから一括入荷処理を続けるよう指示があります。

## 複数の保管場所およびロットへの品目の割り当て

在庫環境で処理している場合、入荷時点で品目を保管場所に割り当てる必要があります。特に指定しない限り、品目は基本保管場所に割り当てられます。入荷数量が保管場所の許容数量を超える場合は、品目を複数の保管場所に割り当てることができます。たとえばペン 100 本をお入荷したとき、50 本を 1 つの保管場所に割り当て、50 本を他の場所に割り当てることができます。

お入荷したオーダーにはロット番号を割り当てることができます。また、1 つのオーダーに複数のロットを割り当てすることもできます。たとえば、大量の乾電池をお入荷した場合、全ての乾電池を 1 つのロットに割り当てるか、または有効日付を基準にさまざまなロットに割り当てることができます。

## シリアル番号の割り当て

品目を個別にモニタリングするために、各品目にシリアル番号を割り当てることができます。品目マスター情報で上級シリアル番号処理を指定した品目に対しては、固有のシリアル番号を割り当ててください。たとえば、テレビをお入荷した場合、お入荷したそれぞれのテレビに固有のシリアル番号を割り当てる必要があります。

入力する数量が明細行の合計数量を超えないようにしてください。入荷確認の各明細行が、[複数保管場所からの選択] で指定したそれぞれの数量に対する明細行と置き換えられます。

## 入荷の戻し (逆仕訳)

入荷品目に対して支払伝票を作成していない限り、入荷の戻し (逆仕訳) を行うことができます。誤って入荷を記録した場合、あるいは間違っただけの入荷を記録した場合に、この処理を実行する必要があります。オーダーの伝票が既に作成されている場合、入荷の戻し (逆仕訳) を行うために、まず伝票の戻し (逆仕訳) を行う必要があります。

入荷工程処理中の品目の入荷を戻す (逆仕訳する) 場合、入荷を戻す (逆仕訳する) 前に入荷工程の最初の作業に品目を移動してください。この場合、全ての処分品目についても戻し (逆仕訳) を実行する必要があります。

入荷に対して戻し (逆仕訳) を実行すると、このオーダーは全くお入荷されなかったものとして扱われます。全ての会計処理および在庫トランザクションに対して戻し (逆仕訳) が行われます。



## 事前設定

一括入荷を入力する前に、入荷確認プログラム (P4312) で、以下の作業を実行する必要があります。

- [表示] タブにある入荷モードの処理オプションを 2 (品目別) に設定します。
- [処理] タブにある入荷オプションのデフォルト値の処理オプションが、空白に設定されていることを確認します。
- [一括入荷処理] タブにある一括入荷と許容度チェックの処理オプションを適切に設定します。

## 一括入荷の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[購買オーダー入荷の処理]	W4312F	[購買オーダー処理] (G43A11)、[入荷確認 (品目別)][購買オーダー処理] (G43A11)、[入荷確認 (購買オーダー別)]	購買オーダー入荷の処理を行います。
[入荷確認]	W4312A	[購買オーダー入荷の処理] フォームで、行を選択し、[選択] ボタンをクリックします。	入荷確認に関連するタスクを実行します。
[複数保管場所からの選択]	W42053B	[入荷確認] フォームで明細行を選択し、[ロー] メニューから [複数保管場所] を選択します。	複数の保管場所を選択します。
[入荷確認の処理]	W43214A	[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15)、[仕入先別入荷処理中オーダー]	入荷確認の処理を行います。
[戻し (逆仕訳) の確認]	W43214H	[入荷確認の処理] フォームで入荷を選択し、[ロー] メニューから [入荷逆仕訳] を選択してから、[閉じる] をクリックします。	入荷の戻し (逆仕訳) を確認します。

## 一括入荷情報の入力

[購買オーダー入荷の処理] フォームにアクセスします。

[コンテナ ID]

当該購買オーダーまたはオーダー行で、中身の品目が出荷されたコンテナのコードまたは割り当てコードを入力します。出荷入力中に、オーダーにコンテナ情報を割り当てることができます。

[仕入先 No.(梱包リスト No.)]

関連情報を入力します。これは自由形式のフィールドです。

## 複数保管場所およびロットへの品目の割り当て

[購買オーダー入荷の処理] フォームにアクセスします。

## シリアル番号の割り当て

[購買オーダー入荷の処理] フォームにアクセスします。

## 入荷の戻し（逆仕訳）

[入荷確認の処理] フォームにアクセスします。

---

## 入荷トランザクションに対する仕訳の検討

このセクションでは、入荷トランザクションに対する仕訳の検討の概要と以下の方法について説明します。

- 入荷トランザクションに対する仕訳の検討
- 入荷の転記
- 仕訳の転記 (R09801) の処理オプションの設定

### 入荷トランザクションに対する仕訳の検討について

入荷を入力したり、戻し（逆仕訳）を行う際は常に仕訳が作成されます。仕訳が正確かどうか検討してから総勘定元帳に転記します。

公式の入荷を入力すると、次のような仕訳が作成されます。

- 借方に在庫勘定を作成（在庫行の場合。それ以外の場合は、借方に元帳勘定を作成）
- 貸方に入荷請求仮勘定の仕訳を作成

仕訳を作成する勘定科目コードは AAI から取り込まれます。AAI テーブルは、在庫勘定および入荷請求仮勘定に対してそれぞれ別に存在します。勘定科目コードは、会社やビジネスユニット、入荷に適用される元帳カテゴリコードに基づいて AAI テーブルから取り込まれます。

たとえば、100 ドル分の在庫品目の入荷を入力します。品目の元帳クラスは IN20 で会社 100 のビジネスユニット A 用に購入されました。入荷を入力すると、会社 100、ビジネスユニット A、元帳クラス IN20 に対して定義された棚卸資産勘定および入荷請求仮勘定に仕訳が作成されます。

購買明細行に勘定科目コードを入力した場合、入荷金額が明細行の勘定科目コードに対して請求されます。入荷請求仮勘定は AAI により決まります。

入荷が課税対象の場合、仮払消費税仕訳も作成されます。入荷時に陸揚費用を適用する場合、陸揚費用の繰越仕訳が作成されます。

品目の在庫原価を確定する際に、標準原価方式を使用できます。標準原価は手作業で変更しない限り一貫しています。標準原価と品目仕入時の価格に差異がある場合、差異分の仕訳が作成されます。差異勘定科目は AAI で指定します。

各明細行に対してそれぞれ仕訳を作成するか、全行に対して仕訳を集計するかは、処理オプションで指定します。

入荷に対して戻し（逆仕訳）を実行すると、対応する仕訳に対して自動的に逆仕訳が作成されます。

## 入荷トランザクションに対する仕訳の検討

入荷に対する仕訳を検討するには、[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15) の [入荷時仕訳の検討] を選択します。

## 入荷の転記

入荷を転記するには、[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15) の [入荷の転記] を選択します。

仕訳を検討したら、仕訳の転記プログラム (R09801) を使用してそれらを総勘定元帳に転記します。

仕訳の転記プログラムを実行すると、以下の処理が実行されます。

- F0911 テーブルから、該当する未転記トランザクション バッチを選択します。
- 各トランザクションを編集および検証します。
- 承認済みのトランザクションが F0902 テーブルに転記されます。
- F0911 テーブルおよび F0011 テーブルで、各トランザクションおよびバッチ見出しに転記済みのマークを付けます。

## 総勘定元帳への転記 (R09801) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 印刷

以下の処理オプションを使用して、レポートに印刷する勘定科目様式と、レポートにエラー メッセージを含めるかどうかを指定します。

- |                        |   |
|------------------------|---|
| <b>1. 勘定科目様式</b>       | 総勘定元帳への転記レポートに印刷する勘定科目様式を指定します。   |
| <b>2. エラー・メッセージの印刷</b> | 総勘定元帳への転記レポートにエラー メッセージを印刷するかどうかを指定します。この処理オプションをブランクにしても、エラー メッセージが検出されると、ワーク センターでエラー メッセージが出力されます。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク：エラー メッセージが印刷されません。<br>1: エラー メッセージが印刷されます。 |

### バージョン

以下の処理オプションを使用して、実行するプログラムのバージョンを指定します。バージョンを指定しないと、プログラムが実行されません。バージョンを指定すると、転記プログラムの終了後にそのプログラムが実行されます。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>1. 詳細再換算バージョン</b>  | 仕訳を作成するために実行する詳細再換算プログラム (R11411) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、詳細再換算仕訳は作成されません。                                     |
| <b>2. 固定資産転記バージョン</b> | 固定資産レコードを作成するために実行する固定資産転記プログラム (R12800) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、固定資産転記プログラム (R12800) が実行されず、固定資産レコードが作成されません。 |

- 3. 52期間転記バージョン** F0902 および F0902B テーブルの更新に使用する 52 期間会計転記プログラム (R098011) のバージョンを指定します。空白にした場合、52 期間会計転記プログラムは実行されず、テーブルも更新されません。

## 編集

以下の処理オプションを使用して、トランザクションで特定のフィールドを更新するかどうかを指定します。

- 1. トランザクションの更新** F0911 テーブルの未転記レコードの略式 ID、会社、会計年度、期間、西暦上 2 桁、四半期を更新するかどうかを指定します。カスタム プログラムによって F0911 テーブルにレコードが作成され、これらのフィールドが正しい値に更新されていない場合は、これらのフィールドを更新する必要があります。
- 略式 ID および会社フィールドは、未転記レコードの勘定科目コードフィールドの値を使って更新されます。
- 会計年度、期間、西暦上 2 桁の各フィールドは、未転記レコードの元帳日付フィールドの値を使って更新されます。
- 未転記レコードの四半期フィールドは、空白に更新されます。

## 税

以下の処理オプションを使用して、税情報の更新方法を指定します。

- 1. 税ファイルの更新** 税情報を含む取引を総勘定元帳へ転記する場合、F0018 テーブルを更新するかどうかと更新方法を指定します。有効値は以下のとおりです。
- 空白：F0018 テーブルは更新されません。
- 1: 税目コードが V、VT、V+、U、UT の場合のみ、F0018 テーブルが更新されます。
- 2: 税額が入力されている場合は全て更新されます。税目コードが E (免税) の場合は、更新されません。
- 3: 税目コードが入力されている場合 (税目コードが E (免税) の場合も含む) は、全て更新されます。
- 2. 付加価値税割引の更新** 税額フィールドを調整するかどうか、調整する場合はどのフィールドを調整するか、割引実施時期を指定します。税目コードが V の取引のみの税額フィールドが調整されます。
- この処理オプションを使用するには、税規則で以下のオプションを有効にする必要があります。
- [割引を含む総額に対して税額を計算]
  - [税込み総額に対する割引]
- 有効値は以下のとおりです。
- 空白：割引実施額に対して税額が調整されません。
- 1: 税額フィールド (STAM) のみ更新されます。
- 2: 税額 (STAM)、課税対象額 (ATXA)、合計価格 (AEXP) の各フィールドが更新されます。
- 割引が発生した場合、次のアルゴリズムを使って税額、課税対象額、総額 (合計価格) フィールドの調整金額の計算が行われます。

- 総額（合計価格）に対する調整 = 割引実施額
- 課税対象額に対する調整 = (課税対象額/総額) × 割引実施額
- 税額に対する調整 = (税額/総額) × 割引実施額

たとえば、以下のようになります。

税率 = 25 パーセント

割引実施額 = 12.50 USD

総額（合計価格）= 1,250.00 USD

課税対象額 = 1,000.00 USD

税額 = 250.00 USD

この場合、調整アルゴリズムを使って、次のように調整金額が計算されます。

- 総額に対する調整 = 12.50
- 課税対象額に対する調整 = 10.00
- 税額に対する調整 = 2.50

調整金額は、当初の金額から調整後金額を引いて計算されます。

- 調整後総額 :  $1,250.00 - 12.50 = 1,237.50$
- 調整後課税対象額 :  $1,000.00 - 10.00 = 990.00$
- 調整後税額 :  $250.00 - 2.50 = 247.50$

### 3. 付加価値税入金の更新

税額フィールドを調整するかどうか、調整する場合はどのフィールドを調整するか、入金処理で少額消込が発生する時期を指定します。税目コードが V の取引のみの税額フィールドが調整されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：少額消込に対して税額が調整されません。

1: 税額フィールド (STAM) のみ更新されます。

2: 税額 (STAM)、課税対象額 (ATXA)、合計価格 (AEXP) の各フィールドが更新されます。

少額消込が発生した場合、次のアルゴリズムを使って税額、課税対象額、総額（合計価格）の調整計算が行われます。

- 総額（合計価格）に対する調整 = 少額消込金額
- 課税対象額に対する調整 = (課税対象額/総額) × 少額消込金額
- 税額に対する調整 = (課税対象額/総額) × 少額消込金額

たとえば、以下のようになります。

税率 = 25 パーセント

少額消込金額 = 1,250 円

総額（合計価格）= 1,250.00 USD

課税対象額 = 1,000.00 USD

税額 = 250.00 USD

この場合、調整アルゴリズムを使って、次のように調整金額が計算されます。

- 総額に対する調整 = 12.50
- 課税対象額に対する調整 = 10.00
- 税額に対する調整 = 2.50

調整金額は、当初の金額から調整後金額を引いて計算されます。

- 調整後総額 :  $1,250.00 - 12.50 = 1,237.50$
- 調整後課税対象額 :  $1,000.00 - 10.00 = 990.00$
- 調整後税額 :  $250.00 - 2.50 = 247.50$

## 処理

以下の処理オプションを使用して、親品目を展開するかどうかを指定します。

### 1. 親品目時間の展開

親資産の時間入力を親資産の子まで展開するかどうかを指定します。この処理オプションで「1」を入力した場合、仕訳の転記プログラム (R09801) により、親資産の子に対して時間入力を作成されます。親資産と同じ時間単位および子資産の単価を使って、該当する仕訳の計算が行われます。この処理オプションはバッチ タイプ T のレコードにのみ適用されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 親資産の時間入力が、親資産の子まで展開されません。

1: 親資産の時間入力が、親資産の子まで展開されます。

## 現金主義会計

以下の処理オプションを使用して、現金主義会計仕訳に割り当てる数量元帳タイプと、実行する仕訳の作成プログラム (R11C850) のバージョンを指定します。バージョンを指定しないと、プログラムが実行されません。バージョンを指定すると、転記プログラムの終了後にそのプログラムが実行されます。

### 1. 数量元帳タイプ

現金主義仕訳で使用する数量元帳タイプを指定します。元帳タイプ マスターの設定プログラム (P0025) で設定された有効な元帳タイプを入力してください。ブランクにした場合、デフォルトの元帳タイプ “ZU” が使用されます。

### 2. 現金主義会計バージョン

実行する仕訳の作成プログラム (R11C850) のバージョンを指定します。ブランクにした場合、現金主義仕訳は作成されません。

---

## 入荷情報の印刷

このセクションでは、入荷情報の印刷の概要と、以下の方法について説明します。

- 発注残の印刷
- 発注残の状況印刷
- 発注残状況 (R43525) の処理オプションの設定
- 仕入先別入荷情報の印刷

## 入荷情報の印刷について

購買オーダー、仕入先、ビジネスユニットなどを指定することにより、特定の入荷情報を印刷できます。

発注残状況レポートを印刷して、期日を過ぎている購買オーダーを検討できます。各購買オーダーに対して、以下の明細行情報を検討できます。

- 当初オーダー数量
- 入荷数量
- 発注残数
- 期日超過

このレポートの情報は、以下の順序で印刷されます。

- ユーザー ID
- 仕入先番号
- オーダー番号
- 行番号

以下の情報に対して未決済金額合計が表示されます。

- 各購買オーダー
- 各仕入先
- 各ユーザー
- 全体のレポート

## 発注残の印刷

発注残を印刷するには、[購買レポート] (G43A111) の [発注残印刷] を選択します。

特定の品目を発注した仕入先の一覧を印刷できます。オーダー数量および、それぞれの仕入先からの未入荷数量と金額を確認できます。また、品目別発注残レポートを使用して、特定の品目または勘定科目コードに対する発注残情報、または品目の入荷予定日を確認できます。

## 発注残状況の印刷

[購買レポート] (G43A111) の [発注残状況印刷] を選択します。

## 発注残状況 (R43525) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 印刷

以下の処理オプションを使用して、レポートの基準日を入力します。

1. レポート用の基準日を入力してください。この日付は期日を過ぎた日数を決定し、終了日付処理に使用されます。 期日超過の判断と終了日付処理に使用される基準日を入力します。

## 仕入先別入荷情報の印刷

仕入先別入荷情報を印刷するには、[購買レポート] (G43A111) の [入荷記録] を選択します。

入荷記録レポートを印刷して、仕入先から入荷した全ての品目を検討できます。このレポートには、仕入先に関連する各明細行について以下の情報が含まれています。

- 品目番号または勘定科目コード
- オーダーの入荷日付
- 入荷数量と金額

在庫環境では、このレポートを、倉庫の従業員が品目に添付して入荷情報を参照するための入庫記録レポートとして使用できます。この場合、特定の入荷に関連する明細行のみがレポートに表示されます。

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering and Receiving Purchase Orders for Non-Inventory Item with 3-Way Match

This section discusses:

- How to enter and receive purchase orders for non-inventory item with 3-way match.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Blanket (P4310).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Non Stock (P4310).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Receipts by Purchase Order (P4312).

### Entering and Receiving Purchase Orders for Non-Inventory Item with 3-Way Match

This table lists the tasks for entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match:



Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter blanket order.	Purchase Blanket Orders, Enter Procurement Blanket Order	P4310/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: B = Item number charged to general ledger account and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types B, J, and T.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is setup. Some setup will need to be changed if other branch/plants are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>
Enter direct purchase order.	Purchase Order Processing, Direct Purchase Order	P4310/RIS0003	Same.	Same.
Receive purchase order.	Purchase Order Processing, Receive Purchase Order	P4312/RIS0001	Same.	Same.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Blanket (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OB
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	210
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank

Processing Option Description	Value or Status
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1.Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

## Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	1
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	1
5. Supplier Analysis	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAI's	blank

## Processing

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	blank
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

## Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OB
2. Beginning Status Code	210
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

## Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	210
2. Thru Status Code	999
3. Last Status	blank
4. Date	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0002
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	blank
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

**Approvals**

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	blank
3. Approved Status	blank
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

**Budgeting**

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	blank
2. Budget Ledger Type	blank
3. Level of Detail	blank
4. Budget Total Method	blank
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

## Transfer Order

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

### 関連項目:

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92ページ

第 13 章、「特殊オーダー処理」、「一括オーダーの利用」、336ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Order Entry – Non Stock (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0003.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OP
2. Line Type	J
3. Beginning Status	220
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

## Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	blank
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	blank
5. Supplier Analysis	blank
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAls	blank

## Processing

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	1



Processing Option Description	Value or Status
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OP
2. Beginning Status Code	220
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

### Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	220
2. Thru Status Code	999
3. Last Status	blank
4. Date	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0001
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	RIS0002
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	RIS0001
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	RIS0001
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0001
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	RIS0001
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	blank
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

## Approvals

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	230
3. Approved Status	280
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

## Budgeting

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	blank
2. Budget Ledger Type	BA
3. Level of Detail	9
4. Budget Total Method	blank
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank

## Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	1

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notify	blank

**Transfer Order**

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

**関連項目:**

第 9 章、「[購買オーダーの入力](#)」、「[購買オーダー \(P4310\) の処理オプションの設定](#)」、92 ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Receipts by Purchase Order (P4312)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inquiry Order Type	OP
2. Receipt Document Type	OV

**Status Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Acceptable Incoming Status Code 1	400
2. Acceptable Incoming Status Code 2	280
3. Acceptable Incoming Status Code 3	380
4. Outgoing Status for Partial Receipts	400
5. Outgoing Status for Closing	999
6. Outgoing Status for Canceling	999

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Backorders	blank
2. Lot Information	blank
3. Cost Protection	2
4. Kits	2
5. Receiving Mode	1

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Update Mode	1
2. Lot Default	blank
3. Option Default	1
4. Serial Numbers	blank
5. Quantity Entry	blank
6. Landed Costs	2

Processing Option Description	Value or Status
7. Receipt Traveler Document	blank
8. Supplier Analysis	1
9. Text Deletion	blank
10. Direct Ship Status	580
11. Receipt Routing	1
12. Enter the default route type to be used to search for a receipt route. If left blank, the program will search for route type equivalent to blank.	blank
13. Journal Entries	1
14. Activate Blind Materials Issue (EPM)	blank
15. Allow Negative On-Hand Quantity	blank
16. Activate Automatic G/L Batch Posting	blank

### Tolerance

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantity and Amount	blank
2. Date Blank	blank

### Warehousing

Processing Option Description	Value or Status
1. Putaway Mode	blank
2. License Plate Number Generation Method	blank
3. Build default UOM structure	blank
4. Assign Items to License Plate Window (P46L30)	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Effective Date	blank
2. Protect Rate	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
2. Sales Order Backorder Release (P42117)	RIS0001
3. Receipt Traveler (P43512)	blank
4. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
5. Putaway Requests (R46171) Location Selection Driver Version for putaway request.	blank
6. Pick Requests (R46171) Location Selection Driver Version for pick request.	blank
7. Online Reservations (P46130)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. G/L Journal Entries (P0900049)	RIS0001
10. Landed Cost Selection (P43291)	RIS0001
11. Test Results Revisions (P3711)	blank
12. Blind Materials Issue (P31113)	blank
13. General Ledger Post (R09801) (ZJDE0009 if blank)	blank

**Flex Acct**

Processing Option Description	Value or Status
1. Flex Accounting	blank

**Bulk**

Processing Option Description	Value or Status
1. Quantities	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Receipt Email	blank
2. Completion Email	blank
3. Notify Unit Cost Changes	blank
4. Notify Quantity Changes	blank

**Cross Docking**

Processing Option Description	Value or Status
1. Cross Docking	blank
2. Pick Request	blank
3. Override Next Status for Sales Orders	blank
4. From Sales Order Status (Status that will determine what sales orders will be included for cross docking)	blank
5. Thru Sales Order Status (Status that will determine what sales orders will be included for cross docking)	blank

**Cascade Receipt**

Processing Option Description	Value or Status
1- Cascade Receipt	blank
2- Tolerance Checking	blank
3- Tolerance Checking by Quantity	0
4- Tolerance Checking by Percentage	0

**WIM**

Processing Option Description	Value or Status
1. Wine Industry Module	blank

**関連項目:**

第 11 章、「入荷処理の利用」、「入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションの設定」、215ページ



## (Rapid Start) Receiving Purchase Orders for an Inventory Item

This section discusses how to receive purchase orders for an inventory item.

### Receiving Purchase Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for receiving purchase orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Receive purchase orders for an inventory item.	Purchase Order Processing, Receive Purchase Order	P4312/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T</li> <li>Item: item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> <p>Next Status = 400</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Receipts by Purchase Order (P4312)」、258ページ

## (Rapid Start) Receiving Purchase Order for Selling a Direct Ship Item

This section discusses how to receive purchase order for selling a direct ship item.

### Receiving Purchase Order for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for receiving purchase order for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Receive purchase order for selling a direct ship item.	Purchase Order Processing, Receive Purchase Order	P4312/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> <p>Purchase Order Next Status = 400 and Sales Order Next Status = 559</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Receipts by Purchase Order (P4312)」、258ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment for Returning an Item to a Supplier

This section discusses how to confirm shipment for returning an item to a supplier.

### Confirming Shipment for Returning an Item to a Supplier

This table lists the tasks for confirming shipment for returning an item to a supplier:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Confirm shipment for returning an item to a supplier.	Purchase Order Processing, Receive Purchase Order	P4312/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP and OS</li> <li>Line Type: S = Inventory item, D = Direct Ship Item, B = Item number charged to general ledger account, and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and OS and line types S, B, D, and J.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Receipts by Purchase Order (P4312)」、258ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Purchase Order Receipts

This section discusses:

- How to post purchase order receipts.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States General Ledger – PO Receipts (R09801).

### Posting Purchase Order Receipts

This table lists the tasks for posting purchase order receipts:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post purchase order receipts.	Post to the General Ledger, Post All Purchase Orders	R09801/RIS0009	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: B = Item number charged to general ledger account and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types B, J, and T.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is setup. Some setup will need to be changed if other branch/plants are used.</li> <li>Enter item numbers in the system.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States General Ledger – PO Receipts (R09801)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0009.

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	1

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	blank
2. Update VAT Discounts	blank
3. Update VAT Receipts and W/O	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

**Cash Basis**

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

**関連項目:**

第 11 章、「入荷処理の利用」、「総勘定元帳への転記 (R09801) の処理オプションの設定」、241 ページ

---

## (Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for an Inventory Item

This section discusses how to post purchase order receipts for an inventory item.

### Posting Purchase Order Receipts for an Inventory Item

This table lists the tasks for posting purchase order receipts for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post purchase order receipts for an inventory item.	Post to the General Ledger, Post All Purchase Orders	R09801/RIS0009	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rues: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States General Ledger – PO Receipts (R09801)」、266ページ

---

## (Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item

This section discusses how to post purchase order receipts for selling a direct ship item.

### Posting Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for posting purchase order receipts for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post purchase order receipts for selling a direct ship item.	Post the General Ledger, Post All Purchase Order	R09801/RIS0009	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States General Ledger – PO Receipts (R09801)」、266ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 2-Way Match

This section discusses:

- How to post vouchers for non-inventory item with 2-way match.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801).

### Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 2-Way Match

This table lists the tasks for posting vouchers for non-inventory item with 2-way match:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post vouchers for non-inventory item with 2-way match.	Post to the General Ledger, Post All Vouchers	P09801/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OS</li> <li>Line Type: B = Item number charged to general ledger account and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OS and line types B and J.</li> </ul>	Enter supplier numbers in the system.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	1

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank



**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	3
2. Update VAT Discounts	2
3. Update VAT Receipts and W/O	2

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

**Cash Basis**

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

**関連項目:**

第 11 章、「入荷処理の利用」、「総勘定元帳への転記 (R09801) の処理オプションの設定」、241 ページ

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「仕訳の処理」、「仕訳の転記」

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 3-Way Match

This section discusses how to post vouchers for non-inventory item with 3-way match.

### Posting Vouchers for Non-Inventory Item with 3-Way Match

This table lists the tasks for posting vouchers for non-inventory item with 3-way match:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post vouchers for non-inventory item with 3-way match.	Post to the General Ledger, Post All Vouchers	R09801/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: B = Item number charged to general ledger account and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types B, J, and T.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is setup in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branch/plants are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: [第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post \(R09801\)」](#)、270ページ

---

## (Rapid Start) Posting Vouchers for an Inventory Item

This section discusses how to post vouchers for an inventory item.

### Posting Vouchers for an Inventory Item

This table lists the tasks for posting vouchers for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post vouchers for an inventory item.	Post to the General Ledger, Post All Vouchers	R09801/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rues: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801)」、270ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Journal Entries for Returning an Item to a Supplier

This section discusses how to post journal entries for returning an item to a supplier.

### Posting Journal Entries for Returning an Item to a Supplier

This table lists the tasks for posting journal entries for returning an item to a supplier:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post journal entries.	Post to the General Ledger, Post All Purchase Orders	R09801/RIS0009	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP and OS</li> <li>Line Type: S = Inventory item, D = Direct Ship Item, B = Item number charged to general ledger account, and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and OS and line types S, B, D, and J.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States General Ledger – PO Receipts (R09801)」、266ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Vouchers for Returning an Item to a Supplier

This section discusses how to post vouchers for returning an item to a supplier.

### Posting Vouchers for Returning an Item to a Supplier

This table lists the tasks for posting vouchers for returning an item to a supplier:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post vouchers for returning an item to a supplier.	Post to the General Ledger, Post All Vouchers	R09801/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP and OS</li> <li>Line Type: S = Inventory item, D = Direct Ship Item, B = Item number charged to general ledger account, and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and OS and line types S, B, D, and J.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801)」、270ページ

## (Rapid Start) Posting Procurement Transactions for Selling a Direct Ship Item

This section discusses how to post procurement transactions for selling a direct ship item.

### Posting Procurement Transactions for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for posting procurement transactions for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post procurement transactions for selling a direct ship item.	Post to the General Ledger, Post All Vouchers	R09801/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801)」、270ページ

## (Rapid Start CAN and USA) Posting Procurement Transactions for Transfer Order with Receipt Routing

This section discusses how to post procurement transactions for transfer order with receipt routing.

### Posting Procurement Transactions for Transfer Order with Receipt Routing

This table lists the tasks for posting procurement transactions for transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post procurement transactions for transfer order with receipt routing.	Post to the General Ledger, Post All Vouchers	R09801/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: ST and OT</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that is receiving the goods.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> <li>verify the PINS process is setup in the routing. This is a two step process which takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 11 章、「入荷処理の利用」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Post (R09801)」、270ページ





## 第 12 章

# 伝票の作成

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、伝票作成の概要と以下の内容について説明します。

- 入荷処理中オーダーの検討
- 陸揚費用の入力
- 伝票の作成
- 留保金の利用
- 入荷レコードからの複数伝票作成
- 商品入荷前の仮請求書作成
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Match invoice to purchase order
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Match invoice to open receipt
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Match invoice to open receipt for an inventory item
- (Rapid Start) Match purchase order receipts for selling a direct ship item
- (Rapid Start AUS and NZL) Match purchase order to voucher for an inventory item
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Match credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier
- (Rapid Start CAN and USA) Match purchase order receipts for transfer order with receipt routing
- 伝票情報の印刷

---

## 伝票作成について

このセクションでは、事前設定と伝票作成について説明します。

### 事前設定

買掛支払処理を設定します。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理 8.11 SP1 PeopleBook、「仕入先情報の入力」、「仕入先マスター情報について」

### 伝票作成

仕入先から購入した商品やサービスに対して支払を行う前に、次のような伝票を作成する必要があります。

- 取引条件を満たすことが明記されている。
- 仕入先に対する支払額を指定する。
- 小切手の振り出しを買掛管理システムへ通知する。

請求書と入荷に基づいて伝票を作成できます。この方法を 3 方向伝票照合と呼びます。この方法では、請求書情報が入荷レコードに一致しているかどうか確認します。たとえば、仕入先から商品代として 100.00 の請求があった場合、その商品を受け取っているかどうかを確認します。

---

**注:** (BRA) In Brazil, you must use the three-way voucher match method of creating a voucher. When you complete the match process, the system creates two batches if any of the transactions are subject to IPI or ICMS recoverable, or ICMS payable.

---

入荷情報を記録しない場合は、2 方向伝票照合を使用します。この方法では、請求書情報が購買明細行に対応していることを検証した上で支払伝票を作成します。

また、次のように伝票を作成することもできます。

- 入荷情報に基づいてバッチ モードで処理する。仕入先との契約に基づいて、入荷レコードから支払伝票を作成し、請求書を必要としない場合にこの方法を使用します。たとえば、100.00 相当の商品を入荷したことを示す入荷レコードがある場合、それに対する支払伝票が作成されます。
- 支払総額の一部を留保額として減算した伝票を作成する。留保金とは、オーダー完了後の特定の日付まで保留にされる金額を指します。たとえば、10 パーセントの留保額で 100.00 の支払伝票を作成すると、10 が留保されるため、実際の支払は 90.00 になります。留保金分は、リリース金額分の支払伝票を入力することによりリリースします。
- オーダーの出来高払いを作成する。
- 数量基準オーダーに対して支払う場合は数量に対して作成する。数量基準オーダーでは、処理が完了した数量に基づいて支払金額を指定します。支払の対象となる数量あるいは合計金額を入力します。これにより、価格に基づいて残額計算が実行されます。

通常は、支払伝票を作成する前に入荷レコードを検討できます。入荷レコードを検討した後、入荷品目に対する陸揚費用（品目の仕入価格以外の費用）を入力できます。

商品やサービスの入荷前に請求書を受け取った場合は、請求された金額の予備伝票を作成できます。請求書の商品またはサービスを入荷した後に、該当する勘定科目にその金額を計上できます。

---

## 入荷処理中オーダーの検討

このセクションでは、入荷処理中オーダーの検討の概要と以下の方法について説明します。

- 入荷確認照会 (P43214) の処理オプションの設定
- 入荷処理中オーダーの検討

### 入荷処理中オーダーの検討について

支払伝票をまだ作成していない入荷に対するオーダー（入荷処理中オーダー）を検討できます。この機能を使用して、伝票作成が必要な入荷を確認できます。未処理金額と数量を入荷レコードごとに検討できます。

支払伝票が既に作成済みかどうかを確認するためにオーダーをチェックする場合、[入荷確認の処理] フォームの [買掛伝票入力済み] オプションを使用して、支払伝票が作成されたオーダー明細行を検索できます。支払伝票に入力された数量および金額と共にオーダー明細行が表示されます。

## 入荷処理中オーダーの検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入荷確認の処理]	W43214A	[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15)、[仕入先別入荷処理中オーダー]	入荷処理中オーダーを検討します。

## 入荷確認照会 (P43214) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、入荷確認照会に使用するデフォルト情報を入力します。

#### 1. オーダー タイプ

伝票タイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの発生元も指定します。PeopleSoft では、仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプコードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー処理伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注オーダー処理伝票

#### 2. 通貨コード

トランザクションの通貨を識別するコードを入力します。

### バージョン

以下の処理オプションを使用して、システムが使用するさまざまなプログラムのバージョンを制御します。

#### 1. 購買オーダー照会 (P4310)

購買オーダー照会プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

#### 2. 買掛金元帳照会 (P0411)

買掛金元帳照会プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

#### 3. 入荷の戻し (逆仕訳) (P4312)

入荷の戻し (逆仕訳) プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。

#### 4. 入荷工程移動 (P43250)

入荷工程移動プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。

**5. 陸揚費用の選択  
(P43291)**

陸揚費用の選択プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。

**6. 仕訳の転記(R09801)**

元帳バッチの自動転記に使用する総勘定元帳転記レポート プログラム (R09801) のバージョンを指定します。ブランクの場合、ZJDE0009 バージョンが使用されます。

**処理**

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

**1. 戻し(逆仕訳)を可能にするには"1"、陸揚費用を適用するには"2"を入力してください。**

陸揚費用の戻し(逆仕訳)を許可するかまたは陸揚費用を適用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

1: 戻し(逆仕訳)を許可します。

2: 陸揚費用を適用します。

**2. 手持数量がマイナスになる場合の処理**

入荷逆仕訳においてマイナスの手持数量が発生した場合に、オーダーの処理を続行するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：入荷逆仕訳において手持数量がマイナスになった場合、警告が表示されます。マイナスの手持数量を使用して、オーダーの処理が続行されます。

1: 入荷逆仕訳において手持数量がマイナスになった場合、エラー メッセージが表示されます。戻し(逆仕訳)の処理が許可されません。

**3. 元帳バッチの自動転記の有効化**

プログラム終了時の元帳バッチの自動転記を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：手作業による転記。バッチの転記が自動的に行われません。

1: 自動転記。バッチの転記が自動的に行われます。

**陸揚費用**

以下の処理オプションを使用して、陸揚費用の処理を行います。

**1. 仕訳**

陸揚費用の仕訳入力の書き込み方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：仕訳入力 that 明細形式で書き込まれます。

1: 仕訳入力 that 集計されます。

**セルフサービス**

以下の処理オプションを使用して、セルフサービスを設定します。

**1. 仕入先セルフサービス**

Java/HTML 環境で使用するサプライヤ セルフサービスを有効にするかどうかを指定します。この機能を有効にすると、仕入先がオンラインで入荷を確認できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：サプライヤ セルフサービスが有効になりません。

1: サプライヤ セルフサービスが有効になります。

## 入荷処理中オーダーの検討

[入荷確認の処理] フォームにアクセスします。

- |                  |  |
|------------------|--|
| <b>[伝票未入力数量]</b> | オーダー明細行の当初数量に変更数量を加算/減算し、その数量から今日までに出荷、入荷、および伝票作成された数量を全て減算した数量が表示されます。  |
| <b>[伝票未入力金額]</b> | 未払または未決済のオーダー、請求書、または伝票の金額が表示されます。<br><br>伝票（オーダー、請求書、伝票など）を入力するとき、未決済金額が伝票の当初金額になります。当初金額を変更すると、変更分が未決済金額から差し引かれます。たとえば、伝票に対して支払、出荷、または入荷が入力されると、未決済残高が減少します。 |

---

## 陸揚費用の入力

商品を購入する場合、配送料、港使用料、業者手数料、輸入税などの追加費用が発生する場合があります。これら全ての費用が陸揚費用に含まれます。品目の陸揚費用は入荷処理時に入力できるほか、単独でも入力できます。

このセクションでは、ブラジル用の陸揚費用の概要、入荷処理時の陸揚費用の入力、独立型の陸揚費用の入力、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 陸揚費用選択 (P43291) の処理オプションの設定
- 陸揚費用の入力
- (BRA) Apply landed costs
- (BRA) Enter freight notes

### (BRA) Understanding Landed Costs for Brazil

When you purchase items, extra costs for delivery fees, broker fees, import taxes, and so on, are not uncommon. These costs are called landed costs. You can enter landed costs for items after the receipt process or as a stand-alone process.

In Brazil, companies enter stand-alone landed costs for expenses that are associated with notas fiscais. Typically, these expenses include freight, insurance, and expenses. The two types of landed costs are:

- Landed costs that are entered immediately after the receipt process and are included in the nota fiscal.
- Stand-alone landed costs that are entered at some point after the receipt process (called freight notes) and are included in a separate nota fiscal.

You can enter landed costs for a purchase order immediately after the receipt process. If you enter landed costs immediately after the receipt process, you can enter only the costs for a specific nota fiscal document.

After you enter the landed costs for the nota fiscal document, the system prevents you from entering additional costs to the same document. Enter landed costs only after you receive all nota fiscal lines.

---

**注:** Landed costs are reversed automatically when you reverse a receipt.

---

When you enter stand-alone landed costs, you can enter all of the landed costs for multiple notas fiscais at once. The system prorates the total amount of the landed costs to the notas fiscais, and creates a batch of transactions to record the landed costs in the General Accounting and Inventory Management systems. You must review and post this batch.

After you enter landed costs for the nota fiscal, the system prevents you from entering additional costs. Enter landed costs only after you receive all nota fiscal lines.

If you cannot enter landed costs immediately after the receipt process, you must enter freight notes. For example, you enter freight notes if the landed cost amounts are not included on the merchandise nota fiscal from the vendor.

## 入荷処理時の陸揚費用の入力について

入荷情報を入力する際に陸揚費用を入力できます。品目の入荷時に陸揚費用情報を参照できる場合、この処理を使用できます。

入荷処理中に陸揚費用を入力するには、入荷確認プログラム (P4312) の [陸揚費用] 処理オプションで陸揚費用を適用するよう設定します。入荷の入力後、品目に適用される陸揚費用が表示され、その費用を検討または変更できます。

また、入荷確認プログラム (P4312) の [陸揚費用] 処理オプションを、[陸揚費用の選択] フォームを表示しないで陸揚費用規則を自動的に適用するように設定できます。

## 独立型処理の陸揚費用の入力について

品目の入荷時に陸揚費用情報を参照できない場合に、独立型の入力処理で陸揚費用を入力できます。[独立型陸揚費用] オプションは、[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15) メニューからアクセスできます。

陸揚費用は、入荷情報を記録する品目にのみ適用できます。陸揚費用を入力する際、品目に対して設定され割り当てられた陸揚費用のみで処理できます。入荷する各品目について、品目に割り当てられた陸揚費用の検討、変更、および入力を実行できます。

品目の陸揚費用を入力すると、支払伝票の作成が必要な陸揚費用明細行が別個に作成される場合があります。この追加伝票を作成するかどうかは、陸揚費用の設定によって変わります。陸揚費用明細行は、[伝票突合せ] フォームで確認できます。

陸揚費用の入力時に、原価要素のコピープログラム (R41891) を実行することもできます。このプログラムは、F30026 テーブルから F41291 テーブルにシミュレート原価または凍結原価の情報をコピーします。

## 事前設定

陸揚費用を入力する前に、以下の操作を行う必要があります。

- 陸揚費用の改訂プログラム (P41291) で陸揚費用および陸揚費用規則を定義します。
- 必要に応じて、品目、購買オーダー、または明細行に陸揚費用規則を割り当てます。
- 陸揚費用を入力するプログラムの処理オプションが正しく設定されているか確認します。
- (BRA) Set the processing options for the Apply Landed Costs program (P7610B) to specify the landed cost parameters that you want to use.

## 陸揚費用の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[陸揚費用の選択]	W43291A	<p>[入荷確認後の突合せ/転記](G43A15)、[独立型陸揚費用]</p> <p>[入荷確認の処理]フォームで入荷レコードを選択し、[ロー]メニューから[陸揚費用の適用]を選択します。</p>	陸揚費用を入力します。
[Work With Nota Fiscal Headers]	W7610BG	<p>[Purchase Order Processing – Brazil] (G76B4311)、[Apply Landed Costs]</p> <p>[Purchase Order Processing – Brazil] (G76B4311)、[Nota Fiscal Inquiry]</p>	陸揚費用を適用します。
[Nota Fiscal Header Revision]	W7610BD	[Work With Nota Fiscal Headers] フォームで “nota fiscal” を選択し、[ロー]メニューから [Header Revision] を選択します。	陸揚費用を適用します。
[陸揚費用の処理]	W76B807D	[Work With Nota Fiscal Headers] フォームで “nota fiscal” を選択し、[ロー]メニューから [Freight Note] を選択します。	輸送費に関する注意を入力します。

## 陸揚費用選択 (P43291) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 任意勘定科目

以下の処理オプションを使用して、任意勘定科目処理を指定します。

1. 任意勘定科目設定
- 任意勘定科目を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク：任意勘定科目が使用されません。
- 1: 任意勘定科目が使用されます。

## 陸揚費用の入力

[陸揚費用の選択] フォームにアクセスします。

## (BRA) Applying Landed Costs

Access the Work With Nota Fiscal Headers form.

(BRA) NF Number (nota  
fiscal number)

Enter a six-character number that identifies a nota fiscal. The number consists of the nota fiscal number and the nota fiscal series.

<b>(BRA) NF Series</b> (nota fiscal series)	Enter a two-character number that along with the nota fiscal number, identifies a nota fiscal. The Nota Fiscal Series field is the second key that the system uses to access a specific nota fiscal.
<b>(BRA) NF Source</b> (nota fiscal source)	Enter a code that identifies how a nota fiscal was generated in the system. You select a code from the Nota Fiscal Source UDC (76/NF). The codes are hard-coded. Values are: 1: Standalone Nota Fiscal – PO 2: Complementary Nota Fiscal – PO 3: 2-Way Match Nota Fiscal – PO 4: 3-Way Match Nota Fiscal – PO 5: Standalone Nota Fiscal – SO 6: Complementary Nota Fiscal – SO 7: Nota Fiscal – SO
<b>(BRA) NF Freight</b> (nota fiscal freight)	Enter a complementary expense to the customer. The system prorates this expense amount among each of the notas fiscais listed and adds the prorated amount to the ICMS taxable amount for each document.
<b>(BRA) NF Insurance</b> (nota fiscal insurance)	Enter the insurance amount that you charge the client as complementary expense. This amount must be included on the nota fiscal.
<b>(BRA) NF Expenses</b> (nota fiscal expenses)	Enter the amount of the total financial expenses that is printed on the nota fiscal.

## (BRA) Entering Freight Notes

Access the Work With Landed Cost form.

<b>Freight</b>	Enter a complementary expense to the customer. The system prorates this expense amount among each of the notas fiscais listed and adds the prorated amount to the ICMS taxable amount for each document.
<b>Insurance</b>	Enter the insurance amount that you charge the client as complementary expense. This amount must be included on the nota fiscal.
<b>Expenses</b>	Enter the amount of the total financial expenses that is printed on the nota fiscal.

---

## 伝票の作成

このセクションでは、伝票作成と代替通貨で受け取った請求書の管理の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 買掛金標準伝票作成入力 (P0411) の処理オプションの設定
- 伝票照合 (P4314) の処理オプションの設定
- 伝票と照合する入荷レコードの選択
- 伝票と照合するオーダー明細行の選択



- 運賃のオーダー明細行の選択
- 請求書に対する原価変更の記録

## 伝票作成について

仕入先に支払を行う前に支払伝票を作成する必要があります。通常は、請求書に記載された請求額の支払伝票を作成します。支払伝票の作成には、3 方向伝票照合と 2 方向伝票照合の 2 つの方法があります。

3 方向伝票照合では、入荷レコードと請求書の金額を照合して金額が正しいことを確認します。たとえば、仕入先から 10.00 の請求があった場合、入荷レコードを調べて 10.00 の品目を入荷したかどうかをチェックします。3 方向伝票照合（公式の入荷処理）では請求書から支払伝票を作成します。請求書に対応する入荷レコードを検索し、それを請求書と照合する必要があります。たとえば、仕入先から額面 100.00 の請求書が送付された場合、その請求書に対応する 100.00 相当の品目に対し、入荷レコードを検索して請求書と照合します。複数の入荷レコードを選択して、1 つの伝票と照合できます。

請求書と照合する入荷レコードの合計金額は、必ず請求書のコレと同額になる必要があります。たとえば、1 つの請求書に 2 つの入荷レコードが対応して各入荷レコードが 200.00 の場合、照合する請求書金額は 400.00 になります。

部分オーダーに対する請求書の場合は、照合する入荷レコードの数量または金額を変更できます。入荷レコードの残高は未決済となります。たとえば、数量 100 の入荷レコードに対して請求金額には数量 50 しか反映されていなかった場合、入荷レコードの数量を 50 に変更できます。残りの 50 については後で伝票を作成できます。

入荷レコードを請求書と照合して伝票を作成する場合は、入荷レコードを取り消すことはできません。代わりに、伝票照合プログラム (P0411) で伝票を戻し (逆仕訳)、さらに仕入先別入荷処理中オーダー プログラム (P43214) で伝票の戻し (逆仕訳) を実行します。

入荷レコードを請求書と照合するとき、支払伝票が対話形式で作成されます。

(BRA) In Brazil, you must use a three-way voucher match to create a voucher from a nota fiscal. You must locate the receipt records that correspond to the nota fiscal and match them to the nota fiscal. For example, if a supplier sends a nota fiscal for 100.00, you must locate and match the receipt records for the 100.00 worth of items that correspond to the nota fiscal. You can select multiple receipt records to match on a single voucher.

(BRA) The total amount of the receipt records you match to a nota fiscal must equal the amount on the nota fiscal. For example, if two receipt records correspond to a nota fiscal and each receipt record is for 200.00, the nota fiscal amount must equal 400.00 to perform a match. If a nota fiscal reflects a partial order, you can change the quantity or amount of a receipt record to match the nota fiscal. The system leaves the remaining balance of the receipt record open. For example, if a receipt record reflects 100 items but the nota fiscal amount reflects 50 items, you can change the receipt record quantity to 50. You can create a voucher for the remaining 50 items at a later time.

2 方向伝票照合は、オーダー明細行から支払伝票を作成します。たとえば、契約またはオーダーに対して出来高払いを実行できます。

数量基準オーダーに対して支払を行う場合は、数量に対する伝票を作成できます。数量基準オーダーでは、処理が完了した数量に基づいて支払金額を指定します。支払の対象となる数量、または数量および合計金額の両方を入力します。その後で数量あたりの価格に基づいた合計金額または数量が計算されます。

たとえば、1000 平方フィートの壁に対して 1 平方フィートあたり 0.25 の原価 (入荷原価またはオーダー原価) で伝票を入力すると、合計金額は 250.00 として計算されます。逆に、数量 1000 に対して 250.00 の伝票を入力すると、単価が 0.25 として計算されます。

多通貨機能を有効にしている場合は、選択した通貨に基づいて合計値が計算されます。たとえば、単価あたり 0.25 で数量 1000 に対する伝票を入力すると、指定した通貨で支払合計が計算されます。

キット品の伝票を入力する際は、構成品レベルでのみ伝票情報を入力できます。

支払伝票の戻し（逆仕訳）を行うことがあります。たとえば、支払伝票を作成した品目を返品した場合などです。

品目の価格変更や、旧請求書に誤りが発見された場合に、請求書を調整する場合があります。変更する場合、旧請求書の調整を反映させた支払伝票を新規に作成します。

2 方向伝票照合（非公式の入荷処理）では入荷情報は記録されません。伝票を作成する際にはオーダー明細行を請求書と照合します。たとえば、仕入先から 100.00 の請求書を受け取った場合、それに対応するオーダー明細行を検索して照合します。複数のオーダー明細行を選択して、1 つの支払伝票と照合できます。

伝票照合処理の前に入荷レコードに対して陸揚費用を追加する場合、費用の設定によっては陸揚費用の明細行が別に作成される場合があります。陸揚費用の支払伝票を作成するには、陸揚費用を検索して該当する請求書と照合します。

購買オーダーに 1 度も入力されたことがない商品やサービスに対する請求書を受け取る場合があります。伝票照合プログラム (P4314) の処理オプションを設定して、請求書と照合する新規の購買明細行を入力できます。この処理オプションにより、既存の購買オーダーに新規行を作成するか（オーダー番号、オーダー会社、オーダータイプを指定）、または新規の購買オーダーを作成するかを指示できます。また、新規行の行タイプおよび状況コードも指示できます。

伝票照合処理中に新規の明細行を入力する場合、勘定科目コードを使用して購買オーダーを入力する必要があります。伝票照合処理中に、在庫基準のオーダー明細行を追加することはできません。

入荷照合が必須のオーダー行について伝票を作成しようとすると、エラーが表示されます。

支払保留になっているオーダーに対して伝票を作成するときに、以下のいずれかが発生する場合があります。

- 未処理ログがあるという軽度の警告が表示される。支払は、通常通りに入力および処理できます。
- 新規支払が自動的に H になり、契約保留コードによりオーダーの状況に対する支払が自動的に保留にされる。手作業で各伝票の支払状況を“承認済み”に変更する必要があります。
- 支払伝票の入力ができない。これは仕入先に対する保留コードにより、支払が実行できないように設定されているためです。
- オーダーが保留の場合、保留が解除されるまで伝票支払が入力できない。

また、[伝票突合せ] フォームで、各入荷レコードについて特定の税額を入力できます。税額を入力する場合、税率/税域および税目も入力する必要があります。

為替レートの変動に対応するために、AAI を設定できます。伝票照合処理中に新しい為替レートを入力すると、旧レートと新レート間での費用の差額に対する仕訳が自動的に作成されます。

品目の価格変更や旧請求書の誤りなどから、請求書を調整する場合があります。通常、ガソリンなどの製品やその他の商品について変更を実行します。たとえば、単価 10.00 の品目 100 個分の請求書を受け取り、後で品目原価を 9.00 に調整した別の請求書を受け取る場合があります。この場合、旧請求書に対して調整を反映した支払伝票を作成できます。

複数の勘定配賦を照会して調整できます。複数の勘定配賦機能は、在庫インターフェイスの A または B を使用するトランザクションでのみ使用できます。伝票照合処理中にこの機能を使用するには、事前に購買オーダーに勘定配賦情報を持たせておく必要があります。

2 方向伝票照合処理中に、システムにより F4316 テーブルから勘定配賦情報が読み込まれ、F43126 テーブルにレコードが作成されます。その後、勘定配賦に基づいて F0911 テーブルに金額が更新されます。2 方向伝票照合処理中に、以下のテーブルが複数の勘定配賦による影響を受けます。

- F4311: テーブルのレコードが更新されます。
- F4316: テーブルのレコードが更新されます。
- F43121: テーブルにレコードが書き込まれます。
- F43126: テーブルにレコードが書き込まれます。
- F0911: テーブルにレコードが書き込まれます。
- F0411: F4311 テーブルに基づいて、このテーブルにレコードが書き込まれます。

3 方向伝票照合処理中に、入荷された数量または金額に基づいて伝票が作成され、各テーブルのレコードが作成または更新されます。3 方向伝票照合処理中に、以下のテーブルが複数の勘定配賦による影響を受けます。

- F43121: テーブルにレコードが書き込まれ、更新されます。
- F43126: テーブルにレコードが書き込まれ、更新されます。
- F0911: テーブルにレコードが書き込まれます。
- F0411: F43121 テーブルに基づいて、このテーブルにレコードが書き込まれます。

2 方向または 3 方向のどちらの伝票照合を行った場合も、F4316 レベル または F43126 レベルに基づいて、以下の仕訳が作成されます。

- 支払金額
- 差異金額（陸揚費用を除く）
- COGS 差異金額
- 為替変動
- 未払税
- 還付不可税
- 税額差異

2 方向または 3 方向のどちらの伝票照合を行った場合も、F4311 レベル または F43121 レベルに基づいて、以下の仕訳が作成されます。

- 未払留保金 (AAI PCRETN 使用)
- 繰延未払税 (AAI PCVATP 使用)
- 繰延未収還付税 (AAI PCVATD 使用)
- 陸揚費用 (AAI 4385 使用)

伝票照合を実行するとき、勘定配賦の調整プログラム (P43146) を使用して、勘定配賦情報を変更できます。ただし、配賦方法（パーセント、金額、数量）は変更できません。新しい勘定の配賦情報を入力することにより、当初の勘定の配賦情報を取り消すことができます。新しい配賦勘定のレコードは、F43126 テーブルおよび F4316 テーブルに書き込まれないことに注意してください。

---

**注:** 伝票照合処理中に新しい行を追加する場合は（たとえば、運賃を請求され、その費用を新しい行として追加する場合など）、新しい行に対して複数の勘定配賦機能を使用できません。

---

## 代替通貨で受け取った請求書の管理について

国内通貨または外貨で購買オーダーを入力し、仕入先が代替通貨で請求してきた場合、その購買オーダーを自動的に請求書と照合することはできません。代わりに、代替通貨の請求額を手作業で国内通貨または外貨に換算してから、いずれかの通貨で支払伝票を入力してください。

たとえば、フランスの会社がカナダドル (CAD) でオーダーを入力し、仕入先は日本円 (JPY) で請求書を送ってきた場合、請求金額を手作業で国内通貨 (EUR) または外貨 (CAD) に換算してから伝票を入力することになります。同様に、カナダの会社が日本円 (JPY) でオーダーを入力し、仕入先から米ドルで請求があった場合、請求金額を手作業で日本円 (JPY) またはカナダドル (CAD) に換算してから伝票を入力する必要があります。

先日付のトランザクションについては、仕入先マスター レコードの通貨コードを変更して、その仕入先のオーダーや伝票、支払を代替通貨で処理できるようにします。

## 事前設定

伝票を作成する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 標準伝票入力および伝票照合用の全ての処理オプションを検討し、伝票照合バージョンを設定してください。
- (BRA) Verify that you have selected Brazil (BR) in the user display preferences.
- (BRA) Review the processing options for the Standard Voucher Entry program (P0411). You must set the Match Processing processing option on the Voucher Match tab to 1, and must set the Voucher Match Version processing option on the Voucher Match tab to the version of the Voucher Match program (P4314) that you want to use.
- (BRA) Review the processing options for the Voucher Match program (P4314). You must set the accounts receivable processing option on the Summarization tab to 1 to correctly process Brazilian taxes.

## 伝票の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[仕入先元帳照会]	W0411G	[入荷確認後の突合せ/転記](G43A15)、[伝票突合せ]	伝票と照合するレコードおよびオーダー明細行を選択します。  [伝票突合せ]を使用する場合、処理オプションを設定して伝票照合処理を実行してください。
[伝票突合せ]	W4314A	[仕入先元帳照会]フォームで[追加]ボタンをクリックします。	伝票と照合するレコードおよびオーダー明細行を選択します。
[突合せ入荷の選択]	W4314B	[伝票突合せ]フォームで[フォーム]メニューから[突合せ入荷]を選択します。	伝票と照合するレコードを選択します。
[突合せオーダーの選択]	W4314C	[伝票突合せ]フォームで[フォーム]メニューから[突合せオーダー]を選択します。	伝票と照合するオーダー明細行を選択します。
[運賃監査履歴の処理]	W4981A	[伝票突合せ]フォームで[フォーム]メニューから[突合せ運賃]を選択します。	運賃のオーダー明細行を選択します。
[勘定配賦の調整]	W43146A	[伝票突合せ]フォームで[ロー]メニューから[勘定配賦]を選択します。	勘定配賦を変更します。
[伝票の再計算]	W4314B	[伝票突合せ]フォームで[フォーム]メニューから[伝票の原価再計算]を選択します。	当初伝票と新しい原価の差異を反映させた新しい支払伝票を作成します。

## 買掛金標準伝票入力 (P0411) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### 表示

以下の処理オプションを使用して、仕入先元帳照会データのグループ化と表示の方法を指定します。

#### 1. 定期伝票

デフォルトの伝票タイプとして定期伝票を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：全ての伝票が表示されます（デフォルト条件なし）。

1: 定期伝票のみ表示されます。

「1」を入力すると、[仕入先元帳照会] フォームの [定期伝票] チェック ボックスが自動的にオンになります。

## 2. 集計伝票

伝票の複数の支払項目を集計して 1 つの支払項目として表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：全ての伝票が表示されます（デフォルト条件なし）。

1: 集計伝票のみ表示されます。

「1」を入力すると、[仕入先元帳照会] フォームの [集計] チェック ボックスが自動的にオンになります。

## 3. 国内通貨と外貨フィールドの表示

伝票入力用の [伝票入力 - 支払情報] フォームおよび [複数会社 - 単一仕入先] フォームの詳細グリッドに、国内通貨と外貨両方の金額フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：国内通貨と外貨フィールドが表示されません。

1: 国内通貨と外貨フィールドが表示されます。以下のフィールドが表示されます。

- 総額(国内通貨)
- 割引可能額(国内通貨)
- 課税対象額(国内通貨)
- 税額(国内通貨)
- 非課税対象額(国内通貨)
- 総額(外資)
- 割引可能額(外資)
- 課税対象額(外資)
- 税額(外資)
- 非課税対象額(外資)

## 通貨

以下の処理オプションを使用して、システムに保管されている金額の通貨以外の通貨で金額を表示できます。以下の処理オプションを使用して、一時的に別の通貨で金額を表示できます。標準伝票入力プログラムを終了するとき、この金額は保存されません。

### 1. 仮定通貨

当初入力時の通貨以外の通貨で国内通貨または外貨の金額を表示する場合の通貨を指定します。仮定通貨を表示する場合の通貨コードを指定してください。たとえば、国内通貨または外貨の米ドル建ての金額をユーロで表示するには "EUR" と指定します。

この処理オプションをブランクにすると、フォームの見出しの [仮定通貨コード] フィールドおよび詳細グリッドの [仮定金額] および [仮定未決済額] カラムは表示されません。

仮定通貨建ての金額は一時メモリに保存され、テーブルには書き込まれません。

## 2. 基準日

[仮定通貨] 処理オプションの基準日を指定します。この日付を使用して F0015 テーブルから為替レートが取り込まれます。

[仮定通貨] 処理オプションで通貨コードを指定し、この処理オプションを空白にすると、システム日付が使用されます。

国内通貨/外貨と仮定通貨との有効な為替レート (基準日時点) が F0015 テーブルに保存されている必要があります。

## 手入力支払

以下の処理オプションを使用して、手作業による支払の作成を制御します。

### 1. 支払作成

自動支払処理を行わずに手入力で支払を作成するかどうかを指定します。このオプションは、伝票照合のない手入力支払のみに適用され、複数会社および複数伝票モードでは使用できません。有効値は以下のとおりです。

空白：支払情報が表示されません。

1: 手入力支払 (伝票照合なし) が作成されます。

「1」を入力した場合、[仕入先元帳照会] で [追加] をクリックします。[伝票入力 - 支払情報] フォームに値を入力し、[OK] をクリックします。手入力支払処理の [支払情報] フォームに値を入力します。

### 2. 重複する支払

重複する支払番号を入力または編集しようとした場合に表示されるメッセージのタイプを指定します。[支払作成] で「1」を入力した場合のみ、このオプションを使用します。既に同じ支払番号があることを示すメッセージが表示されます。有効値は以下のとおりです。

空白：エラー

1: 警告

### 3. 支払番号の自動割り当て

銀行勘定の自動採番に基づいて、手入力支払に対して支払番号を自動的に割り当てるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白：支払番号を手入力します (デフォルト値)。

1: 銀行勘定の自動採番に基づいて、支払番号を自動的に割り当てます。

## 購買

以下の処理オプションを使用して、購買オーダー情報を含む伝票の処理方法を定義します。

### 1. 伝票削除

購買オーダー情報を含む伝票を削除しようとした場合に表示されるメッセージのタイプを指定します。たとえば、[仕入先元帳照会] フォームから購買オーダーを含む伝票を削除しようとした場合に、システムがどのように処理するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白：編集を許可しません (デフォルト値)。

1: 警告

2: エラー

この処理オプションと伝票入力 MBF の [伝票メッセージ] 処理オプションの設定が矛盾する場合は、ここで設定した値が有効になります。

## 伝票突合せ

以下の処理オプションを使用して、標準伝票ではなく調達管理システムで照合した伝票を処理できます。

### 1. 照合処理

実行する伝票照合プログラムを指定します。伝票照合プログラムを実行する場合、3 方向伝票照合または 2 方向伝票照合のいずれかを選択できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：標準伝票入力 (P0411) が実行されます。

1: 調達管理システムで伝票照合 (P4314) が実行されます。または、[非在庫購買オーダー処理] メニュー (G43B11) で、以下のいずれかを選択します。

- [入荷確認/伝票突合せ]
- [伝票突合せ]

伝票照合プログラム (P4314) は、MBF の処理オプション (P0400047) にアクセスしません。したがって、伝票照合処理は、MBF の処理オプションの設定には影響されません。

伝票の戻し (逆仕訳) を行うことがあります。たとえば、伝票を作成した品目を返品した場合などです。伝票が転記済みの場合、システムによって対応する仕訳レコードが戻されます。伝票が転記済みでない場合、レコードが削除されます。

調達管理システムで作成した伝票は、買掛管理システムでは削除しないでください。削除する場合は調達管理システムで行ってください。

### 2. 伝票照合バージョン

調達管理システムの伝票照合プログラム (P4314) のデフォルト値を上書きする特定のバージョン番号を入力します。[照合処理] オプションで「1」を入力した場合、この処理オプションを設定する必要があります。

## 複数会社

以下の処理オプションを使用して、標準伝票ではなく複数の会社の伝票を処理できます。

### 1. 複数会社の単一仕入先

複数の関連会社の経費を表す伝票を処理するかどうかを指定します。同じ仕入先に対して複数の会社で発生した経費を、さまざまな元帳クラスや銀行勘定に配賦します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：標準伝票を入力します。

1: “複数会社 - 単一仕入先” 伝票を入力します。

このタイプの伝票処理では手入力による支払処理はできません。

または、[その他の伝票入力方式] メニュー (G04111) の [複数会社の単一仕入先] から、この処理オプションにアクセスします。

## 複数伝票

以下の処理オプションを使用して、標準伝票ではなく複数伝票を入力できます。

### 1. 複数伝票

1 つまたは複数の仕入先に対する複数伝票の入力が可能かどうかを指定します。2 つの処理ステップを必要とする標準伝票入力とは異なり、複数伝票の入力方法を使用した場合、1 つのステップで処理することができます。有効値は以下のとおりです。



ブランク：標準伝票を入力します。

1: 単一仕入先の複数伝票を入力します。

2: 複数仕入先の複数伝票を入力します。

複数伝票入力では、伝票の追加のみを行うことができます。伝票を変更、削除、無効にする場合は、標準伝票入力を使用してください。

また、このタイプの伝票処理では手入力による支払処理はできません。複数伝票入力のその他の制約、追加情報については、マニュアルまたはオンライン ヘルプを参照してください。

また、[その他の伝票入力方式] メニュー (G04111) の [複数伝票 - 単一仕入先] または [複数伝票 - 複数仕入先] から、この処理オプションにアクセスすることもできます。

## ログ

以下の処理オプションを使用して、標準伝票ではなく仮伝票を入力できます。

### 1. 仮伝票入力

勘定科目に割り当てる前に仮伝票を入力できるようにするかどうかを指定します。後から適切な勘定科目に仮勘定を振り替えることができます。

仮伝票の費用仮勘定、買掛金仮勘定に対してデフォルトの勘定科目を指定できます。そのためには、AAI 項目 PP (仮伝票の費用仮勘定) と PQ (仮伝票の買掛金仮勘定) を設定してください。PQ を設定するには、会社名および番号プログラム (P0010) で [仮勘定の使用] チェック ボックスをオンにします。[組織と勘定科目の設定] メニュー (G09411) の [会社名および番号] をクリックします。有効値は以下のとおりです。

ブランク：標準伝票を入力します (デフォルト)。

1: 仮伝票を入力します。

この処理オプションで「1」を入力すると、オンの状態の [仮伝票] チェック ボックスが [仕入先元帳照会] フォームに表示され、前払の設定が無視されます。

または、[その他の伝票入力方式] メニュー (G04111) の [仮伝票入力] をクリックしてください。

この処理オプションは、伝票入力 MBF (P0400047) の [仮伝票] タブの [仮伝票] 処理オプションと連動して機能します。仮伝票を処理するには、これら両方の処理オプションに「1」を入力する必要があります。標準伝票入力と伝票入力 MBF の両方の処理オプションで仮伝票が設定されている場合、買掛金標準伝票入力 (P0411) の [前払] タブの処理オプションは無視されます。

### 2. 元帳日付

仮伝票のデフォルトの元帳日付にシステム日付を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：データ入力時に日付を手作業で入力します。

1: デフォルトの元帳日付にシステム日付を使用します。

この処理オプションに「1」を入力すると、システム日付が使用されるため、この日付を上書きすることはできなくなります。

## 前払

以下の処理オプションを使用して、前払の処理方法を指定します。前払処理を使用すると、請求書を受け取る前に、商品やサービスに対する支払を実行できます。

### 1. 元帳クラス

前払支払項目の作成時に使用する元帳クラスコードを入力します。前払支払項目の自動作成が可能な値を入力する必要があります。ブランク（デフォルト）にすると、標準伝票入力プログラムが使用されます。

この処理オプションを使用して AAI (AAI 項目 PCxxxx) を設定することにより、勘定科目に対して自動仕訳のクラスを事前設定できます。

たとえば、以下のように元帳クラスを割り当てることができます。

- ブランクまたは 4110 - 買掛金
- RETN または 4120 - 未払留保金
- OTHR または 4230 - その他の買掛金（買掛金クラスコード - APC を参照）
- PREP または 4111 - 前払買掛金勘定

### 2. 勘定科目

前払支払項目の作成に使用される勘定科目を指定します。

勘定科目コードには次のいずれかの形式を使用できます。

- 構造化勘定科目（ビジネスユニット.主科目.補助科目）
- 25 桁の構造化勘定科目以外の番号
- 8 桁の略式 ID 番号
- スピードコード。勘定科目の最初の文字は、勘定科目コードの形式を示しています。

勘定科目の形式は一般会計固定情報プログラム (P000909) で定義します。

この処理オプションは、[元帳クラス] 処理オプションに値を入力した場合のみ使用します。

### 3. 支払状況コード

前払のデフォルト支払状況コードを入力します。支払状況コードは、伝票の現在の支払状況を示すユーザー定義コード (00/PS) です。有効値は以下のとおりです。

P: 伝票は全額支払済みです。

A: 伝票は支払承認済みで未払いの状態です。伝票と自動入金消込プログラムで使用できます。

H: 伝票は承認待ちで保留の状態です。

R: 留保。

%: 伝票が源泉徴収の対象です。

?: その他のコード。その他の全てのコードは支払が源泉徴収される理由を示します。

買掛管理システムでは、この有効なコードリストに示されているコード以外のコードの支払は印刷されません。

この処理オプションは、[元帳クラス] 処理オプションに値を入力した場合のみ使用します。

**4. 日数**

マイナスの前払支払項目の期日に追加する日数を入力します。

**5. 税域フィールド**

前払用の [前払税] フォームを表示するかどうかを指定します。[前払税] フォームを使用して、対応するプラスの支払項目とは異なる税コードを、マイナスの支払項目に割り当てます。たとえば、税法上、プラスとマイナスの支払項目の処理が異なる場合、この設定を行う必要があります。ここで設定しなければ、マイナスの支払項目には対応するプラスの支払項目と同じ税域コードと税目コードが割り当てられます。

[前払税] フォームの税域コードと税目コードを指定すると、プラスの支払項目の税域コードと税目コードが上書きされて、全てのマイナスの支払項目に新しいコードが表示されます。たとえば、いくつかのプラスの支払項目がありそれぞれに異なる税域コードと税目コードが指定されている場合でも、[前払税] フォームで指定した特定の税域コードと税目コードが全てのマイナスの支払項目に割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：[前払税] フォームを表示しません。

1: [前払税] フォームを表示します。

この処理オプションは、[元帳クラス] 処理オプションに値を入力した場合のみ使用します。

**6. 前払税域コード**

共通の税率と税勘定の税域または地域を示すデフォルトのコードを入力します。このコードにより自動的に正しい税額が計算されます。税率/税域は納税先（たとえば、都道府県や市町村）とその税率を含むように設定してください。F4008 テーブルで設定されているコードが有効なコードです。

通常、米国の売上税と使用税には税率/税域ごとに複数の納税先が必要ですが、付加価値税の場合、必要な納税先は 1 つだけです。

[税域フィールド] 処理オプションに「1」を入力した場合のみ、この処理オプションを使用します。

**7. 前払税目コード**

特定の仕入先との取引に使用するデフォルトの税目コードを指定します。この税目コードは、課税方法および収益勘定、費用勘定への計上方法を指定するユーザー定義コード (00/EX) です。

[税域フィールド] 処理オプションに「1」を入力した場合のみ、この処理オプションを使用します。

**バージョン**

以下の処理オプションを使用して、マスター ビジネス関数および仕訳入力 MBF バージョンのデフォルトのバージョンを変更できます。

**1. 伝票 MBF バージョン**

標準伝票入力処理 (アプリケーション P0400047 のバージョン ZJDE0001) を変更する場合のバージョン番号を指定します。

**2. 仕訳入力MBFバージョン**

仕訳入力処理 (アプリケーション P0900049 のバージョン ZJDE0001) を変更する場合のバージョン番号を指定します。

**3. 支払受領後支払マニュアル リンク バージョン**

支払受領後支払マニュアル リンク アプリケーション (アプリケーション P03B470 のバージョン ZJDE0001) のバージョン番号を指定します。

ブランク：バージョン番号 ZJDE0001 が使用されます (デフォルト)。

または、特定のバージョン番号を入力します。

---

**注:** このバージョン番号の変更は、システム全体のセットアップ担当者だけが行えるようにします。

---

#### 4. 相殺(P03B455)バージョン

使用する相殺 (P03B455) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0002 が使用されます。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、仕入先元帳照会を使用するときに伝票を変更できるようにするかどうか、および仕入先が伝票と支払を確認できるようにするかどうかを指定します。

#### 1. 伝票入力モード

[仕入先元帳照会] フォームで選択した伝票を変更できるようにするかどうかを指定します。このフィールドをブランクにすると、[仕入先元帳照会] フォームで選択した既存の伝票を変更できます。このフィールドに「1」を入力すると、[仕入先元帳照会] フォームで選択した既存の伝票は照会しかできません。有効値は以下のとおりです。

ブランク：選択した伝票を変更できます。

1: 選択した伝票を変更できません。

#### 2. 仕入先セルフサービスモード

Java/HTML 環境で使用するサプライヤ セルフサービス機能を有効にするかどうかを指定します。セルフサービス機能を使用すると、仕入先が伝票と支払の照会を行うことができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：サプライヤ セルフサービス機能が有効になりません。

1: サプライヤ セルフサービス機能が有効になります。

### 編集

以下の処理オプションを使用して、伝票入力時に固定資産 ID を必須にするかどうかを指定します。

#### 1. 固定資産 ID

勘定科目が AAI 資産勘定科目範囲内にある場合、資産 ID を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：仕訳入力で、資産 ID を必須にしません。

1: 仕訳入力で、資産 ID を必須にします。

### 支払受領後支払

#### 1. 支払受領後支払伝票

支払受領後支払伝票を入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：標準伝票を入力します (デフォルト)。

1: 支払受領後支払伝票を入力します。

この処理オプションで「1」を入力すると、支払受領後支払伝票を示すフラグがオンになります。

---

**注:** この処理オプションは、伝票入力 MBF (P0400047) の [デフォルト] タブの [支払状況コード] 処理オプションと連動して機能します。支払受領後支払伝票と関連付ける支払状況を入力してください。

---

## 伝票照合 (P4314) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、伝票照合プログラム (P4314) で使用するデフォルト情報を定義します。

- 1. 照会用オーダー タイプ** 伝票タイプを入力します。このユーザー定義コード (00/DT) は、トランザクションの発生元も指定します。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。ユーザー定義コード (00/DT) に設定されている値を入力してください。各伝票タイプに対して、以下のプレフィックスが事前定義されています。これらのプレフィックスは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票  
R: 売掛金伝票  
T: 給与計算伝票  
I: 在庫伝票  
O: 購買オーダー伝票  
J: 一般会計/共有利息請求伝票  
S: 受注オーダー処理伝票

- 2. 買掛伝票タイプ** 伝票タイプを入力します。このユーザー定義コード (00/DT) は、トランザクションの発生元も指定します。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。ユーザー定義コード テーブル (00/DT) に設定されている値を入力してください。

各伝票タイプに対して、以下のプレフィックスが事前定義されています。これらのプレフィックスは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票  
R: 売掛金伝票  
T: 給与計算伝票  
I: 在庫伝票  
O: 購買オーダー伝票  
J: 一般会計/共有利息請求伝票  
S: 受注オーダー処理伝票

### 表示

以下の処理オプションを使用して、承認者番号やレポート コードなど、特定のタイプの伝票照合情報を表示するかどうかを制御します。

- 1. 承認者番号** 承認者番号を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 承認者番号が表示されません。

- 1: 承認者番号が表示されます。
2. レポートコード
- レポートコード 007 のカラムを伝票照合の詳細グリッドに表示するかどうかを指定します。
- ブランク: レポートコード 007 のカラムが表示されません。
- 1: レポートコード 007 のカラムが表示されます。
3. 勘定科目コード
- 勘定科目コードの表示方法を指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 勘定科目コードが 1 つのフィールドで表示されます。
- 1: 勘定科目コードは、3 つのフィールド (ビジネスユニット、主科目、および補助科目) で表示されます。
4. ビジネスユニット
- ビジネスユニット フィールドの内容を表すテキストを指定します (エイリアス MCU)。この処理オプションは、伝票照合の見出し領域のみに影響します。詳細グリッドには影響しません。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: [事業所] フィールドとして表示されます。
- 1: [作業] フィールドとして表示されます。
- 2: [プロジェクト] フィールドとして表示されます。
- 3: [ビジネスユニット] フィールドとして表示されます。

## 処理

以下の処理オプションを使用して、情報および処理に使用される値を制御します。

1. 開始状況コード
- “次の状況” コードの範囲の開始状況コード (40/AT) を指定します。照合するオーダーの選択時に、この範囲が使用されます。
- 照合する入荷の選択時には、この処理オプションは適用されません。
2. 終了状況コード
- “次の状況” コードの範囲の終了状況コード (40/AT) を指定します。照合するオーダーの選択時に、この範囲が使用されます。
- 照合する入荷の選択時には、この処理オプションは適用されません。
3. 出荷「次の状況」コード
- 部分入荷後にオーダーが移行する“次の状況”を表すコードを指定します。
- 部分入荷が存在する場合、テーブルの状況がこの処理オプションで入力された状況と一致するように、2 方向伝票照合用の F4311 テーブルと 3 方向伝票照合用の F43121 テーブルの状況が更新されます。
4. 取消後の状況コード
- 伝票が取り消された後に、オーダーが移行する“次の状況”を指定します。
- 伝票が取り消されると、テーブルの状況がこの処理オプションで入力された状況と一致するように、2 方向伝票照合用の購買明細テーブルと 3 方向伝票照合用の F43121 テーブルの状況が更新されます。
5. 数量/金額
- 数量情報を手作業で入力するか、またはシステムによって自動的に入力するかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 数量/金額が自動的にロードされます。
- 1: 伝票に数量/金額を手作業で入力します。

## 6. 許容度

明細行の数量および金額が許容率を超過しているかどうかを判断するために、数量および金額を確認するかどうかを指定します。許容率を確認するには、購買許容規則プログラム (P4322) にアクセスします。有効な支払状況または以下の値を入力できます。

blank: 許容率を超過しているかどうかを判断するために、数量および金額が確認されません。

- 1: 明細行が許容率を超過すると、警告が表示されます。
- 2: 明細行が許容率を超過すると、エラー メッセージが表示されます。

## 7. 仕入先分析

仕入先分析情報を取り込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 仕入先分析情報を取り込みません。

1: 各購買オーダーの品目番号、日付、および数量などの情報が F43090 テーブルに記録されます。最も効率的に仕入先情報を記録するには、この処理オプションで「1」を入力し、購買オーダー プログラム (P4310) および入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションで、これと同じ情報を取り込むよう設定してください。

## 8. 伝票ごとのオーダー数

1 つの伝票に対する複数のオーダーを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 1 つの伝票に対する複数のオーダーを許可します。

- 1: 1 つの伝票に対しては、オーダーを 1 つしか許可しません。

## 9. 事業所の読み込み

銀行勘定科目および買掛金勘定の生成に使用されるビジネスユニットまたはプロジェクト番号を指定します。

指定したビジネスユニットが伝票に使用されます。

有効値は以下のとおりです。

blank: 各購買オーダー明細行のビジネスユニットが読み込まれます。

- 1: 購買オーダー見出しレコードのビジネスユニットが読み込まれます。
- 2: 住所録からビジネスユニットが読み込まれます。
- 3: 伝票照合プログラム (P4314) の見出し情報からビジネスユニットが読み込まれます。
- 4: 各購買オーダー明細行のビジネスユニットからプロジェクト番号が読み込まれます。
- 5: 購買オーダー見出しレコードのビジネスユニットからプロジェクト番号が読み込まれます。
- 6: 住所録のビジネスユニットからプロジェクト番号が読み込まれます。
- 7: 伝票照合プログラム (P4314) に含まれている見出し情報のビジネスユニットからプロジェクト番号が読み込まれます。

## 10. 直送整合性原価の更新

オーダーが直送オーダーの場合に、受注オーダーに対する原価の更新を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 原価を更新しません。

- 1: 原価を更新します。

## 11. ロット原価の更新

オーダーの差異照合時に、品目のロット原価（方法 06）を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白：ロット原価を更新しません。

1: ロット原価を更新します。

## 12. しきい値警告

外注業者/仕入先に対して設定されているしきい値を超えた伝票総額に対して、警告を表示するかどうかを指定します。しきい値は、F4355 テーブルに保存されます。有効値は以下のとおりです。

空白： 警告を表示しません。

1: 警告が表示されます。

### 13. しきい値支払状況コード

総額がしきい値を超えている伝票の行に割り当てる支払状況コード (00/PS) を指定します。外注業者または仕入先のしきい値は、外注業者しきい値プログラム (P4355) で定義します。

## 集計

以下の処理オプションを使用して、買掛勘定および総勘定元帳情報を集計するかどうかを制御します。

## 1. 買掛金

買掛金入力を集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

Blank: 買掛金入力を集計しません。

1: 買掛金入力を集計します。

## 2. 総勘定元帳

総勘定元帳レコードを集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白：総勘定元帳レコードを集計しません。

1: 総勘定元帳レコードを集計します。

## 新しいオーダー行

以下の処理オプションを使用して、伝票作成時の購買オーダーに対する新規明細行の追加方法を制御します。

## 1. オーダー行の入力

伝票に追加する行の購買明細行を自動的に作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白：伝票に行を追加できません。

1: 伝票に新しい行を追加するときに、対応する購買明細行を作成しません。

2: 伝票に新しい行を追加するときに、対応する購買明細行を作成します。

## 2. 行タイプ

取引での行の処理方法を指定します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。行タイプは、レポートおよび計算に行を含める場合の条件も指定します。たとえば、以下のような値が、[行タイプ固定情報の改訂] フォーム (P40205) で定義されています。

J: 作業原価、外注、または一般会計への購買

B: 総勘定元帳勘定および品目番号



N: 非在庫品目

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

[新しいオーダー行] タブの [オーダー行入力] 処理オプションで「2」を入力した場合のみ、この処理オプションが適用されます。

勘定科目コードを検証する在庫インターフェイス A の行タイプのみ使用できます。

### 3. 「前の状況」コード

オーダー処理の最初のステップである開始状況を指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を使用します。

### 4. 「次の状況」コード

オーダー処理の次のステップを指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を使用します。

この一時変更用状況は、この処理で実行できるもう 1 つのステップになります。

## 留保金

以下の処理オプションを使用して、伝票照合プログラム (P4314) で留保パーセントまたは留保金をデフォルト値として使用するかどうか、また留保額あるいは伝票金額に税を適用するかどうかを指定します。

### 1. デフォルト

オーダー見出しから留保パーセントまたは留保金を自動的にロードするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：オーダー見出しから留保パーセントまたは留保金をロードしません。

1: オーダー見出しから留保パーセントまたは留保金を自動的にロードします。

### 2. 税タイプ C または V の留保金への適用

留保額または伝票金額に税を適用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：留保額または伝票金額に税を適用しません。

1: 留保額または伝票金額に税を適用します。

## ログ

以下の処理オプションを使用して、未処理ログが存在する際に警告メッセージを表示するかどうかを制御します。また、未処理ログが存在した場合に支払伝票に使用する支払状況コードを指定します。

### 1. 警告メッセージを出す検証項目

未処理ログの詳細な警告メッセージを表示するかどうかと、その表示タイミングを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：未処理ログの詳細な警告メッセージを表示しません。

1: システムが状況、支払有効開始日付、および支払有効終了日付を確認したときに、未処理ログの詳細な警告メッセージを表示します。

2: システムが状況、支払有効開始日付、要求日付、および支払有効終了日付を確認したときに、未処理ログの詳細な警告メッセージを表示します。

- 2. 支払状況コード** 未処理ログが存在する場合に、伝票のデフォルト値として使用される支払状況コードを指定します。
- 通常、支払項目が保留であることを示す支払状況コードを使用します。

## 通貨

以下の処理オプションを使用して、有効日付として使用する日付と、為替レートを変更可能にするかどうかを制御します。

- 1. 有効日付** 有効日付として使用する日付を指定します。有効値は以下のとおりです。
- 空白：本日の日付を有効日付として使用します。
- 1: 元帳日付を有効日付として使用します。
- 2: 請求書日付を有効日付として使用します。
- 2. 保護規則** 為替レートを変更できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- 空白：為替レートを変更できます。
- 1: 為替レートを変更できません。

## 任意勘定科目

以下の処理オプションを使用して、任意勘定科目設定を使用するかどうかを制御します。

- 1. 任意勘定科目** 任意勘定科目を有効にするかどうかを指定します。原価管理システムを使用するか、または任意売上勘定科目の処理を行う場合は、任意勘定科目を有効にします。有効値は以下のとおりです。
- 空白：任意勘定科目が有効になりません。
- 1: 任意勘定科目が有効になります。

## バージョン

この処理オプションを使用して、各アプリケーションのバージョンを入力します。空白にした場合、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

- 1. 購買オーダー (P4310)** 購買オーダー プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。
- 2. 伝票入力 MBF 処理オプション (P0400047)** 買掛管理プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。このプログラムのバージョンは、対話型バージョン リストでのみ確認できます。
- 3. 仕訳入力 MBF 処理オプション (P0900049)** 総勘定元帳プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。このプログラムのバージョンは、対話型バージョン リストでのみ確認できます。
- 4. 入荷処理中オーダー照会 (P43214)** 入荷処理中オーダー照会プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。
- 5. 独立型陸揚費用 (P43214)** 独立型陸揚費用プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| <b>6. 運賃変更履歴(P4981)</b>          | 運賃の照合に使用される運賃変更履歴プログラムのバージョンを指定します。                  |
| <b>7. 仕入先元帳照会 (P0411) のバージョン</b> | 仕入先元帳照会プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。       |
| <b>8. 購買オーダーログ (P4305)</b>       | ログ入力プログラム (P4305) を使用するときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。 |

## ワークフロー

以下の処理オプションを使用して、ワークフロー オプションを指定します。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| <b>1. 金額変更の通知</b> | <p>金額変更の通知先を指定します。有効値は以下のとおりです。<br/>         ブランク：通知の電子メールが送信されません。</p> <p>1: 購買オーダー入力者<br/>         2: プロジェクト管理者<br/>         3: 購買担当者<br/>         4: 購買オーダー入力者、購買担当者、およびプロジェクト管理者</p> |
| <b>2. 数量の変更通知</b> | <p>数量変更の通知先を指定します。有効値は以下のとおりです。<br/>         ブランク：通知の電子メールが送信されません。</p> <p>1: 購買オーダー入力者<br/>         2: プロジェクト管理者<br/>         3: 購買担当者<br/>         4: 購買オーダー入力者、購買担当者、およびプロジェクト管理者</p> |

## 出来高払い

以下の処理オプションを使用して、外注管理システムでの出来高払いの処理方法を指定します。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>1. インターフェイス</b>    | <p>出来高払いインターフェイスを有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br/>         ブランク：仕入先/外注業者元帳照会</p> <p>1: 出来高払い</p> <p>標準的な伝票照合を使用する場合、この処理オプションを設定しないでください。</p>                  |
| <b>2. 照合タイプ デフォルト</b> | <p>照合タイプのデフォルトを指定します。ユーザー定義コード テーブル (43B/VW) に設定されている値を入力してください。</p>  |
| <b>3. オプション モード</b>   | <p>[契約の処理] フォームから支払行を選択したときに、[出来高払い] の [伝票突合せ] フォームの詳細グリッドに表示されるデフォルトの出来高払いオプションを指定します。有効値は以下のとおりです。<br/>         ブランク：行の支払を省略します。</p> <p>1: 数量および金額を伝票します。</p> |

- 4. 拡張金額の計算** 数量が変更された場合に、拡張金額を計算するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 拡張金額が計算されません。  
1: 拡張金額が計算されます。
- 5. 同じバッチ番号の使用** 同じバッチ番号を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 同じバッチ番号を使用しません。  
1: 同じバッチ番号を使用します。
- 6. 支払タイプと通貨支払フィールドの表示** サプライヤ セルフサービス アプリケーションで、支払機能タイプを有効にするかどうかと、支払タイプのフィールド（[支払タイプ] および [現行支払]（国内または外貨））を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 支払機能タイプを有効にしません。また、[支払タイプ] および [現行支払] フィールドを表示しません。  
1: 支払機能タイプを有効にします。また、[支払タイプ] および [現行支払] フィールドを表示します。
- 7. 支払タイプ** 支払タイプ オプションを指定します。[支払タイプと通貨支払フィールドの表示] 処理オプションが有効な場合のみ、この処理オプションが使用されます。有効値は以下のとおりです。  
blank: 実績金額  
1: 累計パーセント  
2: 累計金額
- 8. 支払済み行の支払許可** 支払済み行について、100 パーセントを超える支払を許可するかどうかを指定します。非在庫行にのみ適用されます。有効値は以下のとおりです。  
blank: 以前に支払が完全に済んでいる行についての支払を許可しません。  
1: 以前に支払が完全に済んでいる行についての支払を許可します。

## 再配賦

以下の処理オプションを使用して、再配賦後の仮定期伝票の処理方法を指定します。

- 1. 再配賦後に伝票の最終差額を計算する** 総勘定元帳に差異金額を記録するかどうかを指定します。DMAAI 4330 でこれらの差異が記録されます。有効値は以下のとおりです。  
blank: 差異金額が記録されません。  
1: 差異金額が記録されます。

## 伝票と照合する入荷レコードの選択

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

- [留保金額]** 契約金額に対して留保（支払保留）されている総額を入力します。保留金額は、ゼロ以上、伝票金額以下でなければなりません。

- [留保率]** 契約に適用される留保率（支払保留率）を入力します。この留保率は、支払ごとのパーセントです。これは、小数として表されます。たとえば、留保率が 10 パーセントの場合は、10 と表されます。留保率は、99.9 パーセント（.999）を超えたり、ゼロを下回ることはできません。
- [税]** 未払税を入力します。当該伝票（請求書、伝票など）に対して算出された総税額のうち、税域を構成する 5 つの税務当局のうちの 1 つめの税務当局に起因する未払税金額を入力します。

## 伝票と照合するオーダー明細行の選択

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

- [留保率]** 契約に適用される留保率（支払保留率）を入力します。この留保率は、支払ごとのパーセントです。これは、小数として表されます。たとえば、留保率が 10 パーセントの場合は、10 と表されます。留保率は、99.9 パーセント（.999）を超えたり、ゼロを下回ることはできません。
- [税]** 未払税を入力します。当該伝票（請求書、伝票など）に対して算出された総税額のうち、税域を構成する 5 つの税務当局のうちの 1 つめの税務当局に起因する未払税金額を入力します。

## 運賃のオーダー明細行の選択

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

運賃を手作業で伝票と照合する必要がある場合があります。運賃は輸送管理システムで計算されます。

## 請求書の原価変更の記録

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

---

## 留保金の処理

このセクションでは、留保金の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 留保金のある伝票の入力
- 留保金をリリースする伝票の入力

### 留保金について

支払総額の一部を留保金として保留にした伝票を作成できます。留保は支払保留ともいいます。留保金とは指定された日付まで保留されるコミット済み金額のパーセントです。たとえば、留保金は契約、サービスあるいはオーダーにある全ての品目の入荷が完了した後で支払います。留保金が 10 パーセントで額面 100 の伝票を作成すると、10 を留保金として残すため、実際の支払は 90 になります。留保金分は、リリース金額分の支払伝票を入力することによりリリースします。留保金のリリースと伝票の作成を同時に実行することができます。

伝票全体に適用される留保金がある伝票を作成するか、または伝票の行品目ごとに留保金を適用できます。

留保金の税を繰り延べるには、留保金のある税の処理オプションを使用してください。留保金のある税の処理オプションを有効にして、税タイプ C または V を使用すると、金額は異なる方法で計算されます。当初の課税対象額から留保金が減算され、新しい金額が再計算されます。

留保金の部分的なリリースは、留保金にまだ未払金額があることを示します。留保金の最終的なリリースは、支払う必要のある留保金が残っていないことを示します。伝票または伝票のグループに対して個別に留保金をリリースできます。入荷または購買オーダーと照合する留保金がある伝票の作成と、留保金のリリースを同時に行うことができます。

## 事前設定

留保金に税が適用できるように処理オプションを設定してください。

## 留保金の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[仕入先元帳照会]	W0411G	[入荷確認後の突合せ/転記](G43A15)の[伝票突合せ]	留保金のある伝票の入力と、留保金をリリースする伝票の入力を行います。  [伝票突合せ]を使用する場合、伝票照合処理を実行するよう処理オプションを設定する必要があります。
[伝票突合せ]	W4314A	[仕入先元帳照会]フォームで[追加]ボタンをクリックします。	留保金のある伝票の入力と、留保金をリリースする伝票の入力を行います。
[突合せオーダーの選択]	W4314C	[伝票突合せ]フォームで[フォーム]メニューから[突合せオーダー]を選択します。	留保金のある伝票の入力、留保金をリリースする伝票の入力、留保金のある伝票の入力と留保金のリリースの同時実行を行います。

## 留保金のある伝票の入力

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

**留保金額**                      留保金額を入力します。

## 留保金をリリースする伝票の入力

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

**[留保率]**                      留保金額をパーセントで入力します。入荷レコードを処理している場合、請求書に合わせて入荷数量を増加させることはできません。まず、入荷確認プログラム (P4312) を使用して、追加の数量を入荷する必要があります。入荷レコードの金額を増加させると、その増加分の仕訳が自動的に作成されます。

## 入荷レコードからの複数伝票作成

このセクションでは、入荷レコードからの複数伝票作成の概要と以下の方法について説明します。

- 入荷レコードからの複数伝票作成
- 伝票の仕訳の検討と転記
- 伝票金額貸借一致の検証
- 購買仕訳 (R04305) の処理オプションの設定

### 入荷レコードからの複数伝票作成について

入荷レコードを基に支払伝票を作成してもよいという合意が仕入先との間でできていることがあります。そのような合意がある場合には、仕入先は請求書を送付する必要がなく、ユーザー側でも手作業で入荷レコードと請求書を照合して支払伝票を作成する手間を省くことができます。

評価済み入荷決済プログラム (R43800) を実行して、支払伝票を作成する入荷レコードを検討できます。エラーがある入荷レコードを識別し、修正することも可能です。エラーを修正した後は、最終モードでプログラムを実行して伝票を作成できます。次のような処理を実行する入荷を指示してください。

- エラーの編集
- 税および値引の計算
- 伝票の作成
- 仕訳の生成

入荷工程処理では、入荷品目が手持状況となるまで伝票が作成されません。入荷品目が入荷工程処理に入ると、F43121 テーブルの入荷レコードには、評価済み入荷値として R (入荷工程処理中) が割り当てられます。品目が手持状況になると値は Y (はい) になり、伝票が作成できるようになります。

次のような場合、陸揚費用に対して支払伝票が作成されます。

- 陸揚費用を入力している入荷レコードが、評価済み入荷決済プログラムで使える (F43121 テーブルの評価済み入荷フィールドに Yes (はい) が設定されている)。
- 評価済み入荷決済プログラムで、陸揚費用を請求する仕入先に対して伝票を作成できる (購買指示 (P40205) の評価済み入荷フィールドに Yes (はい) が設定されている)。

支払伝票を作成した後は、標準の伝票と同じように処理できます。

**重要:** バッチ モードで仕入先への伝票を作成するには、購買オーダーを作成する前に、購買指示の評価済み入荷フィールドに Y を設定する必要があります。これは、仕入先用に入力する購買オーダーのデフォルト値です。それぞれの明細行用にこのデフォルトを一時変更できます。購買指示の評価済み入荷フィールドに N を設定した場合、購買オーダーの値は一時変更できません。

入荷情報が F43121 テーブルから取り込まれ、バッチ モードで伝票が作成されます。バッチ モードで伝票を作成するには、公式の入荷処理を使用する必要があります。

評価済み入荷決済を実行すると、2 つのレポートが作成されます。テスト モードでプログラムを実行した場合、最初のレポートには伝票が作成される全ての入荷が表示されます。最終モードで実行した場合、入荷レコードごとに伝票番号、金額などが表示されます。

2 番目のレポートには、エラーが原因で伝票が作成されなかった入荷が全て表示されます。

## 伝票トランザクションに対する仕訳

伝票作成時には、購買費用および債務が総勘定元帳に正しく反映されるように仕訳が生成されます。仕訳の生成後は、内容を検討して総勘定元帳に転記できます。

データの統合性を確保するために、買掛金元帳と総勘定元帳の間で、伝票金額が一致しているかどうかを確認します。

公式の処理で入荷した品目に対して伝票を作成すると、入荷請求仮勘定に借方記入する仕訳が自動的に作成されます。非公式の処理で入荷した品目に対して伝票を作成すると、(借) 費用科目に仕訳が自動的に作成されます。

伝票仕訳を総勘定元帳に転記すると、(貸) 買掛金科目の仕訳が作成されます。

購買オーダーまたは入荷レコードの商品/サービスの原価と伝票の原価に差異がある場合、その差異に対して仕訳が作成されます。差異勘定科目は AAI で指定する必要があります。

購買を総勘定元帳の勘定科目コード (費用科目) に対して請求する場合、明細行に割り当てる行タイプにより差異を費用科目に請求するか、差異勘定科目に請求するかが決まります。

伝票仕訳の検討プログラム (P0011) を使用して、伝票仕訳を検討できます。仕訳の金額と勘定科目を検討します。

## 差異勘定科目

以下の表には、差異勘定科目についての重要な情報が示されています。

PH	PH
加重平均原価に対する差異勘定科目	<p>在庫用に品目を仕入れる際、伝票を作成する前に品目の一部を販売する場合があります。品目の加重平均在庫原価を管理する場合、AAI(自動仕訳)で、販売した品目用と在庫に残った品目用の2つの差異勘定科目を設定する必要があります。</p> <p>たとえば、以下のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 10.00 の品目を 10 個仕入れ、合計は 100.00 になる場合</li> <li>• そのうち 2 個を販売する</li> <li>• 90.00 分の伝票を作成する (仕入先からは 1 個につき 9.00 請求)</li> </ul> <p>この場合の差異は 10.00 です。差異勘定科目を 2 つ設定しない場合、在庫に残っている 8 品目に対して全体的な差異である 10.00 が適用されます。このため、品目の加重平均原価は正確性を失ってしまいます。</p> <p>差異勘定科目を 2 つ設定すると、在庫に残っている品目に対しては 8.00、販売した品目に対しては 2.00 の差異が適用されます。これにより、在庫に残っている品目に対する加重平均原価が正確に計算されます。</p> <p>既に在庫にない品目に対して個別の差異勘定科目を作成するには、AAI テーブル 4332 を設定してください。</p>



## 入荷レコードからの複数伝票作成

[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15) の [評価済み入荷決済] を選択します。

## 伝票トランザクションに対する仕訳の検討と転記

[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15) の [伝票仕訳の検討] または [伝票の転記] を選択します。

## 伝票金額貸借一致の検証

[入荷確認後の突合せ/転記] (G43A15) の [伝票仕訳の印刷] を選択します。

購買仕訳 (R04305) を印刷することにより、伝票仕訳を検討し、総勘定元帳と買掛金元帳の金額が一致しているかどうかを検証できます。

印刷される各伝票トランザクションについて、F0411 テーブルの総額と、それに対応する F0911 テーブルの総勘定元帳仕訳を比較できます。総勘定元帳の比較合計には、外貨元帳タイプ (CA) を持ったレコードは含まれません。

## 購買仕訳 (R04305) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 印刷オプション

以下の処理オプションを使用して、レポートに印刷する勘定科目番号を選択します。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <b>1. 勘定科目コードのフォーマット</b> | 勘定科目コードを印刷するのに使用する形式を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: “ビジネスユニット.主科目.補助科目” の形式で勘定科目番号を印刷します。<br>2: 略式 ID 番号を印刷します。<br>3: 第 3 (自由形式) 勘定科目コードを印刷します。 |
| <b>2. 仮払税額</b>           | 仮払税額の印刷に使用するファイルを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: F0411 テーブルの税額のみ印刷されます。<br>1: F0411 および F0018 テーブルの税額が印刷されます。                                 |

---

## 商品入荷前の仮請求書作成

このセクションでは、仮請求書の概要と以下の方法について説明します。

- 予備伝票を作成するための仮請求書の作成
- 予備伝票からの正式な伝票の作成
- 仮請求書情報の印刷

## 仮請求書について

請求書の商品やサービスを入荷する前に、仮の請求書情報を作成することにより、未払金額を総勘定元帳に反映させることができます。仮請求書情報を記録すると、予備伝票が作成され、実際に商品やサービスを入荷時にはそれを基に正式な伝票を作成します。

予備伝票を作成すると、伝票金額を総勘定元帳の仮勘定に仕訳が作成されます。正式な伝票を作成すると、伝票金額を総勘定元帳の実際の勘定科目に振り替える仕訳が作成されます。

請求書の商品やサービスの入荷前に、請求書情報を記録しておく場合があります。予備伝票を作成して仮請求書情報を記録でき、請求額分の勘定科目に仕訳が自動作成されます。

請求書情報を入力したら、伝票金額の仕訳を作成する借方の仮勘定を指定する必要があります。

請求書の商品やサービスの入荷後に、予備伝票から正式な伝票を作成します。予備伝票には既に必要な情報のほとんどが入力されているので、正式な伝票作成といっても単純な処理で済みます。

正式な伝票を作成するには、予備伝票を検索して請求書と照合する入荷レコードを選択します。これにより正式な伝票が自動作成されます。

## 商品入荷前の仮請求書作成に使用されるフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[仕入先元帳照会]	W0411G	[その他の伝票入力方式] (G04111) の [仮伝票入力]	予備伝票を作成するための仮請求書を作成します。
[伝票入力 - 支払情報]	W0411A	[仕入先元帳照会] フォームで [追加] ボタンをクリックします。	予備伝票を作成するための仮請求書を作成します。
[仕訳入力プロンプト]	W0411B	[伝票入力 - 支払情報] フォームで [OK] ボタンをクリックします。	予備伝票を作成するための仮請求書を作成します。
[伝票仕訳の処理]	W042002A	[その他の伝票入力方式] (G04111) の [伝票仕訳の処理]	予備伝票から正式な伝票を作成します。
[伝票突合せ]	W4314A	[伝票仕訳の処理] フォームで伝票を選択し、[ロー] メニューの [購買オーダーの振替] を選択します。	予備伝票から正式な伝票を作成します。

## 予備伝票を作成するための仮請求書の作成

[仕入先元帳照会] フォームにアクセスします。

## 予備伝票からの正式伝票の作成

[伝票仕訳の処理] フォームにアクセスします。

## 仮請求書情報の印刷

[購買レポート] (G43A111) の [仮伝票明細] を選択します。

商品やサービスを入荷する前に仮請求書を作成した場合、仮伝票明細レポートを印刷して予備伝票情報を検討できます。このレポートを使って、正式な伝票に振替可能な状態の予備伝票を識別できます。さらに、次のような請求書情報や購買オーダー情報の検討もできます。

- 請求書番号
- 請求書日付
- 総額
- 購買オーダー番号
- 入荷日付（該当する場合）
- 未決済伝票金額
- 伝票番号

仮伝票の作成時に購買オーダー情報を入力しない場合、レポートには購買オーダー情報は印刷されません。

入荷レコードが入力された仮伝票だけをレポートに印刷するように、処理オプションで設定できます。

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Purchase Order

This section discusses:

- How to match invoice to purchase order.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411).

### Matching Invoice to Purchase Order

This table lists the tasks for matching invoice to purchase order:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Match invoice to purchase order.	Voucher Entry and Processing, Voucher Match for Purchasing	P0411/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OS</li> <li>Line Type: B = Item number charged to general ledger account and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OS and line types B and J.</li> <li>Status = 440</li> </ul>	Enter supplier numbers in the system.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Recurring Vouchers	blank
2. Summarized Vouchers	blank
3. Display Domestic and Foreign	1

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. As If Currency	blank
2. As Of Date	blank

**Manual Payments**

Processing Option Description	Value or Status
1. Manual Payment Creation	blank
2. Duplicate Payments	blank
3. Automatic Payment Number Assignment	blank

**Purchasing**

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Delete	1

**Voucher Match**

Processing Option Description	Value or Status
1. Match Processing	1
2. Voucher Match Version	RIS0001

**Multi Company**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multi-Company Single Supplier	blank

**Multi Vouchers**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Vouchers	blank

**Logging**

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Logging	blank
2. G/L Date	blank

**Prepayments**

Processing Option Description	Value or Status
1. G/L Offset Account	blank
2. G/L Distribution Account	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Pay Status Code	blank
4. Number of Days	0
5. Tax Area	blank
6. Prepayment Tax Area Code	blank
7. Prepayment Tax Explanation Code	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Master Business Function Version	RIS0001
2. Journal Entry Master Business Function Version	RIS0001
3. Pay When Paid Manual Link Version	blank
4. Netting (P03B455) Version	blank

## Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Entry Mode	blank
2. Supplier Self Service Mode	blank

## Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Fixed Asset ID	blank

## Pay When Paid

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay When Paid Voucher	blank

## 関連項目:

第 12 章、「伝票の作成」、「買掛金標準伝票入力 (P0411) の処理オプションの設定」、291ページ

JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理 8.11 SP1 PeopleBook、「買掛管理伝票の処理」、「標準伝票入力 (P0411) の処理オプションの設定」

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Open Receipt

This section discusses how to match invoice to open receipt.

### Matching Invoice to Open Receipt

This table lists the tasks for matching invoice to open receipt:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Match invoice to open receipt.	Voucher Entry and Processing, Voucher Match for Purchasing	P0411/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: B = Item number charged to general ledger account and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types B, J, and T.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is setup in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branch/plants are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411)」、314ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Invoice to Open Receipt for an Inventory Item

This section discusses how to match invoice to open receipt for an inventory item.

### Matching Invoice to Open Receipt for an Inventory Item

This table lists the tasks matching invoice to open receipt for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Match invoice to open receipt for an inventory item.	Voucher Entry and Processing, Voucher Match for Purchasing	P0411/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rues: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411)」、314ページ

---

## (Rapid Start) Matching Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item

This section discusses how to match purchase order receipts for selling a direct ship item.

### Matching Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for matching purchase order receipts for selling a direct ship item:



Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to configure Onsite
Match purchase order receipts for selling a direct ship item.	Procurement, Match Invoice to Receipt or PO	P0411/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411)」、314ページ

## (Rapid Start AUS and NZL) Matching Purchase Order to Voucher for an Inventory Item

This section lists a prerequisite and discusses:

- How to match purchase order to voucher for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Voucher Entry with PO Match (P0411).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Voucher Match (P4314).

### Prerequisite

Ensure voucher logging is turned off.

### Matching Purchase Order to Voucher for an Inventory Item

This table lists the tasks for matching purchase order to voucher for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version
Match purchase order to voucher for an inventory item.	Voucher Entry and Processing, Voucher Match for Purchasing	P4314/RIS0001 called from P0411/RIS3002

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Voucher Entry with PO Match (P0411)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3002.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Recurring Vouchers	blank
2. Summarized Vouchers	blank
3. Display Domestic and Foreign	1

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. As If Currency	blank
2. As Of Date	blank

### Manual Payments

Processing Option Description	Value or Status
1. Manual Payment Creation	blank
2. Duplicate Payments	blank
3. Automatic Payment Number Assignment	blank

### Purchasing

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Delete	1

**Voucher Match**

Processing Option Description	Value or Status
1. Match Processing	1
2. Voucher Match Version	RIS0001

**Multi Company**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multi-Company Single Supplier	blank

**Multi Vouchers**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Vouchers	blank

**Logging**

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Logging	blank
2. G/L Date	blank

**Prepayments**

Processing Option Description	Value or Status
1. G/L Offset Account	blank
2. G/L Distribution Account	blank
3. Pay Status Code	blank
4. Number of Days	0
5. Tax Area	blank
6. Prepayment Tax Area Code	blank
7. Prepayment Tax Explanation Code	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Master Business Function Version	RAZ0001
2. Journal Entry Master Business Function Version	RIS0001
3. Pay When Paid Manual Link Version	blank
4. Netting (P03B455) Version	blank

## Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Voucher Entry Mode	blank
2. Supplier Self Service Mode	blank

## Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Fixed Asset ID	blank

## Pay When Paid

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay When Paid Voucher	blank

## 関連項目:

[第 12 章、「伝票の作成」、「買掛金標準伝票入力 \(P0411\) の処理オプションの設定」、291 ページ](#)

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Voucher Match (P4314)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

## Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Inquiry Order Type	OP
2. Voucher Document Type	PV

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Approver Number	blank
2. Reporting Code	1
3. Account Number	blank
4. Business Unit	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	280
2. Thru Status Code	999
3. Outgoing Receipt Next Status Code	999
4. Cancel Status Code	999
5. Quantity/Amount	blank
6. Tolerance	blank
7. Supplier Analysis	1
8. Orders Per Voucher	blank
9. Branch/Plant Retrieval	blank
10. Direct Ship Integrity Cost Update	blank
11. Lot Cost Update	blank
12. Threshold Warning Blank – No warning 1 – Issue warning	blank
13. Threshold Pay Status Code	blank

**Summarization**

Processing Option Description	Value or Status
1. A/P	1
2. G/L	1

**New Order Line**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Line Entry	2
2. Line Type	J
3. Last Status Code	400
4. Next Status Code	999

**Retainage**

Processing Option Description	Value or Status
1. Default	blank
2. Taxes (Only apply to 'C' and 'V' type of taxes.)	blank

**Logs**

Processing Option Description	Value or Status
1. Warning Message	blank
2. Pay Status Code	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Effective Date	blank
2. Protect Rule	blank

**Flex Accounts**

Processing Option Description	Value or Status
1. Flex Accounting	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Entry (P4310)	RIS0001
2. AP Master Business Function (P0400047)	RIS0001
3. GL Master Business Function (P0900049)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
4. Open Receipts Inquiry (P43214)	RIS0001
5. Stand Alone Landed Cost (P43214)	RIS0002
6. Freight Audit History(P4981)	blank
7. Supplier Ledger Inquiry(P0411)	RIS0007
8. Purchase Order Logs (P4305)	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. Notify Amount Changes	blank
2. Notify Quantity Changes	blank

### Progress Payment

Processing Option Description	Value or Status
1. Interface	blank
2. Match Type Default	blank
3. Option Default	blank
4. Extended Amount	blank
5. Batch	blank
6. Activate Type of Payment and Current Payment Fields	blank
7. Type of Payment Options	blank
8. Prevent Payment of Paid Lines	blank

### Redistribution

Processing Option Description	Value or Status
1. Calculate Last Chance Variance for the voucher after it has been redistributed.	blank

### 関連項目:

第 12 章、「伝票の作成」、「伝票照合 (P4314) の処理オプションの設定」、299ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Matching Credit Memo to Open Purchase Order Receipts for Returning an Item to a Supplier

This sections discusses how to match credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier.

### Matching Credit Memo to Open Purchase Order Receipts for Returning an Item to a Supplier

This table lists the tasks for matching credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Match credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier.	Voucher Entry and Processing, Voucher Match for Purchasing	P0411/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP and OS</li> <li>Line Type: S = Inventory item, D = Direct Ship Item, B = Item number charged to general ledger account, and J = Charge to General Ledger Account</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and OS and line types S, B, D, and J.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411)」、314ページ

## (Rapid Start CAN and USA) Matching Purchase Order Receipts for Transfer Order with Receipt Routing

This section discusses how to match purchase order receipts for transfer order with receipt routing.



## Matching Purchase Order Receipts for Transfer Order with Receipt Routing

This table lists the tasks for matching purchase order receipts for transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Match purchase order receipts for transfer order with receipt routing.	Procurement, Match Invoice to Receipt or PO	P0411/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: ST and OT</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that is receiving the goods.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> <li>verify the PINS process is setup in the routing. This is a two step process which takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「伝票の作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Voucher Entry with PO Match (P0411)」、314ページ

## 伝票情報の印刷

購買オーダー、入荷、仕入先に関する特定の伝票情報を表示したレポートを印刷できます。

このセクションでは、以下の作業方法について説明します。

- 明細行別の伝票情報印刷
- 入荷/伝票状況レポート (R43412) の処理オプションの設定

- 入荷別の未決済伝票情報の印刷
- 仕入先の伝票金額の印刷
- 支払 AIA アプリケーションの印刷
- 先取特権放棄の印刷

## 明細行別の伝票情報印刷

[購買レポート] (G43A111) の [伝票発行/入荷状況] を選択します。

購買明細行別に伝票情報を検討できます。たとえば、100 の仕掛品に対する明細行を含む購買オーダーを入力する場合、次の項目を表示したレポートを作成できます。

- 累計入荷金額と数量
- 伝票が作成された入荷金額と数量
- 伝票が作成されていない入荷金額と数量

印刷する明細行に対する事業所、仕入先、購買オーダー番号を指定できます。このレポートを使用して、仕入先または事業所の伝票に対する未決済総額を確定できます。

入荷/伝票状況レポートを実行する場合、明細行を事業所別とビジネスユニット別のどちらで集計するかは、使用している環境が“在庫”か“非在庫”かによって変わります。

## 入荷/伝票状況レポート (R43412) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 表示

以下の処理オプションを使用して、レポートでの情報の表示方法を指定します。

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <b>1. 総勘定元帳ビジネスユニットまたは事業所を選択します。</b> | 総勘定元帳原価情報または事業所情報のどちらを印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク：事業所情報が印刷されます。<br>1: 総勘定元帳原価情報が印刷されます。 |
| <b>2. 外貨、または国内通貨を選択してください。</b>       | 情報を外貨と国内通貨のどちらで印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク：情報が国内通貨で印刷されます。<br>1: 情報が外貨で印刷されます。          |

## 入荷別未決済伝票情報の印刷

[購買レポート] (G43A111) の [伝票調整] を選択します。

個別の入荷レコードに対して未決済の伝票情報を検討できます。たとえば、6 月 30 日に仕掛品を 100 入荷した場合、次のような情報を識別できます。

- 伝票作成が必要な残量
- 伝票作成が必要な残金
- 残金の課税額

入荷請求仮勘定残高調整レポートを使用することにより、F0902 テーブルに対して入荷を調整できます。

公式の入荷を記録するたびに、(貸) 入荷請求仮勘定に仕訳が作成されます。各入荷に対して、この勘定科目コードを検討できます。通常、勘定科目コード別にレポート情報の順序を決めます。

このレポートには、F43121 テーブルの情報が含まれます。

## 仕入先の伝票金額の印刷

[購買レポート] (G43A111) の [仕入先分析] を選択します。

仕入先分析レポートを印刷して、過去に伝票を作成したことがある全ての仕入先、およびそれぞれの仕入先の伝票合計額を検討できます。また、このレポートを印刷して、年累計伝票金額と前年度の伝票合計額を比較することも可能です。

仕入先は、伝票合計額順に降順で表示されます。このレポートには年累計伝票金額の残高がゼロの仕入先は表示されません。

## 支払 AIA アプリケーションの印刷

[外注契約レポート] (G43D111) の [支払AIAアプリケーション] を選択します。[外注契約レポート] メニュー (G43D111) と買掛金チェックの実行中のどちらからでも支払 AIA アプリケーション レポートを実行できます。このレポートは、American Institute of Architects (AIA) の支払文書 G702 に類似しています。このレポートでは、請求済みおよび留保済みの前回の金額に加えて、基本契約と変更オーダー コミットメント金額が表示されます。外注業者は、公式文書としてこのレポートを使用できます。個別に、または支払請求と共に、更新したレポートを外注業者に送ります。その後で、外注業者ではそれを完了、公証し、ユーザーの会社に返送します。

通常、支払のたびに最新の支払 AIA アプリケーション レポートを送ります。外注業者ではそれを次のアプリケーション用に使用します。それから、支払の請求書として、完了したフォームが外注業者から返信されます。この伝票を完了しても、契約上の全ての作業が完了したことになるとは限りません。たいてい場合は単に、前回の支払と次回予定されている支払の間に、計画された作業が完了していることを示すのみです。

システムは F4311 テーブルと総勘定元帳取引からの情報を使用します。

## 先取特権放棄の印刷

買掛金チェックを実行中に先取特権の放棄を印刷できます。

先取特権の放棄は、印刷して支払 AIA アプリケーションと共に外注業者に送るフォームです。この先取特権の放棄には、外注業者による支払が完了し、契約上の作業に関する未決済の担保権がないことが記載されています。これに、外注業者は調印し、日付を記入してユーザーの会社に送付します。



## 第 13 章

# 特殊オーダー処理

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、特殊オーダー処理の概要と以下の方法について説明します。

- 購買要求の利用
- 一括オーダーの利用
- (Rapid Start) Enter blanket orders for an inventory item
- 見積オーダーの利用
- 価格見積からのオーダー作成
- オーダー改訂の利用

---

## 特殊オーダー処理について

特殊オーダーには、通常とは異なる取扱いが必要です。多くの場合、特殊オーダーは実際のオーダーの前提条件となっています。特殊オーダーの例は次のとおりです。

- 購買要求 - 品目やサービスの予備要求
- 一括オーダー - 定期的な支払を希望する大量オーダー
- 見積オーダー - 仕入先価格の見積要求
- オーダー改訂 - オーダーの変更をトラッキングするシステム用のオーダー

ほとんどの特殊オーダーは購買オーダーと同じ方法で入力します。特殊オーダーは、オーダー タイプおよびオーダー処理順序定義によって識別します。たとえば、購買要求を処理している場合は通常、オーダー タイプ OR (購買要求オーダー) を入力します。一括オーダーを処理するときは、オーダー タイプは通常 OB (一括オーダー) です。

調達管理システムでは、特殊オーダー用に設定した行タイプ、処理順序定義、状況コードに基づいて、各特殊オーダー タイプごとに異なった処理サイクルが実行されます。

参照: 第 6 章、「調達管理システムの設定」、「オーダー処理順序定義の設定」、33ページ

購買管理システムには購買要求を生成したり、その購買要求から見積を作成して、さらに見積から購買オーダーを作成するのに必要なツールが備わっています。見積要求の送り先や見積の対象とする品目数、作成できる購買オーダーは、いずれも無制限です。これらを全てオンラインで処理すれば、効率が上がるだけでなく、伝票や書類も関連付けられ、購買オーダーや見積オーダーの作成に必要な情報の監査証跡を簡単に記録できます。

## 購買要求の利用

このセクションでは、購買要求と購買要求明細行の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 購買要求の入力
- 購買要求の複写によるオーダーの作成
- 購買要求からの購買オーダー生成/一括オーダー リリース (P43060) の処理オプションの設定
- オーダーに対する購買要求明細行の選択

### 購買要求について

購入する品目やサービスに対して購買要求を出すように社内で義務付けられている場合があります。この場合、オーダーを作成する前に品目やサービスの購買要求を入力して承認を得ます。購買要求は購買オーダーと同じ方法で入力します。たとえば、事務用品を注文する場合、該当する各事務用品に対して明細行を入力します。

後で購買要求の入力者を照会できるように、購買要求を入力する際に出荷先住所にユーザーの住所番号を入力できます。購買要求を管理する購買担当の部署がある場合は、購買要求の仕入先の代わりに購買担当部門を入力できます。これにより、購買担当部門が購買要求を簡単に検索してオーダーを作成および検索できます。

購買要求を印刷する際には、購買オーダーの印刷と同じ手順に従いますが、購買要求に対してオーダータイプを指定する必要があります。

購買要求が承認されると、次のどちらかの方法を使用して購買要求から購買オーダーを作成します。

- 購買要求の複写
- オーダーに組み込む購買要求明細行の選択

同じ購買要求から定期オーダーを作成するには、その購買要求を複写に使用します。たとえば、事務用品の購買要求がある場合は、その購買要求を複写してオーダーを繰り返し作成できます。

購買要求を複写してオーダーを作成する場合、システムによりその購買要求が締められることはありません。購買要求はオーダーと同じ方法で複写します。

明細行を締めて再使用されないようにするには、オーダーを作成する際に個々の購買要求明細行を選択します。たとえば、1 回だけ発注する事務用品の購買要求がある場合、その購買要求の明細行を選択して、繰り返し使用できないようにします。

### 購買要求明細行について

購買要求明細行の数量または金額未満の数量または金額のオーダーを作成できます。購買明細行より少ない数量や金額を指定した場合は、明細行から数量または金額がリリースされますが、残高を未決済のままにしておくかどうかはユーザーが選択します。オーダーに対して数量がリリースされた後は、購買要求明細行は締められます。

各明細行に単位原価を表示するかどうか、また原価の変更を許可するかを指定するには、[購買要求および見積オーダー管理] メニュー (G43A12) から “要求から購買オーダー生成” プログラムの処理オプションを設定します。

また、処理オプションを設定して、購買要求についてオーダーを作成する前に許容チェックを実行するかどうか指定できます。

購買要求の全ての明細行を選択して、購買オーダーを作成できます。また、以下の処理も実行できます。

- 複数の購買要求の明細行をまとめて 1 つの購買オーダーを作成する。
- 1 つの購買要求の明細行を選択して複数の購買オーダーを作成する。

複数の購買要求の明細行をまとめて、1 つの購買オーダーを作成できます。この方法は、品目やサービスを 1 つの仕入先にまとめる場合に使用します。たとえば、ホッチキスの購買要求が 2 つあった場合、それぞれの購買要求明細行をまとめて 1 つの購買オーダーを作成できます。

また、購買要求の明細行を複数の購買オーダーに分けて作成することもできます。同じ購買要求の品目/サービスが異なる仕入先から提供される場合に、この処理を実行します。たとえば、ホッチキスと椅子の注文を発注する購買要求がある場合、ホッチキスと椅子で別々の購買オーダーを作成できます。

## 事前設定

オーダーの購買要求明細行を選択する前に、以下の作業を行います。

- 購買オーダーを作成する購買オーダー入力プログラム (P4310) のバージョンを処理オプションで設定します。
- 購買許容規則プログラム (P4322) で許容規則を作成して、許容チェックが実行されるようにします。

## 購買要求の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買要求および見積オーダーの管理] (G43A12)、[購買要求の入力]  [購買要求および見積オーダー管理] (G43D12)、[購買要求入力]	既存の購買要求を検索するかまたは新しい購買要求を入力します。
[オーダー見出し]	W43101B	[オーダー見出しの処理] フォームで、[追加]を選択して購買要求を入力します。	購買要求を入力します。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー見出しの処理] フォームで、オーダーを選択し、[コピー]をクリックします。	購買要求を複写して購買オーダーを作成します。
[オーダー・リリースの処理]	W43060B	[購買要求および見積オーダーの管理] (G43A12)、[購買要求からの購買オーダー生成]  [購買要求および見積オーダー管理] (G43D12)、[要求から購買オーダー生成]	オーダーリリースの処理を行います。
[オーダーのリリース]	W43060A	[オーダー・リリースの処理] フォームで、明細行を選択して、[選択] ボタンをクリックします。	オーダーリリースのフィールドを検討して修正します。

## 購買要求の入力

[オーダー見出しの処理] フォームにアクセスします。

## 購買要求の複写によるオーダーの作成

[オーダー明細] フォームにアクセスします。

## 購買要求からの購買オーダー生成/一括オーダー リリース (P43060) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、購買要求からの購買オーダー生成/一括オーダー リリース (P43060) の実行中に使用されるデフォルト値を定義します。

#### 1. デフォルトのオーダータイプ

作成する伝票のタイプを指定します。

このコードは、トランザクションの当初伝票タイプも指定します。

伝票タイプは、ユーザーが設定するユーザー定義コード (00/DT) です。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。これらは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注伝票

### 表示

以下の処理オプションを使用して、状況コードなどを表示するかどうか、保護、表示、または非表示にするフィールドなどを指定します。

#### 1. 入荷状況コード 1

オーダーがグリッドに表示される、承認可能な 3 つの状況のうちの 1 つを指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を入力します。

#### 2. 入荷状況コード 2

オーダーがグリッドに表示される、承認可能な 3 つの状況のうちの 1 つを指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を入力します。



- 3. 入荷状況コード 3**      オーダーがグリッドに表示される、承認可能な 3 つの状況のうちの 1 つを指定します。使用するオーダー タイプおよび行タイプに対して [オーダー処理順序定義] フォームで設定されているユーザー定義コード (40/AT) を入力します。
- 4. 価格フィールドの表示**      [購入単価] フィールドの表示/非表示および入力保護を指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: [購入単価] フィールドを表示します。フィールドの値を編集できます。  
 1: [購入単価] フィールドを保護します。フィールドの値を編集できません。  
 2: [購入単価] フィールドを表示しません。
- 5. 勘定科目No.フィールドの表示**      [勘定科目コード] フィールドを保護するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: [勘定科目コード] フィールドを保護するかどうかを指定しません。  
 1: [勘定科目コード] フィールドを保護します。
- 6. リリース額の表示**      [リリース金額] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: [リリース金額] フィールドを表示しません。  
 1: [リリース金額] フィールドを表示します。

## 処理

以下の処理オプションを使用して、オーダーの許容率をチェックするかどうか、複数のオーダーや行をリリースする際の行の集計方法などを指定します。

- 1. 許容度チェックの基準**      明細行の数量および金額が許容率を超過しているかどうかを判断するために、数量および金額を確認するかどうかを指定します。許容率を確認するには、許容率設定プログラム (P4322) にアクセスします。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 許容度チェックが実行されません。  
 1: 許容度チェックが実行され、金額が許容レベルを超えている場合、警告メッセージが表示されます。  
 2: 許容度チェックが実行され、金額が許容レベルを超えている場合、購買オーダーのリリースが許可されません。
- 2. 品目集約**      複数のオーダーおよび行をリリースするときに、行を集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 品目を集計しません。  
 1: 仕入先、品目、勘定科目、事業所、計量単位、および要求日付別に行を集計します。  
 2: 仕入先、品目、勘定科目、事業所、計量単位、要求日付、および単位原価別に行を集計します。  
 たとえば、この処理オプションで 1 または 2 を指定した場合、仕入先、品目、事業所、計量単位、および要求日付が等しい、それぞれの数量が 10 である 2 行をリリースすると、新しいオーダーでは数量が 20 の行が 1 行作成されます。

### 3. 仕入先の変更に基づく 単位原価の取り込み

当初オーダーから原価を取り込むか、または [オーダーのリリース] フォームで仕入先が変更されたときの単位原価から原価を取り込むかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：当初オーダーから原価を取り込みます。

1: 基になる単位原価から原価を取り込みます。

## バージョン

この処理オプションを使用して、各アプリケーションのバージョンを入力します。ブランクにした場合、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

### 1. 購買オーダー入力 (P4310)

購買オーダー入力プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

### 2. 購買元帳照会 (P43041)

購買元帳照会プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

### 3. 発注残照会 (P4310)

発注残照会プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

### 4. 仕入先マスター照会 (P04012)

仕入先マスター照会プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

## オーダーに対する購買要求明細行の選択

[オーダー・リリースの処理] フォームにアクセスします。

---

## 一括オーダーの利用

このセクションでは、一括オーダーの概要と以下の方法について説明します。

- 一括オーダーの入力
- 一括オーダーからの購買オーダー作成

### 一括オーダーについて

仕入先から一定期間にわたって一定の数量または金額の商品を購入する契約がある場合、一括オーダーを入力できます。一括オーダーを入力する際には、まず発注する品目またはサービスの全体の数量または金額を指定する必要があります。たとえば、12 か月間、毎月 100 個の外注品を調達する契約の場合、1200 個の外注品に対して一括オーダーを入力します。

一括オーダーは購買オーダーと同じ方法で入力および印刷します。一括オーダー全体の数量または金額に対して、入力する明細行は必ず 1 つです。印刷時にはそのオーダー タイプを指定してください。

一括オーダーにある商品やサービスの一部を入荷する用意が整ったら、その都度購買オーダーを作成する数量や金額をリリースする必要があります。たとえば、1200 個の外注品に対する一括オーダーがあり、そのうち 100 個を入荷したい場合、該当する一括オーダー明細行から 100 個をリリースします。

それぞれの一括オーダーに対して、オーダーの当初数量、リリース数量累計または金額、リリース残の数量あるいは金額などを検討できます。

### 関連項目:

付録 B、「EnterpriseOne 調達管理レポート」、「R43640 - 要求日付別発注残」、432ページ

付録 B、「EnterpriseOne 調達管理レポート」、「要求日付別発注残 (R43640) の処理オプション」、432ページ

## 一括オーダーの処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー明細]	W4310A	[購買オーダー処理] (G43A11)、[一括オーダー]  [オーダー見出しの処理] フォームで、[追加]を選択 して一括オーダーを入力 します。	一括オーダーを入力 します。
[オーダー・リリースの処理]	W43060B	[オーダーの生成/承認/リ リース] メニュー (G43A13)、 [一括オーダーからの購買 オーダー生成]	オーダーリリースの処理 を行います。
[オーダーのリリース]	W43060A	[オーダー・リリースの処理] フォームで、明細行を選択 して、[選択] ボタンをク リックします。	オーダーリリースのフィー ルドを検討して修正 します。

## 一括オーダーの入力

[オーダー見出しの処理] フォームにアクセスします。

## 一括オーダーからの購買オーダー作成

[オーダー・リリースの処理] フォームにアクセスします。

## (Rapid Start) Entering Blanket Orders for an Inventory Item

This section discusses:

- How to enter blanket orders for an inventory item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Order Entry – Blanket (P4310).

## Entering Blanket Orders for an Inventory Item

This table lists the tasks for entering blanket orders for an inventory item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter blanket orders for an inventory item.	Purchase Blanket Orders  Enter Procurement Blanket Order	P4310/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: OP</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type OP and line types S and T.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter supplier numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Entry – Blanket (P4310)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	OB
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	210
4. Override Next Status	blank
5. Unit of Measure	blank
6. Line Number Increment	1
7. Default Tax Rate/Area	blank
8. Transaction Unit of Measure	blank
9. Landed Cost Rule	blank

Processing Option Description	Value or Status
10. Header to Detail	1
11. Work Order Status	blank
12. Account Description	blank
13. Line Sequence	blank
14. Cost Rule Selection	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1.Suppress Closed Lines	blank
2. Status Code Protection	1
3. Order Type Protection	blank
4. Kit Display	1
5. Cost Protection	blank
6. Detail Line Protection	999
7. Free Goods Catalog	blank
8. Order Header Protection	blank
9. Jargon and Header Business Unit	blank
10. Account Protection	blank

## Interfaces

Processing Option Description	Value or Status
1. Business Unit Validation	1
2. PBCO Warning	1
3. PACO Warning	1
4. Quantity Update	1
5. Supplier Analysis	blank
6. Edit Supplier Master	blank
7. Financial AAI	blank

**Processing**

Processing Option Description	Value or Status
1. New Supplier Information	blank
2. Order Templates	blank
3. Subsystem Printing	blank
4. Blanket Releases	blank
5. Header Display	blank
6. Agreement Search	blank
7. Base Order Protection	blank
8. Project/Job Validation	blank
9. Exclusive Adjustment Hold	blank
10. Logs Entry Display	blank

**Duplication**

Processing Option Description	Value or Status
1. Duplicate Order Type	OB
2. Beginning Status Code	210
3. Next Status Code (Optional)	blank
4. Copy Selection	2

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Obsolete Items	R
3. Promotional Items	blank

**Order Inquiry**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status Code	210
2. Thru Status Code	999

Processing Option Description	Value or Status
3. Last Status	blank
4. Date	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Supply/Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
2. Supplier Analysis (P43230)	RIS0001
3. Supplier Master (P04012)	RIS0001
4. PO Print on Demand (R43500)	blank
5. Item Availability Summary (P41202)	RIS0001
6. Approval Review (P43081)	blank
7. Receipt Routing (P43250)	RIS0001
8. Open Receipts (P43214)	RIS0001
9. Revision Audit Summary (P4319)	blank
10. Purchase Ledger (P43041)	RIS0002
11. Open Order Inquiry (P4310)	RIS0013
12. Financial Status Inquiry (P44200)	blank
13. Inbound Transportation (P4915)	blank
14. Preference Profile (R40400)	blank
15. Configurator (P3210)	blank
16. Blanket Release (P43216)	blank
17. Logs Entry (P4305)	blank
18. Requisition Self Service (P43E10)	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance	0

Processing Option Description	Value or Status
As-If Currency Display:	blank
2. Currency Code	blank
3. As of Date	blank

### Approvals

Processing Option Description	Value or Status
1. Route Code	blank
2. Awaiting Approval Status	blank
3. Approved Status	blank
4. Reapprove Changed Lines	blank
5. Approval Hold Code	blank

### Budgeting

Processing Option Description	Value or Status
1. Budget Hold Code	blank
2. Budget Ledger Type	blank
3. Level of Detail	blank
4. Budget Total Method	blank
5. Period Accumulation Method	blank
6. Tolerance Percentage	0
7. Hold Warning	blank
8. Budget Accumulation Level of Detail	blank
9. Exclude Subledger/Type	blank
10. Job Cost Account Sequence	blank
11. Include Taxes	blank



**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Before/ After Image Processing	blank
2. Purchase Order Transaction Type	blank
3. Work Order Before/ After Image Processing	blank
4. Work Order Transaction Type	blank

**Order Revision**

Processing Option Description	Value or Status
1. Revision Tracking	blank
2. Next Status	blank
3. Text Entry	blank

**Self-Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Supplier Self-Service	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Price Changes Notify	blank
2. Planned Delivery Date Changes Notify	blank
3. Quantity Changes Notify	blank
4. Order Hold Notif	blank

## Transfer Order

Processing Option Description	Value or Status
1. Create Item Branch Record if one does not exist for the receiving B/P when Entering a Transfer Order	blank
2. Project Transfer Order Line Type	blank

### 関連項目:

第 13 章、「特殊オーダー処理」、「一括オーダーの利用」、336ページ

第 9 章、「購買オーダーの入力」、「購買オーダー (P4310) の処理オプションの設定」、92ページ

## 見積オーダーの利用

このセクションでは、見積オーダーの概要と以下の方法について説明します。

- 単一数量の価格見積の要求
- 複数数量の価格見積の要求
- 購買要求からの見積オーダー作成
- 見積を依頼する仕入先の入力
- 見積要求の印刷
- 見積回答の入力 (P4334) の処理オプションの設定
- 仕入先からの見積価格の入力

## 見積オーダーについて

品目やサービスを購入する前に、各仕入先から見積価格を収集して比較する場合があります。次のような目的で見積オーダーを処理します。

- 品目やサービスに対する見積価格の入手
- 最適価格での品目またはサービスを提供する仕入先の識別
- 購買オーダーの作成

### 品目の入力

見積オーダーで見積価格を取得する品目を入力します。購買オーダーと同様、各品目に対して明細行を入力してください。

価格見積を要求する数量は、1 つでも複数でもかまいません。数量に応じて価格分岐が存在する品目に対しては、その数量を入力できます。見積が複数の行で構成されている場合、オーダー全体または個別行の品目に対して見積回答を要求できます。

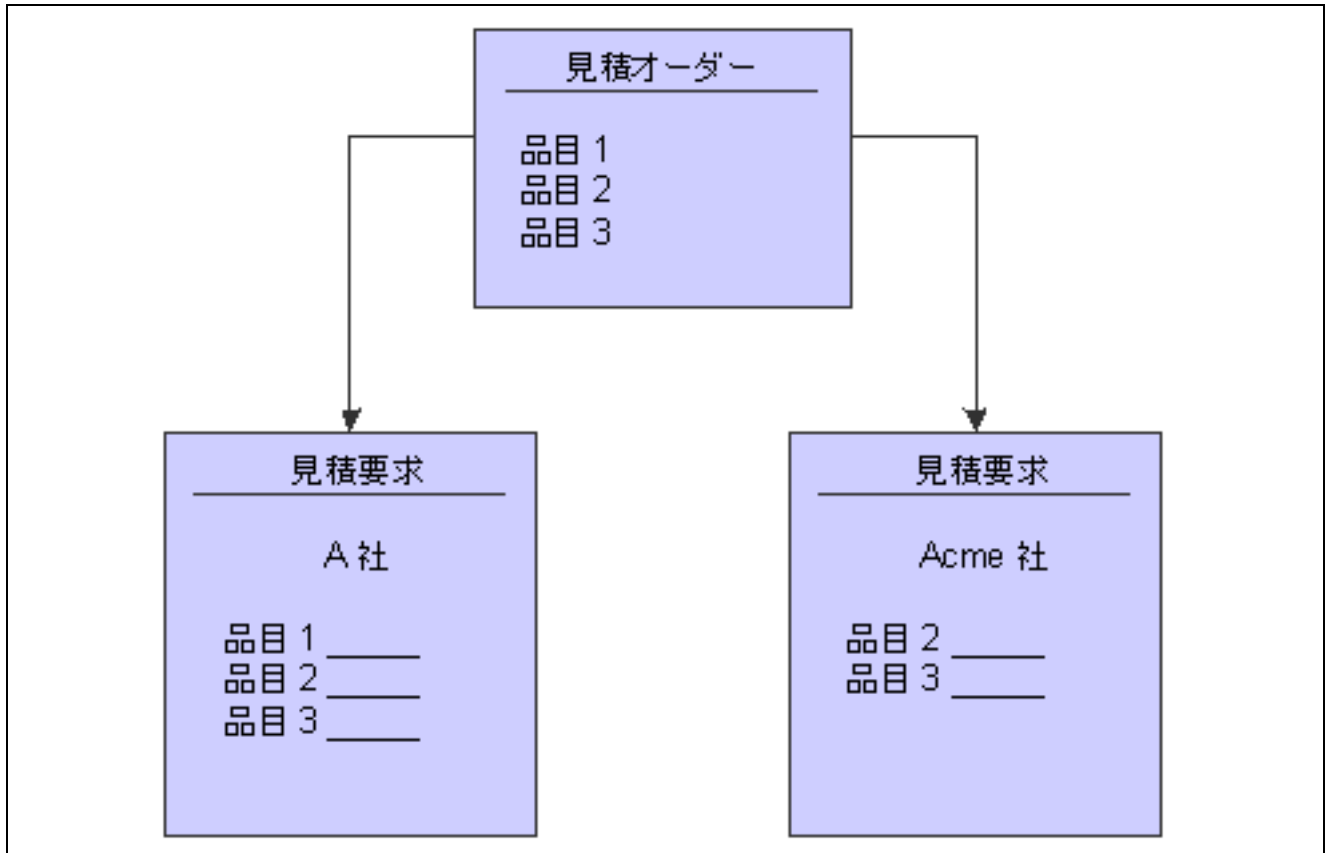
また、購買要求の品目およびサービスに対して承認を得てから、見積価格を入手することがあります。この場合、購買要求の明細行を使用して見積オーダーを作成できます。この手順は、購買要求から購買オーダーを作成する場合と同じです。[オーダー明細] フォームで当初オーダー機能を使用して、次の情報を検討できます。

- 明細行の作成元である全ての購買要求のリスト
- 購買要求の担当者
- 要求数量

見積オーダー明細行の作成に必要な購買要求の情報は、F4332 テーブルで管理されます。

## 仕入先入力

見積オーダーの品目を入力した後、価格見積を依頼する仕入先を入力してください。見積オーダーの全品目に見積を依頼する仕入先を入力できるだけでなく、個別の品目に対して見積を依頼する仕入先も入力できます。以下の図は、見積を依頼する仕入先の選択プロセスを示しています。



見積を依頼する仕入先の選択

## 購買要求からの見積オーダー作成

品目やサービスの購買承認を得た後、仕入先に対して見積を依頼することがあります。この場合、購買要求の明細行を使用して見積オーダーを作成できます。この手順は、購買要求から購買オーダーを作成する場合と同じです。

見積オーダーの明細行が複数購買要求から作成された場合、次の情報を検討できます。

- 明細行の作成元である全ての購買要求のリスト
- 品目購買要求を出す担当者
- 要求数量

この情報を検討するには、[オーダー明細] で明細行を選択し、[ロー] メニューから [当初オーダー入力] を選択します。

見積オーダーの明細行を作成するために連結された購買要求情報は、F4332 テーブルに保管されます。

### 見積要求の印刷

価格見積要求を出している各仕入先に対して、価格見積書を作成して、価格見積情報を記録できます。各見積書は、特定の価格見積に対応します。見積書には、仕入先名称と住所に加えて、見積オーダーを依頼した品目がリストされます。

この見積書は、仕入先で記入してもらうことも、ユーザーが情報を収集して記入することもできます。各品目の見積価格および各価格の有効期限を記録できます。その後、この見積書を使用してシステムに価格見積情報を入力できます。

見積要求の印刷を実行して、要求フォームを印刷する見積オーダーを選択します。システムに価格見積情報を入力した後、見積書を印刷して仕入先が提示した既存の見積価格を検討できます。

### 仕入先からの見積価格の入力

仕入先が品目やサービスの見積価格を提示した後、その見積価格をシステムに入力する必要があります。全ての仕入先からの見積価格を入力した後、見積価格を比較して、最適の価格を提示した仕入先を特定することができます。

仕入先が提示した見積価格は、特定の見積オーダーに基づいて入力します。1 つの品目に対して異なる数量ごとに価格見積を依頼した場合は、各数量に対応した見積価格を入力できます。

仕入先からの見積価格情報は、F4330 テーブルで管理されます。

## 見積オーダーの処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買要求および見積オーダーの管理](G43A12)、[見積オーダーの入力]  [購買要求および見積オーダー管理](G43D12)、[見積オーダー入力]	オーダー情報の処理を行います。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー明細の処理] フォームで、見積オーダーを選択し、[選択] ボタンをクリックします。	オーダー明細情報を入力します。
[見積価格分岐]	W4331A	[オーダー明細] フォームで明細行を選択し、[ロー] メニューから [見積価格分岐] を選択します。	価格分岐を受け取る予定の品目を指定します。
[見積仕入先の入力]	W4330A	[オーダー明細] フォームで、[フォーム] メニューから [見積仕入先] を選択します。  [オーダー明細] フォームで明細行を選択し、[ロー] メニューから [見積仕入先] を選択します。	価格見積を取得する仕入先を指定します。
[仕入先の処理]	W4334B	[購買要求および見積オーダーの管理](G43A12)、[見積回答の入力]	仕入先情報の処理を行います。
[見積回答の入力]	W4334A	[仕入先の処理] フォームで、オーダー番号および仕入先を含む明細行を選択し、[選択] ボタンをクリックします。	見積価格情報を入力します。

### 単一数量の価格見積の要求

[オーダー明細の処理] フォームにアクセスします。

### 複数数量の価格見積の要求

[オーダー明細の処理] フォームにアクセスします。

### 購買要求からの見積オーダー作成

[オーダー明細の処理] フォームにアクセスします。

### 見積を依頼する仕入先の入力

[オーダー明細の処理] フォームにアクセスします。

## 見積要求の印刷

[購買要求および見積オーダーの管理] (G43A12) の [見積オーダーの印刷] を選択します。

または、[購買要求および見積オーダー管理] (G43D12) の [見積オーダーの印刷] を選択します。

## 見積回答の入力 (P4334) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

#### オーダータイプ

作成する伝票のタイプを指定します。

このコードは、トランザクションの当初伝票タイプも指定します。

伝票タイプは、ユーザーが設定するユーザー定義コード (00/DT) です。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。これらは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注伝票

### セルフサービス

#### サプライヤ セルフサービス

Java/HTML 環境で使用するサプライヤ セルフサービスを有効にするかどうかを指定します。仕入先は、この機能を使用して見積オーダーに対する価格をオンラインで入力できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: サプライヤ セルフサービスが有効になりません。

1: サプライヤ セルフサービスが有効になります。

## 仕入先からの見積価格の入力

[オーダー明細の処理] フォームにアクセスします。

---

## 価格見積からのオーダー作成

このセクションでは、価格見積からのオーダー作成の概要と以下の方法について説明します。

- 見積オーダーのリリース (P43360) の処理オプションの設定
- 価格見積からのオーダー作成

## 価格見積からのオーダー作成について

品目またはサービスの仕入先価格見積を入力した後に価格見積を比較し、最適価格を提供する仕入先を識別してから、オーダーの作成に使用する価格見積を選択できます。

オーダーの作成に使用する価格見積を選択した後、次の処理を実行できます。

- 同じ明細行から繰り返し購買オーダーが作成されないように、明細行を締める（完全にリリースされている場合）。
- 明細行を未決済のままにし、同じ明細行から定期オーダーを作成する。

このうちのどちらを使用するかは、処理オプションで指定します。締めた明細行は「見積オーダーのリリース」フォームには表示されません。

ある品目の見積オーダー明細行を検索することにより、特定品目の見積価格を比較できます。明細行の品目記述や、見積を依頼した全ての仕入先を検討できます。

## 価格見積からのオーダー作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[見積オーダーのリリース]	W43360H	[購買要求および見積オーダーの管理] (G43A12)、 [見積回答からの購買オーダー生成]  [購買要求および見積オーダー管理] (G43D12)、 [見積回答から購買オーダー生成]	価格見積からオーダーを作成します。
[見積価格分岐]	W4331A	[見積オーダーのリリース] フォームで行を選択し、[ロー]メニューから[価格分岐]を選択します。	品目の価格分岐を検討します。

## 見積オーダーのリリース (P43360) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、見積オーダーのリリース プログラム (P43360) で使用されるデフォルト情報を指定します。

### オーダー タイプ

作成する伝票のタイプを指定します。

このコードは、トランザクションの当初伝票タイプも指定します。

伝票タイプは、ユーザーが設定するユーザー定義コード (00/DT) です。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプコードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。これらは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票  
 I: 在庫伝票  
 O: 購買オーダー伝票  
 J: 一般会計/共有利息請求伝票  
 S: 受注伝票

## 表示

以下の処理オプションを使用して、表示する情報のタイプを指定します。

1. 使用可能「次の状況」      使用可能な“次の状況”を指定します。  
 コード 1 ~ 3. 使用可能「次の状況」コード 3

## 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を指定します。

1 = 見積オーダーの発注残数量からリリース数量を差し引く。ブランク = 見積に対する発注残数量は変更されず、引き続きすべての見積数量/金額がリリースできる。  
 見積オーダーの未処理数量を、リリースされた金額分減らすかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク：未処理数量を減らしません。  
 1: 未処理数量を減らします。

## バージョン

以下の処理オプションを使用して、見積オーダーのリリース プログラム (P43360) と関連して使用される各種プログラムのバージョンを入力することができます。

1. 購買オーダー入力 (P4310)	購買オーダー入力プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。  バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。
2. 購買履歴照会 (P43041)	購買履歴照会プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。  バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。
3. 発注残照会 (P430301)	発注残照会プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。  バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。
4. 仕入先マスター照会 (P0401)	仕入先マスター照会プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。  バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。



5. 仕入先分析 (P43230)

仕入先分析プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

価格見積からのオーダー作成

[見積オーダーのリリース] フォームにアクセスします。

見積回答からの購買オーダー生成 - 見積オーダーのリリース

OK(O) 検索(I) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

事業所

通貨コード

オーダーNo.

品目No.

勘定科目コード

仕入先No.

購買担当者

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ

	リリース数量	回答価格	通貨コード	計量単位	仕入先価格	リリース金額	仕入先No.	名称

[見積オーダーのリリース] フォーム

- [仕入先 No.]

見積オーダーに割り当てられた購買担当部門を入力します。このフィールドは、価格見積を出した仕入先を入力するフィールドではありません。
- [リリース数量]

仕入先が複数の品目数量に対して見積価格を提示した場合、オーダーに使用する価格見積を示すリリース数量を入力します。これで、選択した価格見積に対してオーダーを作成する準備が完了しました。フォームを閉じようすると警告が表示されます。
- [回答価格]

仕入先が複数の品目数量に対して見積価格を提示した場合、見積価格が表示されます。要求した日付までに価格見積が回答されなかった場合、その価格見積は使用できません。期日を過ぎた見積回答はリリース行が表示されません。この明細行を使用するには、見積仕入先の入力 (P4330) プログラムで回答日付を変更する必要があります。

オーダー改訂の利用

このセクションでは、オーダー改訂の概要と以下の方法について説明します。

- オーダー改訂の作成
- 購買オーダー/変更オーダー集計 (P4319) の処理オプションの設定
- オーダー改訂情報の検討

- オーダー改訂情報の印刷
- オーダー改訂履歴レポート (R43535) の処理オプションの設定

## オーダー改訂について

オーダーに対する変更をトラッキングして、発生した変更についての情報を検討できます。たとえば、塗料 5 ガロンのオーダーを入力した後で 10 ガロンに変更した場合、変更情報を確認して新規オーダーを作成できます。

オーダー改訂を処理する際に、次のような情報を検討できます。

- オーダーを改訂した回数
- オーダー明細行を改訂した回数
- 各明細行の変更に対応するオーダーの改訂
- 品目番号や原価など、改訂された明細行の情報
- 改訂の理由
- 改訂を行った担当者
- 改定が有効になる日付

オーダーを入力または修正するたびに、オーダー改訂を自動的に作成できます。たとえば、青色の塗料 5 ガロンを入力すると、オーダー改訂 000 が作成されます。このオーダーを 7 ガロンに修正すると、オーダー改訂 001 が作成されます。オーダー改訂 000 を検索すると、元のオーダーの情報を検討できます。また、オーダー改訂 001 を検索すると、修正した現在のオーダーの情報を確認できます。

オーダーを検討する際には、最後に作成されたオーダー改訂が表示されます。また、各明細行に対する改訂回数も表示されます。

オーダー改訂値は、オーダーが変更された回数を示します。各明細行のオーダー改訂値は、前回明細行を変更したときに適用したオーダー改訂番号を示します。

処理オプションで改訂のトラッキングを使用できるように設定します。以下の設定を指定できます。

- 既存オーダーのみを変更できるようにする
- 新規オーダーの追加と既存オーダーへの変更を可能にする
- オーダー改訂処理を実行しない

改訂トラッキングを開始する状況コードを指定できます。また、オーダー改訂を作成するたびに、注記を入力できます。

明細行を改訂した場合にのみ、オーダー改訂が作成されます。見出し情報を改訂しただけではオーダー改訂は作成されません。

オーダー改訂情報は、以下のテーブルで管理されます。

テーブル名	説明
F4301	オーダーが改訂された回数が管理されます。

テーブル名	説明
F4311	各行の改訂回数を含む、オーダー明細行の現行情報が管理されます。
F43199	当初オーダー情報、および各オーダー改訂に関する情報が保管されます。改訂のトラッキングは、オーダー処理順序定義の[履歴(Y/N)]を有効にしなくても実行できます。オーダー改訂レコードの元帳タイプは、CO(変更オーダー)です。

## オーダー改訂処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー見出しの処理]	W4310I	[購買オーダー処理] (G43A11)、[購買オーダーの入力]  [外注処理] (G43D11)、[外注オーダー入力]	オーダー見出しの処理を行います。
[オーダー明細]	W4310A	[オーダー見出しの処理] フォームでオーダーを選択し、[ロー]メニューから [オーダー明細の改訂] を選択します。	オーダー明細を検討して改訂します。
[オーダー改訂の処理]	W4319A	[購買照会] (G43A112)、[オーダー改訂照会]  [外注照会] (G43D112)、[オーダー改訂照会]	オーダー改訂集計の処理を行います。
[オーダー改訂明細]	W4320A	[オーダー改訂の処理] フォームで、オーダー改訂を選択して、[選択] ボタンをクリックします。	オーダー改訂明細を検討します。
[オーダー改訂履歴]	W43205A	[オーダー改訂明細] フォームで、明細行を選択して、[選択] ボタンをクリックします。	特定の明細行に適用される全ての改訂を検討します。

## オーダー改訂の作成

[オーダー見出しの処理] フォームにアクセスします。

## 購買オーダー/変更オーダー集計 (P4319) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、購買オーダー/変更オーダー集計プログラム (P4319) で使用されるデフォルト情報を入力します。

## オーダー タイプ

作成する伝票のタイプを指定します。

このコードは、トランザクションの当初伝票タイプも指定します。

伝票タイプは、ユーザーが設定するユーザー定義コード (00/DT) です。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。これらは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注伝票

## バージョン

以下の処理オプションを使用して、購買オーダー/変更オーダー集計プログラム (P4319) と関連して使用される各種プログラムのバージョンを入力することができます。

**購買オーダー入力 (P4310)** 購買オーダー入力プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

**変更オーダー印刷 (R43535)**

変更オーダーの印刷プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

**購買オーダー印刷 (R43500)**

購買オーダー印刷プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを入力します。

バージョンを指定する場合、処理オプションを確認し、プログラムが要求を満たしていることを確認してください。

## オーダー改訂情報の検討

[オーダー改訂の処理] フォームにアクセスします。

オーダー改訂照会 - オーダー改訂の処理

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) 改訂の添付(A) ロー(R) レポート(P) ツール(T)

☒ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐

オーダーNo. \*  OP  事業所   
 仕入先  ☒ 最終改訂レコード ☐ すべての改訂

レコード 1 - 10 グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

	オーダー No.	オーダー タイプ	オーダー 会社	ユーザー	更新 日付	仕入先	事業所	オーダー 改訂	記述
<input type="checkbox"/>	2060	OP	00001	JG5941598	2000/05/12	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	2061	OP	00001	OWTT_J	2005/12/27	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	2490	OP	00200	OWTT_PO	2005/10/03	1	M10	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4410	OP	00001	DEMO	1997/05/08	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4420	OP	00001	OWTT_J	2005/10/30	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4430	OP	00001	DEMO	1997/05/08	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4440	OP	00001	OWTT_J	2005/10/30	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4450	OP	00001	DEMO	1997/05/08	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4455	OP	00001	DEMO	1997/05/08	4343	30	0	Original Order
<input type="checkbox"/>	4460	OP	00001	DEMO	1997/05/08	4343	30	0	Original Order

[オーダー改訂の処理] フォーム

## オーダー改訂情報の印刷

[購買レポート] (G43A111) の [オーダー改訂履歴の印刷] を選択します。

または、[外注契約レポート] (G43D111) の [オーダー改訂履歴の印刷] を選択します。

オーダー改訂履歴レポートを印刷して、オーダー改訂に関する情報を検討できます。このレポートには、以下の情報が表示されます。

- 各明細行に対する改訂回数
- 前回の明細行改訂
- 全ての明細行の改訂履歴

## オーダー改訂履歴レポート (R43535) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 表示

以下の処理オプションを使用して、オーダー改訂履歴レポート (R43535) での情報の表示方法を指定します。

#### 1. 改訂番号の指定

改訂番号を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：全ての改訂番号が表示されます。

\*: 最新の改訂番号のみ表示されます。

## 2. 印刷行の指定

印刷する行を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：変更された行のみ印刷されます。

1: 改訂を構成する全ての行が印刷されます。

## 3. 行履歴の印刷

印刷される各明細行の全ての履歴レコードを印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：全ての履歴レコードが印刷されません。

1: 印刷される各明細行の全ての履歴レコードが印刷されます。

## 第 14 章

# 承認処理

この章では、承認処理の概要と以下の方法について説明します。

- 承認経路の利用
- 承認待ちオーダーの利用
- オーダーの承認または却下
- 承認処理のフィールド固定情報の設定

---

## 承認処理について

会社によっては、購入する品目やサービスについて承認を得るよう義務づけられている場合があります。購買オーダー、外注オーダー、購買要求、一括オーダーなどを入力した後、システム処理を実行する前にそのオーダーに対し適切な権限を持った部署から承認を得るように設定できます。この承認により、許可されていない品目の購入を防ぐことができます。

ユーザーの所属する部署や購入金額によって、入力するオーダーに対して別の担当者の承認が必要になる場合があります。その場合は、オーダーを承認する担当者を指定して承認経路を設定します。その後、承認経路をオーダーに割り当てます。

オーダーを入力した担当者はオーダーの現行状況を確認できます。この状況を参照すると、承認待ちオーダーの承認担当者やオーダーを既に承認した担当者を把握できます。オーダーが完全に承認または却下された場合は、メッセージが送信されます。

オーダー承認担当者は、承認待ちオーダーを全て検討した上で、承認か却下を選択できます。オーダーの承認や却下に対して説明を付けることも可能です。

購買サイクルを設定する際は、承認が必要なオーダー タイプ (購買オーダー、外注オーダー、購買要求など) を指定します。オーダー タイプごとにオーダー処理順序定義を設定して、承認処理を組み込んでください。

オーダー承認履歴情報は F4209 テーブルに保管されます。

参照: [第 6 章、「調達管理システムの設定」、「オーダー処理順序定義の設定」、33ページ](#)

---

## 承認経路の利用

このセクションでは、承認経路の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 承認レベルの改訂 (P43008) の処理オプションの設定

- 承認経路の作成
- 承認権限の委任

## 承認経路について

会社によっては、購入する品目やサービスについて、承認を得るよう義務づけている場合があります。承認経路を作成してオーダーに割り当てると、購買オーダーが適切な担当者により必ず承認されるように設定できます。

オーダーの承認担当者は、所属部署や購買品目によって異なることがあります。異なる担当者グループで構成される複数の承認経路を作成できます。各経路は購買オーダー、外注オーダー、購買要求など、特定のオーダータイプに対応させてください。複数の承認経路に割り当てられた担当者が退職したり、休暇を取った場合には、別の担当者に承認権限を委任できます。

承認経路を作成したら、それをオーダーに割り当てることができます。オーダーが完全に承認されるまでは、次の処理に進むことはできません。

### 承認経路の作成

承認経路を設定して、オーダーの承認担当者を指定する必要があります。承認経路をオーダーに割り当てると、その経路の担当者が承認するまでオーダーは処理されません。それにより、確実に全ての購買オーダーが、適切な担当者によって承認されるようになります。

オーダーの承認担当者が、所属部署や購買品目などによって異なることがあります。異なる担当者グループからなる複数の承認経路を作成できます。

購買品目やサービスの原価によっては、複数の担当者からオーダーに対する承認を得る必要がある場合もあります。承認経路に組み込む各担当者に対して、それぞれの承認が必要となる金額基準を指定する必要があります。担当者は、金額が小さい順に入力します。以下に、承認経路 A の承認の例を示します。

承認金額	担当者
100	ドワイトエイキン
1,000	レイアレン
5,000	ドミニクアボット

承認経路 A ではオーダー金額に応じて次のように処理されます。

- 100.00 未満の金額は自動的に承認される。
- 100.00 以上の金額はドワイト エイキンの承認が必要。
- 1,000.00 以上の金額はドワイト エイキンおよびレイ アレンの承認が必要。
- 5,000.00 以上の金額は 3 人全員の承認が必要。

担当者の承認金額を変更しても、一時保留となっている承認には影響ありません。

承認経路で定義された担当者をとばして次の担当者に進むこともできます。たとえば上の例を使うと、ドミニク アボットは、ドワイト エイキンまたはレイ アレンの前に全てのオーダーを承認し、それまでの承認処理を省くことができます。



承認担当者の誰か 1 人がオーダーを承認する時間がなくても他の担当者が承認できるように、複数の人物に同じ承認金額を割り当てると便利です。どの担当者でもオーダーを承認できますが、承認経路の 1 番目の担当者（住所番号が一番小さい担当者）のみが、オーダー承認待ちのメッセージを受け取ります。テーブルには 1 人の担当者は 1 度しか表示されません。

予算超過のために保留状態になっているオーダーをリリースするために、予算承認担当者を承認経路に割り当てる場合もあります。予算承認者は、承認経路にある他の担当者がオーダーを承認する前にオーダーを承認し保留をリリースする必要があります。オーダーが予算保留状態でない場合は、予算承認者をスキップして、承認経路の最初の担当者に進めます。

入力した承認経路には、それぞれ固有の名称を付ける必要があります。また、それぞれの承認経路で承認するオーダータイプ（購買オーダー、外注オーダー、購買要求、一括オーダーなど）も指定してください。

承認待ちのオーダーがある場合、各担当者および承認経路への通知には電子メールが使用されます。承認経路に登録された名前の順に通知が送信されます。

承認経路の担当者を削除または追加すると、一時保留となっている承認要求は別の適切な担当者に再度割り当てられますが、電子メール メッセージは再送信されません。

### 承認経路割り当て

承認経路を作成した後は、適切な担当者からオーダーが承認を得られるように承認経路を割り当てます。オーダーが完全に承認されるまでは、処理を先に進めることができません。

承認経路はオーダーを入力する前にオーダーに割り当てます。処理オプションを使用して、特定の承認経路を入力したり、承認経路情報の取り込み元を指定できます。以下の取り込み元を指定できます。

- オーダーを入力する担当者のユーザー プロファイル
- オーダーを入力する担当者の住所録レコード
- 事業所固定情報
- デフォルト事業所およびプリンタ

ユーザー プロファイルや住所録を指定した場合、承認経路の決定にはユーザーの ID 番号か住所番号が使用されます。この場合、各ユーザーに対して個別の経路を作成してください。この方法は、各ユーザーに固有の承認経路が必要な場合に使用します。

ある事業所で生成されるほとんどのオーダーに同じ担当者の承認が必要な場合、事業所固定情報から承認経路を取り込むことができます。また、デフォルト事業所およびプリンタ情報を入力する際に、各ユーザーに基本承認経路を割り当てすることもできます。

承認経路はオーダー レベルでは適用できますが、明細行レベルでは使用できません。たとえば、オーダーの全ての品目やサービスは、オーダーが処理される前に承認される必要があります。オーダーを入力した後は、割り当てた承認経路の変更はできません。

### 承認権限の委任

オーダーの承認担当者を指定するには、承認経路を作成する必要があります。特定の担当者が一定額以上のオーダー全てに対する承認責任者である場合は、その担当者を複数の承認経路に割り当てることがあります。

承認権限は、別の担当者に委任することができます。これは担当者が退職したり、休暇を取ったりする場合に実行します。承認権限を委任すると、該当する担当者が現在組み込まれている承認経路が恒久的に変更されます。

承認権限は、同じ承認経路に既に設定されている担当者には委任できません。ただし、担当者の承認権限を、その承認経路に新たに割り当てられた担当者に委任すると、その時点で一時保留となっている承認は新たな担当者に割り当てられますが、電子メール メッセージは再送信されません。

## 事前設定

承認経路の作成前に、以下の作業を行う必要があります。

- 承認経路に入力する各担当者のユーザー ID と住所番号の両方が設定されていることを確認してください。
- 各承認経路の承認者と承認権限を確定してください。
- 該当するオーダー タイプのオーダー処理順序定義に承認処理を組み込んでください。
- 承認経路を事業所に割り当ててください。

## 承認経路の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[承認レベル改訂の処理]	W43008A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[承認レベルの改訂]  [オーダー生成/承認/リリース](G43D13)、[承認レベルの改訂]	承認経路を作成します。
[承認レベルの改訂]	W43008C	[承認レベル改訂の処理]で、[追加] ボタンをクリックします。	承認レベルを追加または修正します。
[承認委任の処理]	W43280A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[承認の委任]  [オーダー生成/承認/リリース](G43D13)、[承認の委任]	承認委任の処理を行います。
[承認の委任]	W43280C	[承認委任の処理] フォームで承認者および承認経路を選択し、[選択] ボタンをクリックします。	承認権限を委任します。

## 承認レベルの改訂 (P43008) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

1. **オーダータイプ**      オーダー タイプを識別するコードを入力します。たとえば、受注オーダーの場合は「SO」と入力します。

## 承認経路の作成

[承認レベルの改訂] フォームにアクセスします。

- [承認下限額]**      オーダーの承認において、当該承認者が承認を担当する金額範囲の下限額を入力します。“予算” というメッセージは、当該承認者が予算承認者であることを示します。

[担当者 /] 住所を表すテキストを入力します。40 文字まで入力できるこのフィールドは、いくつかのフォームおよびレポートに表示されます。ダッシュ、カンマ、およびその他の特殊文字を入力できますが、このフィールドを使用して名前を検索する際にこれらの文字を検索することはできません。

## 承認権限の委任

[承認委任の処理] フォームにアクセスします。

委任元となる担当者（承認者）が現在割り当てられている全ての承認経路を検討し、権限を委任する承認経路を選択します。[承認の委任] で、権限の委任先となる個人を指定します。

---

## 承認待ちオーダーの処理

このセクションでは、承認メッセージと承認待ちオーダーの概要と以下の方法について説明します。

- オーダーに対する承認メッセージの検討
- 購買オーダー承認 (P43081) の処理オプションの設定
- 承認待ちオーダーの検討

### 承認メッセージと承認待ちオーダーについて

承認待ちのオーダーを全て検索して、承認または却下の検討が必要なオーダーを選択できます。品目およびサービスの購買を許可するには、オーダーの承認が必要です。購買を承認しない場合は、オーダーを却下できます。

オーダーを承認すると、そのオーダーは承認済み状況に更新されるか、または承認経路の次の担当者に送られます。オーダーが却下されると、オーダーの入力者に却下メッセージが返信され、オーダーの処理はそれ以上実行されません。

オーダーの入力者は、全てのオーダーの状況（承認、却下、保留）を検討できます。オーダーが却下された場合、オーダーに修正を加えて再度承認依頼を出すことができます。オーダーが一時保留になった場合は、次の承認担当者を調べて、その担当者から承認が得られるかどうかを確認できます。

特定のオーダーに担当者の承認が必要になった場合、その担当者には電子メールが送信されます。作成したオーダーが承認または却下された場合も、作成者に電子メールが送信されます。

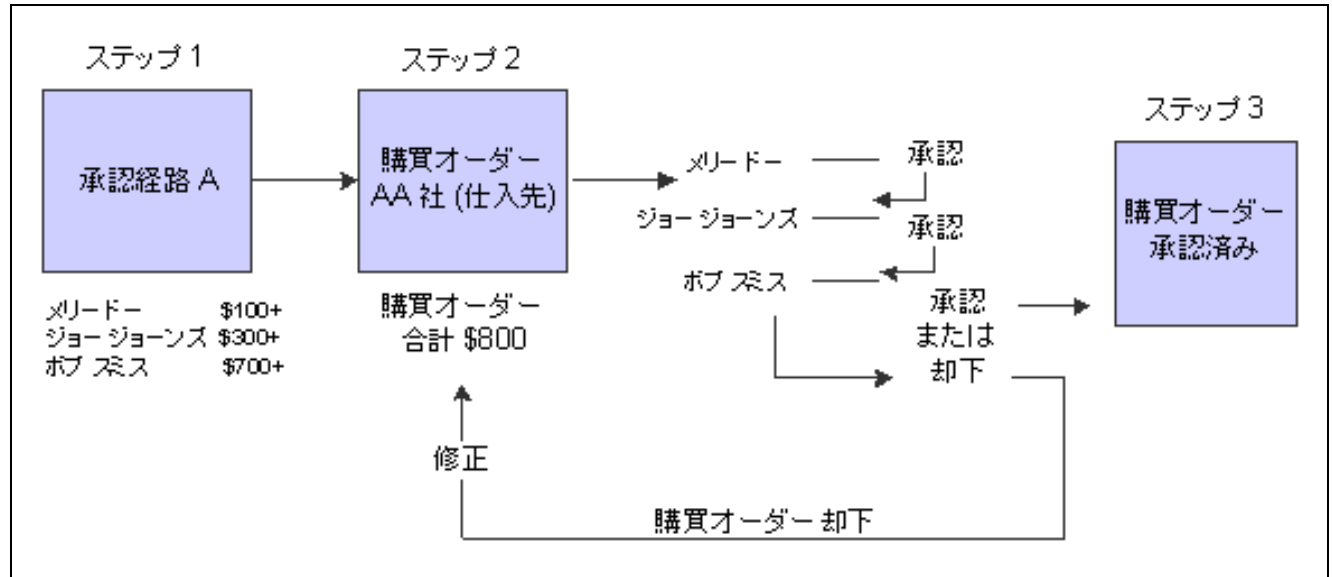
### オーダーに対する承認メッセージ

割り当てられた承認経路と共にオーダーを入力すると、そのオーダーの承認担当者に通知が送られます。承認経路の最初の担当者に、承認を必要とするオーダーがあることが電子メールで通知されます。担当者がオーダーを承認すると、次の処理が実行されます。

- そのオーダーの次の承認担当者にメッセージが送信される。
- 他の承認が必要でない場合は、オーダーを承認済み状況に更新し、オーダー入力者に承認メッセージが送信される。

オーダーが却下された場合は、オーダー入力者に却下メッセージが送信されます。入力者がオーダーを修正した場合、承認処理は始めからやり直されます。

全社的に EnterpriseOne の電子メール システムを使用していなくても、承認処理に電子メール メッセージ (E メール) を使用できます。承認処理のために特別に設定された電子メール フォームか、メールボックスで受信する電子メール フォームのどちらからでも、メッセージにアクセスできます。承認処理の電子メール フォームを使用する場合、処理オプションによりフォームに表示するメールボックスを選択できます。次の図は、承認処理を示しています。



## 承認経路の処理

**承認待ちオーダー**

承認待ちのオーダーを全て検索し、承認または却下の検討が必要なオーダーを選択できます。また、自分が入力したオーダーを全て検索して、承認、却下、一時保留のうちどの状況になっているかを検討できます。

オーダーを検索するには住所番号を使用します。オーダーの経過日付で検索し、早急に検討が必要なオーダーを検索することもできます。オーダーを最初に入力する場合に、承認済みあるいは却下済みのオーダーのみを表示するように指定することもできます。

オーダーの状況集計にアクセスして、オーダーの承認者や処理の履歴を参照できます。次のような担当者で識別できます。

- ・ オーダーを承認した担当者
- ・ オーダーをまだ承認していない担当者
- ・ オーダーを却下した担当者
- ・ 上位レベルの承認担当者により承認処理から省かれた担当者

予算保留となっているオーダーの状況集計を検討するには、購買オーダー承認プログラム (P43081) の処理オプションで予算保留コードを指定してください。

## 承認待ちオーダーの処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[承認待ちオーダーの処理]	W43081A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[承認待ちオーダー]  [オーダー生成/承認/リリース](G43D13)、[承認待ちオーダー]	承認待ちオーダーの処理を行います。
[承認状況サマリーの処理]	W43081C	[承認待ちオーダーの処理] フォームで、オーダーを選択し、[ロー]メニューから[承認状況サマリー]を選択します。	オーダーの現行状況を表示します。

## オーダーに対する承認メッセージの検討

[オーダーの生成/承認/リリース] (G43A13) の [承認通知の検討] を選択します。

または、[オーダー生成/承認/リリース] (G43D13) の [承認通知の検討] を選択します。

## 購買オーダー承認 (P43081) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、承認情報の処理方法を指定します。

- 承認待ち状況** 当該オーダー タイプの処理サイクルにおける次の標準的なステップを指定するユーザー定義コード (40/AT) を入力します。処理サイクルのステップは、[オーダー処理順序定義] フォームで設定します。
- 承認済み状況** 行タイプのオーダー フローにおける次のステップを指定するユーザー定義コード (40/AT) を入力します。
- 却下状況** 処理サイクルにおいて当該オーダー行が正常に完了した最後のステップを指定するユーザー定義コード (40/AT) を入力します。
- 予算保留コード** オーダーが予算保留中である理由を示すユーザー定義コード (42/HC) を入力します。
- 承認保留コード** オーダーが保留中である理由を示すユーザー定義コード (42/HC) を入力します。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、承認処理で使用するデフォルト値を指定します。

- オーダータイプ** 伝票タイプを識別するユーザー定義コード (00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの起点も指定します。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードがあり、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプは変更しないでください。

P: 買掛金伝票  
 R: 売掛金伝票  
 T: 給与計算伝票  
 I: 在庫伝票  
 O: 購買オーダー処理伝票  
 J: 一般会計/共有利息請求伝票  
 S: 受注オーダー処理伝票

2. 住所番号を入力できないようにする場合は 1 を入力してください。他のユーザーが住所番号を入力または変更できないようにするためのコードを入力します。

## バージョン

以下の処理オプションを使用して、承認処理で使用されるプログラムの代替バージョンを指定します。

- |                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| 1. 購買オーダー入力 (P4310)    | オーダー入力プログラムの代替バージョンを入力します。       |
| 2. 予実対比 (P09210)       | 予実対比プログラムの代替バージョンを入力します。         |
| 3. 保留オーダーリリース (P43070) | 保留オーダー リリース プログラムの代替バージョンを入力します。 |
| 4. 発注残照会 (P4310)       | 発注残照会プログラムの代替バージョンを入力します。        |

## 承認待ちオーダーの検討

[承認待ちオーダーの処理] フォームにアクセスします。

[指定日付以前のオーダー] 表示されるオーダー数を制限するオーダーの経過日数を入力します。  
 オーダー経過日数は、オーダー日付と今日の日付の差（日数）です。入力された数以上の日数が経過しているオーダーのみ表示されます。  
 たとえば、今日が 1998 年 5 月 15 日で、以下のオーダーが存在するとします。

5 月 15 日 - オーダー番号 104

5 月 14 日 - オーダー番号 103

5 月 13 日 - オーダー番号 102

このフィールドを空白にすると、全てのオーダーが表示されます。「1」を入力すると、オーダー 103 および 102 のみ表示されます。

[指定日付以上待ちオーダー] 表示されるオーダー数を制限するオーダーの承認待ち日数を入力します。  
 このフィールドに数値を入力すると、承認待ち状態の日数が指定された日数以上であるオーダーのみ表示されます。

以下のいずれかのイベントが実行されたときに、承認処理が発生します。

- オーダーが入力された（最初の入力）。
- オーダーが承認された。

- オーダーが却下された。
- オーダーが修正された。

#### [承認待ち行列]

オーダーの状況が表示されます。承認処理により、オーダーの状況が以下のように決まります。

- 承認待ち行列 - 承認が必要なオーダーが表示されます。承認者が、承認が必要なオーダーを照会するときに使用します。
- 承認待ち - まだ承認されていないオーダーが表示されます。オーダーの入力者が、オーダーの状況を照会するときに使用します。
- 承認済み - 承認されたオーダーが表示されます。オーダーの入力者が、オーダーの状況を照会するときに使用します。
- 却下 - 却下されたオーダーが表示されます。オーダーの入力者が、オーダーの状況を照会するときに使用します。

---

## オーダーの承認と却下

このセクションでは、オーダーの承認と却下の概要、事前設定、およびオーダーの承認と却下の方法について説明します。

### オーダーの承認と却下について

品目およびサービスの購買を許可するには、オーダーの承認が必要です。オーダーの全ての明細行について承認すると、そのオーダーの処理が開始されます。オーダー処理をキャンセルする場合は、オーダー明細行を却下できます。また、明細行の却下についての説明を付けることもできます。

オーダーを最終承認または却下すると、そのオーダーの入力者にメッセージが送信されます。入力者は却下されたオーダーに修正を加えて、再度承認を依頼できます。修正された明細行の行頭には、マーク(>)が付くので容易に認識できます。

却下の説明を付ける方法はいくつかあります。以下の処理を実行できます。

- 各却下内容について説明する最高 8 つまでのカテゴリを定義する。
- オーダー全体に対して簡単な備考を入力する。
- 各明細行に対して簡単な備考を入力する。
- オーダーに対してテキストを入力する。
- 明細行に対してテキストを入力する。

ユーザー自身が予算承認者である場合、システムが処理を続行する前に、承認の検討プログラム (P43081) で予算保留のオーダーを承認し、リリースしてください。

### 事前設定

[承認/却下の理由] フォームで、該当するユーザー定義コードの定義とカラム見出しを作成してください。

## オーダーの承認または却下に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[承認待ちオーダーの処理]	W43081A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[承認の検討]  [オーダー生成/承認/リリース](G43D13)、[承認の検討]	承認待ちオーダーの処理を行います。
[購買要求の承認]	W43081B	[承認待ちオーダーの処理] フォームで、オーダーを選択し、[ロー]メニューから[承認の検討]を選択します。	オーダーを承認または却下します。

## オーダーの承認と却下

[承認待ちオーダーの処理] フォームにアクセスします。

## 承認処理のフィールド固定情報の設定

このセクションでは、承認処理のフィールド固定情報の概要、事前設定、および承認処理のフィールド固定情報の設定方法について説明します。

### 承認処理のフィールド固定情報について

オーダー明細行の承認が終わった後で、明細行が変更された場合に再度承認が必要になるように設定しておく必要があります。システム管理者から適切な権限を取得していれば、承認フィールド固定情報プログラム (P43080) を使用して、承認済み状況のオーダー明細行に変更があった場合に、承認処理中に全ての未処理オーダー行に対して再度承認処理を実行するトリガとなるフィールドを指定できます。適切なフィールドをアクティブ化または非アクティブ化することで、再承認の開始を決定するフィールドを指定できます。

アクティブ化/非アクティブ化できるフィールドは、F4311 テーブルと F43080 テーブルに含まれています。

再承認機能は、購買オーダー入力プログラム (P4310) の [一時変更用「次の状況」] 処理オプションと関連付けられていません。一時変更用「次の状況」を指定して承認処理を行う場合、予期しない結果が発生する場合があります。一時変更用「次の状況」がビジネス プロセスに適していることを確認してください。

### 事前設定

購買オーダー プログラム (P4310) の処理オプションの [承認] タブで承認処理を有効にしてください。



## 承認処理のフィールド固定情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[承認必須フィールド]	W43080A	[調達管理システム・セットアップ](G43A41)、[承認必須フィールド]	必須フィールドを承認します。

## 承認処理のフィールド固定情報の設定

[承認必須フィールド] フォームにアクセスします。

**[すべてのフィールドを表示する]**

詳細グリッドに特定のフィールドを表示するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、対応するフィールドが表示されます。

**[トリガー・フィールドを表示する]**

詳細グリッドに特定のフィールドを表示するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、対応するフィールドが表示されます。

**[非トリガー・フィールドを表示する]**

詳細グリッドに特定のフィールドを表示するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、対応するフィールドが表示されます。



## 第 15 章

# 入荷工程

(注: 日本語版で対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、入荷工程の概要と、以下の方法について説明します。

- 入荷工程の作成
- 品目除去に対する支払適格性の定義
- 入荷工程のアクティブ化
- 抜き取り検査要件と品目仕様の定義
- 入荷工程の品目処理
- (Rapid Start CAN and USA) Match purchase order receipts for transfer order with receipt routing
- 入荷工程からの品目の除去
- 入荷工程品目履歴の検討

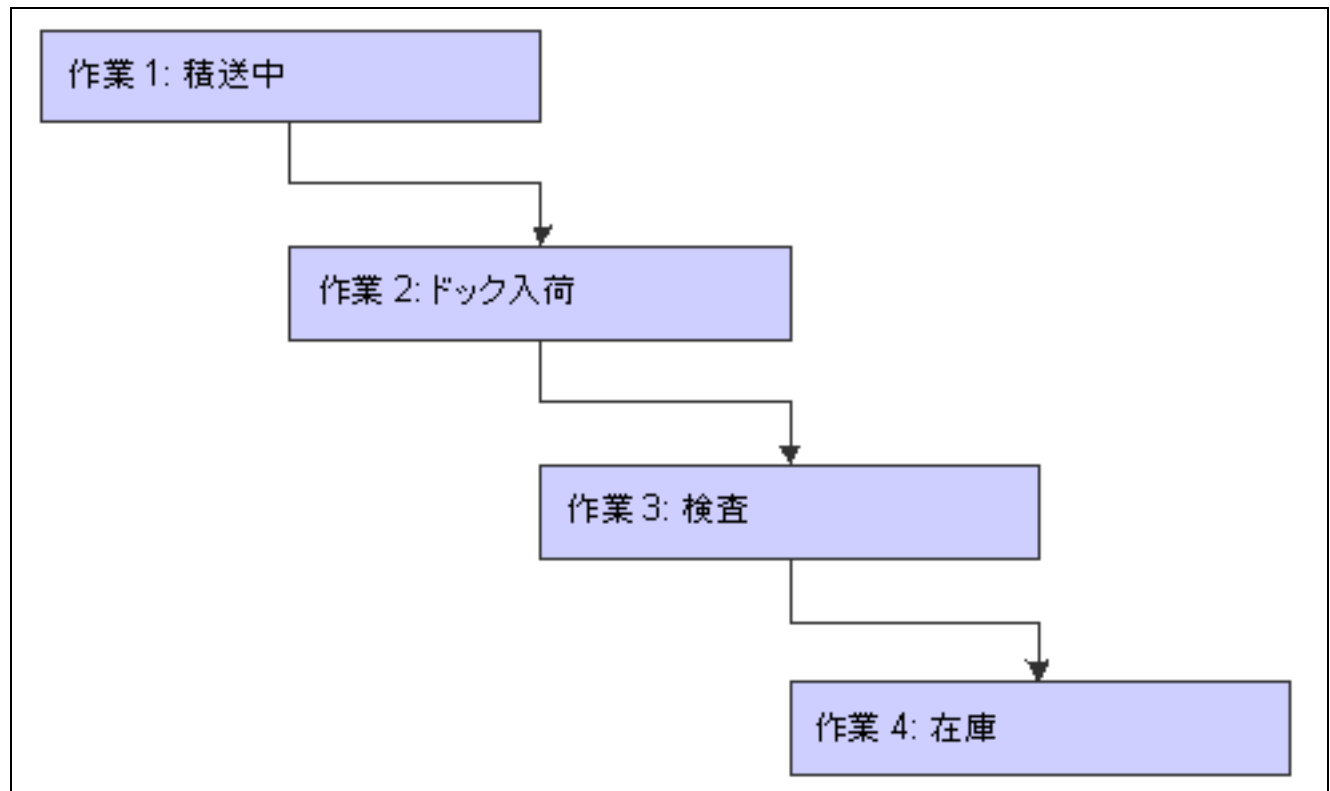
---

## 入荷工程について

仕入先の倉庫から出庫された時点から自社の倉庫に入庫するまで、発注した品目をトラッキングをする場合があります。入荷作業によって、ドック、経由保管区域、検査など、複数の場所を経由することもあります。

入荷工程の一連の作業で、品目のトラッキングや移動を行うには入荷工程処理を使用します。

各入荷工程を構成する作業を定義します。また、入荷工程で品目を処理する際に実行されるロジスティクスおよび会計処理の更新も確定する必要があります。作成した入荷工程は、品目の仕入先に基づいて品目に割り当てることができます。次の図は、一般的な入荷工程を表します。



入荷工程の例

品目の入荷を入力するたびに、入荷工程の最初の作業に品目が送られます。品目は入荷工程の次の作業に入力する必要があります。各作業中に、次のような処理を実行できます。

- 返品や却下などによる品目の工程からの除去
- 返品する品目に対する代替オーダーの自動作成

## 入荷工程の作成

このセクションでは、作業の定義と入荷工程の品目に対する仕訳作成の概要、事前設定、および入荷工程の作成方法について説明します。

### 作業の定義について

仕入先の倉庫を出庫した時点から品目をモニタリングできます。入荷工程を作成して、品目が自社在庫の一部となるまでの一連の作業を確定します。

各入荷工程を構成する作業を定義します。また、各作業に品目を移行する際に発生する更新も確定してください。たとえば、品目が手持ちとなる時点の作業を指定するとします。その作業に品目を投入すると、システムが仕訳を作成して、在庫された品目が反映されます。続いて、伝票を作成して支払を処理できます。

システムを設定して、品目を入荷工程の作業に投入、または作業から移動するたびに仕訳を作成できます。こうすれば、作業ごとに品目の原価が総勘定元帳に反映されます。たとえば、ドックにある品目の原価を総勘定元帳に反映させる場合などに使用します。

入荷工程を作成する際に、工程から除去（処分）する品目について、処分理由に基づいて支払を行うかどうかを指定します。たとえば、再作業をした品目には支払を実行し、返品する品目には実行しない場合があります。

入荷工程は入荷した品目を処理する一連の作業です。これには次のような作業が含まれます。

- 運送
- ドック
- 経由保管区域
- 検査
- 保管

入荷工程を作成するには、工程に組み込む作業の定義付けが必要です。たとえば、経由保管区域と在庫の 2 つの作業からなる入荷工程や、経由保管区域、検査、在庫の 3 つの作業で構成される入荷工程などを作成できます。

次のような処理を行う作業段階を指定することにより、入荷工程で品目を処理する際に実行される更新を確定します。

- 品目が約束可能である
- 品目が仕入先パフォーマンスの目的で入荷される
- 品目が手持状況である

[入荷工程コードの処理] フォームの各更新フィールドは、F41021 テーブルのフィールドを表します。在庫品目残高はこのテーブルで管理されます。入荷工程のどの時点の作業でも品目引当可能数量を更新できます。たとえば、品目が在庫になるのを待たずに、ドックに到着した時点で品目を顧客に配送約束する（受注オーダーを入力する）機能を使用する場合などです。

[事業所固定情報] フォームから [品目引当可能数量の定義] フォームにアクセスし、品目引当可能数量を計算する際に使用するフィールドを指定します。たとえば、[取扱数量の更新] フィールドの残高を現行手持数量に加えて引当可能数量を計算するよう指定できます。

品目の入荷日付が記録される作業段階を指定する必要があります。たとえば、品目がドックに着いた段階で入荷日付を記録できます。実際の入荷日付と、仕入先が回答した納期を比較し、仕入先のパフォーマンスを評価することが可能です。

どの作業で品目が支払の対象となるのかを指定する必要があります。品目を支払対象の作業に移行すると、品目に対する債務を反映する仕訳が作成されて品目に支払伝票を作成できます。また、以下の情報も更新されます。

- 品目原価
- 陸揚費用
- 原価差異
- 品目トランザクション履歴

## 入荷工程の品目に対する仕訳作成について

品目の原価が総勘定元帳に反映されるように、入荷工程にある品目の仕訳をいつ作成するかを決定します。支払の対象となる作業または入荷工程の最終作業に品目を投入すると、自動的に仕訳が作成されます。

システムを設定して、品目を入荷工程の作業に投入するか、または作業から移動するたびに仕訳を作成できます。こうすれば、総勘定元帳には作業ごとに品目の原価が反映されます。たとえば、ドックにある品目の原価を総勘定元帳に反映させる場合などに使用します。

最終作業でのみ仕訳を作成する場合を除き、仕訳を作成する元帳カテゴリを作業ごとに入力する必要があります。元帳クラスにより、工程作業 AAI テーブルからどの勘定科目を読み込むかをシステムに指示します。この勘定科目に次の内容を記録します。

- 作業に移動した品目原価を借方に記入
- 作業から移動した品目原価を貸方に記入

支払の対象となる作業の直前の作業に入った段階で、仕訳を自動作成できます。たとえば、在庫となるまでは支払の対象ではないが、ドックにある品目の原価を総勘定元帳に反映させる場合などです。まだ支払の対象とならない品目の会計処理は、次のように実行されます。

- 工程作業の勘定科目に借方入力して、その作業段階にある品目を反映させる
- 「入荷完了前」という負債勘定科目に貸方入力して、暫定的な負債を反映させる

支払対象の作業に品目を投入すると、(貸) 入荷請求仮勘定に仕訳が作成されます。借方への記入は次のようになります。

- 棚卸資産勘定 (支払対象の作業が最終ステップで、仕訳が一度も作成されていない場合)
- 「入荷/完了前」という負債勘定 (支払対象の作業より前にこの勘定科目に貸方入力があった場合)
- 作業工程勘定 (支払対象の作業で初めて仕訳が作成される場合)

入荷工程の最終作業に品目を投入すると、(借) 棚卸資産勘定の借方に仕訳が計上されて在庫品の資産価値が反映されます。貸方への記入は次のようになります。

- 入荷請求仮勘定 (支払対象の作業が最終ステップで、仕訳が一度も作成されていない場合)
- 作業工程勘定 (品目が以前に別の作業の借方に記入済みの場合)

入荷工程にある品目について伝票を作成すると、支払対象の作業よりも前の作業ステップに品目を戻すことはできません。たとえば、入荷工程にはドック、検査、入庫作業があります。検査ステップでは品目は支払の対象となります。伝票を作成した後は、それに対して戻し (逆仕訳) を作成しない限り、品目をドック工程には戻せません。

支払対象の作業に品目を投入したら、支払伝票を作成できます。伝票を作成すると、入荷請求仮勘定の相手科目に仕訳が作成されます。その項目を総勘定元帳に転記すると、買掛金勘定の貸方に計上されます。

### 関連項目:

第 12 章、「伝票の作成」、「伝票トランザクションに対する仕訳の検討と転記」、311 ページ

## 事前設定

入荷工程を作成する前に、次の処理を実行してください。

- ユーザー定義コード (UDC) テーブル 43/RC に入荷工程コードを設定する
- UDC テーブル 43/OC に作業コードを設定する

## 入荷工程の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入荷工程コードの処理]	W43091B	[入荷工程] (G43A14)、[入荷工程の定義]	入荷工程コードを処理します。
[入荷工程の定義]	W43091D	[入荷工程コードの処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	入荷工程の作業を定義します。

## 入荷工程の作成

[入荷工程コードの処理] フォームにアクセスします。

- [工程コード]** 入荷工程の工程を識別する UDC (43/RC) の値を入力します。各入荷工程は、入荷時に品目に対して行われる一連の作業で構成されます。
- [作業順序]** 工程の作業またはステップの実行順序を入力します。
- [作業コード]** 入荷工程内の作業またはステップを表す UDC (43/OC) の値を入力します。
- [積送中数量更新]** 数量がこの作業に移動したらすぐに F41021 テーブルの [積送中数量] フィールドを更新するかどうかを示す値を入力します。  
工程コードについては、このカラムに 1 回だけ Y を入力できます。
- [検収中数量更新]** 数量がこの作業に移動したらすぐに F41021 テーブルの [検収中数量] フィールドを更新するかどうかを示す値を入力します。  
このカラムには、工程ごとに 1 回だけ「Y」を入力できます。
- [作業 1 更新]、[作業 2 更新]** 数量がこの作業に移動したらすぐに F41021 テーブルの [作業 1 数量] フィールドを更新するかどうかを示す値を入力します。  
このカラムには、工程コードごとに 1 回だけ「Y」を入力できます。
- [手持数量更新]** 数量がこの作業に移動したらすぐに F41021 テーブルの [手持数量] フィールドを更新するかどうかを示す値を入力します。  
最後の作業でのみ、「Y」を入力できます。
- [入荷承認]** どの作業で入荷工程の品目に対する入荷日付を記録するかを決定するコードを入力します。入荷日付に基づいて、仕入先パフォーマンス情報（品目のリードタイム日数や定刻納入など）が計算されます。  
このカラムには、工程ごとに 1 回だけ「Y」を入力できます。
- [支払]** どの作業で商品が支払の対象となるのかを示します。手持残高の更新時と同じ作業に対して [支払] フィールドが自動更新されます。数量をこの作業に移動すると、入荷確認テーブル (F43121) の未処理数量と未決済金額が更新されます。それにより、未処理数量と未決済金額を伝票突合せプログラムで伝票入力できるようになります。このフィールドは、数量が入荷工程処理外で処分される場合にその数量が支払の対象となっているかどうかを判断するために使用されます。各数量処分には、独自の設定があります。これは入荷工程の最終作業である必要があります。作業が発生する予定の順序と作業を入力する順序が異なる場合、順序番号を入力できます。

注: このカラムには、工程ごとに 1 回だけ「Y」を入力できます。

## 品目除去に対する支払適格性の定義

このセクションでは、品目除去の概要と、品目除去に対する支払適格性の定義方法について説明します。

### 品目除去について

入荷工程で品目の返品、再作業、仕損、却下、調整が必要になることがあります。入荷工程を作成する際、入荷工程から除去（処分）した品目に対して支払を実行するかどうかを、その理由を基準に指定します。たとえば、再作業する品目には支払を実行し、返品する品目には支払を行わないなどと指定します。

品目が支払対象となる除去カテゴリ（返品、再作業、仕損、却下、調整）を指定してください。たとえば「仕損」を支払対象に指定した場合、仕損品に分類した品目に対して代金を支払う必要があります。

入荷工程から除去した品目が支払対象である場合、品目の債務を計上する仕訳が作成されます。除去カテゴリに対して指定した元帳クラスに基づいて、貸方に入荷請求仮勘定の仕訳が、借方に処分勘定の仕訳がそれぞれ作成されます。

### 品目除去に対する支払適格性の定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入荷工程の定義]	W43091D	[入荷工程コードの処理] フォームで入荷工程を選択して、[選択] ボタンをクリックします。	入荷工程定義の検討と変更を行います。
[工程報告の設定]	W43DAC	[入荷工程の定義] フォームの [フォーム] メニューから [処分設定] を選択します。	品目除去に対する支払適格性を定義します。

### 品目除去に対する支払適格性の定義

[入荷工程の定義] フォームにアクセスします。

## 入荷工程のアクティブ化

このセクションでは、入荷工程アクティブ化の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 仕入先/品目関係 (P43090) の処理オプションの設定
- 品目に対する入荷工程の割当て

### 入荷工程のアクティブ化について

入荷工程を使用することにより、入荷した品目の状況をモニタリングし、いつ品目が出庫可能になるかを判断できます。入荷工程をアクティブにするには、次の処理を実行してください。

- 品目に対する入荷工程の割当て



### ・ 入荷工程の開始

入荷工程を品目に割り当てて、運送や準備、検査、在庫など、入荷時に行う作業を確定します。入荷工程で品目进行处理するには、入荷工程をアクティブにする必要があります。

標準入荷工程と代替入荷工程の両方を 1 つの品目に割り当てることができます。品目を入荷すると、代替入荷工程を指定していない限り標準入荷工程に品目が送られます。代替入荷工程は、システムが断続的に品目を送る工程です。たとえば、5 回ごとに入荷を検査する場合、代替工程を品目に割り当てることができます。

日数や入荷数量によって異なった作業を経由する必要がある品目には、代替入荷工程を割り当てする必要があります。たとえば、入荷の 5 回に 1 回は検査作業を経由する品目には、代替入荷工程を割り当てることができます。入荷工程は、品目の仕入先に基づいて割り当ててください。

代替入荷工程に品目を入力するのに必要となる数量やパーセントを指定できます。検査用の抜き取り検査要件や品目仕様などの定義も可能です。

入荷確認プログラムの処理オプションを使用して、入荷工程を開始します。入荷工程を開始すると、入荷の入力時に、割り当てた入荷工程に品目が入力されます。

## 事前設定

入荷工程を作成してください。

## 品目に対する入荷工程の割当てに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[仕入先/品目関係の処理]	W43090A	[入荷工程] (G43A14)、[入荷工程/分析の改訂]	品目の入荷工程を検索し、検討します。
[仕入先/品目関係]	W43090B	[仕入先/品目関係の処理] フォームで品目を選択して、[選択] ボタンをクリックします。	品目に入荷工程を割り当てます。

## 仕入先/品目関係 (P43090) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 処理

以下の処理オプションでは、このアプリケーションのデフォルト値を指定できます。

<b>仕入先品目用の相互参照タイプ (デフォルトは VN)</b>	仕入先品目の相互参照タイプを指定します。デフォルト値は VN です。
<b>標準品目マスター</b>	新規品目の追加時に自動的に標準品目マスター アプリケーションを表示するには、「1」を入力します。
<b>非在庫品目マスター</b>	新規品目の追加時に自動的に非在庫品目マスター アプリケーションを表示するには、「1」を入力します。
<b>仕入先価格</b>	新規品目の追加時に自動的に仕入先価格アプリケーションを表示するには、「1」を入力します。
<b>作業オーダーの完了モード</b>	作業オーダーの完了モードの場合は「1」を入力します。

## バージョン

この処理オプションでは、システムが呼び出す各プログラムのバージョンを入力できます。

**品目マスター (P4101)**      使用する品目マスター プログラム (P4101) のバージョンを入力します。このオプションをblankにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 品目に対する入荷工程の割当て

[仕入先/品目関係] フォームにアクセスします。

**[通常工程コード]**      入荷工程を識別する UDC (43/RC) の値を入力します。各入荷工程は、入荷時に品目に対して行われる一連の作業で構成されます。

**[代替工程コード]**      代替入荷工程を識別する UDC (43/RC) の値を入力します。各入荷工程は、入荷時に品目に対して行われる一連の作業で構成されます。

品目では、通常工程と代替工程を使用できます。品目は、指定した日数または入荷数に基づいて断続的に代替入荷工程で管理されます。

**[工程タイプ・コード]**      品目/仕入先の組み合わせ用の作業工程を限定するコードを入力します。

**[頻度日数]**      日数に基づいて品目が代替入荷工程に割り当てられる頻度を決定する数値を入力します。たとえば、「3」をこのフィールドに入力します。1998 年 1 月 1 日が代替入荷工程の最終日だった場合、1988 年 1 月 4 日以降に実行された次の入荷は代替入荷工程に割り当てられます。

**[頻度No.]**      入荷に基づいて品目が代替入荷工程に割り当てられる頻度を決定する数値を入力します。たとえば、このフィールドに「5」を入力した場合は、5 回ごとに品目の入荷が代替入荷工程に割り当てられます。

---

## 抜取り検査要件と品目仕様の定義

このセクションでは、抜取り検査要件と品目仕様の概要、事前設定、および抜取り検査要件と品目仕様の定義方法について説明します。

### 抜取り検査要件と品目仕様について

適当な間隔において検査を実行する場合に、代替の入荷工程を品目に割り当てます。品目に代替入荷工程を割り当てると、代替入荷工程で処理を開始するために、入荷する必要のある品目数量を指定できます。また、次のような抜取り検査要件を指定することもできます。

- 入荷品目のうち検査に使用する入荷品目の数量またはパーセント
- 入荷全体が合格となるために、検査に合格する必要のある品目数量またはパーセント

品目の抜取り検査要件を入力した後、仕様または品目についての説明を追加できます。抜取り検査要件と品目仕様は、あくまで参考情報です。品目を入荷工程で次の作業に移すときや入荷工程から除去するときに、この情報を参照できます。

### 事前設定

抜取り検査要件と仕様を定義する品目に対して代替工程を割り当ててください。

## 抜き取り検査要件と品目仕様の定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[サンプルサイズ・テーブルの処理]	W43093B	入荷工程 (G43A14)、[検査基準テーブル]	抜き取り検査要件と品目仕様を検索し、検討します。
[検査/サンプルサイズ・テーブル]	W43093A	[サンプルサイズ・テーブルの処理] フォームで、[追加] ボタンをクリックします。	抜き取り検査要件と品目仕様を定義します。

## 抜き取り検査要件と品目仕様の定義

[検査/サンプルサイズ・テーブル] フォームにアクセスします。

[開始数量]	品目がテスト入荷工程に送られる前に受け取る必要がある品目の数量を入力します。
[サンプル数量]	入荷数量に基づいて入荷工程で検査する必要がある数量を入力します。
[サンプル%]	入荷数量に基づいて検査する必要がある数量のパーセントを入力します。
[合格数量]	全ての数量が承認されるために検査に合格する必要がある数量を入力します。
[合格 %]	全ての数量が承認されるために検査に合格する必要がある数量のパーセントを入力します。

## 入荷工程品目の利用

このセクションでは、品目関連タスクの概要と以下の方法について説明します。

- 入荷工程の移動/処分 (P43250) の処理オプションの設定
- 品目現行作業の検討
- 作業間の品目移動

## 品目関連タスクについて

仕入先の倉庫を出庫した時点から品目をモニタリングできます。たとえば、品目が手持状況に到達するまでに、運送、ドック、経由保管区域、検査といった作業を通して品目を処理できます。

品目の入荷工程により、入荷後に品目が処理される一連の作業が確定されます。たとえば、運送、ドック、検査、在庫の 4 つの作業が入荷工程に含まれる場合、入荷の入力時に品目は運送作業に入力されます。ユーザーは入荷工程の後続作業に、品目を移す必要があります。

また、不適切な品目は入荷工程から除去 (処分) できます。たとえば、検査で不合格となったものを却下する場合などです。この場合は、却下した分の数量が入荷工程から自動的に差し引かれます。品目を返品した場合は、その品目の再発送を要求するオーダーを作成できます。

入荷工程における品目の移行および除去に関する情報を照会できます。たとえば、出荷品目が倉庫に送られる前にドックに置かれていた時間を調べることができます。また、検査に合格しなかった出荷品の数量も照会可能です。

## 作業間の品目移動

品目に割り当てる入荷工程により、入荷時に品目を処理する一連の作業（運送、経由保管、在庫など）が決まります。品目を入荷すると、入荷工程の第 1 作業に入ります。入荷工程に定義された作業の順番に従って品目を移行させます。

品目を移す先の作業は処理オプションで設定できます。たとえば、入荷工程の作業を、経由保管、検査、倉庫の順に設定した場合、他の作業へ品目を移すには次の方法があります。

- 次の作業のみ（たとえば、経由保管から検査、検査から倉庫など）
- 後続の作業のいずれか（たとえば、経由保管から倉庫へ）
- いずれの作業にも移動可能（倉庫から逆に経由保管場所へ）

入荷工程の最終作業に品目を移動すると、品目状況は入荷済み（手持）に更新されます。

## 入荷工程品目の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入荷工程状況の処理]	W43250K	[入荷工程] (G43A14)、[状況照会]	入荷工程状況を処理します。
[入荷工程の移動]	W43250L	[入荷工程状況の処理] フォームで行項目を選択して、[選択] ボタンをクリックします。	作業間で品目を移動します。

## 入荷工程の移動/処分 (P43250) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、入荷工程の移動/処分プログラム (P43250) の操作時にシステムによって使用されるデフォルト情報を定義できます。

1. **オーダー タイプ (任意)** 伝票のタイプを指定します。この UDC (00/DT) はトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、入荷確認書、タイム シートの伝票タイプ コードは予約されていて、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。各伝票タイプに対して、以下のプレフィックスが事前定義されています。これらのプレフィックスは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注オーダー処理伝票

伝票タイプを入力すると、指定した伝票タイプのオーダーだけが表示されます。このフィールドをブランクにすると、全てのオーダーが表示されます。

使用する各種伝票タイプに対応するさまざまなバージョンを作成できます。

## 2. 作業コード (任意)

移動元作業コードを指定します。指定した移動元作業コードを含むオーダーだけが表示されます。この UDC (43/OC) は、入荷工程内の作業またはステップを表します。

## 表示

以下の処理オプションでは、数量を在庫へ移動する作業などの情報を表示するかどうかを指定できます。

### 1. 在庫へ移動する数量

数量を在庫へ移動する作業をプログラムで表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 数量を在庫に移動する作業を表示しません。

1: 数量を在庫に移動する作業を表示します。

数量を在庫へ移動する作業に関する情報は F43091 テーブルから取得されます。[入荷工程の定義] フォームで、数量を在庫へ移動する作業を検討してください。数量を在庫へ移動する作業は、[安全在庫] カラムのチェックマークによって指定されます。

### 2. 出荷および梱包情報の表示

UCC 128 情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: UCC 128 情報が表示されます。

1: UCC 128 情報は表示されません。「1」を入力した場合、[EPC No.] フィールドは表示されません。

## 処理

以下の処理オプションでは、入荷工程の作業に使用する値を指定できます。

### 1. 移動先作業制御

移動先作業として使用される入荷工程の作業を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入荷工程内の次の作業だけを選択できます。

1: 入荷工程内の次の作業だけを選択できます。

2: 入荷工程内の現在の作業または次の作業を選択できます。

3: 入荷工程内の任意の作業を選択できます。

### 2. 「前の状況」コード

置換処理の「前の状況」コードを指定します。購買オーダーで置換品目のオーダー行を追加する場合は、新規オーダー行の「前の状況」コードを入力できます。

この処理オプションを指定する前に、設定済みのオーダー処理順序定義を確認し、置換処理がアクティブになっていることを確認してください。

置換処理がアクティブになっていることを確認するには、[入荷工程履歴の処理] フォームを検討し、[置換] オプションが選択されていることを確認します。[置換] オプションが選択されていない場合は、置換品目の購買オーダーは作成されません。

### 3. 「次の状況」コード

置換処理の「次の状況」コードを指定します。購買オーダーで置換品目のオーダー行を追加する場合は、新規オーダー行の「次の状況」コードを入力できます。

この処理オプションを指定する前に、設定済みのオーダー処理順序定義を確認し、置換処理がアクティブになっていることを確認してください。

置換処理がアクティブになっていることを確認するには、[入荷工程履歴の処理] フォームを検討し、[置換] オプションが選択されていることを確認します。[置換] オプションが選択されていない場合は、置換品目の購買オーダーは作成されません。

#### 4. 置換行タイプ

トランザクションの行の処理方法を指定します。一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。また、行タイプでは、レポートや計算に行を含める条件も指定されます。以下に値の例 ([行タイプ固定情報の改訂] フォームで定義されている値) をいくつか示します。

S: 在庫品目

J: 作業原価、外注、または一般会計への購買

B: 総勘定元帳勘定および品目番号

N: 非在庫品

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

W: 作業オーダー

置換品目を表す新規オーダー行には、指定した行タイプが使用されます。置換処理をアクティブにしない限り、この処理オプションは使用できません。

置換処理がアクティブになっていることを確認するには、[入荷工程履歴の処理] フォームを検討し、[置換] オプションが選択されていることを確認します。[置換] オプションが選択されていない場合は、置換品目の購買オーダーは作成されません。

#### 5. 自重/梱包 No. チェック に使用する関数名

自重番号または梱包番号を検証するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 自重番号または梱包番号は検証されません。

1: 自重番号または梱包番号が検証されます。

#### 6. 与信行タイプ

トランザクションの行の処理方法を指定します。一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。また、行タイプでは、レポートや計算に行を含める条件も指定されます。以下に値の例 ([行タイプ固定情報の改訂] フォームで定義されている値) をいくつか示します。

S: 在庫品目

J: 作業原価、外注、または一般会計への購買

B: 総勘定元帳勘定および品目番号

N: 非在庫品

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

W: 作業オーダー

## 7. オプションのデフォルト

入荷の全明細行を自動的に選択するかどうかを指定します。自動選択にすると、手作業で各明細行を選択する必要がなくなります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入荷の全明細行は自動的に選択されません。

1: 入荷の全明細行が自動的に選択されます。

## バージョン

この処理オプションを使用して、各アプリケーションのバージョンを入力します。ブランクにした場合、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

### 1. 入荷確認 (P4312)

入荷確認プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。数量を在庫に移すように設定されている作業に品目を移動するときには、入荷確認プログラムを使用します。また、このアプリケーションは、バージョンを使用してライセンス プレート情報の処理方法を決定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

### 2. 作業オーダー完了 (P31114)

作業オーダー完了プログラムにアクセスするときに、システムによって使用されるバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

### 3. 入荷確認照会 (P43214)

入荷処理中オーダー プログラムへのロー エグジットを選択する際に使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

### 4. 発注残 (P4310)

発注残プログラムへのロー エグジットを選択する際に使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

### 5. 購買オーダー (P4310)

購買オーダー プログラムへのロー エグジットを選択する際に使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

### 6. 試験結果の改訂 (P3711)

試験結果の改訂プログラムへのロー エグジットを選択する際に使用するバージョンを指定します。バージョンを定義する前に、F43093 テーブルがすでに設定されていることを確認してください。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

### 7. 計画外配送 (P49655)

計画外配送プログラムにアクセスする際に使用するバージョンを指定します。

バージョンの処理オプションを調べて、そのバージョンがニーズに合っていることを確認します。

8. 入荷工程履歴 (P43252) システムによって使用される入荷工程履歴プログラムのバージョンを指定します。

## ワークフロー

1. 処分時の電子メール 品目の処分ごとに自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールは送信されません。

1: 購買オーダー入力者に電子メールを送信します。

購買オーダー入力者の情報は、F4311 テーブルから取得されます。

2. 処分時の電子メール 品目の処分後に自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールは送信されません。

1: プロジェクト管理者に電子メールを送信します。

---

注: これは、製造管理 – 受注設計生産 (エンジニアリング プロジェクト管理) にのみ適用されます。

---

3. 処分時の電子メール 品目の処分後に自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールは送信されません。

1: 購買担当者に電子メールが送信されます。

購買担当者の情報は F4102 テーブルから取得されます。

4. 処分時の電子メール 品目の処分後に自動的に送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールは送信されません。

1: 仕入先に電子メールが送信されます。

仕入先の情報は F4311 テーブルから取得されます。

5. 完了時の電子メール 作業オーダー完了について送信される電子メールの受信者を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 電子メールは送信されません。

1: 計画担当者に電子メールが送信されます。

計画担当者の情報は F4102 テーブルから取得されます。

## インタオペラビリティ

この処理オプションでは、インタオペラビリティトランザクションのトランザクション タイプなどの情報を指定できます。

1. トランザクション タイプ インタオペラビリティトランザクションのトランザクション タイプを指定します。たとえば、トランザクション タイプの JDERR は、入荷工程トランザクションを表します。

この処理オプションをブランクにすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。



## 輸送

この処理オプションでは、積送中または未計画の配送の情報を指定できます。

1. **インバウンド計画外配送 作業コード** 計画外配送に対して使用される入荷工程の作業を指定します。数量がこの作業に移され、インバウンド輸送情報が存在する場合は、計画外配送プログラム (P49655) が起動されます。

## 品目現行作業の検討

[入荷工程状況の処理] フォームにアクセスします。

入荷工程品目の現行作業を照会できます。たとえば、最近受領した品目の入荷工程にドックと検査作業が含まれる場合、現在ドックにある数量や検査中の数量などを照会できます。

## 作業間の品目移動

[入荷工程状況の処理] フォームにアクセスします。

[作業中数量] この作業における現在の数量を入力します。

[入荷行No.] 受注オーダーまたは購買オーダーの行数、あるいは入荷処理中に記録された入荷確認書の数を表す数値を入力します。このフィールドは、伝票突合せで使用されます。

---

## (Rapid Start CAN and USA) Moving and Dispositioning Transfer Order with Receipt Routing

This section discusses:

- How to move and disposition transfer order with receipt routing.
- Preconfigured processing options for Canada and United States Movement and Disposition (P43250).

## Moving and Dispositioning Transfer Order with Receipt Routing

This table lists the tasks for moving and dispositioning transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Move and disposition transfer order with receipt routing.	Receipts Routing, Receipt Routing Movement and Disposition	P43250/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: ST and OT</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that is receiving the goods.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> <li>verify the PINS process is setup in the routing. This is a two step process which takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada and United States Movement and Disposition (P43250)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Optional)	OP
2. Operation Code (Optional)	blank

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Move Quantity to Inventory	1
2. Show Shipment and Pack Information	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. 'To Operation' Control	3
Replacement Processing	blank
2. Last Status Code	blank
3. Next Status Code	blank
4. Replacement Line Type	blank
5. Enter the name of the function use for Tare/Pack number validation.	blank
6. Credit Line Type	blank
7. Option Default	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Receipts by Purchase Order (P4312)	RIS0001
2. Work Order Completions (P31114)	RIS0001
3. Open Receipts (P43214)	RIS0001
4. Open Orders (P4310)	RIS0013
5. Purchase Orders (P4310)	RIS0001
6. Test Results Revisions (P3711)	blank
7. Unscheduled Deliveries (P49655)	blank
8. Routing Ledger Inquiry (P43252)	blank

**WorkFlow**

Processing Option Description	Value or Status
1. Disposition Email	blank
2. Disposition Email	blank
3. Disposition Email	blank
4. Disposition Email	blank
5. Completion Email	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank

**Transportation**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intransit Unscheduled Delivery Operation Code	blank

**関連項目:**

第 15 章、「入荷工程」、「入荷工程の移動/処分 (P43250) の処理オプションの設定」、378ページ

---

## 入荷工程からの品目の除去

このセクションでは、品目の除去および戻し（逆仕訳）の概要と、入荷工程から品目を除去する方法について説明します。

### 品目の除去および戻し（逆仕訳）について

このセクションでは、品目の除去と戻し（逆仕訳）について説明します。

#### 品目の除去

入荷工程から品目を除去（処分）しなければならない場合があります。たとえば、仕入先に品目を返品したり、検査に合格しなかった品目を却下する場合などです。次のカテゴリのうち 1 つを使用して、入荷工程から除去する品目の数量を指定してください。

- 返品
- 再作業
- 仕損
- 却下

### • 調整

すべてのカテゴリの品目除去について説明テキストを入力できます。

ある入荷工程から品目を除去する前に、その工程用に設定した抜き取り検査要件を検討できます。また、その工程用に設定した品目仕様を検討することも可能です。

入荷工程から品目を除去すると、現行作業の数量から除去した品目が数量が減算されます。除去を戻す（逆仕訳する）場合は、元帳照会プログラムを使用してください。たとえば、品目を仕損品に分類して除去した後で、その品目を使用することになった場合、除去取引の戻し（逆仕訳）を実行できます。除去した数量は入荷工程に戻され、必要に応じて適切な仕訳が作成されます。

実行した除去カテゴリが支払適格になっている場合は、除去品目に対する仕訳が作成されます。たとえば、仕損カテゴリを支払適格に指定した場合、仕損品として除去した品目に対して仕訳が作成されます。

品目を返品すると、当初購買オーダーに対して貸方に仕訳が自動作成されます。また、その品目を置き換える新規の購買オーダー行を作成することもできます。この行は当初購買オーダーに追加されます。

### 品目の戻し（逆仕訳）

場合によっては、品目の入荷を誤って入力することがあります。入荷工程で処理される品目の入荷は戻す（逆仕訳する）ことができます。

入荷工程の最終作業に品目を移動すると、品目が手持状況に更新されます。誤って品目を最終作業に移動しても、前の入荷工程作業に戻せば手持状況も元に戻すことができます。

入荷工程の移動/処分プログラム (P43250) の処理オプションを設定して、戻し（逆仕訳）を実行するために任意の作業への品目移動を可能にします。さらに、工程が完了した品目の表示を処理オプションで設定する必要もあります。

品目を入荷工程に誤って入力した場合、入荷確認の照会プログラム (P43214) を使用して、初めの入荷に対して戻し（逆仕訳）を実行し、品目を入荷工程から除去します。この場合、品目は必ず入荷工程の最初の作業にある必要があります。

返品や却下などの理由で入荷工程から品目を除去した場合は、入荷を戻す（逆仕訳する）前に、必ずその品目除去を戻しておいてください。

## 入荷工程からの品目の除去に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[工程の結果入力]	W43253A	[入荷工程状況の処理] フォームで明細行を選択して、[ロー]メニューから[処分]を選択します。	工程の結果入力を検討し、変更します。
[置換情報]	W43251A	[工程の結果入力] フォームの [フォーム] メニューから [置換] を選択します。	置換情報を更新します。

## 入荷工程からの品目の除去

[工程の結果入力] フォームにアクセスします。

### [返品数量]

入荷工程で仕入先に返品された数量を入力します。

貸方入力または交換のために商品を返品できます。これらのトランザクションは新規行として当初の購買オーダーに書き込まれます。

<b>[再作業数量]</b>	入荷工程の結果として再作業される数量を入力します。
<b>[理由]</b>	トランザクションの目的を示す UDC (42/RC) の値を入力します。たとえば、品目を返品する理由を示すことができます。
<b>[仕損数量]</b>	入荷工程で仕損となった数量を入力します。
<b>[却下数量]</b>	入荷工程中に却下された数量を入力します。
<b>[調整数量]</b>	入荷工程中に調整された数量を入力します。

## 入荷工程品目履歴の検討

このセクションでは、品目履歴の概要と入荷工程品目履歴の検討方法について説明します。

### 品目履歴について

工程作業間の品目移動に関する情報を検討できます。たとえば、品目グループが検査から倉庫へ移動した時刻や、移動させた担当者、日付などの検討ができます。また、特定作業で品目に所要した時間も検討できます。

入荷工程からの品目除去に関連する情報も検討できます。たとえば、検査に合格しなかった出荷品目数量や仕入先に返品した数量などです。

検討する処理が移動なのか除去なのかは指定できます。移動を検討する作業段階を指示することが可能です。たとえば、ドックから倉庫への品目移動のみを照会できます。

### 入荷工程品目履歴の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入荷工程履歴の処理]	W43252D	[入荷工程] (G43A14)、[入荷工程履歴照会]	入荷工程履歴を処理します。

### 入荷工程品目履歴の検討

[入荷工程履歴の処理] フォームにアクセスします。

入荷工程履歴照会 - 入荷工程履歴の処理

検索① 閉じる(L) ロー(R) ツール(T)

バッチ

オーダーNo. \*

品目No. \*

仕入先 \*

オーダー・サフィックス \*

元帳日付 06/01/11

出荷No. \*

自重No. \*

梱包No. \*

EPC No. \*

レコード 1 - 10

グリッドのカスタマイズ

グリッド・フォーマット名1

	移動元 作業	移動先 作業	改訂	備考	数量	単位	元帳 日付	更新 日付	時間	ユーザー	置換 (Y/N)	プログラム ID
<input checked="" type="radio"/>	DOCK	STK	N	Moved	750	EA		97/05/08	124104	DEMO		EP43250
<input type="radio"/>	TRAN	DOCK	N	Moved	750	EA		97/05/08	124043	DEMO		EP43250
<input type="radio"/>	DOCK	TRAN	N	Moved	750	EA		97/05/08	123640	DEMO		EP43250
<input type="radio"/>	STK	DOCK	N	Moved	750	EA		97/05/08	123608	DEMO		EP43250
<input type="radio"/>	DOCK	STK	N	Moved	750	EA		97/05/08	114112	DEMO		EP43250
<input type="radio"/>	TRAN	DOCK	N	Moved	750	EA		97/05/08	113211	DEMO		EP43250
<input type="radio"/>	--->	TRAN	N	Moved	750	EA		97/05/08	104828	DEMO	N	EP4312

[入荷工程履歴の処理] フォーム

- [移動元作業]

品目の移動元となった工程作業またはステップを示す UDC (43/OC) の値を入力します。
- [移動先作業]

品目の移動先となった工程作業またはステップを示す UDC (43/OC) の値を入力します。
- [改訂]

トランザクションが戻し（逆仕訳）の対象であるか、それともトランザクションの戻し（逆仕訳）がすでに行われているかを示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: トランザクションは戻し（逆仕訳）の対象です。  
N: トランザクションは戻し（逆仕訳）の対象ではありません。  
Y: トランザクションの戻し（逆仕訳）がすでに行われています。  
R: トランザクションは逆仕訳監査記録です。
- [移動コード]

数量の移動を示す UDC (43/MC) の値を入力します。作業間で数量を移動するか、または入荷工程処理外の数量を処分することができます。
- [コンテナID]

この購買オーダーまたはオーダー行の品目を出荷したときのコンテナに割り当てられているコードを入力します。入荷入力時には、コンテナ情報をオーダーに割り当てることができます。





## 第 16 章

# 仕入先の管理

仕入先との相互関係、および仕入先が供給する品目を管理できます。仕入先から購入する各品目に関する初期情報を入力すると、仕入先に代わってシステムが、納入、品質、および原価のパフォーマンスをモニタリングします。パフォーマンス情報を比較することにより、購買の際に最適な仕入先を確定できます。

この章では、仕入先限度額の換算の概要と以下の方法について説明します。

- 代替通貨での仕入先価格の生成
- 仕入先パフォーマンス情報の管理
- 仕入先および品目分析レコードの更新

---

## 仕入先限度額の換算について

複数の仕入先について限度額を別の通貨に変換するには、住所録換算 - F0401 プログラム (R890401E) を実行します。このプログラムは仕入先の通貨コードと住所録の金額を換算します。調達管理システムでは、住所録金額は仕入先の最大/最小オーダー値になります。住所録換算 - F0401 プログラムは、[ バッチ・バージョン ] からアクセスします。

仕入先の最大/最小オーダー値を入力する際は、通常、丸めが実行された整数で入力し、F0401 テーブルには表示小数点以下桁数なしで保管されます。これらの金額を別の通貨に換算する際は、処理オプションで丸めの係数を指定できます。たとえば、最小値と最大値を 50 単位で丸めるには、丸めの係数を 50 にします。

### 例: 換算した限度額の四捨五入

限度額とは、顧客または仕入先マスター レコードに割り当てた与信限度額および最大/最小オーダー金額のことです。限度額は通常四捨五入された整数として保存されます。

この例では、処理オプションで丸め係数を入力した場合に、住所録換算 - F03012 プログラム (R8903012E) と住所録換算 - F0401 プログラム (R890401E) が、換算済みの限度額をどのように丸めるかを説明します。例では、カナダドル (CAD) から US ドル (USD) への換算を想定します。

この例の場合、為替レートは 1 CAD = 0.63492 USD で丸め係数は 50 です。換算プログラムは、換算した限度額を次の表に従って切り上げまたは切り下げます。

換算後の限度額	説明
切り上げ	<p>換算プログラムでは、8,000 CAD は 5,079.36 USD に換算されます。次の計算に基づいて、5,079.36 USD は 5,100 に切り上げられます。</p> <p>換算金額/丸め係数 = Q 余り R。余りが丸め係数の 1/2 より大きい場合、丸め係数から R が減算され、その金額が換算金額に加算されます。</p> <p>この例では、5,079 USD / 50 = 101 余り 29 で、29 は 50 の 1/2 より大きくなります。50 から 29 を引いた 21 (50 - 29 = 21) を 5,079 に加えると、丸め後の値は 5,100 となります。</p>
切り捨て	<p>換算プログラムでは、12,000 CAD は 7,619.05 USD に換算されます。次の計算に基づいて、7,619.05 は 7,600 に切り捨てられます。</p> <p>換算金額/丸め係数 = Q 余り R。R が丸め係数の 1/2 より小さい場合、換算金額から R が減算されます。</p> <p>この例では、7,619 USD / 50 = 152 余り 19 で、19 は 50 の 1/2 より小さくなります。7,619 から 19 を引くと、丸め後の値は 7,600 となります。</p>

## 代替通貨での仕入先価格の生成

このセクションでは、代替通貨での仕入先価格の生成の概要と以下の方法について説明します。

- 代替通貨での仕入先価格の生成
- “通貨別購買価格の生成” (R4106101) の処理オプションの設定

### 代替通貨での仕入先価格の生成について

“通貨別購買価格の生成” プログラム (R4106101) を実行すると、複数のレコードに対して異なる通貨での新しい仕入先価格を一度に作成できます。このプログラムは、既存のレコードに基づいて新しい価格を生成します。

“通貨別購買価格の生成” プログラムは、異なる通貨で複数の仕入先価格レコードを作成する必要がある場合に非常に役に立ちます。たとえば、このプログラムは、仕入先価格レコードにない通貨を使用する仕入先と取引を開始する場合などに使用します。個々のレコードに新規の価格を作成する必要がある場合は、[仕入先カタログの改訂] フォームで既存のレコードを更新してください。“通貨別購買価格の生成” を実行する必要はありません。

“通貨別購買価格の生成” プログラムを実行する際は、処理オプションで以下の情報を指定することにより、新しい仕入先価格の作成に使用する通貨と為替レートを制御します。

- レコードを作成するための基準日。価格の有効期日がこの日付以降の場合、新しい仕入先価格が作成されます。
- 既存レコードの通貨。これは、新しいレコードの基準となる元の通貨コードです。
- 新規レコード作成に使用する通貨

- 金額計算に使用する為替レート
- 為替レートに使用する計算式（乗算または除算）

“通貨別購買価格の生成”プログラムは元の仕入先価格をコピーし、新しい価格を計算して新しい通貨金額で価格レコードを作成します。このプログラムでは、次の処理が実行されます。

- 新しいレコードの基準となる通貨がどれか混乱しないように、通貨ごとに新しい価格を作成する。
- 計量単位ごとに新しい仕入先価格レコードを 1 件だけ作成する。各通貨に対して価格レコードを作成するわけではありません。

たとえば、既存の価格（カナダドル建て）に基づいて、新しい仕入先価格を日本円（JPY）で生成するとします。ある計量単位のレコードに JPY の仕入先価格が既に存在します。その計量単位のレコードが同じキーを持つようになるため、JPY の仕入先価格は生成されません。ただし、仕入先や品目、事業所に関連付けられた通貨コードに異なる有効終了日付がある場合を除きます。日付に応じて、プログラムにより新しい価格が複数作成されることがあります。

まず、“通貨別購買価格の生成”プログラムを次の要領でテスト モードで実行した後で、最終モードで実行してください。

#### • テスト モード

監査レポートを検討して、生成されたレコードが正しいか確認してください。監査レポートが不正確な場合、処理オプションとデータ選択の値を変更した上でプログラムをテスト モードで再実行してください。

#### • 最終モード

テスト モードで作成した監査レポートが正しいければ、プログラムを最終モードで実行してください。監査レポートで新しい仕入先価格レコードを検討します。[仕入先カタログの改訂] フォームで新しいレコードを検討する場合、新しいレコードは既存のレコードと一緒にアルファベット順に表示されます。価格は、データ辞書で設定した小数点の位置に従って丸められます。

必要に応じて [仕入先カタログの改訂] フォームで新しい価格を手入力により調整してください。たとえば、50,000 JPY に対して作成された新しいカナダドルの価格が 675.1155 CAD であれば、675 CAD に手入力で変更できます。

### 例: 新しい仕入先価格の生成

この例では、新しい仕入先価格の生成前後で異なる仕入先価格レコードを持つ品目について説明します。

#### 新しい仕入先価格を生成する前

既存の品目に次の仕入先価格があります。

単価	通貨コード
2,000.00	CAD
1,297.81	EUR
820.10	GBP

“通貨別購買価格の生成”プログラム (R4106101) の処理オプションの設定は以下のとおりです。

- モード = 1（最終）
- 日付 = 2005 年 6 月 30 日
- 換算先 = USD

- 換算元 = GBP
- 為替レート = 1.65810
- 方式 = 1 (乗数)

品目番号に複数の通貨金額が関連付けられていても、GBP 金額に基づいて新しい USD 建ての金額が 1 つだけ生成されます。

### 新しい仕入先価格を生成した後

“通貨別購買価格の生成”プログラムを実行した後の新しい価格レコードは、820.10 GBP に基づいて 1,277.80 USD となります。元のレコード、820.10 GBP は、仕入先への支払に必要なときのためにそのまま残ります。

単価	通貨コード
2,000.00	CAD
1,297.81	EUR
820.10	GBP
1,277.80	USD

### “通貨別購買価格の生成”プログラムのデータ選択

通常は特定の事業所内の全ての仕入先について、新しい仕入先価格を生成します。異なる通貨を使用する事業所が複数ある場合、“通貨別購買価格の生成”プログラム (R4106101) を繰り返し実行できます。また、品目番号やデータ選択の値別などに新しい仕入先価格を生成することも可能です。

購買価格レベル 1 の品目があり、これらに新しい価格を作成する場合、全ての事業所に新規の価格を生成しない限り、データ選択で事業所に“ブランク”を指定してください。

## 代替通貨での仕入先価格の生成

[上級および技術的操作] (G43A31) の [通貨別購買価格の生成] を選択します。

## “通貨別購買価格の生成” (R4106101) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、レポート生成時に使用されるデフォルト情報を入力します。

- モード**

テスト モードと最終モードのどちらでプログラムを実行するかを決定するコードを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：テスト モード

1: 最終モード
- 日付**

生成する購買価格レコードの指定に使用される日付を指定します。購買価格の有効期日が入力日付以降の場合、新しい購買価格レコードが生成されます。システム日付を使用する場合、この処理オプションをブランクにします。

## 通貨

この処理オプションを使用して、デフォルトの通貨情報を入力します。

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 1. 換算先の通貨コードを入力します。 | 換算先に使用する通貨コードを指定します。この処理オプションは必須です。  |
| 2. 換算元の通貨コードを入力します  | 換算元に使用する通貨コードを指定します。この処理オプションは必須です。  |
| 3. 為替レート            | 換算用の為替レートを指定します。この処理オプションは必須です。  |
| 4. 演算               | <p>現行購買価格に対して乗算または除算のどちらを行うかを決定するコードを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク：現行購買価格を為替レートで除算します。</p> <p>1: 現行購買価格を為替レートで乗算します。</p> |

---

## 仕入先パフォーマンス情報の管理

このセクションでは、仕入先パフォーマンス情報の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 仕入先分析サマリー (P43230) の処理オプションの設定
- 仕入先納入パフォーマンスの検討
- 仕入先品質パフォーマンスの検討
- 仕入先原価パフォーマンスの検討
- 仕入先パフォーマンス集計情報の検討

### 仕入先パフォーマンス情報について

パフォーマンス情報を検討すると、最適な品目原価とサービスを提供する仕入先を確定できます。パフォーマンス情報には、特定の品目に関する仕入先のサービスの質および請求原価が含まれます。

次の情報に対する特定の仕入先パフォーマンス情報を検討できます。

- 品目の納入
- 品目の可否
- 品目の原価

また、特定の品目を提供する全ての仕入先に関するパフォーマンス情報の集計も参照できます。たとえば、品目 A を提供する仕入先全ての平均単価とリードタイム（納入までの平均日数）を比較できます。

パフォーマンス情報を保管するには、購買オーダー プログラム (P4310)、入荷確認プログラム (P4312)、買掛金標準伝票入力プログラム (P0411)、および伝票照合プログラム (P4314) のそれぞれの処理オプションを設定して、仕入先分析情報を取り込む必要があります。

F43090 および F43121 テーブルから仕入先パフォーマンス情報が取り込まれます。

## 仕入先納入パフォーマンスの検討

仕入先に品目を発注する前に、仕入先がこれまで期日通りに納入しているかどうかを確認できます。それぞれの会計期間（一般的には月次）における仕入先の期日通り、期日前、期日後の納品パーセントを検討することにより、仕入先が次回、期日通りに品目を納入できそうかどうかを判断できます。

期日どおり、期日前、期日後に納入された品目別に、入荷数、金額、入荷回数を検討できます。たとえば、A 社から 6 月に 100 台の自転車を購入して、10 台が期日前、80 台が期日どおり、残りの 10 台は期日後の納入、というように識別できます。金額ベースで納入を検討すると、1,000.00 の自転車が期日前納入で 8,000.00 が期日どおり、というようになります。

ある会計期間の各入荷に対する納入情報を検討できます。たとえば、5 回にわたって自転車を 20 台ずつ入荷し、6 月に合計 100 台の自転車を購入したとします。5 回の入荷それぞれに対して、約束日付と納入日付、および期日どおり、期日前、期日後の数量を検討できます。

## 仕入先品質パフォーマンスの検討

仕入先に品目を発注する前に、その仕入先が常に良好な状態で品目を納入しているかどうかを判断できます。各会計期間（一般的には月次）における合格品のパーセントを検討して、仕入先が合格品を納入できそうかどうかを判断できます。

それぞれの会計期間における合格品の数量およびパーセントを検討することもできます。たとえば、トリプル A 社から 6 月に 100 台の自転車を入荷した場合、95 台は合格で、残りの 5 台は不合格というように検討できます。

また、ある会計期間に入力した入荷ごとに、合格数量を検討することも可能です。たとえば、5 回にわたって自転車を 20 台ずつ入荷し、6 月に合計 100 台の自転車を購入したとします。5 回の入荷のそれぞれに関して、品質が合格であるか、不合格であるかを検討できます。

入荷工程を使用して処理した品目のみ合格率をトラッキングすることが可能です。

## 仕入先原価パフォーマンスの検討

会計期間別（一般的には月次）に、仕入先に支払った平均単価を検討できます。この平均単価と購買オーダーの品目平均原価および入荷時の平均原価を比較して、価格が一定しているかどうかを判断できます。

品目に対して支払った原価、入荷原価などのその他の原価間のパーセント差異を計算できます。たとえば、品目の入荷を入力する際に仕入先が指定した平均原価 0.50 を使用し、請求時の平均原価が 1.00 だった場合、100% の差異が表示されます。この場合、差異が生じた理由を判断します。支払った原価と比較する原価を指定するには、処理オプションを使用します。

また、品目の在庫原価を検討することもできます。後入先出 (LIFO) など、在庫原価を確定するための原価方式を指定します。この原価方式を使うと、在庫原価に前回入荷分の原価が反映されます。

会計期間に入力した入荷ごとに、原価を検討できます。たとえば、品目の平均原価が 10.00 だった場合にその品目の各入荷時の原価を検討できます。この場合、入荷原価が 9.00 である場合も 11.00 である場合もあります。

## 仕入先パフォーマンス集計情報の検討

品目を購入する際、最適な仕入先を確定するために特定の品目を提供する全ての仕入先に対するさまざまなパフォーマンス情報を比較できます。たとえば、同一の品目を提供するそれぞれの仕入先に対して、次の情報を比較できます。

- 品目の平均単価
- 品目に支払われた最終原価

- 期日どおり納入パーセント
- 品目の納入にかかる平均日数（リードタイム）

表示する情報を選択してください。

## 事前設定

仕入先パフォーマンス集計情報を検討する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 平均単位原価、最終支払原価など、[仕入先分析サマリー] フォームで検討できるパフォーマンス要素（カラム）を定義してください。
- 検討するカラムを含むフォーマットを定義し、処理オプションを使ってそのフォーマットを [仕入先分析サマリー] フォームに割り当ててください。
- パス（複数フォーマット）を定義し、処理オプションを使ってそのパスを [仕入先分析サマリー] フォームに割り当ててください。

## 仕入先パフォーマンス情報の管理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[納入分析]	W43230L	[仕入先分析] (G43A16)、[納入分析]	仕入先納入パフォーマンスを検討します。
[納入分析詳細]	W43230O	[納入分析] フォームで明細行を選択し、[ロー] メニューから [納入詳細] を選択します。	仕入先納入パフォーマンスを検討します。
[入荷明細情報]	W43230K	[納入分析詳細] フォームで入荷を選択し、[ロー] メニューから [入荷明細] を選択します。	入荷明細情報を検討します。
[品質分析]	W43230L	[仕入先分析] (G43A16)、[品質分析]	仕入先品質パフォーマンスを検討します。
[品質分析詳細]	W43230O	[品質分析] フォームで明細行を選択し、[ロー] メニューから [品質詳細] を選択します。	仕入先品質パフォーマンスを検討します。
[原価分析]	W43230L	[仕入先分析] (G43A16)、[原価分析]	仕入先原価パフォーマンスを検討します。
[原価分析詳細]	W43230O	[原価分析] フォームで明細行を選択し、[ロー] メニューから [原価明細] を選択します。	仕入先原価パフォーマンスを検討します。
[仕入先分析サマリー]	W43230A	[仕入先分析] (G43A16)、[分析サマリー]	仕入先パフォーマンス集計情報を検討します。

## 仕入先分析サマリー (P43230) の処理オプションの設定

以下の処理オプションを使用して、プログラムおよびレポートのデフォルト処理を指定します。

## 表示

以下の処理オプションを使用して、表示する情報のタイプを制御します。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 品目に関連する仕入先を表示するには“1”を入力してください。ブランクの場合は、仕入先に関連するすべての品目が表示されます。                 | 仕入先に関連する品目の表示方法を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク：仕入先に関連する全ての品目が表示されます。<br>1: 品目に関連する仕入先が表示されます。                 |
| 2. 品質情報を表示するには“1”、配送情報を表示するには“2”、原価情報を表示するには“3”を入力してください。ブランクの場合は“1”が使用されます。     | 表示する情報のタイプを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク：1 が使用されます。<br>1: 品質情報が表示されます。<br>2: 納入情報が表示されます。<br>3: 原価情報が表示されます。 |
| 3. 在庫原価として表示する特定の原価計算方式 (01 - 08) を入力してください。                                     | 品目原価を計算する際の基準を指定するユーザー定義コード (40/CM) の値を入力します。原価計算方式 01 ~ 19 までは、システム用として予約されています。                          |
| 4. 差異情報用に支払済み原価と比較する原価を入力してください。1 = 在庫原価。2 = オーダー原価。3 = 入荷原価。ブランクの場合は“2”が使用されます。 | 差異情報で支払原価と比較する原価を入力します。<br>ブランク：2 が使用されます。<br>1: 在庫原価<br>2: オーダー原価<br>3: 入荷原価                              |
| 5. 表示するデフォルトの照会形式を入力してください。または   | 最高 4 つまでのカラムからなるフォーマットを指定する値を入力します。英数字のコードです。  |
| 6. デフォルト照会パスを入力します。  | 複数のフォーマットからなるパスを指定する値を入力します。英数字のコードです。   |

## 仕入先納入パフォーマンスの検討

[納入分析] フォームにアクセスします。

### [期日数量]

会計期間中に当該仕入先から期日どおりに入荷した品目数を入力します。入荷が期日かどうかを判断するために、システムにより入荷日付と約束日付の比較が行われます。これらの日付に差がある場合、早期/遅延納入可能日数を使用して、入荷が期日かどうか判断されます。納入パフォーマンスの許容日数幅 (早期/遅延納入可能日数) は、[仕入先/品目関係] フォームで設定します。

たとえば、以下のように設定されたオーダーがあるとして。

- 約束日付 - 1998 年 12 月 5 日
- 入荷日付 - 1998 年 12 月 7 日
- 遅延納入可能日数 - 3 日

1998 年 12 月 5 日の 3 日後 (1998 年 12 月 8 日以降) に入荷した場合、そのオーダーは遅延したとみなされます。



このオーダーの場合、12 月 7 日に入荷しているので、期日どおりとみなされます。

## 仕入先品質パフォーマンスの検討

[品質分析] フォームにアクセスします。

### [処分数量]

オーダー行の当初数量に変更数量を加算/減算し、その数量から今日までに出荷、入荷、または伝票作成された数量を全て減算した数量が表示されます。このフィールドには、実際の入荷数量も表示されます。

## 仕入先原価パフォーマンスの検討

[原価分析] フォームにアクセスします。

### [在庫単位原価]

合計金額を単位数量で割った金額、すなわち単価が表示されます。

### [オーダー単価]

仕入先から購入した品目の単位原価が表示されます。この単位原価は、品目の入荷時に記録する実際の単位原価に影響を与える運賃、税、値引きなどの要素は含まれません。

### [原価差異 %]

支払原価と在庫原価/オーダー原価/入荷原価の間の差異比率が表示されます。

## 仕入先パフォーマンス集計情報の検討

[仕入先分析サマリー] フォームにアクセスします。

---

## 仕入先および品目分析レコードの更新

このセクションでは、仕入先および品目分析レコードの更新の概要と以下の方法について説明します。

- 仕入先および品目分析レコードの更新
- “仕入先/品目関係の再作成” (R43900) の処理オプションの設定

## 仕入先および品目分析レコードの更新について

EnterpriseOne 調達管理システムの新しいバージョンをインストールした後は、“仕入先/品目関係の再作成” プログラム (R43900) を実行して仕入先および品目分析レコードを更新する必要があります。それにより、F43121 テーブルの入荷データに基づいて、F43090 テーブルの新しいフィールドが更新されます。

“仕入先/品目関係の再作成” プログラムを使用して仕入先および品目分析レコードを更新する際は、新しい仕入先/品目情報に対して入荷工程コードを割り当てることができます。

“仕入先/品目関係の再作成” プログラムの実行後、購買オーダー、入荷、および伝票を入力する際に、対話形式で仕入先分析情報を管理できます。

---

**重要:** “仕入先/品目関係の再作成” プログラムは、EnterpriseOne の新しいリリースをインストールした場合にのみ実行してください。後日データが破損してレコードを更新する必要がある場合は、EnterpriseOne のヘルプ デスクに連絡してください。

---

## 仕入先および品目分析レコードの更新

[上級および技術的操作] (G43A31) の [仕入先分析の再生成] を選択します。

## “仕入先/品目関係の再作成” (R43900) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 経路

以下の処理オプションを使用して、“仕入先/品目関係の再作成” プログラムの経路情報を指定します。

<b>経路 - 通常の経路コード</b>	新しい仕入先レコードまたは品目レコードが追加されたときに割り当てるコードを指定します。この処理オプションをblankにすると、経路コードが割り当てられません。
----------------------	---

## 第 17 章

# オーダーの更新

この章では、オーダーの更新の概要と以下の方法について説明します。

- 状況コードの更新
- 購買日付の改訂
- 購買オーダーの生成
- “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” の利用

---

## オーダーの更新について

オーダーを入力した後に変更が生じた場合、入力済みの購買オーダーを改訂できます。たとえば、迅速に購買オーダーを充当する必要がある場合、手作業で状況コードを更新することにより、いくつかの通常の購買処理を省略できます。オーダーを延期する場合や仕入先が約束日付までに納品できない場合は、要求日付または約束日付を改訂できます。また、在庫を検討し、再発注する品目に対して購買オーダーを作成することもできます。

---

## 状況コードの更新

このセクションでは、状況コードの更新の概要と方法について説明します。

### 状況コードの更新について

明細行は、それぞれの行に割り当てられた“前の状況” および“次の状況” コードに基づき、購買オーダー処理サイクルで処理されます。明細行が処理サイクルのステップを完了した時点で、状況コードが更新されます。

明細行に対する“次の状況” コードを手作業で更新すると、必要に応じて、特定のステップを省略できます。

明細行を完了に更新するには、オーダー入力プログラム (P4310) を使用する必要があります。

## 状況コードの更新に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[購買状況のスピード更新]	W43025A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[状況コードの更新]	状況コードを更新します。

## 状況コードの更新

[購買状況のスピード更新] フォームにアクセスします。

「次の状況」 - 更新先      当該オーダー タイプの処理サイクルにおける次の標準的なステップを指定するユーザー定義コード (40/AT) を入力します。処理サイクルのステップは、[オーダー処理順序定義] フォームで設定します。

## 購買日付の改訂

このセクションでは、購買日付の改訂の概要と以下の方法について説明します。

- 購買日付の改訂 (P43100) の処理オプションの設定
- 購買日付の改訂

## 購買日付の改訂について

オーダーの入力後に、オーダーの要求日付または約束日付が変更されることがあります。手作業で同時に複数のオーダーについてこれらの日付を改訂することもできます。

要求日付または約束日付を変更すると、変更した日付は F4311 テーブルに記録されます。品目が入荷済みの場合は、F43121 テーブルの日付は変更されません。

## 購買日付の改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[購買日付の改訂]	W43100C	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[購買日付の改訂]	購買日付を改訂します。

## 購買日付の改訂 (P43100) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、処理に使用されるデフォルト情報を入力します。

「次の状況」コード      行タイプのオーダー フローにおける次のステップを指定するユーザー定義コード (40/AT) を指定します。

## セルフサービス

以下の処理オプションを使用して、セルフサービス機能を有効にするかどうかを指定します。

**変更した約束日付のワークフローを使用できるようにします。**

仕入先がインターネットで約束納入日を変更したときに、購買担当者（購買担当者番号が見つかった場合）またはオーダー入力者（購買担当者番号が見つからなかった場合）のいずれかに電子メール メッセージを送信するかどうかを指定します。変更された約束納入日を購買担当者またはオーダー入力者が承認すると、購買オーダーの約束日付および“次の状況”コードが更新されるか（一時変更用“次の状況”コードが設定されている場合）、または約束日付のみ更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク：電子メールが送信されません。

1: 承認のために購買担当者またはオーダー入力者に電子メールが送信されます。

## 購買日付の改訂

[購買日付の改訂] フォームにアクセスします。

---

## 購買オーダーの生成

このセクションでは、購買オーダーの生成の概要、事前設定、および方法について説明します。

### 購買オーダーの生成について

在庫品目および非在庫品目に対して購買オーダーを自動生成できます。オーダーに対する品目および数量をシステムに提示させることもできます。オーダーの提示は、現行の需要（受注バックオーダー）または需要履歴（販売実績）を基に行われます。提示を検討して、その品目および数量に対して購買オーダーを生成するかどうかを確定できます。また、オーダーを生成する前に提示を変更することもできます。

特定のデータ組み合わせが存在する場合、購買オーダーは生成できません。無効なデータの組み合わせには次のようなものがあります。

- 仕入先と非在庫品目
- 購買担当者と非在庫品目
- 第 2 購買コードのみを使用する品目
- 仕入先と購買担当者

データ組み合わせが無効な場合、エラー メッセージが表示されます。

また、購買オーダーの生成プログラム (P43011) にはゼロ発注点計算機能があります。この機能を使用して、在庫レベルがゼロになったときの品目の発注点を計算します。たとえば、在庫がなくなったときに品目を再発注します。

ゼロ発注点計算機能を使用するには、事業所品目プログラム (P41026) を使用して追加システム情報の適切なオプションを選択し、[発注方針コード] および [発注方針値] フィールドに値を入力します。[発注方針コード] フィールドに「0」を入力すると、[発注方針値] フィールドの値によって購買オーダーの生成プログラムの処理方法が決まります。

- [発注方針値] フィールドが「0」の場合、通常の方法で購買オーダーが生成されます。

- [発注方針値] フィールドが「1」の場合、[発注点入力] フィールドの値が「0」に更新されます。
- [発注方針値] フィールドが「2」の場合、購買オーダーの生成プログラムを使用すると詳細グリッドの行が無効になります。

## オーダー数量の算出

提示オーダー数量 (SOQ) の計算は、[発注方針コード] フィールドに基づいて行われます。[発注方針コード] フィールドの値に応じて、以下のように計算が行われます。

- ブランク、0、または 3 の場合、以下のように計算されます。  
$$\text{SOQ} = \text{経済的発注量} + \text{発注点} - \text{引当可能数量}$$
- 1 の場合、以下のように計算されます。  
$$\text{SOQ} = \text{発注点} - \text{引当可能数量}$$
- 2 の場合、事業所品目情報プログラムの [追加システム情報] フォームにある [工場製造] タブの [発注方針値] フィールドの値が使用されます。

提示オーダー数量 (SOQ) が次の値である場合、次のように処理されます。

- 事業所品目情報プログラムの [数量] フォームの [最大発注数量] フィールドより大きい場合、[最大発注数量] の値が使用されます。
- 事業所品目情報プログラムの [数量] フォームの [最小発注数量] フィールドより小さい場合、[最小発注数量] の値が使用されます。

---

**注:** その他のいくつかのバッチ プログラムを実行して、提示発注点を算出できます。システム リソースを節約できる “受注オーダー/購買オーダーの生成” プログラム (R437001) および “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” プログラム (R437002) を実行することをお勧めします。

発注提示在庫品目プログラム (P4371) では、システムによって算出された提案が表示され、必要に応じて、一括オーダーを適用できます。

---

## 事前設定

購買オーダーを生成する前に、以下の作業を行う必要があります。

- 事業所固定情報プログラム (P41001) で、[年間日数]、[購買オーダー発注費用]、および [在庫維持費 (%)] の各フィールドが設定されていることを確認してください。
- 仕入先/品目関係プログラム (P43090) で、品目と仕入先の各組み合わせに対して [平均リードタイム] フィールドが設定されていることを確認してください。
- 事業所品目プログラム (P41026) で、仕入先が設定されていることを確認してください。
- 原価改訂プログラム (P4105) で、[原価方式] フィールドにおいて平均原価が設定されていることを確認してください。
- 事業所品目プログラム (P41026) で、数量情報が設定されていることを確認してください。
- 品目マスター プログラム (P4101) で、発注方針コードが設定されていることを確認してください。

## 購買オーダーの生成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[在庫品目発注点の処理]	W43011A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[購買オーダーの生成] 表示する品目を選択します。	購買オーダーを生成します。 仕入先別に既存のオーダーを表示します。
[購買品目の選択]	W43011C	[在庫品目発注点の処理] フォームで、購買オーダーを生成する品目を選択し、[ロー]メニューから[明細]を選択します。	購買オーダーを生成します。 オーダー情報を検討して修正します。
[生成済み購買オーダー]	W43032C	[在庫品目発注点の処理] フォームで、[フォーム]メニューから[オーダーの生成]を選択します。	購買オーダーを生成します。 購買オーダーの行を検討します。

## 購買オーダーの生成

[在庫品目発注点の処理] フォームにアクセスします。

### [提示オーダー数量]

購買オーダーの生成プログラム、購買担当者照会プログラム、および購買担当者ガイド レポートによって、以下の変数を使用して計算された値が表示されます。

AVAL: 引当可能在庫数量。手持ち数量から引当済み数量を引き、購買オーダー数量を足した数量です。入荷工程中数量を含みます。

ROP: 発注点。在庫基本保管場所の事業所在庫レコードの ROP から取得されるか (この ROP がブランクでない場合)、または計算されます (詳細については、ROPC の定義を参照)。発注点は、以下のように計算されます。

$$ROP = ((\text{年間売上} \times \text{リード タイム日数}) \div \text{年間日数}) + \text{安全在庫}$$

[数量] フォームで安全在庫が設定されていない場合、以下の計算式が使用されます。

$$ROP = ((\text{年間売上} \times \text{リード タイム日数}) \div \text{年間日数}) + (\text{年間売上} \times \text{リード タイム日数}) \text{の平方根} \div \text{年間日数}$$

EOQ: 経済的発注量 (または発注数量 (ROQ))。在庫基本保管場所の事業所在庫レコードの ROQ から取得されるか (この ROQ がブランクでない場合)、または計算されます (詳細については、EOQ の定義を参照)。経済的発注量は、以下のように計算されます。

$$EOQ = ((2 \times \text{購買オーダー発注費用} \times \text{年間売上}) \text{の平方根} \div (\text{在庫維持費} \times \text{平均原価}))$$

計算は、次のとおりです。

1 AVAL > ROP の場合、SOQ = 0

2 AVAL = ROP の場合、SOQ = EOQ

3 AVAL < ROP の場合、SOQ = EOQ + (ROP - AVAL)

---

## “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”の利用

このセクションでは、“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”プログラム (R437002) および発注提示在庫品目プログラム (P4371) の概要と以下の方法について説明します。

- “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”の実行
- “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” (R437002) の処理オプションの設定
- 発注提示在庫品目 (P4371) の処理オプションの設定
- 再発注品目の提示の利用

### “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”プログラム (R437002) について

“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”プログラム (R437002) は、バッチ処理を使用して購買オーダーを生成します。このプログラムを使用して、システムが提示する発注品目リストを作成することもできます。このレポートを実行するにあたっては 3 つのオプションがあります。

- 最終モード  
購買オーダーが自動的に生成されます。
- テスト モード  
発注を提示する品目リストのレポートが生成されます (この情報は F4371 テーブルに保存されます)。
- テスト モード  
F4371 テーブルへの情報の保存のみ行われます。

発注提示在庫品目プログラム (P4371) を使用して、システムによる提示を検討し、オンラインで購買オーダーを生成して品目を再発注できます。

### 発注提示在庫品目プログラム (F4371) について

“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”プログラム (R437002) を実行したら、発注提示在庫品目プログラム (P4371) を実行して以下の処理を実行できます。

- システムが提示する再発注品目をオンラインで検討する。
- 再発注する品目の購買オーダーを自動または対話形式で生成する。
- 複数の一括オーダーから数量をリリースする (一括オーダーがある場合)。
- 再発注する品目を選択する。
- オーダー明細行の原価および数量情報を変更する。
- F4371 テーブルを除去する。

---

**注:** 発注品目の提示処理が終わったら、発注提示在庫品目テーブル (F4371) に保存されているレコードを除去するかどうかをオプションで選択できます。

---



## 在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[発注提示在庫品目の処理]	W4371A	[オーダーの生成/承認/リリース](G43A13)、[発注提示在庫品目]	再発注品目の提示に関する処理を行います。
[発注提示在庫品目の詳細]	W4371D	[発注提示在庫品目の処理] フォームで、検討する品目の行を選択し、[ロー]メニューから[詳細]を選択します。	再発注品目の提示に関する処理を行います。
[オーダーの選択仕入先]	W43032A	[発注提示在庫品目の処理] フォームで、検討する品目の行を選択し、[選択]をクリックします。	再発注品目の提示に関する処理を行います。

### “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成”の実行

[オーダーの生成/承認/リリース] (G43A13) の [在庫品目再発注点の印刷] を選択します。

### “在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” (R437002) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

#### 表示

以下の処理オプションを使用して、レポートでの情報の表示方法を指定します。

1. 原価の表示 原価情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク：原価情報が表示されます。  
 1: 原価情報が表示されません。

#### 処理

以下の処理オプションを使用して、“在庫品目再発注点バッチ購買オーダーの生成” プログラム (R437002) の情報の処理方法を指定します。

1. トランザクション計量単位 [トランザクション計量単位] フィールドのデフォルトとして使用される計量単位を指定します。この計量単位は、購買数量と関連付けられます。基本計量単位および購買計量単位の値を検討するには、[品目マスターの改訂] フォームの [重量/計量単位] タブを選択します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク：購買計量単位を使用します。  
 1: F4101 テーブルの基本計量単位を使用します。
2. 在庫行タイプ トランザクションで行の処理に使用される行タイプを指定します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。行タイプは、レポートおよび計算に行を含める場合の条件も指定します。[処理] タブで、この処理オ

プシオンと次の処理オプション（非在庫行タイプ）の両方の行タイプを指定しないでください。在庫タイプと非在庫タイプの両方の行タイプを指定した場合、在庫タイプ用に指定した行タイプのみ使用されます。有効値は以下のとおりです。

S: 在庫品目  
J: 作業原価、外注業者、または一般会計への購買  
B: 総勘定元帳勘定および品目番号  
N: 非在庫品目  
F 運賃  
T: テキスト情報  
M: その他の料金および貸方  
W: 作業オーダー

### 3. 非在庫行タイプ

トランザクションで行の処理に使用される行タイプを指定します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムに影響します。行タイプは、レポートおよび計算に行を含める場合の条件も指定します。[処理] タブで、この処理オプションと次の処理オプション（非在庫行タイプ）の両方の行タイプを指定しないでください。在庫タイプと非在庫タイプの両方の行タイプを指定した場合、在庫タイプ用に指定した行タイプのみ使用されます。有効値は以下のとおりです。

S: 在庫品目  
J: 作業原価、外注業者、または一般会計への購買  
B: 総勘定元帳勘定および品目番号  
N: 非在庫品目  
F 運賃  
T: テキスト情報  
M: その他の料金および貸方  
W: 作業オーダー

### 4. 要求日付

要求日付の計算方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：リードタイムが加算されません。この処理オプションをブランクにした場合、現在の日付が使用されます。

1: オーダー日付にリードタイムを加算して、要求日付が計算されます。

### 5. テスト モード

購買オーダーをテストモードと最終モードのどちらで生成するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：テストモードで購買オーダーが生成されます。

1: 購買オーダーが最終モードで生成されます。

2: 購買オーダーがテストモードで生成され、レコードがワークテーブルに保存されます。

## 一括オーダー

以下の処理オプションを使用して、一括オーダーの処理方法を指定します。

### 1. 一括オーダーが複数ある品目のオーダー生成

一括オーダーを一切リリースせずに複数の一括オーダーがある品目の購買オーダーを生成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：品目の購買オーダーを生成し、一括オーダーを一切リリースしません。

1: 複数の一括オーダーがある品目から購買オーダーを生成しませんが、購買オーダーが生成されなかったこととその理由を示すメッセージをレポートに表示します。

### 2. 一括オーダー タイプ

作成する伝票のタイプを指定します。

このコードは、トランザクションの当初伝票タイプも指定します。

伝票タイプは、ユーザーが設定するユーザー定義コード (00/DT) です。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。これらは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注伝票

## バージョン

以下の処理オプションを使用して、システムが使用する購買オーダー バージョン (P4310) のバージョンを指定します。

### 1. 購買オーダー (P4310) バージョン

システムが使用するオーダー入力プログラム (P4310) のバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 発注提示在庫品目 (P4371) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、処理に使用されるデフォルト情報を入力します。

### 1. 原価の変更不可

システムにより原価フィールドの変更が許可されるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク：システムにより原価フィールドの変更が許可されます。

1: システムにより原価フィールドの変更が許可されません。

- |                      |  |
|----------------------|--|
| <b>2. 原価</b>         | 原価フィールドを表示するかどうかを指定します。<br>ブランク：全ての原価フィールドが表示されます。<br>1: 原価フィールドが表示されません。  |
| <b>3. 数量の編集不可</b>    | システムにより数量フィールドの変更が許可されるかどうかを指定します。<br>有効値は以下のとおりです。<br>ブランク：システムにより数量フィールドの変更が許可されます。<br>1: システムにより数量フィールドの変更が許可されません。 |
| <b>4. 一括オーダー タイプ</b> | 一括オーダーのオーダー タイプを指定します。   |

## バージョン

以下の処理オプションを使用して、システムが使用するさまざまなプログラムのバージョンを制御します。

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <b>1. 購買オーダーの入力 (P4310)</b>           | 購買オーダーの入力プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを定義します。    |
| <b>2. 一括オーダーのリリース (P43060) のバージョン</b> | 一括オーダーのリリース プログラムを使用するときに、システムによって使用されるバージョンを定義します。 |

## 再発注品目の提示の利用

[発注提示在庫品目の処理] フォームにアクセスします。

## 第 18 章

# 購買オーダー コミットメントの処理

この章では、コミットメント処理の概要、コミットメントの整合性レポート/除去/再作成/転記処理と、以下の方法について説明します。

- コミットメント整合性レポート (R40910) の実行
- PA 元帳明細レコードの除去
- コミットメント監査証跡の再作成
- 作業へのコミット済み原価の転記
- 債務繰越の実行

---

## コミットメント処理について

コミットメントは将来の債務の認識です。コミットメントまたは債務は、商品やサービスのオーダーが総勘定元帳に計上されたときに作成されます。コミットメント購買オーダーは、非在庫購買オーダー入力またはサービス/経費購買オーダー入力を使用して作成されます。オーダー明細行を入力するたびに、支払義務のある金額をトラッキングし、作業またはプロジェクトに充当できます。

作業またはプロジェクトのコミットメントをそれぞれモニタリングして、実行中の購買タイプを検討できます。また、作業またはプロジェクトのコミットメント総額を検討し、予算を超過していないか検証することも可能です。

コミットメントは、入荷時 (3 方向伝票照合) または伝票作成時 (2 方向伝票照合) にリリースされます。購買オーダー行のキャンセル、商品の入荷、または購買伝票の作成時に、自動的にコミットメントをリリースできます。この作業処理を実行すると、作業またはプロジェクトのコミットメント合計金額からそれぞれのコミットメント金額が減算されます。

次の処理も実行できます。

- F43199 テーブルの監査証跡の作成
- 勘定残高元帳の金額の再計算

---

注: システムでは、ユーザー定義コード (UDC) テーブル (40/CT) で定義されている伝票タイプのコミットメントおよび在庫インターフェイス A、B、または C を使用する行タイプのコミットメントのみ作成可能です。

---

---

## コミットメントの整合性レポート/除去/再作成/転記処理について

コミットメントおよび債務のコミットメント整合性を確保するには、以下を実行します。

- コミットメント整合性レポート (R40910) の実行

- PA 元帳明細レコードの除去
- コミットメント監査証跡の再作成
- 作業へのコミット済み原価の転記

コミットメント整合性レポート (R40910) は、最終モードではなくテスト モードで実行することをお勧めします。レポートに差異を表示する場合、除去/再作成/転記処理を実行することをお勧めします。

除去/再作成/転記処理は、勘定残高 (F0902) テーブル、購買明細実績 (F43199) テーブル、および購買金額 (PA) 元帳レコード テーブルのデータ整合性問題を修正する際に役立ちます。

除去/再作成/転記を目的としてコミットメント整合性レポートを実行する場合、レポート上で整合性に問題がありそうな勘定科目の PA 元帳レコード (会計年度ごと) のみ削除します。

この処理では、以下の 3 つのバッチ アプリケーションが実行されます。

- 購買明細履歴 の除去 (R43199P)
- F43199 コミットメント監査証跡の作成 (R00993)
- コミット済み原価の再転記 (R00932)

この処理では、購買金額 (PA) 元帳レコードが削除され、購買明細実績 (F43199) テーブルに再度書き込まれます。さらに、購買明細 (F4311) および入荷確認 (F43121) レコードに基づいて、金額が勘定残高 (F0902) テーブルに再転記されます。

---

## コミットメント整合性レポートの実行

このセクションでは、コミットメント整合性レポートの概要と以下の方法について説明します。

- コミットメント整合性レポートの実行
- コミットメント整合性レポート (R40910) の処理オプションの設定

### コミットメント整合性レポートについて

コミットメント整合性レポート (R40910) には、以下のレコードの差異が表示されます。

- 購買明細テーブル (F4311) と購買明細実績 (F43199) レコードの PA 元帳タイプ
- 購買明細実績 (F43199) レコードの PA 元帳タイプと勘定残高 (F0902)

コミットメント整合性レポートは、最終モードではなくテスト モードで実行することをお勧めします。レポートに差異を表示する場合、除去/再作成/転記処理を実行することをお勧めします。

### コミットメント整合性レポートの実行

[購買レポート] (G43A111) の [債務整合性レポート] を選択します。

### コミットメント整合性レポート (R40910) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

## デフォルト

以下の処理オプションを使用して、処理に使用されるデフォルト情報を入力します。

1. 監査証跡ファイルと勘定残高ファイルの比較に使用する有効日付を入力します。 最初の有効日付を指定します。空白にすると、今日の日付がデフォルトで使用されます。

## 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

1. コミットメント差異の表示 レポートに表示されるレコード数を指定します。空白にした場合、差異の有無にかかわらず、全ての勘定科目が印刷されます。有効値は以下のとおりです。  
空白：コミットメント差異の有無にかかわらず、全ての勘定科目が印刷されます。  
1: コミットメント差異がある全ての勘定科目が印刷されます。
2. 処理モード プログラムをテスト モードまたは最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードの場合、当日までの購買明細テーブル (F4311) と購買明細実績 (F43199) が比較され、さらに [有効日付] 処理オプションに基づいて、F43199 テーブルと勘定残高テーブル (F0902) が比較されます。最終モードの場合、これらの比較が表示され、差異がなくなるように F43199 および F0902 テーブルに一時レコードが書き込まれます。除去、再作成、および再転記プログラムを実行して、全てのレコードの差異を調整することをお勧めします。有効値は以下のとおりです。  
空白：テスト モード  
1: 最終モード
3. 製造の債務を表示するには "1" を入力してください。 製造作業オーダーに関連する会計債務を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白：購買オーダーおよび外注に関連する会計債務のみ処理します。  
1: 購買オーダー、外注、および製造作業オーダーに関連する会計債務を処理します。

---

## PA 元帳明細レコードの除去

このセクションでは、PA 元帳明細レコードの除去の概要と以下の方法について説明します。

- PA 元帳明細レコードの除去
- 購買明細履歴 (F43199) の除去 (R43199P) の処理オプションの設定

## PA 元帳明細レコードの除去について

購買明細履歴 (F43199) の除去 (R43199P) プログラムでは、購買明細実績テーブル (F43199) から既存の購買金額 (PA) 元帳タイプのレコードが除去されます。

システムおよびデータに対する深刻な損害を防ぐために、購買金額 (PA) 元帳タイプのレコードのみ選択するよう選択条件を指定します。レコードを除去する前に、影響を受けるファイルのバックアップを作成することをお勧めします。購買明細履歴 (F43199) の除去プログラムの実行中は、購買明細実績テーブル (F43199) にアクセスできないようにする必要があります。

注: データ選択は、LT (元帳タイプ) = PA です。

## PA 元帳明細レコードの除去

[テーブル・データの除去] (G43A311) の [購買履歴(F43199)] を選択します。

## 購買明細履歴 (F43199) の除去 (R43199P) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

## 处理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>1. 除去レコードの保管</b></p> | <p>除去レコードを保管するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク：除去レコードを保管しません。</p> <p>1: 除去レコードを保管します。</p>  |
| <p><b>2. 保管する環境名</b></p>   | <p>除去レコードを保管する環境を入力します。このフィールドは、除去レコードを保管する場合に必要になります。保管する環境およびデータ ソースは、ソースの環境およびデータ ソースと異なるものを指定する必要があります。</p> <p>除去レコードを保管する場合は、必ず入力します。</p> |
| <p><b>3. テーブル名の保管</b></p>  | <p>除去レコードを保管するテーブル名を入力します。ブランクにした場合、除去されるテーブルの名前が使用されます。このテーブルは、除去プログラムによって作成されます。</p> <p>ブランク：除去するテーブルの名前を使用します。</p>                          |

## コミットメント監査証跡の再作成

このセクションでは、コミットメント監査証跡の概要、事前設定、および再作成方法について説明します。

## コミットメント監査証跡について

コミットメント監査証跡はコミットメント残高の履歴です。購買オーダーの金額をトラッキング、変更するために、たとえば、コミットメント監査が証跡を作成することがあります。

以下のテーブル間でデータの不整合があった場合には、コミットメント監査証跡を修正できます。

- F4311
- F43199



- F0902

EnterpriseOne 調達管理システムをインストールした後にビジネス ニーズが変化した場合、オーダーに対するコミットメント監査証跡の作成が必要になることがあります。“F43199 コミットメント監査証跡の作成”プログラム (R00993) を実行することにより、コミットメント残高履歴を作成できます。

“F43199 コミットメント監査証跡の作成”プログラムを実行すると、勘定科目コードを持つオーダーに対してコミットメントの監査証跡レコードが作成されます。監査証跡を作成すると、F4311 テーブルが読み込まれ、F43199 テーブルに 1 行ずつ監査証跡データが書き込まれます。監査証跡を持つ購買オーダーは、F43199 テーブルで元帳タイプが“購買金額 (PA)”になっています。

コミットメント伝票タイプ (40/CT) のユーザー定義コード テーブルで指定された伝票タイプを持つ明細行だけが処理されます。既存の監査証跡を持つレコードについては、監査証跡は作成されません。コミットメントを再作成するには、まず既存のレコードを除去してください。

## 事前設定

F43199 テーブルに現在あるコミットメントのデータを除去する必要があります。購買金額元帳のデータのみを削除するよう注意してください。

参照: [第 20 章、「データの除去」、「データの除去」、426 ページ](#)

コミットメント監査証跡を作成する前に、以下を実行する必要があります。

- 不整合データが、F0902 テーブルではなく、F43199 テーブルにあることを確認してください。不整合データが F0902 テーブルのみにある場合、コミット済み原価の再転記プログラム (R00932) を実行して不整合を修正し、F0902 テーブルに再転記できます。

---

**注:** コミットメント整合性レポート (R40910) の実行でも、コミットメント整合性を確認できます。

---

- F4311 テーブル、F43199 テーブル、および F0902 テーブルをバックアップしてください。

## コミットメント監査証跡の再作成

[コミットメントの設定/再作成] (G43B411) の [コミットメント監査証跡の作成] を選択します。

または、[債務の設定/再作成] メニュー (G43C411) の [債務変更履歴の作成] を選択します。

以下のテーブル間でデータの不整合があった場合には、コミットメント監査証跡を修正できます。

- F4311
- F43199
- F0902

コミットメント監査証跡を修正するには、新規のコミットメント監査証跡のコミットメント金額が重複しないように現行のコミットメント監査証跡を除去する必要があります。F43199 テーブルで PA の元帳タイプを持つレコードのみ除去し、“前の状況” および “次の状況” はブランクにします。以下のデータ辞書エイリアスを選択します。

- 元帳タイプ (LT)
- 次の状況 (NXTR)
- 前の状況 (LTTR)

---

**重要:** 除去するレコードの選択には細心の注意を払ってください。F43199 テーブルには、購買元帳（元帳タイプ：ブランク）、変更オーダー元帳（CO）、繰越（RO）およびコミットメントレコード（PA/PU）が含まれます。購買元帳や変更オーダー元帳、繰越元帳のレコードは、いったん除去すると復元はできません。

---

**注:** 除去された監査証跡が新規に作成される際に使用する情報を、選択基準を使用して限定できます。たとえば、勘定科目コード、契約番号、オーダー番号を使用できます。監査証跡を除去する際に使用するデータ選択は、監査証跡を新規作成する際に使用する基準と同じものである必要があります。異なる選択基準を使用すると、予測できない結果が生じることがあります。

F43199 テーブルを除去した後は、新規のコミットメント監査証跡を作成してください。発注残および終了オーダーの両方について、F4311 テーブルのレコードから新しい監査証跡が作成されます。発注残には、当初コミットメント金額および部分的にリリースした金額に対する監査証跡レコードがあります。各オーダーに対して部分的にリリースされたレコードは全て、1 つのリリース レコードとしてまとめられます。終了オーダーには、コミットメント監査証跡に転記された 2 つのレコードが記録されます。これは、当初コミットメント金額とコミットメント リリースに関するレコードです。

新規の監査証跡を作成した後に、コミット済み原価の再転記プログラム（R00932）を実行して、購買金額（PA）元帳レコードを勘定残高テーブルに再転記します。これにより、監査証跡に新規情報が追加され、勘定残高テーブルに金額が転記されます。

---

## 作業へのコミット済み原価の転記

このセクションでは、作業へのコミット済み原価の転記の概要と以下の方法について説明します。

- 作業へのコミット済み原価の転記
- コミット済み原価の再転記（R00932）の処理オプションの設定

### 作業へのコミット済み原価の転記について

作業原価をトラッキングするには、“作業へのコミット済み原価の転記” プログラム（R00932）を実行してください。このプログラムを実行すると、購買金額（PA）元帳と購買数量（PU）元帳に対する F0902 テーブルの金額が再計算されます。また、F43199 テーブルの情報を基に F0902 テーブルの月次金額も再計算されます。

最も効率的に処理するために、データ選択を限定します。バッチ アプリケーションは、勘定科目マスター（F0901）テーブル上で実行されます。以下のパラメータを使用して、データ選択を行います。

- AID（勘定科目 ID）
- CO（会社）
- MCU（ビジネスユニット）
- OBJ（主科目）
- SUB（補助科目）

### 作業へのコミット済み原価の転記

[コミットメントの設定/再作成]（G43B411）の [作業へのコミット済み原価の転記] を選択します。

または、[債務の設定/再作成]（G43C411）の [債務の転記] を選択します。

または、[外注管理セットアップ/再作成] (G43D411) の [コミット済み原価の転記] を選択します。

## コミット済み原価の再転記 (R00932) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. 開始会計年度 (必須)。</b><br>開始会計年度を入力してください。                    | コミット済み原価の再転記を開始する会計年度を指定します。この処理オプションをブランクにすると、ゼロが入力され、開始会計年度が 00 になります。会計期間が終了する年ではなく、最初の期間が終了する年を指定します。たとえば、会計年度の開始日が 1998 年 10 月 1 日、終了日が 1999 年 9 月 30 日であり、最初の期間の期末日が 1998 年 10 月 31 日である場合は、“99”ではなく“98”を指定します。 |
| <b>2. 終了会計年度。終了会計年度を入力してください。</b><br>ブランクにした場合、開始会計年度が使用されます。 | コミット済み原価の再転記を終了する会計年度を指定します。このフィールドをブランクにすると、開始会計年度が使用されます。   |
| <b>3. 製造の債務を処理するには“1”を入力してください。</b>                           | 製造作業オーダーに関連する会計債務を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク：購買オーダーおよび外注に関連する会計債務のみ処理します。<br><br>1: 購買オーダー、外注、および製造作業オーダーに関連する会計債務を処理します。   |

---

## 債務繰越の実行

このセクションでは、債務繰越の実行の概要と以下の方法について説明します。

- 債務繰越の実行
- 債務繰越 (R4317) の処理オプションの設定

### 債務繰越について

債務繰越 (R4317) プログラムでは、自動化されたバッチ処理により、前年度の債務を現行年度に繰り越すことができます。前年度の残金を現行年度に繰り越すかまたは消失する必要があるため、この処理を実行して正しく予算作成を行う必要があります。このプログラムは、これらの繰越額の正確な監査証跡を表示する他に、新旧の関連情報が表示されるレポートも作成します。

債務繰越プログラムは、以下の処理を行います。

1. 購買明細 (F4311) テーブルの行を更新します。
2. 勘定残高 (F0902) テーブルの現行年度の勘定科目をコミット解除し、新年度の勘定科目を再コミットします。
3. 履歴レポート (R4317) を作成します。
4. 購買明細実績 (F43199) テーブルに実績レコードを作成します。

債務繰越は、年度末にバッチ プログラムとして実行されます。年度末の債務は、実行されていない外注および処理中の未処理購買オーダーが完了した場合に、最終的に発生する支出の見積金額を表します。

通常、地方自治体は、会計年度内で予算を消化する必要があります。このため、購買オーダーおよび外注契約の未使用残高は、しばしば会計年度末に取り消されることになります。しかし、通常は、他の方法で未使用残高の認識や新年度への繰越が行われます。

---

注: 全てのデータは、購買明細 (F4311) テーブルから選択されます。

---

## 債務繰越のタイミング

債務繰越プログラムは、非常に時間に依存する処理です。データ整合性の問題を回避するために、このプログラムは、会計年度の最終日に実行してください。エラーを発生させずにプログラムを実行できるように、会計年度の最終日の前日までに整合性の問題を解決しておいてください。

会計年度の最終日にプログラムを実行できない場合、クライアントが手作業で行を終了し、新年度に新規行を新規勘定科目で開くことをお勧めします。

## 債務繰越の実行

[上級および技術的操作] (G43A31) の [債務繰越] を選択します。

または、[非在庫の上級/技術的操作] (G43B31) の [債務繰越] を選択します。

## 債務繰越 (R4317) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、処理に使用されるデフォルト情報を入力します。

1. **繰越方法:**

年度末債務金額の処理方法を指定します。使用する方法は、ビジネス要件によって異なります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 繰越が取り消され、それ以上の処理が行われません。新しい元帳日付または勘定科目に、金額が一切再コミットされません。

1: 新しい元帳日付を使用して、年度末債務金額が翌年度に繰り越されます。

2: 新しい元帳日付および新しい勘定科目コードを使用して、年度末債務金額が翌年度に繰り越されます。
2. **元帳クラス:**

AAI の取り込みに使用される元帳クラス コードを指定します。元帳クラスコードを入力するか、またはフィールドをブランクにして、購買明細行の元帳クラス コードを使用することもできます。勘定科目の再分類機能を使用して外注契約を処理する場合、元帳クラスコードを入力する必要があります。購買オーダーと外注契約の両方を処理する場合、入力した元帳クラスコードが両方に使用されます。このコードにより、請求書の転記時に相殺される買掛金勘定 (クラス) が決まります。このフィールドには、英数字を入力できます。または、総勘定元帳コードの主科目と同じコードを使用することもできます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 購買明細行の総勘定元帳コードが使用されます。

注: コード 9999 は使用しないでください。このコードは、仕訳を作成しないように設定されているコードで、転記プログラムにより予約されています。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>3. 元帳タイプ</b>       | 購買明細実績 (F43199) テーブルの実績レコードに使用される元帳タイプを指定します。AA (実績金額)、BA (予算金額)、または AU (実績数量) など、元帳のタイプを指定するユーザー定義コード (09/LT) です。 |
| <b>4. 新しい元帳日付</b>     | 現行年度の債務繰越用の元帳日付を指定します。この日付は、取引を転記する会計期間を指定します。一般会計固定情報で各会計期間の日付範囲を指定します。   |
| <b>5. 元帳日付のコミット解除</b> | 債務をコミット解除 (リリース) する元帳日付を指定します。この日付は、取引を転記する会計期間を指定します。一般会計固定情報で各会計期間の日付範囲を指定します。                                   |

## 処理

以下の処理オプションを使用して、情報の処理方法を制御します。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| <b>1. 処理モード</b> | 債務繰越をテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードで債務繰越を実行した場合、状況コードおよび適用可能なテーブルが一切更新されません。最終モードで債務繰越を実行した場合、状況コードおよび全ての適用可能なテーブルが更新されます。どちらのモードで実行しても、仕訳の入力とエラーを印刷できます。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: テスト モードで債務繰越を実行します。<br>1: 最終モードで債務繰越を実行します。 |
|-----------------|--|

## 製造編集

この処理オプションを使用して、製造情報を入力します。

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <b>1. 製造の債務を処理するには "1" を入力してください。</b> | 製造作業オーダーに関連する会計債務を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: 購買オーダーおよび外注に関連する会計債務のみ処理します。<br>1: 購買オーダー、外注、および製造作業オーダーに関連する会計債務を処理します。  |
| <b>2. 作業オーダーの終了状況</b>                 | 手配済み作業オーダーの終了に使用される作業オーダー状況を指定します。この処理オプションでは、オーダーが未処理かどうかを判断するための作業オーダー状況を指定することもできます。この処理オプションで指定した終了作業オーダー状況未満の作業オーダーのみが、システムにより処理されます。この処理オプションをブランクにすると、状況コード 99 (終了) がデフォルトとして使用されます。 |



## 第 19 章

# カスタマ/サプライヤ セルフサービスの利用

この章では、以下の方法について説明します。

- Web での入荷参照
- Web でのオーダー参照
- 見積要求への回答

---

### Web での入荷参照

仕入先は、自社の品目番号やオーダー番号を使って、当初数量やリリース数量、リリース金額、当初金額といったオーダー情報を参照できます。

このセクションでは、事前設定と Web での入荷参照方法について説明します。

#### 事前設定

仕入先が入荷情報を参照できるようにするには、入荷確認照会 (P43214) の処理オプションを設定してください。

#### Web での入荷参照に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入荷確認照会]	W43214A	[仕入先セルフサービス] (G43S11)、[入荷確認照会]	Web で入荷を参照します。

#### Web での入荷参照

[入荷確認の照会] フォームにアクセスします。

---

### Web でのオーダー参照

このセクションでは、オーダー参照の概要と方法について説明します。

## オーダー参照について

オーダーには仕入先がオーダー処理のために必要とする情報の多くが含まれます。しかし、オーダーを出荷した後は、顧客から特定のオーダーや次のオーダーの内容および時期についての情報を得るのは難しくなります。

通常の業務環境では、システムおよび処理の要件に詳しい担当者の指導に従ってオーダーや契約を参照します。サプライヤ セルフサービス用に環境を設定すると、仕入先は特定の発注の情報にアクセスできるようになります。

仕入先は、自社の品目番号やオーダー番号を使って、当初数量やリリース数量、リリース金額、当初金額、購買契約、約束日付といったオーダー情報を参照できます。

## オーダーの参照

[仕入先セルフサービス] (G43S11) を選択し、適切なプログラムのサプライヤ セルフサービスの処理オプションを有効にします。

---

## 見積要求への回答

このセクションでは、見積要求へのセルフサービス回答の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 見積回答の入力 (P4334) の処理オプションの設定
- 見積要求への回答

## 見積要求へのセルフサービス回答について

サプライヤ セルフサービス機能を使えば、仕入先が調達管理システムに直接データを入力できるので、見積要求に回答する場合などに非常に便利です。権限のある仕入先が指定の Web サイトにアクセスして回答を直接システムに入力すれば、内容を書き写す際のミスや仕入先とのやりとりから生じる誤解などを最小限に抑えることができます。

仕入先は、自社の品目番号やオーダー番号を使って、当初数量やリリース数量、リリース金額、当初金額といったオーダー情報を参照できます。

## 事前設定

仕入先が見積情報を照会できるようにするには、見積回答の入力プログラム (P4334) の処理オプションを設定してください。

## 見積要求への回答に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[見積照会]	W4334B	[仕入先セルフサービス] (G43S11)、[見積要求への回答]	見積要求に回答します。



## 見積回答の入力 (P4334) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

以下の処理オプションを使用して、デフォルトのオーダー タイプを指定します。

#### オーダー タイプ

作成する伝票のタイプを指定します。

このコードは、トランザクションの当初伝票タイプも指定します。

伝票タイプは、ユーザーが設定するユーザー定義コード (00/DT) です。仕入先請求書、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます (初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。以下の伝票タイプが事前定義されています。これらは、変更しないでください。

P: 買掛金伝票

R: 売掛金伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注伝票

値を入力するか、または [ユーザー定義コード] フォームから値を選択します。

### セルフサービス

以下の処理オプションを使用して、使用するセルフサービスのタイプを指定します。

#### 仕入先セルフサービス

サプライヤ セルフサービスを使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : カスタマ セルフサービス

1: サプライヤ セルフサービス

## 見積要求への回答

[見積照会] フォームにアクセスします。



## 第 20 章

# データの除去

この章では、データの除去プログラムの概要、事前設定、およびデータの除去方法について説明します。

---

## データの除去プログラムについて

データが必要なくなったりディスクスペースが必要になった場合、除去プログラムを使用してテーブルからデータを除去できます。

システムにはテーブルからデータを除去するプログラムが用意されており、これらを使用する際には選択基準を詳細に限定する必要があります。除去プログラムには、他のテーブルに関連しているデータを除去してしまわないようにチェックされる事前定義基準が組み込まれています。

---

**重要:** システムおよびデータに対する深刻な損害を防ぐために、データの除去の正しい処理手順と意義を把握しておく必要があります。データの除去は通常、システム管理者またはオペレーション担当者が実行します。除去処理とその結果を理解している従業員のみが、この処置にアクセスできるようにしてください。

---

調達管理システムでは、以下の除去プログラムを実行できます。

- 購買明細 (F4311) の除去 (R4311P)
- 入荷確認 (F43121) の除去 (R43121P)
- 購買明細履歴 (F43199) の除去 (R43199P)
- F4311 購買見出し除去 (R4301P)
- テキスト行の終了 (R43960)

### 考慮事項

“F4311 購買見出し除去” プログラム (R4301P) を実行すると、アクティブな明細行がない場合のみレコードが除去されます。このため、“F4311 購買見出し除去” プログラムを実行する前に “購買明細 (F4311) の除去” プログラム (R4311P) を実行してください。

その他の除去プログラムと異なり、テキスト行の終了プログラム (R43960) はデータを削除しません。このプログラムでは、終了したオーダーのテキスト行の状況が 999 になります。

テキスト行の終了プログラムを実行するには、[使用可能なバージョン] フォームを使用してバッチ ジョブを投入します。レポートや他のタイプのバッチ ジョブと同様に、テキスト行の終了プログラムを実行します。

## 事前設定

データの除去を行う前に、以下の作業を行う必要があります。

- ソフトウェアをアップグレードする際にレコードが上書きされないように、除去環境を作成して除去レコードを保存してください。
- 影響を受けるファイルをバックアップしてください。
- 除去するデータを決定します。
- 除去するデータを他のユーザーが使用していないことを確認してください。

## データの除去

このセクションでは、データの除去方法について説明します。

### データの除去に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[使用可能なバージョン]	W98305WA	[テーブル・データの除去] (G43A311)、いずれかのオプション	除去プログラムを実行します。
[テーブル変換プロンプト]	W98305WO	[使用可能なバージョン] フォームでバージョンを選択し、[選択] ボタンをクリックします。	除去の設定を指定します。

### データの除去

[使用可能なバージョン] フォームにアクセスします。

以下の手順に従って、調達管理システムで除去プログラムを実行します（テキスト行の終了プログラムを除きます）。

データを除去するには、次の手順に従います。

1. [使用可能なバージョン] で、バージョンを選択します。
2. [テーブル変換プロンプト] で、[プロパティ] オプションを選択して [投入] をクリックします。
3. プロパティ ウィンドウで、[環境の選択] タブを選択します。
4. 対象となる環境を選択すると、データを除去するソース環境と除去データの保存先の環境を指定できます。
5. [データ選択] タブを選択し、除去する情報を指定します。  
除去プログラムの処理オプションが自動的に表示されます。
6. [OK] をクリックします。
7. 次のガイドラインに従って、処理オプションを設定します。

- 最初の処理オプションで、除去レコードを保存するには「1」を入力してください。  
除去環境が作成されていないと、除去データを保管できません。この処理オプションを空白にすると、全ての除去データが削除されます。
  - 2 番目の処理オプションで、除去データを保管する環境に新規の名称をつけてください。  
除去プログラムを実行する前に環境名を変更することにより、それぞれの除去レコードを別々に保管できます。名称を変更しないと、除去プログラムを実行するたびに、データが上書きされます。この処理オプションを完了する前に、除去レコードを保管するように指定されていることを確認してください。この処理オプションの完了後、データソース名を入力できるように 3 番目の処理オプションを設定してください。
  - 3 番目の処理オプションでは、除去レコードのデータソース名を入力してください。  
この処理オプションを完了する前に、除去レコードを保管するように指定されていることと、新しい環境名が入力されていることを確認してください。
8. 除去プログラムを実行するには、[OK] をクリックします。  
除去プログラムを実行しないで終了するには、[キャンセル] をクリックします。



## 付録 A

# EnterpriseOne 調達管理の標準ワークフロー

この付録では、EnterpriseOne 調達管理の標準ワークフローについて説明します。

### 関連項目:

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Workflow Tools

---

## EnterpriseOne 調達管理の標準ワークフロー

このセクションでは、EnterpriseOne 調達管理のワークフローについて説明します。

### 購買オーダー承認

このセクションでは、購買オーダー承認のワークフローについて説明します。

#### 説明

ワークフローの概要	ワークフロー処理において、数量、単位原価、合計金額、または約束納入日が、購買担当者が定義した許容限度を超えているかどうか判断されます。数量、単位原価、合計金額、または約束納入日が許容限度を超えている場合、処理オプションの定義に従ってオーダー行の状況が“承認待ち”に変更され、承認のためにオーダー行が購買担当者の配布リストに送信されます。
ワークフロートリガ	システムによるオーダー行の確認時に、数量、単位原価、合計金額、または約束納入日が許容限度を超えている場合、オーダー行の状況が“承認待ち”に変更され、関連付けられた配布リストに承認メッセージが送信されます。
ワークフローアクション	配布リスト内の購買担当者は、ワークセンターの“承認待ち”待ち行列でメッセージを受け取ります。入荷時に、購買担当者は、そのメッセージを承認または却下します。

## ワークフロー オブジェクト

システム	43
ワークフローオブジェクト名	K43181
オブジェクトID	W43S01B、W43S01E
イベント記述/関数名	Button Clicked、Button Clicked
順序/行番号	47, 48

## 約束日付変更

このセクションでは、約束日付変更のワークフローについて説明します。

### 説明

ワークフローの概要	ワークフロー処理において、購買オーダーの約束納入日に変更された場合、承認者にメッセージが送信されます。
ワークフロートリガ	約束納入日に変更されると、メッセージが送信されます。
ワークフローアクション	約束納入日に変更されると、メッセージが送信されます。メッセージの受信者が日付を承認すると、システムによって日付が更新されます。承認されない場合、日付が更新されません。日付の承認または却下にかかわらず、オーダー入力者にもメッセージが送信されます。

## ワークフロー オブジェクト

システム	43
ワークフローオブジェクト名	PROMISED DT
オブジェクトID	N4301790
イベント記述/関数名	StartWorkflowProcessOnTheWeb
順序/行番号	2



## 付録 B

### EnterpriseOne 調達管理レポート

この付録では、調達管理レポートの概要について説明し、以下の情報を提供します。

- 全レポートの一覧表
- 主なレポートの詳細

#### EnterpriseOne 調達管理レポート（アルファベット順）

この表は、EnterpriseOne 調達管理レポートを、レポート ID のアルファベット順に一覧にしたものです。

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション
R43415 仕入先別購買オーダー集計	仕入先別の次にビジネスユニット別の購買オーダー情報が印刷されます。	[購買レポート] (G43A111) の [購買オーダー集計] を選択します。
R43420 購買元帳レポート	当初の明細行情報と、各明細行の数量や合計金額に加えた変更がリストされます。	[購買レポート] (G43A111) の [購買仕訳帳] を選択します。 [外注契約レポート] (G43D111) の [購買仕訳帳] を選択します。
R43640 要求日付別発注残	要求日付に基づいて、各品目の発注残数量または金額と、品目が発注残状態である最終日付が印刷されます。  指定した各仕入先に対して個別のページが印刷されます。	[購買レポート] (G43A111) の [要求日別購買オーダーの印刷] を選択します。

#### EnterpriseOne 調達管理の主なレポート

このセクションでは、個々のレポートについて処理オプションなどの詳細情報を説明します。説明は、レポート ID 順になっています。

## R43415 - 仕入先別購買オーダー集計

このレポートには、仕入先別の次にビジネスユニット別の購買オーダー情報が印刷されます。入金額や未決済金額など、各購買オーダーに対する個別の金額を検討できます。また、全ての購買オーダーに対する合計金額を検討することもできます。1つの購買オーダーに、複数事業所に対する複数の明細行がある場合、同じオーダーが事業所に基づいて数回表示されることがあります。

このレポートの処理オプションはありません。

## R43420 - 購買元帳レポート

購買元帳レポートには、オーダー明細行の変更履歴が印刷されます。このレポートには、当初の明細行情報と、各明細行の数量や合計金額に加えた変更がリストされます。

印刷される各オーダーに対して、次の情報を検討できます。

- 当初明細行金額の合計
- 明細行変更額の合計
- 現行明細行金額の合計

このレポートの情報は、F43199 テーブルから取り込まれます。オーダー処理順序定義で元帳レコードを作成するよう設定した場合のみ、このレポートを印刷できます。

このレポートの処理オプションはありません。

## R43640 - 要求日付別発注残

ある仕入先から現在オーダー中の品目情報を参照することがあります。要求日別購買オーダー レポートを生成すると、要求日付に基づいて、各品目の発注残数量または金額と、品目が発注残状態である最終日付を参照できます。

発注残の数量または金額が表示される年齢調べカラムを指定するには、処理オプションを使用します。処理オプションは、このレポートのデータ表示フォーマットに大きく影響します。指定した各仕入先に対して個別のページが印刷されます。

## 要求日付別発注残 (R43640) の処理オプション

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

以下の処理オプションを使用して、発注残の数量または金額が表示される年齢調べカラムを指定します。処理オプションは、このレポートのデータ表示フォーマットに大きく影響します。

### 期間

以下の処理オプションを使用して、表示する期間情報を制御します。

**期間 1: 開始日付から終了 日付までの日数** 将来の回答期限までの日数を指定します。

**期間 2: 期間 1 終了日付から期間 2 終了日付までの日数** 見積要求を受け取るまでの日数を指定します。

**期間 3: 期間 2 終了日付から期間 3 終了日付までの日数**      期間 2 の日数を指定します。

**期間 4: 期間 3 終了日付から期間 4 終了日付までの日数**      期間 3 の日数を指定します。

## 印刷

以下の処理オプションを使用して、情報の印刷方法を指定します。

**オーダーの印刷**      「1」を入力すると、レコードが降順で印刷されます。

**期間 4 に、範囲より後の日付の購買オーダーを含めるには「1」を入力してください。**      「1」を入力すると、期間 4 の範囲外の購買オーダーが含まれます。



# EnterpriseOne 用語集

DNT - 変換なし	BLOB データの制約のため、iSeries サーバーに必要なデータソースのタイプです。
EnterpriseOne オブジェクト	アプリケーションのビルドに使用される再利用可能なコードです。オブジェクトタイプには、テーブル、フォーム、ビジネス関数、データ辞書項目、バッチ処理、ビジネスビュー、イベントルール、バージョン、データ構造体、メディアオブジェクトなどがあります。
EnterpriseOne プロセス	EnterpriseOne クライアントと EnterpriseOne サーバーでのプロセスリクエストの処理とトランザクションの実行のためのソフトウェア プロセスです。クライアントでは 1 つのプロセスが実行され、サーバーでは 1 つのプロセスの複数のインスタンスを処理することができます。EnterpriseOne プロセスをワークフロー メッセージやデータレプリケーションなどの特定のタスク専用指定することで、サーバーが大量のタスクを処理する場合でも重要なプロセスの実行を確保することができます。
FTP サーバー	ファイル転送プロトコルを通じてファイルへのリクエストに応答するサーバーです。
IServer サービス	JD Edwards 独自のサービスです。このインターネット サーバー サービスは Web サーバーに常駐し、データベースからクライアントへの Java クラスのファイル配信を高速化するために使用されます。
Java アプリケーション サーバー	サーバー中心のアーキテクチャの中間層に置かれるコンポーネントベースのサーバーです。このサーバーは、データアクセスや永続性と共に、セキュリティとステータスの管理を行うためのミドルウェア サービスを提供します。
JDBNET	異種サーバー間でのデータアクセスを行うためのデータベースドライバです。
JDEBASE データベースミドルウェア	クライアント/サーバー間のアクセスとプラットフォーム非依存型の API を提供する JD Edwards 独自のデータベースミドルウェア パッケージです。
JDECallObject	ビジネス関数から他のビジネス関数を呼び出すための API です。
JD Edwards EnterpriseOne データベース	“JDEBASE データベースミドルウェア”を参照してください。
jde.ini	EnterpriseOne の初期設定に必要なランタイム設定を提供する JD Edwards EnterpriseOne のファイル (または iSeries 用のメンバー) です。EnterpriseOne を実行する各マシンには、ファイルまたはメンバーの特定バージョンを常駐させる必要があります。これには、ワークステーションとサーバーが含まれます。
JDEIPC	サーバーコードによって使用される通信プログラミングツールであり、マルチプロセス環境における同一データへのアクセス制限、プロセス間の通信と調整、新規プロセスの作成を行います。
jde.log	EnterpriseOne の主要な診断ログ ファイルです。このファイルは常に主ドライブのルートディレクトリに置かれ、EnterpriseOne の起動時からの状況とエラー メッセージが書き込まれます。
JDENET	JD Edwards 独自の通信ミドルウェア パッケージです。このパッケージは、ピアツーピア、メッセージベース、ソケットベースのマルチプロセス通信ミドルウェアソリューションです。EnterpriseOne の全てのサポート対象プラットフォームでクライアント/サーバー間、サーバー/サーバー間の通信を処理します。
Nota Fiscal	ブラジルでは、税務処理のために全ての商取引についてこの書式を作成し、税法で指定された情報を含めることが義務付けられています。
Nota Fiscal Factura	ブラジルで使用する書式です。伝票情報を伴う “Nota Fiscal” です。

	Nota Fiscal の説明も参照してください。
<b>QBE</b>	Query by Example (例示照会) の略語です。EnterpriseOne では、QBE 行は、詳細グリッドの最上段にあり、データのフィルタリングに使用されます。
<b>wchar_t</b>	ワイド文字の内部タイプです。国際市場向けの移植可能プログラムの記述に使用します。
<b>Web アプリケーション サーバー</b>	Web アプリケーションと、バックエンドシステムおよび電子商取引に使用されているデータベースとの間のデータ交換を可能にする Web サーバーです。
<b>Web サーバー</b>	ブラウザから送信されたリクエストに応じて、TCP/IP プロトコルを使用して情報を送信するサーバーです。Web サーバーでは、ブラウザからのリクエストへの対応以外にも、アプリケーションやデータの格納など、通常のサーバーが行うあらゆるタスクを処理することができます。どのようなコンピュータでも、サーバーソフトウェアをインストールし、インターネットに接続すれば、Web サーバーとして使用できます。
<b>Windows ターミナル サーバー</b>	マルチ ユーザー機能を持つサーバーであり、このサーバーに接続することで、それ自体では Windows ソフトウェアを実行できない端末や最小限構成のコンピュータでも Windows アプリケーションを使用することができます。全てのクライアント処理は、Windows ターミナル サーバーで集中的に実行され、画面表示、キー入力、およびマウス操作のコマンドのみがネットワーク経由でクライアントの端末機器とターミナル サーバー間で転送されます。
<b>XAPI イベント</b>	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムを呼び出すサービスです。
<b>XML CallObject</b>	ビジネス関数の呼び出しを行うためのインタオペラビリティ機能です。
<b>XML サービス</b>	EnterpriseOne システムからイベントをリクエストし、別の EnterpriseOne システムから応答を受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。
<b>XML ディスパッチ</b>	EnterpriseOne で受信する全ての XML ドキュメントへの応答のための、単一のエン트리 ポイントを提供するインタオペラビリティ機能です。
<b>XML トランザクション</b>	事前定義済みのトランザクション タイプを使用して EnterpriseOne にデータをリクエストしたり、EnterpriseOne からデータを受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。XML トランザクションではインターフェイステーブル機能が使用されます。
<b>XML トランザクション サービス (XTS)</b>	EnterpriseOne のフォーマットではない XML ドキュメントを EnterpriseOne で処理可能なフォーマットに変換するサービスです。このサービスでは、応答時に、変換されたドキュメントが元の (発信側の) XML フォーマットに戻されます。
<b>XML リスト</b>	EnterpriseOne データベース情報のチャンク単位でのリクエスト/受信を可能にするインタオペラビリティ機能です。
<b>Z イベント</b>	インターフェイス テーブル機能を使用して EnterpriseOne トランザクションを取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
<b>Z テーブル</b>	EnterpriseOne 以外のデータを保存し、EnterpriseOne 用に変換することができるワークテーブルです。EnterpriseOne データの取得にも Z テーブルを使用できます。Z テーブルはインターフェイス テーブルとも呼ばれます。
<b>Z トランザクション</b>	EnterpriseOne データベースへの更新のためにインターフェイス テーブルで正しくフォーマットされたサードパーティのデータです。
<b>アクティビティ ルール</b>	フロー内でオブジェクトがあるポイントから次のポイントに進むための条件です。

<b>アプリケーション一時変更</b>	代替的なデータ辞書項目の記述であり、現在のオブジェクトのシステムコードに基づいて EnterpriseOne や World で表示されます。
<b>アプリケーション サーバー</b>	ネットワーククライアントに共有されるアプリケーションを含む、ローカル エリア ネットワーク内のサーバーです。
<b>イベントルール</b>	フォームの入力や、フィールド間の移動など、特定のアプリケーションで実行される操作に基づく処理(複数可)の実行をシステムに指示する論理ステートメントです。
<b>イベントルールビジネス関数 (NER)</b>	C 言語ではなく、イベントルールを使用して作成され、カプセル化された再利用可能なビジネスロジックです。イベントルールビジネス関数は、“NER” とも呼ばれます。NER は、複数のプログラムの複数の場所で再利用することができます。このモジュラー性の高さによって、コードの合理性や再利用性が高まり、必要な作業がより少なくなります。
<b>インターフェイス テーブル</b>	“Z テーブル” を参照してください。
<b>インタオペラビリティ モデル</b>	サードパーティシステムから EnterpriseOne への接続やアクセスを行うための機能です。
<b>インテグレーション サーバー</b>	コンピュータが内部および外部のネットワークで接続されたシステム環境で、各種のオペレーティングシステムやアプリケーション間でのデータの交換を行うための機能を提供するサーバーです。
<b>埋め込みイベントルール</b>	特定のテーブルやアプリケーションのためのイベントルールです。たとえば、フォーム間の呼び出し、処理オプションの値に基づくフィールドの非表示化、ビジネス関数の呼び出しなどが含まれます。“イベントルールビジネス関数”とは機能的に対照を成すルールです。
<b>エスカレーション モニター</b>	処理待ちのリクエストや活動を監視し、それらが非アクティブの状態のまま指定した時間が経過すると、再実行するか、または次のステップやユーザーに処理を進めるバッチプロセスです。
<b>エラー表示の有効化</b>	EnterpriseOne におけるフォームレベルのプロパティであり、有効時にはアプリケーション エラーのエラー メッセージがフォーム上に表示されます。
<b>エンタープライズ サーバー</b>	EnterpriseOne や World のデータベースとロジックを格納するサーバーです。
<b>オープン データ アクセス (ODA)</b>	データの集計とレポートの作成のために、SQL ステートメントを使用して EnterpriseOne のデータを抽出することができるインタオペラビリティ モデルです。
<b>オブジェクト構成マネージャ (OCM)</b>	EnterpriseOne では、ランタイム環境のオブジェクトリクエストブローカーおよび制御センターとして機能します。OCM によって、ビジネス関数、データ、バッチアプリケーションのランタイム ロケーションを追跡します。これらのオブジェクトのいずれかが呼び出されると、OCM では、指定された環境/ユーザーのデフォルト値と一時変更情報に基づいて、そのオブジェクトにアクセス先が指定されます。
<b>オブジェクトライブラリアン</b>	アプリケーションのビルドに再利用可能な全てのバージョン、アプリケーション、ビジネス関数のリポジトリです。オブジェクトライブラリアンによって、開発者にチェックアウト機能とチェックイン機能が提供されます。また、EnterpriseOne オブジェクトの作成、変更、使用の制御も行われます。オブジェクトライブラリアンは複数の環境(生産環境や開発環境など)に対応しているため、異なる環境間でオブジェクトを簡単に移動することができます。
<b>オブジェクトライブラリアン マージ</b>	前のリリースでオブジェクトライブラリアンに加えられた全ての変更を新規リリースのオブジェクトライブラリアンに統合するプロセスです。
<b>オフライン機能</b>	サーバーと接続されていないユーザーがトランザクションを入力し、後にサーバーに接続してそれらのトランザクションをアップロードすることができる処理モードです。

<b>拡張プランニング エージェント (APAg)</b>	業務データの抽出、加工、読み込みに使用できる EnterpriseOne のツールです。APAg は、リレーショナル データベース、フラットファイル フォーマットおよび XML のような他のデータまたはメッセージ エンコーディング形式によるデータソースへのアクセスをサポートしています。
<b>活動</b>	EnterpriseOne の Form Design Aid で使用される、スケジュール機能をもつエンティティであり、カレンダー上で指定した時間の量を表します。
<b>仮定処理</b>	取引に実際に使用されている通貨とは異なる通貨で入力されたように、取引の金額を表示することができる処理です。
<b>環境ワークベンチ</b>	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、各環境の環境情報とオブジェクト構成マネージャテーブルを、プランナ データソースからシステム リリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、環境プラン詳細レコードも更新されます。
<b>期間パターン</b>	標準の会計処理と 52 期間会計で、会計年度の開始日とその会計年度内の各期間の終了日を表すカレンダーです。
<b>基準日処理</b>	ある時点を指定して、その日付までの取引を集計する処理です。たとえば、日付を指定して EnterpriseOne の各種のレポートを実行し、その時点での勘定科目やビジネスユニットなどの残高や金額を確認することができます。
<b>計画ファミリ</b>	設計と製造に類似点があるため、まとめて計画することが合理的である複数の最終品目をグループ化する手段です。
<b>原価要素</b>	EnterpriseOne 製造管理において、特定の品目（資材費、人件費、間接費など）の原価の一要素を表します。
<b>コスト割当</b>	EnterpriseOne 収益性分析のプロセスであり、リソースのトレースや、活動やコストオブジェクトへの配賦に使用されます。
<b>コネクタ</b>	EnterpriseOne とサードパーティアプリケーションの間でのロジックとデータの共有を可能にするコンポーネントベースのインタオペラビリティ（相互運用）モデルです。EnterpriseOne コネクタアーキテクチャには Java コネクタと COM コネクタが含まれています。
<b>コントロール テーブル マージ</b>	顧客が変更したコントロール テーブルを新規リリースのデータに統合するプロセスです。
<b>コントロール テーブル ワークベンチ</b>	インストール ワークベンチの処理中に、プランで指定したデータ辞書、ユーザー定義コード、メニュー、ユーザー時変更テーブルを更新するバッチアプリケーションを実行するアプリケーションです。
<b>サーバー ワークベンチ</b>	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、サーバー設定ファイルを、プランナ データソースからシステム リリース番号データソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、サーバープラン詳細レコードも更新されます。
<b>差異</b>	<p>キャピタル アセット マネジメントでは、1 つの設備で発生した収益と、その設備に関連して発生した原価の差を意味します。</p> <p>JD Edwards EnterpriseOne プロジェクト原価管理と JD Edwards EnterpriseOne 製造管理では、同じ品目に対する 2 つの原価計算方式の間に生じる差異を意味します。たとえば、凍結標準原価と現行原価の差は設計差異です。凍結標準原価は原価要素テーブルから取得され、現行原価は資材、工程、間接費の各レートを使用して計算されます。</p>
<b>最終モード</b>	データレコードの更新や作成を行うプログラムの処理モードのレポート処理モードの 1 つです。
<b>作業日カレンダー</b>	JD Edwards EnterpriseOne 製造管理で、計画の作成に使用されるカレンダーです。稼働可能な日数に基づいて構成部品と作業指示のスケジュールを設定



	できるように、このカレンダーには作業日のみが連続的に表示されます。作業日カレンダーは、計画カレンダー、製造カレンダー、または製造現場カレンダーと呼ばれる場合もあります。
<b>差し込み印刷ワークベンチ</b>	業務文書を自動的に印刷するために、Microsoft Word 6.0(またはそれ以上のバージョン)の文書とEnterpriseOne のレコードをマージするアプリケーションです。雇用の証明に関する書式などの文書の印刷に、差し込み印刷ワークベンチを使用することができます。
<b>サブスクリバテーブル</b>	F98DRSUB テーブルを指しています。このテーブルは F98DRPUB テーブルと共にパブリッシャサーバーに置かれ、各パブリッシュ済みテーブルの全てのサブスクリバマシンの識別に使用されます。
<b>3 方向伝票突合せ</b>	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、入荷情報と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。3 方向突合せでは、入荷レコードを使用して伝票を作成します。
<b>施設</b>	原価のトラッキング対象となる業務の単位の 1 つです。たとえば、倉庫所在地、ジョブ、プロジェクト、ワークセンター、事業所などがあります。施設は、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
<b>指定通貨</b>	会社の財務レポートで基準として使用される通貨です。
<b>従業員ワークセンター</b>	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。各ユーザーには、アクティブ メッセージなど、ワークフローやその他のメッセージを含むメールボックスが割り当てられます。
<b>出力ストリーム アクセス (OSA)</b>	EnterpriseOne のインターフェイスを設定し、別のソフトウェア パッケージ (Microsoft Excel など) にデータを渡して処理を実行することができるインタオペラビリティモデルです。
<b>処理オプション</b>	このデータ構造によって、ユーザーはバッチ プログラムやレポートの実行を制御するパラメータを指定することができます。たとえば、処理オプションを使用して、特定のフィールドのデフォルト値の指定、情報の表示および印刷の方法、日付範囲の指定、プログラムの実行を制御するランタイム値の入力などがあります。
<b>スペック</b>	EnterpriseOne オブジェクトの完全な説明です。各オブジェクトには固有の仕様またはアプリケーションのビルドに使用される名称があります。
<b>スペックテーブル マージ ワークベンチ</b>	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、スペックテーブルを更新するバッチ アプリケーションを実行するアプリケーションです。
<b>スペック マージ</b>	オブジェクトライブラリアン マージ、バージョンリスト マージ、およびセントラルオブジェクト マージで構成されるマージ機能です。この機能を使用して、顧客が変更したデータを新規リリースのデータに統合することができます。
<b>スポットレート</b>	トランザクションレベルで入力される為替レートです。このレートは、2 つの通貨の間に設定されている為替レートより優先されます。
<b>3 ステップ処理</b>	EnterpriseOne でのバッチトランザクションの入力、検討と承認、転記のタスクを指します。
<b>整合性テスト</b>	社内の貸借一致手順を補足するために使用するプロセスであり、問題のある残高情報やデータ不整合の特定とレポート作成を行うことができます。
<b>セグメント間編集</b>	コンフィギュレーション品目セグメント間の関係を設定する論理ステートメントです。セグメント間編集を使用して、製造不可能のコンフィギュレーションのオーダーを防ぐことができます。
<b>選択</b>	メニューに表示される選択項目は、メニューからアクセスできる各機能を表します。選択するには、関連する番号を選択フィールドに入力して Enter キーを押します。

セントラルオブジェクト マージ	現行のリリースで顧客がオブジェクトに加えた変更を、次の（新規の）リリースのオブジェクトに統合する処理です。
セントラル サーバー	クライアントマシンに配布されるソフトウェアの、最初にインストールされたバージョン（セントラルオブジェクト）の格納用に指定されたサーバーです。EnterpriseOne の典型的なインストールでは、ソフトウェアは1つのマシン（セントラルサーバー）にロードされます。次に、セントラルサーバーにつながっている各種のワークステーションに向けてソフトウェアのコピーがプッシュアウトされます（またはワークステーションからダウンロードされます）。このような構成にすることで、ワークステーション上での使用によってソフトウェアが変更されたり、破損した場合には、常にセントラルサーバー上にある変更前のオブジェクトのセット（セントラルオブジェクト）にアクセスすることができます。
相殺/仮勘定	EnterpriseOne Financial Management の一般会計勘定科目であり、仕訳入力（相殺（貸借一致））処理に使用されます。たとえば、相殺/仮勘定を使用して、EnterpriseOne 一般会計の配賦によって作成された会計入力の貸借一致を行うことができます。
即時バッチオブワン	処理をクライアントワークステーション上で実行してから、後続の処理のために全てを一度にサーバーアプリケーションに投入するトランザクションの方式です。バッチ処理はサーバー上で実行されるため、クライアントアプリケーションは引き続き他のタスクを実行できます。 “ダイレクト接続”と“オフライン処理”も参照してください。
ターミナル サーバー	このサーバーを使用して、端末、マイクロコンピュータ、その他の機器を、ネットワーク、ホストコンピュータ、または特定のコンピュータに取り付けられたデバイスに接続することができます。
代替通貨	取引通貨（国内のみの取引の場合は国内通貨）として指定した通貨と異なる通貨です。 EnterpriseOne Financial Management では、代替通貨を使用して、領収書や支払の入力を発行時と異なる通貨で行うことができます。
ダイレクト接続	クライアントアプリケーションとサーバーアプリケーションが対話形式で直接通信するトランザクション方式です。 “即時バッチオブワン”、“オフライン処理”の説明も参照してください。
チャート	EnterpriseOne の情報の表形式の表示であり、ソフトウェアのフォームに表示されます。
追加モード	ユーザーによるデータの入力可能なフォームの状態です。
通貨再換算	通貨を別の通貨に換算するプロセスであり、一般的にはレポートに使用されます。たとえば、通貨再換算のプロセスを使用して、さまざまな通貨を単一の通貨に換算する必要がある連結レポートの作成に対応することができます。
突き合わせ伝票	取引を完了または変更するために、当初伝票と関連付けられる伝票です。たとえば、EnterpriseOne Financial Management では、入金請求書の突き合わせ伝票であり、支払が支払伝票の突き合わせ伝票です。
データソースワークベンチ	インストールワークベンチの処理中に、インストールプランに定義された全てのデータソースを、プランナのデータソースに含まれるデータソースマスターとテーブル/データソースサイジングテーブルから、システムのリリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、データソースプラン詳細レコードも更新されます。
データベース サーバー	データベースの管理やクライアントマシンの検索を実行するローカルエリアネットワーク内のサーバーです。

<b>テーブルアクセス管理 (TAM)</b>	ユーザー定義データの保存と取得を処理する EnterpriseOne コンポーネントです。TAM には、データ辞書定義、アプリケーション/レポート仕様、イベントルール、テーブル定義、ビジネス関数入力パラメータ、ライブラリ情報などの情報と、アプリケーション、レポート、ビジネス関数を実行するためのデータ構造体の定義が保存されます。
<b>テーブルイベントルール</b>	データベーストリガに添付されるロジックであり、トリガに指定されたアクションがテーブルに対して発生した場合に起動します。EnterpriseOne では、イベントルールをアプリケーションイベントに添付できますが、この機能はアプリケーション固有です。テーブルイベントルールでは、テーブルレベルでの埋め込みロジックを提供します。
<b>テーブル変換</b>	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
<b>テーブル変換ワークベンチ</b>	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
<b>デプロイメントサーバー</b>	複数のエンタープライズサーバーとクライアントマシンへのソフトウェアのインストールや、それらのソフトウェアの管理、配布に使用されるサーバーです。
<b>電子データ交換 (EDI)</b>	EnterpriseOne システムとサードパーティシステムの間で、コンピュータ間の業務トランザクションデータの交換をペーパーレスに行うことを可能にするインタオペラビリティモデルです。EDI を使用する会社は、EDI 標準フォーマットからその会社のシステムで使用されているフォーマットにデータを変換するためのソフトウェアを備えている必要があります。
<b>トランザクション処理 (TP) モニター</b>	ローカル端末およびリモート端末と、それらを設定したアプリケーションの間でのデータ交換を制御するモニター機能です。また、TP モニターによって、分散環境でのデータの整合性が守られます。TP モニターには、データの検証と端末画面のフォーマットのプログラムが含まれる場合もあります。
<b>トランザクションセット</b>	複数のセグメントで構成されている電子的ビジネストランザクション (電子データ交換標準ドキュメント) です。
<b>トリガ</b>	データ辞書項目に固有の複数のイベントの 1 つです。イベントの発生時にシステム内で自動的に処理されるデータ辞書項目にロジックを添付することができます。
<b>トリガ イベント</b>	特殊なアクションが必須であるか、または結果アクションが定義済みの、特定のワークフローイベントです。
<b>2 重価格設定</b>	商品やサービスに 2 つの通貨で価格を設定するプロセスです。
<b>2 方向伝票突合せ</b>	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、購買明細行と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。入荷情報は記録しません。
<b>バックツール バックプロセス</b>	EnterpriseOne ワークフロー管理で使用されるプロセスであり、別のプロセスで使用されるキーと同じキーが含まれています。
<b>パッケージ</b>	EnterpriseOne オブジェクトは、デプロイメントサーバーからのパッケージとしてワークステーションにインストールされます。パッケージは、部品表やキットに例えることができ、ワークステーションに必要なオブジェクトと、インストールプログラムがそれらのオブジェクトを検出できるようにデプロイメントサーバー上の位置情報を含んでいます。パッケージは、デプロイメントサーバー上のセントラルオブジェクトの特定時点のスナップショットでもあります。
<b>パッケージビルド</b>	ソフトウェアの変更や新規アプリケーションの既存ユーザーへの反映を容易に行うことができるソフトウェアアプリケーションです。また、EnterpriseOne では、パッケージビルドとは、ソフトウェアのコンパイル済みバージョンを指す場合もあります。たとえば、使用中の ERP ソフトウェアのアップグレード時に、パッケージビルドの実行を指示されたとします。

	<p>“パッケージビルド”という用語について、以下のコンテキストを検討してください。“パッケージビルド時に実行されるビジネス関数のグローバルビルドでは新規の関数が自動的に含められるため、配布の準備が整うまでビジネス関数を本稼働用パスコードに転送しないでください。”このように、パッケージビルドを作成するプロセスが“パッケージビルド”と呼ばれる場合もあります。</p>
パッケージ ロケーション	<p>パッケージとそのパッケージのレプリケート(複製)オブジェクトのセットが格納されるディレクトリ構造上の位置です。通常は、¥¥deployment server¥release¥path_code¥package¥package name に置かれます。このパスの下サブディレクトリに、パッケージ用のレプリケートオブジェクトが格納されます。パッケージがビルドまたは格納される場所を指す場合もあります。</p>
パッケージ ワークベンチ	<p>インストール ワークベンチプロセスの実行時に、パッケージ情報テーブルを、プランナ データソースからシステムリリース番号データソースに転送するアプリケーションです。処理の結果を反映するため、パッケージプラン詳細レコードも更新されます。</p>
バッチ サーバー	<p>バッチ処理リクエストの実行用に指定されたサーバーです。通常、バッチサーバーにデータベースは格納されず、対話型アプリケーションも実行されません。</p>
バッチ処理	<p>サードパーティシステムから EnterpriseOne にレコードを転送する処理です。</p> <p>EnterpriseOne Financial Management では、バッチ処理を使用して、EnterpriseOne 以外のシステムで入力された請求書や伝票のデータを EnterpriseOne 売掛管理や EnterpriseOne 買掛管理のシステムに転送することができます。また、顧客レコードや仕入先レコードを含む住所録情報を EnterpriseOne に転送することも可能です。</p>
パブリッシャ	<p>パブリッシュされたテーブルを受け持つサーバーです。F98DRPUB テーブルでは、企業内の全てのパブリッシュ済みテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャの識別が行われます。</p>
パブリッシュされたテーブル	<p>マスターテーブルとも呼ばれ、他のマシンにレプリケートされる元のテーブルです。パブリッシャマシンに格納される F98DRPUB テーブルにより、企業内の全てのパブリッシュされたテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャが識別されます。</p>
バージョンリスト マージ	<p>バージョンリスト マージを実行すると、新規リリースにおいて有効なオブジェクトとそれらの処理オプションデータの、非 XJDE および非 ZJDE バージョンの仕様が維持されます。</p>
ビジネス関数	<p>ユーザーによって作成される命名済みの再利用可能なビジネス ルールとログのセットであり、イベントルールを通じて呼び出すことができます。ビジネス関数では、トランザクションやそのサブセット(在庫チェック、作業オーダーの発行など)を実行することができます。また、ビジネス関数には API も含まれているため、フォーム、データベーストリガ、または EnterpriseOne 以外のアプリケーションからも呼び出すことができます。ビジネス関数は、他のビジネス関数、フォーム、イベントルール、その他の構成要素と組み合わせてアプリケーションを構成することができます。ビジネス関数の作成には、イベントルール、または C などの第 3 世代言語を使用します。ビジネス関数の例としては、Credit Check (与信チェック) や Item Availability (在庫照会) が挙げられます。</p>
ビジネスビュー	<p>アプリケーションやレポートでデータが使用されている複数の EnterpriseOne テーブルから特定の列を選択するための手段として使用される機能です。ビジネスビュー自体には特定の行を選択する機能はありません。また、ビジネスビューには実際のデータは含まれていません。ビジネスビューは、情報の表示専用の機能であり、このビューを介してデータを操作することができます。</p>
ビジュアル アシスト	<p>ユーザーがコントロールに属するデータを判別できるように、コントロールからトリガーを介して起動できるフォームです。</p>

ファイル サーバー	ネットワーク上で他のコンピュータからアクセスされるファイルを保存するサーバーです。ユーザーにはリモート ディスクドライブとして表示されるディスクサーバーと異なり、ファイル サーバーには、単にファイルを保存するだけでなく、保存しているファイルを管理し、要求をユーザー リクエスト ファイルとして維持して、それらのファイルの更新も行う高度な機能が備えられています。
プリスティン環境	EnterpriseOne のデモ データを使用した未変更オブジェクトのテストに使用する EnterpriseOne 環境です。研修環境にも使用されます。変更したオブジェクトと変更前のオブジェクトを比較するには、この環境が必要です。
プリント サーバー	ネットワークとプリンタの間のインターフェイスであり、ネットワーククライアントはこれを利用してプリンタに接続し、印刷ジョブを送信することができます。コンピュータ、独立したハードウェア デバイス、またはプリンタ内部のハードウェアでもプリンタサーバーとして使用することができます。
プルレプリケーション	データを個別のワークステーションにレプリケートする方法の 1 つです。プルレプリケーションのレプリケーション先のマシンは、EnterpriseOne のデータレプリケーション ツールを使用して、プル サブスクライバとしてセットアップされます。プル サブスクライバに変更、更新、削除が通知されるのは、その情報を要求した場合のみです。要求は、通常は起動時に、プル サブスクライバから F98DRPCN テーブルが置かれているサーバーにメッセージの形式で送信されます。
プロキシサーバー	企業などがセキュリティ管理、管理統制、サービスのキャッシュ化を確実に行うことができるように、ワークステーションとインターネットの間で防壁として機能するサーバーです。
プログラム一時修正 (PTF)	磁気テープやディスクで提供される、JD Edwards ソフトウェアの変更です。
プロジェクト	EnterpriseOne で使用される、オブジェクト管理ワークベンチで開発されたオブジェクトのための仮想コンテナです。
プロモーション パス	ワークフロー内でオブジェクトやプロジェクトが進む、指定された工程です。標準的なプロモーション サイクル (パス) は以下のとおりです。 11>21>26>28>38>01 このパスでは、11 は検討待ちの新規プロジェクト、21 はプログラミング、26 は品質管理テスト/検討、28 は品質管理テスト/検討の完了、38 は本稼働、01 はサイクルの完了を表します。標準的なプロジェクト プロモーション サイクルの工程内で、開発者は、開発パスコードからオブジェクトをチェックアウトし、チェックインしてから、それらのオブジェクトをプロトタイプ パスコードにプロモートします。次に、オブジェクトは、工程の完了の前に、本稼働用のパスコードに移されます。
編集コード	レポートやフォームの特定の値がどのように表示/フォーマットされるかを示すコードです。レポートに属するデフォルトの編集コードは大量の情報に関連しているため、使用時には注意が必要です。
編集モード	ユーザーによるデータの変更が可能なフォームの状態です。
編集ルール	ユーザー入力を事前に定義されたルールやルールのセットに照合して、フォーマットや検証を行うための方法です。
補足データ	マスターで管理されない全ての情報のタイプを指す用語です。補足データは、通常、従業員、応募者、購買要求、作業 (従業員の技能、取得学位、語学力など) に関する追加情報です。補足データを使用して、組織が要求するあらゆる情報を追跡管理することができます。 たとえば、標準のマスター (住所録マスター、顧客マスター、仕入先マスター) とは別に、それらのテーブルでは管理されない情報を汎用データベースで管理することができます。このような汎用データベースを使用すると、EnterpriseOne システム全体にわたって、標準的な方法で補足データの入力と管理を行うことができます。
本稼働用環境	ユーザーが EnterpriseOne ソフトウェアを実務使用する EnterpriseOne 環境です。

本稼働レベル ファイル サーバー	通常はユーザー サポート サービスと共に提供される、品質保証付きの商品化されたファイル サーバーです。
マスター テーブル	“パブリッシュされたテーブル”を参照してください。
マスター ビジネス関数 (MBF)	データベース内の情報の追加、変更、更新のための中心のロケーションとして機能する対話型のマスター ファイルです。マスター ビジネス関数によって、データ入力フォームとテーブル間でのデータの交換が行われます。マスター 関数によって、全ての必要なデフォルト値と編集ルールを含む関数の共通セットが、関連するプログラムに提供されます。MBF には、データベースの情報の追加、更新、削除の整合性を確保するロジックが含まれています。
見出し情報	テーブルやフォームの先頭に表示される情報です。見出し情報を使用して、後続のレコード グループの制御情報が識別または提供されます。
見積オーダー	EnterpriseOne 調達管理および外注管理では、仕入先からの品目情報と価格情報のリクエストであり、そこから購買オーダーを作成できます。  EnterpriseOne 受注管理では、受注オーダーに対してまだ引当を行っていない顧客の品目情報と価格情報を指します。
明細情報	たとえば、伝票支払品目や受注オーダー明細行など、EnterpriseOne のトランザクションの個別の行に関連する情報です。
メッセージアダプタ	サードパーティ システムから EnterpriseOne に接続し、メッセージング キューを使用したデータの交換を行うためのインタオペラビリティ モデルです。
メッセージ センター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。
メッセージング サーバー	メッセージング API を使用して、他のプログラムで使用するために送信されるメッセージを処理するサーバーです。メッセージング サーバーには、通常、関数を実行するためにミドルウェア プログラムが配備されます。
メディア ストレージ オブジェクト	テーブル フォーマットにまとめられていない、Gxxx、xxxGT、または GTxxx のいずれかの命名規則を使用するファイルです。
ユーザー一時変更のマージ	新規のユーザー一時変更レコードを顧客のユーザー事変更テーブルに追加するプロセスです。
優先プロファイル	品目、品目グループ、顧客、および顧客グループについて、ユーザー定義の階層 (順序) に基づいて指定したフィールドのデフォルト値を定義する機能です。
用語一時変更	特定の EnterpriseOne または World のフォームやレポートに表示される、データ辞書項目の代替的な説明です。
リアルタイム イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティ ソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
リフレッシュ	EnterpriseOne ソフトウェアまたはそのサブセット (テーブルや業務データなど) を、新規リリースや PTF/Cum アップデートリリース (B73.2 や B73.2.1 など) に正しく対応させるための変更機能です。
略式コマンド	特定のコマンドを使用することで、メニューやアプリケーション間を迅速に移動できるコマンド プロンプト機能です。
レプリケーション サーバー	セントラル オブジェクトのクライアント マシンへのレプリケーションを受け持つサーバーです。

ロケーションワークベンチ	インストールワークベンチプロセスの実行時に、インストールプランに定義された全てのロケーションを、プランナデータソースの保管場所マスターからシステムデータソースにコピーするアプリケーションです。
ロジックサーバー	アプリケーションプログラムにビジネスロジックを提供する、分散ネットワーク内のサーバーです。典型的なコンフィギュレーションでは、プリスティンオブジェクトは、セントラルサーバーからロジックサーバーに複製されます。EnterpriseOneやWorldソフトウェアの実行時に、ロジックサーバーでは、ワークステーションと連動して、必要な処理が実際に実行されます。
ワークグループサーバー	マスターネットワークサーバーからレプリケートされたデータのサブセットが通常置かれるサーバーです。ワークグループサーバーでは、アプリケーションやバッチ処理は実行されません。
ワークフロー	ビジネスプロセスの一部または全体の自動化を意味する用語です。自動化されたプロセス(ワークフロー)の実行時には、ドキュメント、情報、タスクは、手順規則に従ってユーザーからユーザーへ渡されます。
ワークベンチ	関連のあるプログラムのグループに対する1つのエントリポイントからのアクセスを可能にするプログラムです。通常、ワークベンチからアクセスするプログラムは、大規模な業務プロセスに使用されています。たとえば、JD Edwards EnterpriseOne 支払サイクルワークベンチ(P07210)を使用して、給与計算、支払レポートの印刷、給与レポートの作成、仕訳入力の作成、給与履歴の更新に使用される全てのプログラムにアクセスすることができます。EnterpriseOneには、サービス管理ワークベンチ(P90CD020)、ラインスケジューリングワークベンチ(P3153)、計画ワークベンチ(P13700)、監査人ワークベンチ(P09E115)、支払サイクルワークベンチなどが用意されています。





# 索引

AAI (自動仕訳), 参照: 自動仕訳 (AAI)

additional information – accessing  
forms 160

Apply Landed Costs program  
(P7610B) 285

Australia

Rapid Start

business processes for  
Procurement 3

changing purchase orders for an  
inventory item 153

entering blanket orders for an  
inventory item 338

entering direct purchase order for an  
inventory item 122

matching purchase order receipts for  
selling a direct ship item 318

matching purchase order to voucher  
for an inventory item 319

posting procurement transactions for  
selling a direct ship item 275

posting purchase order receipts for  
an inventory item 267

posting purchase order receipts for  
selling a direct ship item 268

posting vouchers for an inventory  
item 272

preconfigured processing options  
for Approve Po – Inventory  
(P43025) 130

preconfigured processing options  
for Order Entry – Blanket  
(P4310) 338

preconfigured processing options  
for Order Entry – Inventory  
(P4310) 123, 154

preconfigured processing options  
for Print Purchase Orders – Batch  
(R43500) 202

preconfigured processing options  
for Print Purchase Orders  
(R43500) 197

preconfigured processing options  
for Reprint Purchase Order  
(R43500) 199

preconfigured processing options  
for Voucher Entry with PO Match  
(P0411) 320

preconfigured processing options for  
Voucher Match (P4314) 322

printing purchase order for selling a  
direct ship item 201

printing purchase orders for an  
inventory item 196

receiving purchase order for selling a  
direct ship item 263

receiving purchase orders for an  
inventory item 263

reprinting purchase orders for an  
inventory item 199

reviewing and releasing purchase  
orders for an inventory item 129

Canada

Rapid Start

business processes for  
Procurement 3

changing purchase orders for an  
inventory item 153

confirming shipment for returning an  
item to a supplier 264

entering and printing purchase  
orders for returning an item to a  
supplier 130

entering and receiving purchase  
orders for non-inventory item with  
3-way match 246

entering blanket orders for an  
inventory item 338

entering direct purchase order for an  
inventory item 122

entering, printing, and changing  
purchase orders for non-inventory  
items with 2-way match 139

matching credit memo to open  
purchase order receipts for  
returning an item to a supplier 326

matching invoice to open  
receipt 317

matching invoice to open receipt for  
an inventory item 317

- matching invoice to purchase order 313
- matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
- matching purchase order receipts for transfer order with receipt routing 327
- moving and dispositioning transfer order with receipt routing 383
- posting journal entries for returning an item to a supplier 273
- posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
- posting procurement transactions for transfer order with receipt routing 276
- posting purchase order receipts 265
- posting purchase order receipts for an inventory item 267
- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272
- posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
- posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
- posting vouchers for returning an item to a supplier 274
- preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
- preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
- preconfigured processing options for Movement and Disposition (P43250) 384
- preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
- preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
- preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
- preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
- preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
- preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
- preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
- preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 193
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- Customer Connection Web サイト xxiv
- EDI, 参照: 電子データ交換
- Enter Receipts by PO program (P4312) 226
- F4301 購買見出し除去プログラム (R4301P) 425
- F4301 テーブル 208, 352
- F4303 テーブル 208
- F4304 テーブル 208
- F4311 テーブル 208, 353
- F4311 テーブル (購買明細) 329
- F43199 テーブル 353
- P4319 プログラム 353
- Fiscal Books Next Number Revision form 237
- France
  - Rapid Start
    - business processes for Procurement 3
    - changing purchase orders for an inventory item 153
    - confirming shipment for returning an item to a supplier 264
    - entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier 130

- entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match 246
- entering blanket orders for an inventory item 338
- entering direct purchase order for an inventory item 122
- entering, printing, and changing purchase orders for non-inventory items with 2-way match 139
- matching credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier 326
- matching invoice to open receipt 317
- matching invoice to open receipt for an inventory item 317
- matching invoice to purchase order 313
- matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
- posting journal entries for returning an item to a supplier 273
- posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
- posting purchase order receipts 265
- posting purchase order receipts for an inventory item 267
- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272
- posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
- posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
- posting vouchers for returning an item to a supplier 274
- preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
- preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
- preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
- preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
- preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
- preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
- preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
- preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
- preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
- preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 193
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- freight notes 284
- Great Britain
- Rapid Start
  - business processes for Procurement 3
  - changing purchase orders for an inventory item 153
  - confirming shipment for returning an item to a supplier 264
  - entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier 130
  - entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match 246
  - entering blanket orders for an inventory item 338
  - entering direct purchase order for an inventory item 122

- entering, printing, and changing
  - purchase orders for non-inventory items with 2-way match 139
- matching credit memo to open
  - purchase order receipts for returning an item to a supplier 326
- matching invoice to open
  - receipt 317
- matching invoice to open receipt for an inventory item 317
- matching invoice to purchase order 313
- matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
- posting journal entries for returning an item to a supplier 273
- posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
- posting purchase order receipts 265
- posting purchase order receipts for an inventory item 267
- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272
- posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
- posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
- posting vouchers for returning an item to a supplier 274
- preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
- preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
- preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
- preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
- preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
- preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
- preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
- preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
- preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
- preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 193
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- inbound nota fiscal review 225
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 xxiii
- landed costs
  - understanding for Brazil 283
- MMA Partners xxiv
- New Zealand
  - Rapid Start
    - business processes for Procurement 3
- changing purchase orders for an inventory item 153
- entering blanket orders for an inventory item 338
- entering direct purchase order for an inventory item 122
- matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
- matching purchase order to voucher for an inventory item 319
- posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
- posting purchase order receipts for an inventory item 267
- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272

- preconfigured processing options
  - for Approve Po – Inventory (P43025)m 130
- preconfigured processing options
  - for Order Entry – Blanket (P4310) 338
- preconfigured processing options
  - for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 154
- preconfigured processing options
  - for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 202
- preconfigured processing options
  - for Print Purchase Orders (R43500) 197
- preconfigured processing options
  - for Reprint Purchase Order (R43500) 199
- preconfigured processing options
  - for Voucher Entry with PO Match (P0411) 320
- preconfigured processing options for Voucher Match (P4314) 322
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 196
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reprinting purchase orders for an inventory item 199
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- Next Number – Fiscal Books program (P7602B) 237
- Nota Fiscal Check and Close program (P76B900) 232, 235
- Nota Fiscal Inquiry program (P7610B) 232, 235
- Nota Fiscal Maintenance – Brazil program (P7610B) 227
- Nota Fiscal Reciepts – Brazil program (P4312BR) 226
- notas fiscais
  - closing inbound 233
  - comparing amounts 232
  - correcting amounts 231
  - correcting errors 231
  - creating text for correction letters 237
  - entering freight notes 284
  - entering landed costs 283
  - generating correction letters 236
  - reviewing inbound 225
- Open Receipts by Supplier program (P43214) 231
- order detail lines
  - matching to vouchers 287
- P0004A プログラム 88
- P041051 プログラム 312
- P0411 プログラム 312
  - 処理オプション 291
  - 用途 287
- P042002 プログラム 312
- P4015 プログラム
  - 処理オプション 62
  - 用途 61
- P40205 プログラム 30
- P40215 プログラム 63
- P40230A プログラム 173
- P40950 プログラム 50
- P41061 プログラム
  - 処理オプション 79
  - 用途 79
- P42090 プログラム 53
- P4271 プログラム 80
- P43008 プログラム
  - 処理オプション 360
  - 用途 358
- P43011 プログラム
  - 処理オプション 84
  - 用途 405
- P43025 プログラム 402
- P4303 プログラム 65
- P43060 プログラム
  - 処理オプション 334
  - 用途 332, 405
- P43070 プログラム 182
- P43080 プログラム 366
- P43081 プログラム
  - 処理オプション 363
  - 用途 361
- P43090 プログラム 375
- P43091 プログラム 373
- P43093 プログラム 377
- P43DA プログラム 374
- P43100 プログラム 402
- P4310BR program

- processing options 161
- usage 160
- P4310 プログラム
  - 処理オプション 92
  - 用途 92, 107
- P43126 プログラム 213
- P4312BR program 226
- P4312 program 226
- P4312 プログラム 215
- P4314 プログラム 299
- P4316 プログラム 114
- P43205 プログラム 354
- P43214 program 231
- P43214 プログラム
  - 処理オプション 281
  - 用途 280
- P4322 プログラム 51
- P43230 プログラム 74
  - 処理オプション 397
- P43250 プログラム
  - 処理オプション 378
  - 用途 383
- P43253 プログラム 387
- P43291 プログラム
  - 処理オプション 285
  - 用途 284
- P4331 プログラム 346
- P4334 プログラム
  - 処理オプション 348, 423
  - 用途 422
- P43360 プログラム 349
- P4371 プログラム
  - 処理オプション 409
  - 用途 406
- P44440 レポート 329
- P470412 プログラム 309
- P7602B program 237
- P7610B program 227, 230, 232, 235, 285
- P76B900 program 232, 235
- PeopleBook
  - 注文 xxiv
- PeopleCode の表記規則 xxvi
- P.O. Brazilian Additional Information –
  - Brazil program (P4310BR)
    - processing options 161
    - usage 160
- procurement
  - key concepts 92
  - notas fiscais 92
  - reversing receipts for Brazil 231
- purchase orders
  - entering additional information for
    - Brazil 160
  - requirements for Brazil 92
- R00932 プログラム
  - 処理オプション 417
  - 用途 416
- R04305 プログラム
  - 処理オプション 311
  - 用途 311
- R04602 レポート
  - 印刷 329
- R09801 プログラム 241
- R40910 レポート
  - 処理オプション 175, 412
  - 用途 412
- P4101N プログラム
  - 処理オプション 57
  - 用途 56
- R4106101 プログラム
  - 処理オプション 394
  - データ選択 394
- R4301P プログラム 425
- R4311P プログラム 425
- R43121P プログラム 425
- R4317 プログラム
  - 処理オプション 176, 418
  - 用途 417
- R43199P プログラム 425
  - 処理オプション 414
  - 用途 413
- R43412 レポート
  - 印刷 328
  - 処理オプション 328
- 入荷/伝票状況レポート (R43412)
  - 印刷 328
- R43415 レポート 431, 432
- R43420 レポート 431, 432
- R43428 レポート 313
- R43450 レポート 329
- R43500 プログラム 188
- R4350 レポート 346
- R43510 プログラム
  - 処理オプション 211
  - 用途 211
- P43525 プログラム 245
- R43535 レポート
  - 印刷 355
  - 処理オプション 355
- R43632 プログラム 245

- R43640 レポート 431
  - 処理オプション 432
  - 用途 432
- R437002 プログラム
  - 処理オプション 407
  - 用途 406
- R43815 プログラム 63
- R43900 プログラム
  - 処理オプション 400
  - 用途 399
- R43960 プログラム 425
- R4401P レポート 208
- Rapid Start
  - Australia
    - business processes for
      - Procurement 3
    - changing purchase orders for an
      - inventory item 153
    - entering blanket orders for an
      - inventory item 338
    - entering direct purchase order for an
      - inventory item 122
    - matching purchase order receipts for
      - selling a direct ship item 318
    - matching purchase order to voucher
      - for an inventory item 319
    - posting procurement transactions for
      - selling a direct ship item 275
    - posting purchase order receipts for
      - an inventory item 267
    - posting purchase order receipts for
      - selling a direct ship item 268
    - posting vouchers for an inventory
      - item 272
    - preconfigured processing options
      - for Approve Po – Inventory
        - (P43025) 130
    - preconfigured processing options
      - for Order Entry – Blanket
        - (P4310) 338
    - preconfigured processing options
      - for Order Entry – Inventory
        - (P4310) 123, 154
    - preconfigured processing options
      - for Print Purchase Orders – Batch
        - (R43500) 202
    - preconfigured processing options
      - for Print Purchase Orders
        - (R43500) 197
  - preconfigured processing options
    - for Reprint Purchase Order
      - (R43500) 199
  - preconfigured processing options
    - for Voucher Entry with PO Match
      - (P0411) 320
  - preconfigured processing options for
    - Voucher Match (P4314) 322
  - printing purchase order for selling a
    - direct ship item 201
  - printing purchase orders for an
    - inventory item 196
  - receiving purchase order for selling a
    - direct ship item 263
  - receiving purchase orders for an
    - inventory item 263
  - reprinting purchase orders for an
    - inventory item 199
  - reviewing and releasing purchase
    - orders for an inventory item 129
- Canada
  - business processes for
    - Procurement 3
  - changing purchase orders for an
    - inventory item 153
  - confirming shipment for returning an
    - item to a supplier 264
  - entering and printing purchase
    - orders for returning an item to a
      - supplier 130
  - entering and receiving purchase
    - orders for non-inventory item with
      - 3-way match 246
  - entering blanket orders for an
    - inventory item 338
  - entering direct purchase order for an
    - inventory item 122
  - entering, printing, and changing
    - purchase orders for non-inventory
      - items with 2-way match 139
  - matching credit memo to open
    - purchase order receipts for
      - returning an item to a supplier 326
  - matching invoice to open
    - receipt 317
  - matching invoice to open receipt for
    - an inventory item 317
  - matching invoice to purchase
    - order 313

- matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
- matching purchase order receipts for transfer order with receipt routing 327
- moving and dispositioning transfer order with receipt routing 383
- posting journal entries for returning an item to a supplier 273
- posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
- posting procurement transactions for transfer order with receipt routing 276
- posting purchase order receipts 265
- posting purchase order receipts for an inventory item 267
- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272
- posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
- posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
- posting vouchers for returning an item to a supplier 274
- preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
- preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
- preconfigured processing options for Movement and Disposition (P43250) 384
- preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
- preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
- preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
- preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
- preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
- preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
- preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
- preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 193
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- France
  - business processes for Procurement 3
  - changing purchase orders for an inventory item 153
  - confirming shipment for returning an item to a supplier 264
  - entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier 130
  - entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match 246
  - entering blanket orders for an inventory item 338
  - entering direct purchase order for an inventory item 122
  - entering, printing, and changing purchase orders for non-inventory items with 2-way match 139
  - matching credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier 326
  - matching invoice to open receipt 317
  - matching invoice to open receipt for an inventory item 317
  - matching invoice to purchase order 313



- matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
- posting journal entries for returning an item to a supplier 273
- posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
- posting purchase order receipts 265
- posting purchase order receipts for an inventory item 267
- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272
- posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
- posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
- posting vouchers for returning an item to a supplier 274
- preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
- preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
- preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
- preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
- preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
- preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
- preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
- preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
- preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
- preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 193
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- Great Britain
  - business processes for Procurement 3
  - changing purchase orders for an inventory item 153
  - confirming shipment for returning an item to a supplier 264
  - entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier 130
  - entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match 246
  - entering blanket orders for an inventory item 338
  - entering direct purchase order for an inventory item 122
  - entering, printing, and changing purchase orders for non-inventory items with 2-way match 139
  - matching credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier 326
  - matching invoice to open receipt 317
  - matching invoice to open receipt for an inventory item 317
  - matching invoice to purchase order 313
  - matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
  - posting journal entries for returning an item to a supplier 273
  - posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
  - posting purchase order receipts 265
  - posting purchase order receipts for an inventory item 267

- posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
- posting vouchers for an inventory item 272
- posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
- posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
- posting vouchers for returning an item to a supplier 274
- preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
- preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
- preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
- preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
- preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
- preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
- preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
- preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
- preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
- preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
- printing purchase order for selling a direct ship item 201
- printing purchase orders for an inventory item 193
- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- New Zealand
  - business processes for Procurement 3
  - changing purchase orders for an inventory item 153
  - entering blanket orders for an inventory item 338
  - entering direct purchase order for an inventory item 122
  - matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
  - matching purchase order to voucher for an inventory item 319
  - posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
  - posting purchase order receipts for an inventory item 267
  - posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
  - posting vouchers for an inventory item 272
  - preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
  - preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 338
  - preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 154
  - preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 202
  - preconfigured processing options for Print Purchase Orders (R43500) 197
  - preconfigured processing options for Reprint Purchase Order (R43500) 199
  - preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 320
  - preconfigured processing options for Voucher Match (P4314) 322
  - printing purchase order for selling a direct ship item 201
  - printing purchase orders for an inventory item 196
  - receiving purchase order for selling a direct ship item 263

- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reprinting purchase orders for an inventory item 199
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- United States
  - business processes for Procurement 3
  - changing purchase orders for an inventory item 153
  - confirming shipment for returning an item to a supplier 264
  - entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier 130
  - entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match 246
  - entering blanket orders for an inventory item 338
  - entering direct purchase order for an inventory item 122
  - entering, printing, and changing purchase orders for non-inventory items with 2-way match 139
  - matching credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier 326
  - matching invoice to open receipt 317
  - matching invoice to open receipt for an inventory item 317
  - matching invoice to purchase order 313
  - matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
  - matching purchase order receipts for transfer order with receipt routing 327
  - moving and positioning transfer order with receipt routing 383
  - posting journal entries for returning an item to a supplier 273
  - posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
  - posting procurement transactions for transfer order with receipt routing 276
  - posting purchase order receipts 265
  - posting purchase order receipts for an inventory item 267
  - posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
  - posting vouchers for an inventory item 272
  - posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
  - posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
  - posting vouchers for returning an item to a supplier 274
  - preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
  - preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
  - preconfigured processing options for Movement and Disposition (P43250) 384
  - preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
  - preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
  - preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
  - preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
  - preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
  - preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258
  - preconfigured processing options for Voucher Entry with PO Match (P0411) 314
  - preconfigured processing options for Voucher Post (R09801) 270
  - printing purchase order for selling a direct ship item 201
  - printing purchase orders for an inventory item 193

- receiving purchase order for selling a direct ship item 263
- receiving purchase orders for an inventory item 263
- reviewing and releasing purchase orders for an inventory item 129
- receipts
  - closing inbound notas fiscais 233
  - entering for Brazil 225
  - reversing for Brazilian 231
- receipts for multiple nota fiscal documents 225
- United States
  - Rapid Start
    - business processes for Procurement 3
  - changing purchase orders for an inventory item 153
  - confirming shipment for returning an item to a supplier 264
  - entering and printing purchase orders for returning an item to a supplier 130
  - entering and receiving purchase orders for non-inventory item with 3-way match 246
  - entering blanket orders for an inventory item 338
  - entering direct purchase order for an inventory item 122
  - entering, printing, and changing purchase orders for non-inventory items with 2-way match 139
  - matching credit memo to open purchase order receipts for returning an item to a supplier 326
  - matching invoice to open receipt 317
  - matching invoice to open receipt for an inventory item 317
  - matching invoice to purchase order 313
  - matching purchase order receipts for selling a direct ship item 318
  - matching purchase order receipts for transfer order with receipt routing 327
  - moving and dispositioning transfer order with receipt routing 383
  - posting journal entries for returning an item to a supplier 273
  - posting procurement transactions for selling a direct ship item 275
  - posting procurement transactions for transfer order with receipt routing 276
  - posting purchase order receipts 265
  - posting purchase order receipts for an inventory item 267
  - posting purchase order receipts for selling a direct ship item 268
  - posting vouchers for an inventory item 272
  - posting vouchers for non-inventory item with 2-way match 269
  - posting vouchers for non-inventory item with 3-way match 271
  - posting vouchers for returning an item to a supplier 274
  - preconfigured processing options for Approve Po – Inventory (P43025) 130
  - preconfigured processing options for General Ledger – PO Receipts (R09801) 266
  - preconfigured processing options for Movement and Disposition (P43250) 384
  - preconfigured processing options for Order Entry – Blanket (P4310) 140, 247, 338
  - preconfigured processing options for Order Entry – Inventory (P4310) 123, 131, 154
  - preconfigured processing options for Order Entry – Non Stock (P4310) 253
  - preconfigured processing options for Order Entry – Subcontracts (P4310) 145
  - preconfigured processing options for Print Purchase Orders – Batch (R43500) 137, 151, 194, 202
  - preconfigured processing options for Receipts by Purchase Order (P4312) 258

preconfigured processing options  
   for Voucher Entry with PO Match  
   (P0411) 314  
 preconfigured processing options for  
   Voucher Post (R09801) 270  
 printing purchase order for selling a  
   direct ship item 201  
 printing purchase orders for an  
   inventory item 193  
 receiving purchase order for selling a  
   direct ship item 263  
 receiving purchase orders for an  
   inventory item 263  
 reviewing and releasing purchase  
   orders for an inventory item 129  
 user-defined codes  
   (BRA) category code name/code(BR)  
   (76/CN) 46  
   (BRA) GL/class code cross reference  
   (76/GL) 46  
   (BRA) nota fiscal source (76/NF) 47  
   item category code 06 (41/06) 43  
 vertex 19  
 vouchers  
   matching order detail lines to  
   create 287

## あ

[アプリケーション固定情報] フォーム 41  
 アプリケーション制御固定情報 41  
 アプリケーションの基礎 xxiii

## い

一括オーダー  
   印刷 337  
   許容規則の割り当て 51  
   購買オーダーの作成 337  
   利用 336  
   リリース 337  
 一般会計 2  
 印刷・製本されたドキュメンテーショ  
   ン xxiv  
 印刷メッセージ 192  
   概要 59  
   定義 59

## お

オーダー  
   改訂 351

価格見積からの作成 348  
 関連情報の検討 204  
 個別印刷 192  
 財務状況情報 206  
 参照情報の入力 109  
 数量の算出 404  
 税情報の入力 108  
 多通貨での入力 107  
 注記の入力 109  
 バッチ印刷 188  
 発注元情報の入力 108  
 日付の入力 108  
 複写 169  
 保留 182  
 見出し情報の入力 107  
 明細行の取り消し 113  
 メッセージの印刷 192  
 オーダー改訂  
   アクティブ化 352  
   概要 352  
   検討 354  
   作成 352  
   情報の印刷 355  
   変更の記録 351  
 [オーダー改訂の処理] フォーム 354  
 オーダー改訂履歴レポート (R43535)  
   印刷 355  
   処理オプション 355  
 オーダー行タイプ  
   概要 11  
   設定 29  
 オーダー処理サイクル 16  
 オーダー処理順序定義 11  
 [オーダー処理順序定義の改訂] フォー  
   ム 33  
 オーダー数量の算出 404  
 オーダー テンプレート  
   オーダー テンプレートを使用した品  
   目入力 169  
   オーダー履歴を使用して作成 63  
   改訂 63  
   概要 11  
   作成 61  
   設定 60  
 [オーダー・テンプレートの改訂] フォー  
   ム 63  
 オーダー テンプレートの改訂プログラ  
   ム (P4015)  
   処理オプション 62  
   用途 61

オーダーの参照情報 109  
 オーダー保留  
   概要 52  
   設定 52  
   チェック 181  
   リリース 184  
 オーダー見出し情報  
   アクセス 107  
   オーダー見出し情報について 91  
   入力 107  
 オーダー明細行  
   伝票と照合する運賃の選択 307  
 オーダー明細情報  
   オーダー明細情報について 91  
   デフォルト フィールド 113  
   入力 112  
 [オーダー明細] フォーム 117  
 オーダー明細レポート (R4401P) 208

## か

買掛管理 2  
 買掛金標準伝票入力プログラム  
   処理オプション 291  
   用途 287  
 外注オーダー  
   外注オーダーの承認状況の検討 361  
   却下 365  
   支払の保留 288  
   承認 365  
   承認待ち 362, 364  
 外注管理 15  
 外注契約の多通貨情報の検討 208  
 外注明細レポート (R4401P) 208  
 概要 1  
 価格  
   仕入先価格の入力 76  
   仕入先割引の入力 77  
 価格管理固定情報 38  
 価格分岐 166  
 価格見積  
   価格見積からのオーダー作成 348  
   価格見積を入手する仕入先の入  
   力 347  
   見積要求品目の入力 344  
   要求の印刷 348  
   利用 344  
 カタログ  
   カタログからの品目選択 169  
   仕入先のデフォルト 76

電子 113, 166  
 入力 76  
 仮請求書情報の印刷 312  
 仮払伝票明細レポート (R43428) 313  
 為替レート 205  
 勘定科目コード - 明細行の入力 114  
 勘定配賦の照会プログラム  
   (P43126) 213  
 勘定配賦の入力プログラム (P4316) 114  
 関連ドキュメンテーション xxiv

## き

キット  
   親品目 116  
   キット オーダーの入力 116  
   構成品 116  
   数量および原価情報の変更 116  
 逆仕訳  
   伝票 288  
 旧品目 116  
 行タイプ  
   行タイプについて 16  
   コミットメント 172  
   設定 29  
 共通フィールド xxviii, xxxiv  
 許容規則  
   概要 51  
   作成 50

## く

繰越債務プログラム (R4317)  
   処理オプション 176  
 グローバル導入手順 8

## け

警告 xxvii  
 契約価格設定 77  
 契約ログ詳細テーブル (F4303) 208  
 契約ログ テキストテーブル (F4304) 208  
 原価  
   加重平均 310  
   合計 114  
   差異 310  
   請求書に対する変更の記録 307  
   多通貨での入力 113  
   標準 240  
   品目に関する入力 76  
   品目に対する取得 113

## こ

ご意見 xxviii  
 合計原価 114  
 購買オーダー  
   一括オーダーを使用した購買オーダー  
   の作成 337  
   却下 365  
   コミットメントおよび債務のトラッキン  
   グ 169  
   自動生成 403  
   承認 365  
   承認状況の検討 361  
   承認待ち 362, 364  
   デフォルト値の設定 67  
   入荷 11  
   バッチ生成 406  
   発注残の検討 245  
   日付の改訂 402  
   複数の仕入先に対する入力 169  
 購買オーダー印刷プログラム  
   (R43500) 188  
 購買オーダー承認プログラム (P43081)  
   処理オプション 363  
   用途 361  
 購買オーダー入力プログラム (P4310)  
   処理オプション 92  
   用途 92  
 購買オーダー/変更オーダー集計プログ  
   ラム (P4319) 353  
 購買金額元帳 172  
 購買仕訳 (R04305)  
   用途 311  
   処理オプション 311  
 購買数量元帳 172  
 購買日付の改訂プログラム  
   (P43100) 402  
 購買見出しテーブル (F4301) 352  
 購買明細 (F4311) の除去プログラム  
   (R4311P) 425  
 購買明細実績テーブル (F43199) 353  
 購買明細テーブル (F4311) 329, 353  
 購買明細履歴 (F43199) の除去プログ  
   ラム (R43199P) 425  
   処理オプション 414  
   用途 413  
 購買元帳レポート (R43420) 431, 432  
 購買要求  
   印刷 332  
   概要 332

却下 365  
 許容規則の割り当て 51  
 承認 365  
 承認待ちオーダーの検討 362, 364  
 見積オーダーの作成 344  
 利用 332  
 リリース 332  
 購買要求からの購買オーダー生成/一括  
   オーダー リリース プログラム (P43060)  
   処理オプション 334  
   用途 332  
 [顧客価格設定規則] フォーム 81  
 固定情報  
   アプリケーション固定情報の定義 41  
   価格管理固定情報の定義 38  
   事業所固定情報の設定 36  
   システム 40  
   設定 35  
 コミットメント  
   概要 411  
   監査証跡の作成 414  
   監査証跡の修正 415  
   監査証跡の利用 414  
   検討 172  
   コミットメントについて 170  
   作業への転記 416  
   作成 169, 170  
   整合性の検証 171  
   設定 83, 411  
   トラッキング 83  
   元帳 172  
   利用 169  
   リリース 83  
 [コミットメント照会の処理] フォーム 174  
 コミットメント照会プログラム  
   (P40230A) 173  
 コミットメント整合性レポート (R40910)  
   処理オプション 175, 412  
   用途 412  
 コミットメント用監査証跡 414  
 ご要望 xxviii

## さ

差異  
   加重平均原価 310  
   実績費用 310  
   標準原価 240  
 “在庫品目再発注点バッチ購買オーダー  
   の生成” プログラム (R437002)  
   処理オプション 407

用途 406  
 債務 11  
   繰越 417  
   繰越の作成 176  
   検討 172  
   コミットメント整合性の検証 171  
   債務について 170  
   作成 169, 170  
   元帳 172  
   利用 169  
 債務繰越プログラム (R4317)  
   処理オプション 418  
   用途 417  
 財務状況情報 206  
 作業原価計算 2  
 “作業へのコミット済み原価の転記” プ  
 ログラム (R00932)  
   処理オプション 417  
   用途 416

## し

仕入先  
   新しい価格の生成の例 393  
   価格の入力 76  
   価格割引の入力 77  
   許可状況の定義 166  
   契約価格の設定 77  
   原価パフォーマンスの検討 396  
   限度額の換算 391  
   購買指示の設定 67  
   情報の設定 67  
   代替通貨での価格の生成 392  
   通貨換算 391  
   電子カタログ情報へのアクセス 166  
   入荷情報の印刷 246  
   納入パフォーマンス ガイドラインの設  
   定 68  
   納入パフォーマンスの検討 396  
   パフォーマンス集計情報の検討 396  
   パフォーマンス集計情報の設定 69  
   パフォーマンス情報の検討 395  
   パフォーマンス情報の取り込み 395  
   品質パフォーマンス ガイドラインの設  
   定 69  
   品質パフォーマンスの検討 396  
   品目関係の作成 68  
   見積依頼の入力 347  
   見積価格の入力 346  
   見積要求の印刷 348  
   割引規則の添付 78

“仕入先カタログの改訂” プログラム  
 (P41061)  
   処理オプション 79  
 仕入先原価パフォーマンス 396  
 仕入先実績テンプレートの再作成プログ  
 ラム (R43815) 63  
 仕入先のパフォーマンス情報 69  
 仕入先パフォーマンス情報 395  
 “仕入先/品目関係の再作成” プログラ  
 ム (R43900)  
   処理オプション 400  
   用途 399  
 [仕入先/品目関係] フォーム 73  
 仕入先/品目関係プログラム  
 (P43090) 375  
 仕入先分析サマリー プログラム  
   処理オプション 397  
 仕入先分析レポート (R04602)  
   印刷 329  
 仕入先別購買オーダー集計レポート  
 (R43415) 431, 432  
 事業所固定情報  
   設定 36  
   品目引当可能数量の設定 39  
 システム  
   固定情報の設定 39  
   固定情報の定義 40  
   設定 27  
 [システム固定情報] フォーム 40  
 自動仕訳  
   差異 310  
   入荷 240  
   入荷工程 371  
 自動仕訳 (AAI)  
   差異 48  
   消費税 49  
   設定 47  
   貸借一致調整 50  
   調達管理 47  
   伝票 48  
   入荷 48  
   入荷工程 49  
   陸揚費用 49  
 支払 AIA アプリケーションレポート  
 (P44440) 329  
 住所録 2  
 受注オーダー 116  
 出荷情報 115  
 状況コード  
   更新 401



設定 32  
 承認経路  
   オーダーへの割り当て 109  
   概要 358  
   作成 358  
   変更 358  
   予算承認者の割り当て 359  
 承認処理  
   アクティブ化 109  
   オーダーの却下 365  
   オーダーの承認 365  
   概要 357  
   権限の委任 359, 361  
   承認経路の処理フロー 362  
   承認権限の委任 359  
   承認担当者の検討 362  
   承認待ちオーダーの検討 362, 364  
   承認メッセージの検討 359, 361, 363  
   フィールド固定情報の設定 366  
   予算承認者のバイパス 359  
 承認フィールド固定情報プログラム  
   (P43080) 366  
 承認レベルの改訂プログラム (P43008)  
   処理オプション 360  
   用途 358  
 除去  
   概要 425  
   プログラム 425  
 処理順序 16  
 処理順序定義  
   処理順序定義について 16  
   設定 32  
   例 17  
 シリアル番号  
   入荷品目への割り当て 238  
   割り当て 383  
 仕訳  
   差異 240, 310  
   伝票 310  
   伝票トランザクションの検討と転記 311  
   入荷工程から除去された品目 374, 387  
   入荷工程の品目に対する更新 371  
   入荷に対する仕訳の検討 240

## せ

請求書  
   仮情報の印刷 312  
   原価変更の記録 307

商品入荷前の仮作成 312  
 代替通貨で受け取る 290  
 入力 312  
 税情報  
   vertex 19  
   オーダーに関する入力 108  
   自動仕訳 (AAI) 49  
   伝票 288  
   明細行に対する入力 115  
 製造 2  
 製品統合 1  
 設定  
   固定情報 35  
   コミットメント 83  
   自動仕訳 (AAI) 47  
   伝票 279  
 セルフサービス  
   Web でのオーダー参照 421  
   Web での入荷参照 421  
   処理オプションのアクティブ化 24  
   セキュリティ問題への対応 24  
   設定 23  
   見積要求への回答 422  
 先取特権の放棄 329  
 前提知識 xxiii

## そ

総額 114  
 総勘定元帳への転記プログラム  
   (R09801) 241  
 相互参照 xxvii

## た

貸借一致調整 50  
 代替品目 116  
 多通貨  
   オーダー 107, 113  
   外注契約に対する情報の検討 208  
   伝票 288  
   入荷 214

## ち

置換品目 116  
 注 xxvi  
 注意事項 xxvi  
 注記  
   オーダーに対する追加 109  
   明細行に対する追加 113  
 調達管理

概要 1  
 機能、用語、概念 14  
 共通フィールド xxxiv  
 自動仕訳 (AAI) 47  
 導入手順 9  
 リバートの概要 21  
 ワークフロー 429

## つ

追加ドキュメンテーション xxiv  
 通貨  
   換算 391  
   契約のタイプ 205  
 “通貨別購買価格の生成” プログラム  
 (R4106101)  
   処理オプション 394  
   データ選択 394

## て

テキスト行の終了プログラム  
 (R43960) 425  
 電子カタログ 113, 166  
 電子データ交換  
   概要 2  
 電子データ交換 (EDI)  
   購買オーダー情報の保管 192  
 電子メール メッセージ 359, 361, 363  
 伝票  
   逆仕訳 288  
   許容規則の割り当て 51  
   金額貸借一致の検証 311  
   作成 279  
   作成するオーダー明細行の照合 307  
   支払伝票を作成する個々のレコード  
   の照合 288  
   情報の印刷 327  
   仕訳の検討 310  
   新規の購買オーダー明細行の追  
   加 288  
   設定 279  
   転記 311  
   伝票の AAI 48  
   入荷別印刷 328  
   入荷レコードを使用した伝票の作  
   成 309  
   明細行別の情報印刷 328  
   予備伝票からの作成 312  
   予備の作成 312  
   陸揚費用の伝票の作成 284, 288

留保金レコードを使用した伝票の作  
 成 307  
 レコードを使用した伝票の作成 287  
 伝票照合プログラム (P4314) 299  
 データの除去 425

## と

統合  
   一般会計 2  
   買掛管理 2  
   作業原価計算 2  
   住所録 2  
   製造 2  
   製品 1  
   電子データ交換 2  
   ロジスティクス 2  
 導入手順  
   概要 8  
   グローバル 8  
   調達管理 9  
 ドキュメンテーション  
   印刷・製本 xxiv  
   関連 xxiv  
 特殊オーダー入力 165

## に

入荷  
   一括入荷の入力 237  
   逆仕訳 238  
   許容規則の割り当て 51  
   公式の処理 210  
   工程の作成 371  
   残高の締め 307  
   仕入先別の情報の印刷 246  
   自動仕訳 240  
   自動仕訳 (AAI) 48  
   状況の印刷 245  
   情報の印刷 244  
   シリアル番号の割り当て 238  
   仕訳の検討 240  
   転記 241  
   取り消し 307  
   入荷工程外の品目の戻し (逆仕  
   訳) 387  
   入力 213  
   発注残の印刷 245  
   非公式の処理 210  
   部分実行 307  
   未決済伝票情報の印刷 328

ロットの割り当て 238  
 入荷確認 (F43121) の除去プログラム  
 (R43121P) 425  
 入荷確認書  
   印刷 211  
   記述 210  
   バッチ モードによる印刷 212  
 入荷確認書印刷プログラム (R43510)  
   処理オプション 211  
   用途 211  
 入荷確認照会プログラム (P43214)  
   処理オプション 281  
   用途 280  
 入荷確認プログラム (P4312) 215  
 入荷工程  
   アクティブ化 374  
   概要 369  
   作業間の品目移動 378, 383  
   作業の定義 371  
   作成 370  
   自動仕訳 (AAI) 49  
   仕様の定義 376  
   処分カテゴリの設定 374  
   仕訳について 371  
   代替入荷工程の割当て 375, 376  
   入荷の戻し (逆仕訳) 238  
   抜き取り検査要件の検討 387  
   抜き取り検査要件の定義 376  
   標準入荷工程の割当て 375  
   品目移動の戻し (逆仕訳) 387  
   品目現行状況の検討 383  
   品目仕様の検討 387  
   品目除去カテゴリの設定 374  
   品目除去の戻し (逆仕訳) 387  
   品目に対する仕訳の作成 371  
   品目の除去 386  
   品目の利用 377  
   品目への割当て 376  
   品目履歴の検討 388  
   返品品目の置換 387  
   履歴 388  
   例 369  
 入荷工程 UDC (43/RC) 372  
 入荷工程作業 UDC (43/OC) 372  
 入荷工程の移動/処分プログラム  
 (P43250)  
   処理オプション 378  
   用途 383  
 入荷工程の作業 371  
 [入荷工程履歴の処理] フォーム 388

入荷処理中オーダー 280  
 入荷請求仮勘定残高調整レポート  
 (R43450) 329  
 入荷/伝票状況レポート (R43412)  
   処理オプション 328  
 入荷品目へのロット割り当て 238  
 入荷レコード 288

## ぬ

抜き取り検査要件 376

## の

納入パフォーマンス  
   仕入先に対するガイドラインの設  
   定 68  
   仕入先の検討 396

## は

バッチ印刷 187  
 発注残状況プログラム (P43525) 245  
 発注提示在庫品目プログラム (F4371)  
   処理オプション 409  
   用途 406  
 発注点購買オーダー生成プログラム  
 (P43011)  
   処理オプション 84

## ひ

引当  
   変更オーダー 116  
 非在庫品目  
   概要 56  
   設定 56  
   明細行での入力 114  
 [非在庫品目の改訂] フォーム 58  
 非在庫品目マスター プログラム (P4101N)  
   処理オプション 57  
   用途 56  
 日付  
   オーダーに関する入力 108  
   複数のオーダー要求/約束日付の改  
   訂 402  
 費用  
   陸揚費用の設定 54  
 評価済み入荷決済 309  
 表記規則 xxvi  
 標準原価差異 240  
 品質パフォーマンス

仕入先に対するガイドラインの設定 69  
 仕入先の検討 396  
 品目  
   オーダー 167, 169  
   合格品目のガイドライン設定 69  
   再発注 406  
   作業間の移動 378, 383  
   仕入先価格の入力 76  
   仕入先関係の作成 68  
   情報の設定 67  
   追加 68  
   入荷記録の印刷 246  
   入荷工程からの除去 386  
   入荷工程からの処分 374  
   入荷工程状況の検討 383  
   入荷工程中の引当可能数量の更新 371  
   入荷工程に対する仕様の定義 376  
   入荷工程の戻し(逆仕訳) 387  
   入荷工程の利用 377  
   入荷工程の割当て 376  
   入荷工程履歴の検討 388  
   入荷への複数保管場所およびロットの割り当て 238  
   非在庫 56, 114  
   品目仕入先の選択 169  
   見積品目の入力 344  
   明細行の入力 113  
   割引規則の入力 77  
 品目原価 113  
 品目除去に対する支払適格性 374

## ふ

複数勘定配賦  
   用途 114  
 複数の勘定配賦  
   テーブル 288

## へ

変更オーダー  
   コピー 122  
   入力 116  
 返品品目の置換 387

## ほ

保管場所  
   入荷品目の割り当て 238

入荷への複数保管場所の割り当て 238  
 保留 11  
   オーダーの設定 52  
   外注契約支払への割り当て 288  
 保留オーダー リリース プログラム (P43070) 182

## み

見積オーダー  
   概要 11  
   購買要求からの作成 344  
   仕入先の選択 345  
   締め処理 349  
   入力 344  
   利用 344  
 [見積オーダーのリリース] フォーム 351  
 見積オーダーのリリース プログラム (P43360) 349  
 見積回答の入力プログラム (P4334)  
   処理オプション 348, 423  
   用途 422  
 見積価格  
   入力 346  
 見積要求レポート (R4350) 346

## め

明細行  
   勘定科目コード別の入力 114  
   既存明細行からの購買オーダー作成 167  
   検討 113  
   税情報の入力 115  
   代替品目または置換品目の入力 116  
   注記の追加 113  
   定義 112  
   伝票情報の印刷 328  
   取り消し 113  
   値引条件の入力 115  
   品目番号別の入力 113  
   レポートコードの入力 115  
 明細行の価格規則 115  
 明細行のレポートコード 115

## も

モデル ログ  
   コピー 187  
   作成 65  
 [モデル・ログ] フォーム 65

元帳 172

## ゆ

### ユーザー定義コード

移動コード (43/MC) 45  
 印刷メッセージ (40/PM) 43  
 オーダー タイプ (00/DT) 33  
 オーダー テンプレート (40/OT) 43, 61  
 価格カテゴリ タイプ (42/CT) 45  
 貨物/運賃取扱コード (42/FR) 45  
 基準計画ファミリ (41/P4) 44  
 工程コード (43/RC) 45  
 購買リポート オーダー タイプ  
 (43/RB) 45  
 顧客価格グループ (40/PC) 43  
 コミットメント オーダー タイプ  
 (40/CT) 83  
 コミットメント伝票タイプ (40/CT) 43  
 在庫の平均価格計算 (40/AV) 42  
 作業コード (43/OC) 45  
 仕入先リポート コード (41/P3) 44  
 状況コード (40/AT) 33  
 商品クラス コード (41/P1) 44  
 商品補助クラス コード (41/P2) 44  
 進捗支払の表示 (43B/VW) 46  
 スケジュール名 (40/AS) 42  
 相互参照タイプ コード (41/DT) 44  
 伝票タイプ (00/DT) 42  
 トランザクション セット目的コード  
 (47/PU) 46  
 入荷工程 (43/RC) 372  
 入荷工程作業 (43/OC) 372  
 認可状況 (43/CR) 45  
 品目価格グループ (40/PI) 43  
 品目変更テーブル (40/IC) 43  
 保留コード (42/HC) 45, 53  
 未処理ログ タイプ (43/OL) 45  
 モデル ログ (43/ML) 65  
 モデル ログ タイプ (43/ML) 45  
 元帳転記カテゴリ (41/9) 43  
 陸揚費用規則 (41/P5) 44, 55  
 陸揚費用構成要素 (40/CA) 43  
 陸揚費用レベル (41/CA) 55  
 リポート状況 (43/RS) 45  
 リポート タイプ (43/RT) 45  
 ユーザー定義コード (UDC), 参照: ユー  
 ザー定義コード

## よ

要求日付別発注残レポート  
 (R43640) 431

処理オプション 432

用途 432

### 予算

検討 180

チェック 178

チェックのアクティブ化 178

チェックの設定 178

使い方 178

予算承認者 359

### 予算保留

承認待ちオーダー リリース 365

入力 182

リリース 184

## り

### 陸揚費用

概要 54

自動仕訳 (AAI) 49, 54

設定 54

伝票の作成 284, 288, 309

入力 213, 283

陸揚費用選択プログラム (P43291)

処理オプション 285

用途 284

### 留保金レコード

伝票作成のための照合 307

伝票の作成 307

リリース 308

## れ

レコード情報 306, 307

### レポート

外注明細 208

連絡先 xxviii

## ろ

### ログ

概要 185

情報の利用 185

モデル ログからのコピー 187

モデル ログの作成 65

ログ レポート/更新プログラム 187

ロジスティクス 2

## わ

### 割引

- 規則の入力 77
- 仕入先への添付 78
- 明細行に対する入力 115
- ワークフロー
  - 購買オーダー承認 429
  - 約束日付変更 430
- ワークベンチ
  - [購買オーダー・ワークベンチ] について 166
  - 複数の仕入先に対するオーダー入力 166